2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	3 級商業簿記基礎Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	75	単位数	5	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。 【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。				
到達目標	簿記の基本原理を理解している。 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。 小規模企業における財務諸表の作成ができる。				
授業内容	1 回：簿記の目的 2 回：簿記一巡① 3 回：簿記一巡② 4 回：商品売買Ⅰ 5 回：商品売買Ⅱ① 6 回：商品売買Ⅱ② 7 回：現金及び預金① 8 回：現金及び預金② 9 回：手形 10 回：有形固定資産 11 回：その他の債権及び債務① 12 回：その他の債権及び債務② 13 回：税金 14 回：訂正仕訳 15 回：株式会社の資本		16 回：決算及び繰越商品及び仕入の決算整理 17 回：精算表 18 回：英米式決算法 19 回：有形固定資産の決算整理① 20 回：有形固定資産の決算整理② 21 回：有形固定資産の決算整理③ 22 回：受取手形及び売掛金の決算整理① 23 回：受取手形及び売掛金の決算整理② 24 回：受取手形及び売掛金の決算整理③ 25 回：費用及び収益の決算整理① 26 回：費用及び収益の決算整理② 27 回：費用及び収益の決算整理③ 28 回：現金過不足及び現金の決算整理 29 回：当座借越の振替え、貯蔵品の決算整理 30 回：消費税の決算整理、法人税等の決算整理		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	3 級商業簿記基礎Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	75	単位数	5	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。 【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。				
到達目標	簿記の基本原理を理解している。 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。 小規模企業における財務諸表の作成ができる。				
授業内容	31 回：損益計算書及び貸借対照表① 32 回：損益計算書及び貸借対照表② 33 回：損益計算書及び貸借対照表③ 34 回：仕訳帳及び総勘定元帳 35 回：現金出納帳 36 回：当座預金出納帳 37 回：小口現金出納帳 38 回：仕入帳及び売上帳 39 回：商品有高帳 40 回：売掛金元帳及び買掛金元帳 41 回：受取手形記入帳及び支払手形記入帳 42 回：固定資産台帳、補助簿の相関関係 43 回：伝票会計① 44 回：伝票会計② 45 回：伝票会計③		46 回：確認テスト 47 回：確認テスト　解説 48 回：項目別問題演習① 49 回：項目別問題演習② 50 回：項目別問題演習③ 51 回：項目別問題演習④ 52 回：項目別問題演習⑤ 53 回：項目別問題演習⑥ 54 回：項目別問題演習⑦ 55 回：項目別問題演習⑧ 56 回：項目別問題演習⑨ 57 回：項目別問題演習⑩ 58 回：項目別問題演習⑪ 59 回：項目別問題演習⑫ 60 回：項目別問題演習⑬		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	3 級商業簿記基礎Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	75	単位数	5	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。 【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。				
到達目標	簿記の基本原理を理解している。 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。 小規模企業における財務諸表の作成ができる。				
授業内容	61 回：項目別問題演習⑭ 62 回：項目別問題演習⑮ 63 回：項目別問題演習⑯ 64 回：項目別問題演習⑰ 65 回：項目別問題演習⑱ 66 回：項目別問題演習⑲ 67 回：項目別問題演習⑳ 68 回：項目別問題演習㉑ 69 回：項目別問題演習㉒ 70 回：項目別問題演習㉓ 71 回：項目別問題演習㉔ 72 回：項目別問題演習㉕ 73 回：項目別問題演習㉖ 74 回：項目別問題演習㉗ 75 回：まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	3 級簿記総合	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 3 級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。 【概要】 日商簿記 3 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 3 級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。 日商簿記 3 級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。 日商簿記検定 3 級合格レベルに到達する。				
授業内容	1 回：答案練習① 2 回：答案練習①解説 3 回：答案練習② 4 回：答案練習②解説 5 回：答案練習③ 6 回：答案練習③解説 7 回：答案練習④ 8 回：答案練習④解説 9 回：答案練習⑤ 10 回：答案練習⑤解説 11 回：答案練習⑥ 12 回：答案練習⑥解説 13 回：答案練習⑦ 14 回：答案練習⑦解説 15 回：答案練習⑧		16 回：答案練習⑧解説 17 回：直前答案練習① 18 回：直前答案練習①解説 19 回：直前答案練習② 20 回：直前答案練習②解説 21 回：直前答案練習③ 22 回：直前答案練習③解説 23 回：直前答案練習④ 24 回：直前答案練習④解説 25 回：直前答案練習⑤ 26 回：直前答案練習⑤解説 27 回：直前答案練習⑥ 28 回：直前答案練習⑥解説 29 回：直前答案練習⑦ 30 回：直前答案練習⑦解説、まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成における、基本的な日々の会計処理および決算処理の記帳方法を理解する。 【概要】 株式会社が作成する財務諸表に記載する資産・負債・純資産・収益・費用の増減に関する各取引の記帳方法を学ぶ。				
到達目標	簿記一巡の手続きのうち、株式会社における基本的な処理及び記帳方法を理解する。 企業における投資額のうち資産と費用に区分けする処理及び記帳方法を費用配分の原則に基づき理解する。 直接的な営業活動以外で、中小企業において活発的に行われている取引の処理及び記帳方法を理解する。				
授業内容	1 回：総論① 2 回：総論② 3 回：総論③ 4 回：収益と費用① 5 回：収益と費用② 6 回：収益と費用③ 7 回：棚卸資産① 8 回：棚卸資産② 9 回：棚卸資産③ 10 回：現金預金① 11 回：現金預金② 12 回：現金預金③ 13 回：債権債務① 14 回：債権債務② 15 回：債権債務③		16 回：有価証券① 17 回：有価証券② 18 回：有価証券③ 19 回：有価証券④ 20 回：有価証券⑤ 21 回：有価証券⑥ 22 回：有形固定資産① 23 回：有形固定資産② 24 回：有形固定資産③ 25 回：有形固定資産④ 26 回：有形固定資産⑤ 27 回：有形固定資産⑥ 28 回：リース会計① 29 回：リース会計② 30 回：リース会計③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成における、基本的な日々の会計処理および決算処理の記帳方法を理解する。 【概要】 株式会社が作成する財務諸表に記載する資産・負債・純資産・収益・費用の増減に関する各取引の記帳方法を学ぶ。				
到達目標	簿記一巡の手続きのうち、株式会社における基本的な処理及び記帳方法を理解する。 企業における投資額のうち資産と費用に区分けする処理及び記帳方法を費用配分の原則に基づき理解する。 直接的な営業活動以外で、中小企業において活発的に行われている取引の処理及び記帳方法を理解する。				
授業内容	31 回：その他の固定資産① 32 回：その他の固定資産② 33 回：その他の固定資産③ 34 回：為替換算会計① 35 回：為替換算会計② 36 回：為替換算会計③ 37 回：引当金① 38 回：引当金② 39 回：引当金③ 40 回：法人税等① 41 回：法人税等② 42 回：法人税等③ 43 回：総復習① 44 回：総復習② 45 回：まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 特殊な会計処理の記帳方法および財務諸表の雛形を理解し、財務諸表の作成が行えるようにする。 【概要】 税効果会計や企業結合等の特殊処理を理解するとともに、報告書類となる財務諸表の作成が行えるスキルを身に付ける。				
到達目標	株式会社を理解し、財務諸表における基本的な純資産の部の処理及び記帳方法を理解する。 会社再編等において活発的に行われている、企業結合の処理及び記帳方法から合算財務諸表の作成まで理解する。 個別論点ごとの演習、解説を通じて総合問題を解答するための力を養う。				
授業内容	1 回：税効果会計① 2 回：税効果会計② 3 回：税効果会計③ 4 回：株式会社の純資産① 5 回：株式会社の純資産② 6 回：株式会社の純資産③ 7 回：企業結合 8 回：株主資本等変動計算書① 9 回：株主資本等変動計算書② 10 回：連結会計① 11 回：連結会計② 12 回：連結会計③ 13 回：連結会計④ 14 回：連結会計⑤ 15 回：連結会計⑥		16 回：連結会計⑦ 17 回：連結会計⑧ 18 回：連結会計⑨ 19 回：連結会計⑩ 20 回：連結会計⑪ 21 回：連結会計⑫ 22 回：本支店会計① 23 回：本支店会計② 24 回：本支店会計③ 25 回：項目別問題演習① 26 回：項目別問題演習② 27 回：項目別問題演習③ 28 回：項目別問題演習④ 29 回：項目別問題演習⑤ 30 回：項目別問題演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 特殊な会計処理の記帳方法および財務諸表の雛形を理解し、財務諸表の作成が行えるようにする。 【概要】 税効果会計や企業結合等の特殊処理を理解するとともに、報告書類となる財務諸表の作成が行えるスキルを身に付ける。				
到達目標	株式会社を理解し、財務諸表における基本的な純資産の部の処理及び記帳方法を理解する。 会社再編等において活発的に行われている、企業結合の処理及び記帳方法から合算財務諸表の作成まで理解する。 個別論点ごとの演習、解説を通じて総合問題を解答するための力を養う。				
授業内容	31 回：項目別問題演習⑦ 32 回：項目別問題演習⑧ 33 回：項目別問題演習⑨ 34 回：項目別問題演習⑩ 35 回：項目別問題演習⑪ 36 回：項目別問題演習⑫ 37 回：項目別問題演習⑬ 38 回：項目別問題演習⑭ 39 回：項目別問題演習⑮ 40 回：項目別問題演習⑯ 41 回：項目別問題演習⑰ 42 回：項目別問題演習⑱ 43 回：項目別問題演習⑲ 44 回：項目別問題演習⑳ 45 回：まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 顧客の注文に応じて製品を製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。 【概要】 個別受注生産形態における原価の分類集計から財務諸表の作成方法まで学ぶ。				
到達目標	製品製造においてどのような原価が発生しているか説明出来る。 個別受注生産形態における原価計算手続に従って、製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。 製品原価の計算をより正確かつ迅速に行うことが出来る。				
授業内容	1 回：工業簿記の基礎① 2 回：工業簿記の基礎② 3 回：工業簿記の基礎③ 4 回：工業簿記における記帳① 5 回：工業簿記における記帳② 6 回：工業簿記における記帳③ 7 回：材料費会計① 8 回：材料費会計② 9 回：材料費会計③ 10 回：労務費会計① 11 回：労務費会計② 12 回：労務費会計③ 13 回：経費会計① 14 回：経費会計② 15 回：経費会計③		16 回：製造間接費会計① 17 回：製造間接費会計② 18 回：製造間接費会計③ 19 回：製造間接費会計④ 20 回：製造間接費会計⑤ 21 回：製造間接費会計⑥ 22 回：製造間接費会計⑦ 23 回：製造間接費会計⑧ 24 回：製造間接費会計⑨ 25 回：単純個別原価計算① 26 回：単純個別原価計算② 27 回：単純個別原価計算③ 28 回：工企業の財務諸表① 29 回：工企業の財務諸表② 30 回：工企業の財務諸表③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 顧客の注文に応じて製品を製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。 【概要】 個別受注生産形態における原価の分類集計から財務諸表の作成方法まで学ぶ。				
到達目標	製品製造においてどのような原価が発生しているか説明出来る。 個別受注生産形態における原価計算手続に従って、製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。 製品原価の計算をより正確かつ迅速に行うことが出来る。				
授業内容	31 回：工場会計の独立① 32 回：工場会計の独立② 33 回：工場会計の独立③ 34 回：部門別計算① 35 回：部門別計算② 36 回：部門別計算③ 37 回：部門別計算④ 38 回：部門別計算⑤ 39 回：部門別計算⑥ 40 回：部門別計算⑦ 41 回：部門別計算⑧ 42 回：部門別計算⑨ 43 回：総復習① 44 回：総復習② 45 回：まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 同じ規格の製品を大量に製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。 【概要】 大量見込生産形態における原価の分類集計や、利益計画の手法などを学ぶ。				
到達目標	大量見込生産形態における原価計算制度に従って製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。 予定した原価と実際の原価を比較・分析し、原価低減活動に役立てることが出来る。 原価の分類や利益の仕組みを応用して、利益計画することが出来る。				
授業内容	1 回：総合原価計算総論 2 回：単純総合原価計算① 3 回：単純総合原価計算② 4 回：単純総合原価計算③ 5 回：単純総合原価計算④ 6 回：単純総合原価計算⑤ 7 回：減損及び仕損① 8 回：減損及び仕損② 9 回：減損及び仕損③ 10 回：工程別総合原価計算① 11 回：工程別総合原価計算② 12 回：工程別総合原価計算③ 13 回：組別・等級別総合原価計算① 14 回：組別・等級別総合原価計算② 15 回：組別・等級別総合原価計算③		16 回：標準原価計算① 17 回：標準原価計算② 18 回：標準原価計算③ 19 回：標準原価計算④ 20 回：標準原価計算⑤ 21 回：標準原価計算⑥ 22 回：ＣＶＰ分析① 23 回：ＣＶＰ分析② 24 回：ＣＶＰ分析③ 25 回：直接原価計算① 26 回：直接原価計算② 27 回：直接原価計算③ 28 回：項目別問題演習① 29 回：項目別問題演習② 30 回：項目別問題演習③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 同じ規格の製品を大量に製造する工企業の基本的な原価計算制度と会計的な記帳方法を理解する。 【概要】 大量見込生産形態における原価の分類集計や、利益計画の手法などを学ぶ。				
到達目標	大量見込生産形態における原価計算制度に従って製品別に原価を集計し、会計帳簿に記録することが出来る。 予定した原価と実際の原価を比較・分析し、原価低減活動に役立てることが出来る。 原価の分類や利益の仕組みを応用して、利益計画することが出来る。				
授業内容	31 回：項目別問題演習④ 32 回：項目別問題演習⑤ 33 回：項目別問題演習⑥ 34 回：項目別問題演習⑦ 35 回：項目別問題演習⑧ 36 回：項目別問題演習⑨ 37 回：項目別問題演習⑩ 38 回：項目別問題演習⑪ 39 回：項目別問題演習⑫ 40 回：項目別問題演習⑬ 41 回：項目別問題演習⑭ 42 回：項目別問題演習⑮ 43 回：項目別問題演習⑯ 44 回：項目別問題演習⑰ 45 回：まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級簿記総合Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会計帳簿の記入や製品の原価集計をより正確かつ迅速に行えるよう、演習、解説、復習を繰り返し、中小企業の経理業務が行えるようにする。 【概要】 個別論点ごとに演習、解説を行ってから総合問題を演習し、処理速度と正確性の向上を図る。				
到達目標	株式会社の帳簿記入を適切に行い、財務諸表作成までの作業を体系的に行うことが出来る。 工企業の原価計算手続を理解し、コスト管理に役立てることができる。 日商簿記検定 2 級合格レベルに到達する。				
授業内容	1 回：答案練習① 2 回：答案練習①解説 3 回：答案練習② 4 回：答案練習②解説 5 回：答案練習③ 6 回：答案練習③解説 7 回：答案練習④ 8 回：答案練習④解説 9 回：答案練習⑤ 10 回：答案練習⑤解説 11 回：答案練習⑥ 12 回：答案練習⑥解説 13 回：答案練習⑦ 14 回：答案練習⑦解説 15 回：答案練習⑧		16 回：答案練習⑧解説 17 回：答案練習⑨ 18 回：答案練習⑨解説 19 回：答案練習⑩ 20 回：答案練習⑩解説 21 回：答案練習⑪ 22 回：答案練習⑪解説 23 回：答案練習⑫ 24 回：答案練習⑫解説 25 回：答案練習⑬ 26 回：答案練習⑬解説 27 回：答案練習⑭ 28 回：答案練習⑭解説 29 回：答案練習⑮ 30 回：答案練習⑮解説		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級簿記総合Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会計帳簿の記入や製品の原価集計をより正確かつ迅速に行えるよう、演習、解説、復習を繰り返し、中小企業の経理業務が行えるようにする。 【概要】 個別論点ごとに演習、解説を行ってから総合問題を演習し、処理速度と正確性の向上を図る。				
到達目標	株式会社の帳簿記入を適切に行い、財務諸表作成までの作業を体系的に行うことが出来る。 工企業の原価計算手続を理解し、コスト管理に役立てることができる。 日商簿記検定 2 級合格レベルに到達する。				
授業内容	31 回：答案練習⑯ 32 回：答案練習⑯解説 33 回：答案練習⑰ 34 回：答案練習⑰解説 35 回：答案練習⑱ 36 回：答案練習⑱解説 37 回：答案練習⑲ 38 回：答案練習⑲解説 39 回：答案練習⑳ 40 回：答案練習⑳解説 41 回：答案練習㉑ 42 回：答案練習㉑解説 43 回：答案練習㉒ 44 回：答案練習㉒解説 45 回：答案練習㉓		46 回：答案練習㉓解説 47 回：公開模試 48 回：公開模試解説 49 回：直前答案練習① 50 回：直前答案練習①解説 51 回：直前答案練習② 52 回：直前答案練習②解説 53 回：直前答案練習③ 54 回：直前答案練習③解説 55 回：直前答案練習④ 56 回：直前答案練習④解説 57 回：直前答案練習⑤ 58 回：直前答案練習⑤解説 59 回：直前答案練習⑥ 60 回：直前答案練習⑥解説、まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	3 級商業簿記入門	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 簿記会計の基礎知識を身に付け、小規模企業における財務諸表等の作成ができるようにする。 【概要】 日商簿記検定 3 級のうち、主要な範囲を学習する。				
到達目標	小規模企業の取引が理解できる。 小規模企業の仕訳ができるようになる。 小規模企業の財務諸表を作成できる。				
授業内容	1 回：簿記の目的 2 回：簿記一巡① 3 回：簿記一巡② 4 回：商品売買Ⅰ 5 回：商品売買Ⅱ 6 回：決算① 7 回：現金及び預金 8 回：手形/電債/その他の決算整理① 9 回：税金/その他の決算整理② 10 回：債権・債務① 11 回：債権・債務②/訂正仕訳/固定資産 12 回：その他の決算整理③ 13 回：株式会社の資本 14 回：その他の決算整理④ 15 回：決算②・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	3 級商業簿記入門Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 簿記会計の最新の情報を身に付け、小規模企業における財務諸表等の作成ができるようにする。 【概要】 日商簿記検定 3 級のうち、主要な範囲を実践的に学習する。				
到達目標	小規模企業の取引が深く理解できる。 小規模企業の仕訳が実践レベルでできるようになる。 小規模企業の財務諸表を細部にわたり作成できる。				
授業内容	1 回：簿記の目的 2 回：簿記一巡① 3 回：簿記一巡② 4 回：商品売買Ⅰ 5 回：商品売買Ⅱ 6 回：決算① 7 回：現金及び預金 8 回：手形/電債/その他の決算整理① 9 回：税金/その他の決算整理② 10 回：債権・債務① 11 回：債権・債務②/訂正仕訳/固定資産 12 回：その他の決算整理③ 13 回：株式会社の資本 14 回：その他の決算整理④ 15 回：決算②・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 広く一般に通用する簿記会計の知識を身に付け、大規模企業における財務諸表等の作成ができるようになる。 【概要】 財務諸表作成までの一連の流れを把握し財務報告に必要な書類の作成方法を学習する。				
到達目標	大規模企業における取引が理解できる。 大規模企業の帳簿を作成できる。 大規模企業の財務諸表を作成できる。				
授業内容	1 回：総論 2 回：収益と費用① 3 回：収益と費用② 4 回：棚卸資産① 5 回：棚卸資産② 6 回：現金預金 7 回：債権債務 8 回：有価証券① 9 回：有価証券② 10 回：有価証券③ 11 回：固定資産① 12 回：固定資産② 13 回：固定資産③ 14 回：固定資産④ 15 回：為替換算会計①		16 回：為替換算会計② 17 回：引当金① 18 回：引当金② 19 回：法人税等① 20 回：法人税等② 21 回：株式会社の純資産① 22 回：株式会社の純資産② 23 回：株式会社の純資産③ 24 回：企業結合 25 回：株主資本等変動計算書 26 回：確認テスト 27 回：確認テスト解説 28 回：連結会計① 29 回：連結会計② 30 回：連結会計③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単 位 数	4	実 務 家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 広く一般に通用する簿記会計の知識を身に付け、大規模企業における財務諸表等の作成ができるようになる。 【概要】 財務諸表作成までの一連の流れを把握し財務報告に必要な書類の作成方法を学習する。				
到達目標	大規模企業における取引が理解できる。 大規模企業の帳簿を作成できる。 大規模企業の財務諸表を作成できる。				
授業内容	31 回：連結会計④ 32 回：連結会計⑤ 33 回：連結会計⑥ 34 回：連結会計⑦ 35 回：連結会計⑧ 36 回：連結会計⑨ 37 回：本支店会計① 38 回：本支店会計② 39 回：本支店会計③ 40 回：本支店会計④ 41 回：総合問題対策① 42 回：総合問題対策①解説 43 回：総合問題対策② 44 回：総合問題対策②解説 45 回：総合問題対策③		46 回：総合問題対策③解説 47 回：総合問題対策④ 48 回：総合問題対策④解説 49 回：総合問題対策⑤ 50 回：総合問題対策⑤解説 51 回：総合問題対策⑥ 52 回：総合問題対策⑥解説 53 回：総合問題対策⑦ 54 回：総合問題対策⑦解説 55 回：総合問題対策⑧ 56 回：総合問題対策⑧解説 57 回：総合問題対策⑨ 58 回：総合問題対策⑨解説 59 回：総合問題対策⑩ 60 回：総合問題対策⑩解説・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単 位 数	4	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 製造業の帳簿記録方法を理解し、企業の経営管理に必要な実務力を身に付ける。 【概要】 工業簿記の基礎概念から応用的な計算手法までを段階的に学習する。				
到達目標	基本概念を理解し、製造業特有の勘定科目と仕訳処理の基本を理解できる。 個別原価計算・総合原価計算などの計算方法を理解し、適切な計算ができる。 工業簿記に関する一連の計算や勘定記入などの処理ができる。				
授業内容	1 回：工業簿記の基礎 2 回：工業簿記における記帳 3 回：材料費会計① 4 回：材料費会計② 5 回：労務費会計① 6 回：労務費会計② 7 回：労務費会計③ 8 回：経費会計 9 回：製造間接費会計① 10 回：製造間接費会計② 11 回：単純個別原価計算① 12 回：単純個別原価計算② 13 回：工企業の財務諸表① 14 回：工企業の財務諸表② 15 回：部門別計算①		16 回：部門別計算② 17 回：部門別計算③ 18 回：総合原価計算概論① 19 回：総合原価計算概論② 20 回：総合原価計算概論③ 21 回：総合原価計算① 22 回：総合原価計算② 23 回：総合原価計算③ 24 回：総合原価計算④ 25 回：総合原価計算⑤ 26 回：総合原価計算⑥ 27 回：総合原価計算⑦ 28 回：標準原価計算① 29 回：標準原価計算② 30 回：標準原価計算③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 製造業の帳簿記録方法を理解し、企業の経営管理に必要な実務力を身に付ける。 【概要】 工業簿記の基礎概念から応用的な計算手法までを段階的に学習する。				
到達目標	基本概念を理解し、製造業特有の勘定科目と仕訳処理の基本を理解できる。 個別原価計算・総合原価計算などの計算方法を理解し、適切な計算ができる。 工業簿記に関する一連の計算や勘定記入などの処理ができる。				
授業内容	31 回：標準原価計算④ 32 回：CVP 分析① 33 回：CVP 分析② 34 回：売上高差異の分析 35 回：直接原価計算① 36 回：直接原価計算② 37 回：直接原価計算③ 38 回：工場会計の独立 39 回：項目別答練① 40 回：項目別答練② 41 回：項目別答練③ 42 回：項目別答練④ 43 回：項目別答練⑤ 44 回：項目別答練⑥ 45 回：項目別答練⑦		46 回：項目別答練⑧ 47 回：問題演習答練① 48 回：問題演習答練② 49 回：問題演習答練③ 50 回：問題演習答練④ 51 回：問題演習答練⑤ 52 回：問題演習答練⑥ 53 回：問題演習答練⑦ 54 回：問題演習答練⑧ 55 回：問題演習答練⑨ 56 回：問題演習答練⑩ 57 回：問題演習答練⑪ 58 回：問題演習答練⑫ 59 回：問題演習答練⑬ 60 回：問題演習答練⑭・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級簿記総合 I	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 2 級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 2 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 2 級レベルの仕訳や勘定口座への記入ができる。 日商簿記 2 級レベルの財務諸表を作成することができる。 日商簿記 2 級レベルの工業簿記・原価計算が解答できる。				
授業内容	1 回：答案練習① 2 回：答案練習①解説 3 回：答案練習② 4 回：答案練習②解説 5 回：答案練習③ 6 回：答案練習③解説 7 回：答案練習④ 8 回：答案練習④解説 9 回：答案練習⑤ 10 回：答案練習⑤解説 11 回：答案練習⑥ 12 回：答案練習⑥解説 13 回：答案練習⑦ 14 回：答案練習⑦解説 15 回：答案練習⑧		16 回：答案練習⑧解説 17 回：公開模試 18 回：公開模試解説 19 回：直前答案練習① 20 回：直前答案練習①解説 21 回：直前答案練習② 22 回：直前答案練習②解説 23 回：直前答案練習③ 24 回：直前答案練習③解説 25 回：直前答案練習④ 26 回：直前答案練習④解説 27 回：直前答案練習⑤ 28 回：直前答案練習⑤解説 29 回：直前答案練習⑥ 30 回：直前答案練習⑥解説・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 広く一般に通用する最新の簿記会計の知識を身に付け、大規模企業における財務諸表等の作成ができるようになる。 【概要】 財務諸表作成までの一連の流れをより深く把握し財務報告に必要な書類の作成方法を学習する。				
到達目標	大規模企業における取引が深く理解できる。 大規模企業の帳簿を詳細に作成できる。 大規模企業の財務諸表を細部にわたり作成できる。				
授業内容	1 回：総論① 2 回：収益と費用① 3 回：収益と費用② 4 回：棚卸資産① 5 回：棚卸資産② 6 回：現金預金 7 回：債権債務 8 回：有価証券① 9 回：有価証券② 10 回：有価証券③ 11 回：固定資産① 12 回：固定資産② 13 回：固定資産③ 14 回：固定資産④ 15 回：為替換算会計①		16 回：為替換算会計② 17 回：引当金① 18 回：引当金② 19 回：法人税等① 20 回：法人税等② 21 回：株式会社の純資産① 22 回：株式会社の純資産② 23 回：株式会社の純資産③ 24 回：企業結合 25 回：株主資本等変動計算書 26 回：確認テスト 27 回：確認テスト解説 28 回：連結会計① 29 回：連結会計② 30 回：連結会計③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級商業簿記Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 広く一般に通用する最新の簿記会計の知識を身に付け、大規模企業における財務諸表等の作成ができるようになる。 【概要】 財務諸表作成までの一連の流れをより深く把握し財務報告に必要な書類の作成方法を学習する。				
到達目標	大規模企業における取引が深く理解できる。 大規模企業の帳簿を詳細に作成できる。 大規模企業の財務諸表を細部にわたり作成できる。				
授業内容	31 回：連結会計④ 32 回：連結会計⑤ 33 回：連結会計⑥ 34 回：連結会計⑦ 35 回：連結会計⑧ 36 回：連結会計⑨ 37 回：本支店会計① 38 回：本支店会計② 39 回：本支店会計③ 40 回：本支店会計④ 41 回：総合問題対策① 42 回：総合問題対策①解説 43 回：総合問題対策② 44 回：総合問題対策②解説 45 回：総合問題対策③		46 回：総合問題対策③解説 47 回：総合問題対策④ 48 回：総合問題対策④解説 49 回：総合問題対策⑤ 50 回：総合問題対策⑤解説 51 回：総合問題対策⑥ 52 回：総合問題対策⑥解説 53 回：総合問題対策⑦ 54 回：総合問題対策⑦解説 55 回：総合問題対策⑧ 56 回：総合問題対策⑧解説 57 回：総合問題対策⑨ 58 回：総合問題対策⑨解説 59 回：総合問題対策⑩ 60 回：総合問題対策⑩解説・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 製造業の帳簿記録方法を理解し、企業の経営管理に必要な実務力を身に付ける。 【概要】 工業簿記の基礎概念から応用的な計算手法までを段階的に学習する。				
到達目標	基本概念を理解し、製造業特有の勘定科目と仕訳処理の基本を理解できる。 個別原価計算・総合原価計算などの計算方法を理解し、適切な計算ができる。 工業簿記に関する一連の計算や勘定記入などの処理ができる。				
授業内容	1 回：工業簿記の基礎 2 回：工業簿記における記帳 3 回：材料費会計① 4 回：材料費会計② 5 回：労務費会計① 6 回：労務費会計② 7 回：労務費会計③ 8 回：経費会計 9 回：製造間接費会計① 10 回：製造間接費会計② 11 回：単純個別原価計算① 12 回：単純個別原価計算② 13 回：工企業の財務諸表① 14 回：工企業の財務諸表② 15 回：部門別計算①		16 回：部門別計算② 17 回：部門別計算③ 18 回：総合原価計算概論① 19 回：総合原価計算概論② 20 回：総合原価計算概論③ 21 回：総合原価計算① 22 回：総合原価計算② 23 回：総合原価計算③ 24 回：総合原価計算④ 25 回：総合原価計算⑤ 26 回：総合原価計算⑥ 27 回：総合原価計算⑦ 28 回：標準原価計算① 29 回：標準原価計算② 30 回：標準原価計算③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級工業簿記Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 製造業の帳簿記録方法を理解し、企業の経営管理に必要な実務力を身に付ける。 【概要】 工業簿記の基礎概念から応用的な計算手法までを段階的に学習する。				
到達目標	基本概念を理解し、製造業特有の勘定科目と仕訳処理の基本を理解できる。 個別原価計算・総合原価計算などの計算方法を理解し、適切な計算ができる。 工業簿記に関する一連の計算や勘定記入などの処理ができる。				
授業内容	31 回：標準原価計算④ 32 回：CVP 分析① 33 回：CVP 分析② 34 回：売上高差異の分析 35 回：直接原価計算① 36 回：直接原価計算② 37 回：直接原価計算③ 38 回：工場会計の独立 39 回：項目別答練① 40 回：項目別答練② 41 回：項目別答練③ 42 回：項目別答練④ 43 回：項目別答練⑤ 44 回：項目別答練⑥ 45 回：項目別答練⑦		46 回：項目別答練⑧ 47 回：問題演習答練① 48 回：問題演習答練② 49 回：問題演習答練③ 50 回：問題演習答練④ 51 回：問題演習答練⑤ 52 回：問題演習答練⑥ 53 回：問題演習答練⑦ 54 回：問題演習答練⑧ 55 回：問題演習答練⑨ 56 回：問題演習答練⑩ 57 回：問題演習答練⑪ 58 回：問題演習答練⑫ 59 回：問題演習答練⑬ 60 回：問題演習答練⑭・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	2 級簿記総合Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 2 級の問題演習実践を通じて、検定試験に高得点で合格する能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 2 級の応用問題演習及び追加的な解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 2 級の中でも高度な仕訳や勘定口座への記入ができる。 日商簿記 2 級の中でも実践的な財務諸表を作成することができる。 日商簿記 2 級の中でも発展的な工業簿記・原価計算が解答できる。				
授業内容	1 回：答案練習① 2 回：答案練習①解説 3 回：答案練習② 4 回：答案練習②解説 5 回：答案練習③ 6 回：答案練習③解説 7 回：答案練習④ 8 回：答案練習④解説 9 回：答案練習⑤ 10 回：答案練習⑤解説 11 回：答案練習⑥ 12 回：答案練習⑥解説 13 回：答案練習⑦ 14 回：答案練習⑦解説 15 回：答案練習⑧		16 回：答案練習⑧解説 17 回：公開模試 18 回：公開模試解説 19 回：直前答案練習① 20 回：直前答案練習①解説 21 回：直前答案練習② 22 回：直前答案練習②解説 23 回：直前答案練習③ 24 回：直前答案練習③解説 25 回：直前答案練習④ 26 回：直前答案練習④解説 27 回：直前答案練習⑤ 28 回：直前答案練習⑤解説 29 回：直前答案練習⑥ 30 回：直前答案練習⑥解説・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとして大規模企業の複雑な会計処理を理解できるようにする。 【概要】 高度な会計処理及び M&A 等に対応する知識を学習する。				
到達目標	複雑な簿記手続きが理解できる。 結合企業の簿記手続が理解できる。 その他高度な会計処理を理解できる。				
授業内容	1 回：財務諸表 2 回：有価証券① 3 回：有価証券② 4 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等 5 回：確認テスト①・解説 6 回：有形固定資産 7 回：割引現在価値・リース取引① 8 回：リース取引② 9 回：研究開発費とソフトウェア 10 回：固定資産の減損① 11 回：固定資産の減損②/繰延資産 12 回：社債① 13 回：社債② 14 回：貸倒引当金 15 回：退職給付①		16 回：退職給付② 17 回：確認テスト②・解説 18 回：資産除去債務 19 回：純資産① 20 回：純資産② 21 回：新株予約権と新株予約権付社債 22 回：ストック・オプション 23 回：確認テスト③・解説 24 回：税効果会計① 25 回：税効果会計② 26 回：確認テスト④・解説 27 回：確認テスト⑤・解説 28 回：外貨建取引① 29 回：外貨建取引② 30 回：確認テスト⑥・解説		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとして大規模企業の複雑な会計処理を理解できるようにする。 【概要】 高度な会計処理及び M&A 等に対応する知識を学習する。				
到達目標	複雑な簿記手続きが理解できる。 結合企業の簿記手続が理解できる。 その他高度な会計処理を理解できる。				
授業内容	31 回：商品売買等① 32 回：商品売買等② 33 回：確認テスト⑦・解説 34 回：連結財務諸表総論・資本連結① 35 回：資本連結② 36 回：成果連結① 37 回：成果連結② 38 回：連結税効果会計 39 回：持分法 40 回：確認テスト⑧・解説 41 回：包括利益① 42 回：包括利益② 43 回：在外子会社① 44 回：在外子会社② 45 回：企業結合①		46 回：企業結合② 47 回：確認テスト⑨・解説 48 回：事業分離① 49 回：事業分離② 50 回：本支店会計① 51 回：本支店会計② 52 回：確認テスト⑩・解説 53 回：キャッシュ・フロー計算書① 54 回：キャッシュ・フロー計算書② 55 回：確認テスト⑪・解説 56 回：連結キャッシュ・フロー計算書 57 回：会計上の変更 58 回：収益認識① 59 回：収益認識② 60 回：確認テスト⑫・解説		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとして大規模企業の複雑な会計処理を理解できるようにする。 【概要】 高度な会計処理及び M&A 等に対応する知識を学習する。				
到達目標	複雑な簿記手続きが理解できる。 結合企業の簿記手続が理解できる。 その他高度な会計処理を理解できる。				
授業内容	61 回：答案練習① 62 回：答案練習② 63 回：答案練習③ 64 回：答案練習④ 65 回：答案練習⑤ 66 回：答案練習⑥ 67 回：答案練習⑦ 68 回：答案練習⑧ 69 回：答案練習⑨ 70 回：答案練習⑩ 71 回：答案練習⑪ 72 回：答案練習⑫ 73 回：答案練習⑬ 74 回：答案練習⑭ 75 回：答案練習⑮		76 回：答案練習⑯ 77 回：答案練習⑰ 78 回：答案練習⑱ 79 回：答案練習⑲ 80 回：答案練習⑳ 81 回：答案練習㉑ 82 回：答案練習㉒ 83 回：答案練習㉓ 84 回：答案練習㉔ 85 回：答案練習㉕ 86 回：答案練習㉖ 87 回：答案練習㉗ 88 回：答案練習㉘ 89 回：答案練習㉙ 90 回：答案練習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単 位 数	6	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 企業の製造活動や販売活動などに係る原価の計算方法や記帳方法、経営管理に必要な意思決定や業績評価などの会計を身につける。 【概要】 日本商工会議所簿記検定１級を通して、大会社レベルの記帳から財務諸表作成・責任者ないし経営管理者としての管理会計を学ぶ。				
到達目標	大会社レベルの財務諸表作成ができる。 責任者ないし上級管理者として意思決定ならびに業績評価会計ができる。 上記目安として、日本商工会議所簿記検定１級に合格する。				
授業内容	1 回：費目別計算① 2 回：費目別計算② 3 回：費目別計算③ 4 回：個別原価計算 5 回：費目別計算、個別原価計算まとめ 6 回：部門別計算① 7 回：部門別計算② 8 回：部門別計算③ 9 回：部門別計算④ 10 回：部門別計算まとめ 11 回：部門別個別原価計算 12 回：部門別個別原価計算まとめ 13 回：総合原価計算① 14 回：総合原価計算② 15 回：総合原価計算③		16 回：総合原価計算④ 17 回：工程別総合原価計算① 18 回：総合原価計算まとめ 19 回：工程別総合原価計算② 20 回：組別・等級別原価計算 21 回：組別・等級別原価計算まとめ 22 回：連産品① 23 回：連産品② 24 回：連産品まとめ 25 回：工程別直接原価計算 26 回：工程別直接原価計算まとめ 27 回：標準原価計算① 28 回：標準原価計算② 29 回：標準原価計算まとめ① 30 回：標準原価計算③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単 位 数	6	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 企業の製造活動や販売活動などに係る原価の計算方法や記帳方法、経営管理に必要な意思決定や業績評価などの会計を身につける。 【概要】 日本商工会議所簿記検定１級を通して、大会社レベルの記帳から財務諸表作成・責任者ないし経営管理者としての管理会計を学ぶ。				
到達目標	大会社レベルの財務諸表作成ができる。 責任者ないし上級管理者として意思決定ならびに業績評価会計ができる。 上記目安として、日本商工会議所簿記検定１級に合格する。				
授業内容	31 回：標準原価計算まとめ② 32 回：標準原価計算④ 33 回：標準原価計算⑤ 34 回：標準原価計算まとめ③ 35 回：標準原価計算⑥ 36 回：標準原価計算⑦ 37 回：短期利益計画① 38 回：短期利益計画② 39 回：事業部制① 40 回：短期利益計画・事業部制まとめ 41 回：予算編成① 42 回：予算編成② 43 回：予算編成まとめ 44 回：予算統制① 45 回：予算統制②		46 回：予算統制まとめ 47 回：業務的意思決定① 48 回：業務的意思決定② 49 回：業務的意思決定まとめ① 50 回：業務的意思決定③ 51 回：業務的意思決定④ 52 回：業務的意思決定まとめ② 53 回：構造的意思決定① 54 回：構造的意思決定② 55 回：構造的意思決定まとめ① 56 回：構造的意思決定③ 57 回：構造的意思決定④ 58 回：構造的意思決定まとめ② 59 回：戦略的原価計算 60 回：戦略的原価計算まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計 I	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単 位 数	6	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 企業の製造活動や販売活動などに係る原価の計算方法や記帳方法、経営管理に必要な意思決定や業績評価などの会計を身につける。 【概要】 日本商工会議所簿記検定１級を通して、大会社レベルの記帳から財務諸表作成・責任者ないし経営管理者としての管理会計を学ぶ。				
到達目標	大会社レベルの財務諸表作成ができる。 責任者ないし上級管理者として意思決定ならびに業績評価会計ができる。 上記目安として、日本商工会議所簿記検定１級に合格する。				
授業内容	61 回：答案練習① 62 回：答案練習② 63 回：答案練習③ 64 回：答案練習④ 65 回：答案練習⑤ 66 回：答案練習⑥ 67 回：答案練習⑦ 68 回：答案練習⑧ 69 回：答案練習⑨ 70 回：答案練習⑩ 71 回：答案練習⑪ 72 回：答案練習⑫ 73 回：答案練習⑬ 74 回：答案練習⑭ 75 回：答案練習⑮		76 回：答案練習⑯ 77 回：答案練習⑰ 78 回：答案練習⑱ 79 回：答案練習⑲ 80 回：答案練習⑳ 81 回：答案練習㉑ 82 回：答案練習㉒ 83 回：答案練習㉓ 84 回：答案練習㉔ 85 回：答案練習㉕ 86 回：答案練習㉖ 87 回：答案練習㉗ 88 回：答案練習㉘ 89 回：答案練習㉙ 90 回：答案練習㉚・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合 I	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの総合問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問答案練習① 10 回：過去問答案練習② 11 回：過去問答案練習③ 12 回：過去問答案練習④ 13 回：過去問答案練習⑤ 14 回：過去問答案練習⑥ 15 回：過去問答案練習⑦		16 回：過去問答案練習⑧ 17 回：公開模擬試験 18 回：公開模擬試験解説 19 回：直前模擬試験① 20 回：直前模擬試験①解説 21 回：直前模擬試験② 22 回：直前模擬試験②解説 23 回：直前模擬試験③ 24 回：直前模擬試験③解説 25 回：直前模擬試験④ 26 回：直前模擬試験④解説 27 回：直前模擬試験⑤ 28 回：直前模擬試験⑤解説 29 回：直前模擬試験⑥ 30 回：直前模擬試験⑥解説・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合 I	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単 位 数	2	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な工業簿記・原価計算の能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの基礎問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの応用問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問題演習 1 2 回：過去問題演習 2 3 回：過去問題演習 3 4 回：過去問題演習 4 5 回：過去問題演習 5 6 回：過去問題演習 6 7 回：過去問題演習 7 8 回：過去問題演習 8 9 回：過去問題演習 9 10 回：過去問題演習 10 11 回：過去問題答案練習 1 12 回：過去問題答案練習 2 13 回：過去問題答案練習 3 14 回：過去問題答案練習 4 15 回：過去問題答案練習 5		16 回：過去問題答案練習 6 17 回：過去問題答案練習 7 18 回：過去問題答案練習 8 19 回：過去問題答案練習 9 20 回：過去問題答案練習 10 21 回：総まとめ答案練習 1 22 回：総まとめ答案練習 2 23 回：総まとめ答案練習 3 24 回：公開模擬試験 25 回：直前答案練習① 26 回：直前答案練習② 27 回：直前答案練習③ 28 回：直前答案練習④ 29 回：直前答案練習⑤ 30 回：直前答案練習⑥・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・財務会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の理論対策、実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの理論問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・財務会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の理論対策、実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの理論問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	31 回：過去問答案練習① 32 回：過去問答案練習② 33 回：過去問答案練習③ 34 回：過去問答案練習④ 35 回：過去問答案練習⑤ 36 回：過去問答案練習⑥ 37 回：過去問答案練習⑦ 38 回：過去問答案練習⑧ 39 回：過去問答案練習⑨ 40 回：過去問答案練習⑩ 41 回：過去問答案練習⑪ 42 回：過去問答案練習⑫ 43 回：過去問答案練習⑬ 44 回：過去問答案練習⑭ 45 回：過去問答案練習⑮・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験に合格に必要な原価計算・管理会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の理論対策及び実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの理論問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：総論 2 回：費目別計算① 3 回：費目別計算② 4 回：部門別計算① 5 回：部門別計算② 6 回：部門別計算③ 7 回：部門別計算④ 8 回：部門別個別原価計算① 9 回：部門別個別原価計算② 10 回：総合原価計算① 11 回：総合原価計算② 12 回：総合原価計算③ 13 回：総合原価計算④ 14 回：標準原価計算① 15 回：標準原価計算②		16 回：標準原価計算③ 17 回：標準原価計算④ 18 回：CVP 分析① 19 回：CVP 分析② 20 回：事業部制① 21 回：事業部制② 22 回：予算管理① 23 回：予算管理② 24 回：業務的意思決定① 25 回：業務的意思決定② 26 回：業務的意思決定③ 27 回：業務的意思決定④ 28 回：構造的意思決定① 29 回：構造的意思決定② 30 回：構造的意思決定③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験に合格に必要な原価計算・管理会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の理論対策及び実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの理論問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	31 回：構造的意思決定④ 32 回：戦略的原価計算① 33 回：戦略的原価計算② 34 回：戦略的原価計算③ 35 回：工場会計の独立① 36 回：工場会計の独立② 37 回：工場会計の独立③ 38 回：過去問題答案練習 1 39 回：過去問題答案練習 2 40 回：過去問題答案練習 3 41 回：過去問題答案練習 4 42 回：過去問題答案練習 5 43 回：過去問題答案練習 6 44 回：過去問題答案練習 7 45 回：過去問題答案練習 8・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 グローバル企業における簿記会計の知識を身に付け、世界屈指の企業における財務諸表等の作成ができるようになる。 【概要】 高度な会計処理を学習し、複雑な財務諸表の作成方法を学習する。				
到達目標	グローバル企業における取引が理解できる。 グローバル企業における帳簿を作成できる。 グローバル企業における財務諸表を作成できる。				
授業内容	1 回：財務諸表 2 回：有価証券① 3 回：有価証券② 4 回：有価証券③ 5 回：有価証券④ 6 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等① 7 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 8 回：確認テスト①・解説 9 回：有形固定資産① 10 回：有形固定資産② 11 回：有形固定資産③ 12 回：割引現在価値/リース取引① 13 回：リース取引② 14 回：リース取引③ 15 回：研究開発①		16 回：研究開発②/減損会計① 17 回：減損会計② 18 回：減損会計③/繰延資産 19 回：社債① 20 回：社債② 21 回：社債③ 22 回：貸倒引当金① 23 回：貸倒引当金② 24 回：貸倒引当金③ 25 回：退職給付① 26 回：退職給付② 27 回：退職給付③ 28 回：退職給付④ 29 回：確認テスト②・解説 30 回：資産除去債務①		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 グローバル企業における簿記会計の知識を身に付け、世界屈指の企業における財務諸表等の作成ができるようになる。 【概要】 高度な会計処理を学習し、複雑な財務諸表の作成方法を学習する。				
到達目標	グローバル企業における取引が理解できる。 グローバル企業における帳簿を作成できる。 グローバル企業における財務諸表を作成できる。				
授業内容	31 回：資産除去債務② 32 回：資産除去債務③ 33 回：純資産① 34 回：純資産② 35 回：純資産③ 36 回：新株予約権と新株予約権付社債① 37 回：新株予約権と新株予約権付社債② 38 回：ストック・オプション① 39 回：ストック・オプション② 40 回：ストック・オプション③ 41 回：確認テスト③・解説 42 回：税効果会計① 43 回：税効果会計② 44 回：税効果会計③ 45 回：確認テスト④・解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとしての実践的能力を身に付ける。 【概要】 連結会計や企業結合会計、事業分離等の特殊な会計処理を学習する。				
到達目標	大規模企業の財務諸表を作成できるようになる。 論理的に会計処理を説明できるようになる。 各分野の体系的・構造的理解ができるようになる。				
授業内容	1 回：確認テスト①・解説 2 回：外貨建取引① 3 回：外貨建取引② 4 回：外貨建取引③ 5 回：確認テスト②・解説 6 回：商品売買等① 7 回：商品売買等② 8 回：確認テスト③・解説 9 回：連結総論/資本連結① 10 回：資本連結② 11 回：資本連結③ 12 回：資本連結④/成果連結① 13 回：成果連結② 14 回：成果連結③ 15 回：成果連結④		16 回：連結税効果会計① 17 回：連結税効果会計② 18 回：持分法① 19 回：持分法② 20 回：確認テスト④・解説 21 回：包括利益① 22 回：包括利益② 23 回：在外子会社① 24 回：在外子会社② 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：確認テスト⑤・解説 30 回：事業分離①		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとしての実践的能力を身に付ける。 【概要】 連結会計や企業結合会計、事業分離等の特殊な会計処理を学習する。				
到達目標	大規模企業の財務諸表を作成できるようになる。 論理的に会計処理を説明できるようになる。 各分野の体系的・構造的理解ができるようになる。				
授業内容	31 回：事業分離② 32 回：本支店会計① 33 回：本支店会計② 34 回：本支店会計③ 35 回：確認テスト⑥・解説 36 回：キャッシュ・フロー計算書① 37 回：キャッシュ・フロー計算書② 38 回：キャッシュ・フロー計算書③ 39 回：確認テスト⑦・解説 40 回：連結キャッシュ・フロー計算書① 41 回：連結キャッシュ・フロー計算書② 42 回：会計上の変更 43 回：収益認識① 44 回：収益認識② 45 回：確認テスト⑧・解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 複雑で多層的な原価計算方法に対応できる計算能力と問題解決能力を身に付けます。 【概要】 複数の原価計算方法の理論と実務処理を段階的に学習する。				
到達目標	個別原価計算と部門別計算の考え方を理解し、複雑な製造環境における原価を正確に計算できる。 総合原価計算における複数の計算方式を習得し、それぞれの特性に応じた計算ができる。 標準原価計算と直接原価計算の仕組みを理解し、複合的で高度な原価計算問題に対応できる。				
授業内容	1 回：総論 2 回：費目別計算①-材料費- 3 回：費目別計算②-労務費- 4 回：費目別計算③-労務費- 5 回：費目別計算④-経費- 6 回：費目別計算⑤-製造間接費- 7 回：費目別計算⑥-製造間接費- 8 回：費目別計算まとめ 9 回：部門別計算① 10 回：部門別計算② 11 回：部門別計算③ 12 回：部門別計算④ 13 回：部門別計算⑤ 14 回：部門別計算⑥ 15 回：部門別計算まとめ		16 回：個別原価計算① 17 回：個別原価計算② 18 回：個別原価計算③ 19 回：部門別個別原価計算① 20 回：部門別個別原価計算② 21 回：部門別個別原価計算③ 22 回：部門別個別原価計算まとめ 23 回：総合原価計算① 24 回：総合原価計算② 25 回：総合原価計算③-減損・仕損- 26 回：総合原価計算④-減損・仕損- 27 回：総合原価計算⑤-減損・仕損- 28 回：総合原価計算⑥-減損・仕損- 29 回：総合原価計算⑦-異常減損・異常仕損- 30 回：総合原価計算⑧-異常減損・異常仕損-		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅱ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 複雑で多層的な原価計算方法に対応できる計算能力と問題解決能力を身に付けます。 【概要】 複数の原価計算方法の理論と実務処理を段階的に学習する。				
到達目標	個別原価計算と部門別計算の考え方を理解し、複雑な製造環境における原価を正確に計算できる。 総合原価計算における複数の計算方式を習得し、それぞれの特性に応じた計算ができる。 標準原価計算と直接原価計算の仕組みを理解し、複合的で高度な原価計算問題に対応できる。				
授業内容	31 回：総合原価計算⑨–副産物– 32 回：工程別総合原価計算 33 回：総合原価計算まとめ 34 回：組別・等級別総合原価計算 35 回：連産品① 36 回：連産品② 37 回：連産品③ 38 回：連産品④ 39 回：連産品まとめ 40 回：標準原価計算①–仕掛品勘定– 41 回：標準原価計算②–減損・仕損– 42 回：標準原価計算③–減損・仕損– 43 回：標準原価計算④–配合歩留差異– 44 回：標準原価計算⑤–配合歩留差異– 45 回：標準原価計算まとめ・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 原価計算の多様な計算方法と分析技法を習得し、経営管理に必要な原価情報を提供できる能力を身に付ける。 【概要】 原価計算の高度な計算方法から、経営判断・意思決定支援までの実践的な分析技法を学習する。				
到達目標	損益分岐分析の計算や予算差異分析が正確にできる。 特殊原価概念の役割を理解し、経営判断に必要な分析ができる。 複合的で高度な原価管理・経営分析問題に対応できる。				
授業内容	1 回：短期利益計画① 2 回：短期利益計画② 3 回：短期利益計画③ 4 回：短期利益計画④ 5 回：短期利益計画まとめ 6 回：事業部制① 7 回：事業部制② 8 回：事業部制まとめ 9 回：予算編成① 10 回：予算編成② 11 回：予算編成③ 12 回：予算編成まとめ 13 回：予算統制① 14 回：予算統制② 15 回：予算統制③		16 回：予算統制まとめ 17 回：業務的意思決定① 18 回：業務的意思決定② 19 回：業務的意思決定③ 20 回：業務的意思決定④ 21 回：業務的意思決定まとめ① 22 回：業務的意思決定⑤ 23 回：業務的意思決定⑥ 24 回：業務的意思決定⑦ 25 回：業務的意思決定⑧ 26 回：業務的意思決定まとめ② 27 回：構造的意思決定① 28 回：構造的意思決定② 29 回：構造的意思決定③ 30 回：構造的意思決定④		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅱ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 原価計算の多様な計算方法と分析技法を習得し、経営管理に必要な原価情報を提供できる能力を身に付ける。 【概要】 原価計算の高度な計算方法から、経営判断・意思決定支援までの実践的な分析技法を学習する。				
到達目標	損益分岐分析の計算や予算差異分析が正確にできる。 特殊原価概念の役割を理解し、経営判断に必要な分析ができる。 複合的で高度な原価管理・経営分析問題に対応できる。				
授業内容	31 回：構造的意思決定まとめ① 32 回：構造的意思決定⑤ 33 回：構造的意思決定⑥ 34 回：構造的意思決定⑦ 35 回：構造的意思決定⑧ 36 回：構造的意思決定まとめ② 37 回：ライフサイクルコスティング 38 回：品質原価計算① 39 回：品質原価計算② 40 回：品質原価計算③ 41 回：原価企画① 42 回：原価企画② 43 回：活動基準原価計算① 44 回：活動基準原価計算② 45 回：戦略的原価計算総まとめ・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの総合問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問答案練習① 17 回：過去問答案練習② 18 回：過去問答案練習③ 19 回：過去問答案練習④ 20 回：過去問答案練習⑤ 21 回：過去問答案練習⑥ 22 回：過去問答案練習⑦ 23 回：過去問答案練習⑧ 24 回：過去問答案練習⑨ 25 回：過去問答案練習⑩ 26 回：過去問答案練習⑪ 27 回：過去問答案練習⑫ 28 回：過去問答案練習⑬ 29 回：過去問答案練習⑭ 30 回：過去問答案練習⑮		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの総合問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	31 回：総まとめ 32 回：公開模擬試験 33 回：公開模擬試験解説 34 回：直前模擬試験① 35 回：直前模擬試験①解説 36 回：直前模擬試験② 37 回：直前模擬試験②解説 38 回：直前模擬試験③ 39 回：直前模擬試験③解説 40 回：直前模擬試験④ 41 回：直前模擬試験④解説 42 回：直前模擬試験⑤ 43 回：直前模擬試験⑤解説 44 回：直前模擬試験⑥ 45 回：直前模擬試験⑥解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別原価計算の解答ができる。 日商簿記 1 級レベルの総合原価計算が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの原価計算の解答ができるようになる。				
授業内容	1 回：過去問題演習 1 2 回：過去問題演習 2 3 回：過去問題演習 3 4 回：過去問題演習 4 5 回：過去問題演習 5 6 回：過去問題演習 6 7 回：過去問題演習 7 8 回：過去問題演習 8 9 回：過去問題演習 9 10 回：過去問題演習 10 11 回：過去問題演習 11 12 回：過去問題演習 12 13 回：過去問題演習 13 14 回：過去問題演習 14 15 回：過去問題演習 15		16 回：過去問題演習 16 17 回：過去問題演習 17 18 回：過去問題演習 18 19 回：過去問題演習 19 20 回：過去問題演習 20 21 回：過去問題演習 21 22 回：過去問題演習 22 23 回：過去問題演習 23 24 回：過去問題演習 24 25 回：過去問題答案練習 1 26 回：過去問題答案練習 2 27 回：過去問題答案練習 3 28 回：過去問題答案練習 4 29 回：過去問題答案練習 5 30 回：過去問題答案練習 6	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別原価計算の解答ができる。 日商簿記 1 級レベルの総合原価計算が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの原価計算の解答ができるようになる。				
授業内容	31 回：過去問題答案練習 7 32 回：公開模擬試験 33 回：公開模擬試験解説 34 回：直前答案練習① 35 回：直前答案練習①解説 36 回：直前答案練習② 37 回：直前答案練習②解説 38 回：直前答案練習③ 39 回：直前答案練習③解説 40 回：直前答案練習④ 41 回：直前答案練習④解説 42 回：直前答案練習⑤ 43 回：直前答案練習⑤解説 44 回：直前答案練習⑥ 45 回：直前答案練習⑥解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記 1 級商業簿記・財務会計の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記 1 級商業簿記・財務会計の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記 1 級商業簿記・財務会計レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記 1 級商業簿記・財務会計レベルの個別問題の解答できる。 全経簿記 1 級商業簿記・財務会計レベルの過去問題が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問答案練習① 26 回：過去問答案練習② 27 回：過去問答案練習③ 28 回：過去問答案練習④ 29 回：過去問答案練習⑤ 30 回：過去問答案練習⑥・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単 位 数	2	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記 1 級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記 1 級レベルの個別問題の解答ができるようになる。 全経簿記 1 級レベルの過去問題が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問答案練習① 26 回：過去問答案練習② 27 回：過去問答案練習③ 28 回：過去問答案練習④ 29 回：過去問答案練習⑤ 30 回：過去問答案練習⑥・まとめ	
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の問題実践及び理論的な会計処理を理解し、検定試験の合格に必要な商業簿記・財務会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの財務会計の問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの商業簿記の問題が解答できる。 全経簿記上級独自の論点を理解し、解答できる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の問題実践及び理論的な会計処理を理解し、検定試験の合格に必要な商業簿記・財務会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの財務会計の問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの商業簿記の問題が解答できる。 全経簿記上級独自の論点を理解し、解答できる。				
授業内容	31 回：過去問答案練習① 32 回：過去問答案練習② 33 回：過去問答案練習③ 34 回：過去問答案練習④ 35 回：過去問答案練習⑤ 36 回：過去問答案練習⑥ 37 回：過去問答案練習⑦ 38 回：過去問答案練習⑧ 39 回：過去問答案練習⑨ 40 回：過去問答案練習⑩ 41 回：過去問答案練習⑪ 42 回：過去問答案練習⑫ 43 回：過去問答案練習⑬ 44 回：過去問答案練習⑭ 45 回：過去問答案練習⑮		46 回：過去問答案練習⑯ 47 回：過去問答案練習⑰ 48 回：過去問答案練習⑱ 49 回：過去問答案練習⑲ 50 回：過去問答案練習⑳ 51 回：過去問答案練習㉑ 52 回：過去問答案練習㉒ 53 回：過去問答案練習㉓ 54 回：過去問答案練習㉔ 55 回：過去問答案練習㉕ 56 回：過去問答案練習㉖ 57 回：過去問答案練習㉗ 58 回：過去問答案練習㉘ 59 回：過去問答案練習㉙ 60 回：過去問答案練習㉚・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 工業簿記と原価計算の全領域にわたる演習を通じて、高度な問題解決能力を身に付ける。 【概要】 工業簿記と原価計算の全領域にわたる演習問題を、段階的に解き実践力を強化する。				
到達目標	工業簿記における各種原価計算方法を計算でき、複雑な原価計算問題に対応できる。 原価計算による多角的な分析手法を習得し、経営管理に必要な情報を提供できる。 経営意思決定や原価企画などの適切な分析・判断ができる。				
授業内容	1 回：総論 2 回：費目別計算① 3 回：費目別計算② 4 回：部門別計算① 5 回：部門別計算② 6 回：部門別計算③ 7 回：部門別計算④ 8 回：部門別個別原価計算① 9 回：部門別個別原価計算② 10 回：総合原価計算① 11 回：総合原価計算② 12 回：総合原価計算③ 13 回：総合原価計算④ 14 回：標準原価計算① 15 回：標準原価計算②		16 回：標準原価計算③ 17 回：標準原価計算④ 18 回：CVP 分析① 19 回：CVP 分析② 20 回：事業部制① 21 回：事業部制② 22 回：予算管理① 23 回：予算管理② 24 回：業務的意思決定① 25 回：業務的意思決定② 26 回：業務的意思決定③ 27 回：業務的意思決定④ 28 回：構造的意思決定① 29 回：構造的意思決定② 30 回：構造的意思決定③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 工業簿記と原価計算の全領域にわたる演習を通じて、高度な問題解決能力を身に付ける。 【概要】 工業簿記と原価計算の全領域にわたる演習問題を、段階的に解き実践力を強化する。				
到達目標	工業簿記における各種原価計算方法を計算でき、複雑な原価計算問題に対応できる。 原価計算による多角的な分析手法を習得し、経営管理に必要な情報を提供できる。 経営意思決定や原価企画などの適切な分析・判断ができる。				
授業内容	31 回：構造的意思決定④ 32 回：戦略的原価計算① 33 回：戦略的原価計算② 34 回：戦略的原価計算③ 35 回：過去問題答案練習 1 36 回：過去問題答案練習 2 37 回：過去問題答案練習 3 38 回：過去問題答案練習 4 39 回：過去問題答案練習 5 40 回：過去問題答案練習 6 41 回：過去問題答案練習 7 42 回：過去問題答案練習 8 43 回：過去問題答案練習 9 44 回：過去問題答案練習 10 45 回：過去問題答案練習 11・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 高度な財務会計知識を有し、会計のアドバイザーとして活躍するための知識を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級における商業簿記・会計学の範囲を再学習し、知識の更新を図る。				
到達目標	複雑な簿記手続きを再確認し、深く理解できる。 結合企業の簿記手続を再確認し、深く理解できる。 その他高度な会計処理を再確認し、深く理解できる。				
授業内容	1 回：財務諸表 2 回：有価証券① 3 回：有価証券② 4 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等 5 回：確認テスト①・解説 6 回：有形固定資産 7 回：割引現在価値・リース取引① 8 回：リース取引② 9 回：研究開発費とソフトウェア 10 回：固定資産の減損① 11 回：固定資産の減損②/繰延資産 12 回：社債① 13 回：社債② 14 回：貸倒引当金 15 回：退職給付①		16 回：退職給付② 17 回：確認テスト②・解説 18 回：資産除去債務 19 回：純資産① 20 回：純資産② 21 回：新株予約権と新株予約権付社債 22 回：ストック・オプション 23 回：確認テスト③・解説 24 回：税効果会計① 25 回：税効果会計② 26 回：確認テスト④・解説 27 回：確認テスト⑤・解説 28 回：外貨建取引① 29 回：外貨建取引② 30 回：確認テスト⑥・解説		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 高度な財務会計知識を有し、会計のアドバイザーとして活躍するための知識を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級における商業簿記・会計学の範囲を再学習し、知識の更新を図る。				
到達目標	複雑な簿記手続きを再確認し、深く理解できる。 結合企業の簿記手続を再確認し、深く理解できる。 その他高度な会計処理を再確認し、深く理解できる。				
授業内容	31 回：商品売買等① 32 回：商品売買等② 33 回：確認テスト⑦・解説 34 回：連結財務諸表総論・資本連結① 35 回：資本連結② 36 回：成果連結① 37 回：成果連結② 38 回：連結税効果会計 39 回：持分法 40 回：確認テスト⑧・解説 41 回：包括利益① 42 回：包括利益② 43 回：在外子会社① 44 回：在外子会社② 45 回：企業結合①		46 回：企業結合② 47 回：確認テスト⑨・解説 48 回：事業分離① 49 回：事業分離② 50 回：本支店会計① 51 回：本支店会計② 52 回：確認テスト⑩・解説 53 回：キャッシュ・フロー計算書① 54 回：キャッシュ・フロー計算書② 55 回：確認テスト⑪・解説 56 回：連結キャッシュ・フロー計算書 57 回：会計上の変更 58 回：収益認識① 59 回：収益認識② 60 回：確認テスト⑫・解説		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 高度な財務会計知識を有し、会計のアドバイザーとして活躍するための知識を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級における商業簿記・会計学の範囲を再学習し、知識の更新を図る。				
到達目標	複雑な簿記手続きを再確認し、深く理解できる。 結合企業の簿記手続を再確認し、深く理解できる。 その他高度な会計処理を再確認し、深く理解できる。				
授業内容	61 回：答案練習① 62 回：答案練習② 63 回：答案練習③ 64 回：答案練習④ 65 回：答案練習⑤ 66 回：答案練習⑥ 67 回：答案練習⑦ 68 回：答案練習⑧ 69 回：答案練習⑨ 70 回：答案練習⑩ 71 回：答案練習⑪ 72 回：答案練習⑫ 73 回：答案練習⑬ 74 回：答案練習⑭ 75 回：答案練習⑮		76 回：答案練習⑯ 77 回：答案練習⑰ 78 回：答案練習⑱ 79 回：答案練習⑲ 80 回：答案練習⑳ 81 回：答案練習㉑ 82 回：答案練習㉒ 83 回：答案練習㉓ 84 回：答案練習㉔ 85 回：答案練習㉕ 86 回：答案練習㉖ 87 回：答案練習㉗ 88 回：答案練習㉘ 89 回：答案練習㉙ 90 回：答案練習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単 位 数	6	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 企業の製造・販売活動に伴う原価計算の理論と実務、仕訳・記帳の体系、および意思決定や業績管理に資する会計手法を習得し、管理会計の実務運用能力を養う。 【概要】 大企業に求められる記帳処理や管理会計の手法を実務的視点から学ぶ。				
到達目標	多様な原価計算手法を理解し、製造業の実務課題に応じて適切な手法を選択・適用できる。 経営管理者・部門責任者の視点で、原価情報を活用した意思決定および業績評価が行える。 上記能力の習得度の目安として、日本商工会議所簿記検定 1 級の合格水準に到達することを目標とする。				
授業内容	1 回：費目別計算① 2 回：費目別計算② 3 回：費目別計算③ 4 回：個別原価計算 5 回：費目別計算、個別原価計算まとめ 6 回：部門別計算① 7 回：部門別計算② 8 回：部門別計算③ 9 回：部門別計算④ 10 回：部門別計算まとめ 11 回：部門別個別原価計算 12 回：部門別個別原価計算まとめ 13 回：総合原価計算① 14 回：総合原価計算② 15 回：総合原価計算③			16 回：総合原価計算④ 17 回：工程別総合原価計算① 18 回：総合原価計算まとめ 19 回：工程別総合原価計算② 20 回：組別・等級別原価計算 21 回：組別・等級別原価計算まとめ 22 回：連産品① 23 回：連産品② 24 回：連産品まとめ 25 回：工程別直接原価計算 26 回：工程別直接原価計算まとめ 27 回：標準原価計算① 28 回：標準原価計算② 29 回：標準原価計算まとめ① 30 回：標準原価計算③	
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単 位 数	6	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 企業の製造・販売活動に伴う原価計算の理論と実務、仕訳・記帳の体系、および意思決定や業績管理に資する会計手法を習得し、管理会計の実務運用能力を養う。 【概要】 大企業に求められる記帳処理や管理会計の手法を実務的視点から学ぶ。				
到達目標	多様な原価計算手法を理解し、製造業の実務課題に応じて適切な手法を選択・適用できる。 経営管理者・部門責任者の視点で、原価情報を活用した意思決定および業績評価が行える。 上記能力の習得度の目安として、日本商工会議所簿記検定 1 級の合格水準に到達することを目標とする。				
授業内容	31 回：標準原価計算まとめ② 32 回：標準原価計算④ 33 回：標準原価計算⑤ 34 回：標準原価計算まとめ③ 35 回：標準原価計算⑥ 36 回：標準原価計算⑦ 37 回：短期利益計画① 38 回：短期利益計画② 39 回：事業部制① 40 回：短期利益計画・事業部制まとめ 41 回：予算編成① 42 回：予算編成② 43 回：予算編成まとめ 44 回：予算統制① 45 回：予算統制②			46 回：予算統制まとめ 47 回：業務的意思決定① 48 回：業務的意思決定② 49 回：業務的意思決定まとめ① 50 回：業務的意思決定③ 51 回：業務的意思決定④ 52 回：業務的意思決定まとめ② 53 回：構造的意思決定① 54 回：構造的意思決定② 55 回：構造的意思決定まとめ① 56 回：構造的意思決定③ 57 回：構造的意思決定④ 58 回：構造的意思決定まとめ② 59 回：戦略的原価計算 60 回：戦略的原価計算まとめ	
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単 位 数	6	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 企業の製造・販売活動に伴う原価計算の理論と実務、仕訳・記帳の体系、および意思決定や業績管理に資する会計手法を習得し、管理会計の実務運用能力を養う。 【概要】 大企業に求められる記帳処理や管理会計の手法を実務的視点から学ぶ。				
到達目標	多様な原価計算手法を理解し、製造業の実務課題に応じて適切な手法を選択・適用できる。 経営管理者・部門責任者の視点で、原価情報を活用した意思決定および業績評価が行える。 上記能力の習得度の目安として、日本商工会議所簿記検定 1 級の合格水準に到達することを目標とする。				
授業内容	61 回：答案練習① 62 回：答案練習② 63 回：答案練習③ 64 回：答案練習④ 65 回：答案練習⑤ 66 回：答案練習⑥ 67 回：答案練習⑦ 68 回：答案練習⑧ 69 回：答案練習⑨ 70 回：答案練習⑩ 71 回：答案練習⑪ 72 回：答案練習⑫ 73 回：答案練習⑬ 74 回：答案練習⑭ 75 回：答案練習⑮		76 回：答案練習⑯ 77 回：答案練習⑰ 78 回：答案練習⑱ 79 回：答案練習⑲ 80 回：答案練習⑳ 81 回：答案練習㉑ 82 回：答案練習㉒ 83 回：答案練習㉓ 84 回：答案練習㉔ 85 回：答案練習㉕ 86 回：答案練習㉖ 87 回：答案練習㉗ 88 回：答案練習㉘ 89 回：答案練習㉙ 90 回：答案練習㉚・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験を確実に合格できる商業簿記・会計学の能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の合格に必要な実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの商業簿記が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの会計学が解答できる。 日商簿記 1 級合格レベルの答案作成ができる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問答案練習① 10 回：過去問答案練習② 11 回：過去問答案練習③ 12 回：過去問答案練習④ 13 回：過去問答案練習⑤ 14 回：過去問答案練習⑥ 15 回：過去問答案練習⑦		16 回：過去問答案練習⑧ 17 回：公開模擬試験 18 回：公開模擬試験解説 19 回：直前模擬試験① 20 回：直前模擬試験①解説 21 回：直前模擬試験② 22 回：直前模擬試験②解説 23 回：直前模擬試験③ 24 回：直前模擬試験③解説 25 回：直前模擬試験④ 26 回：直前模擬試験④解説 27 回：直前模擬試験⑤ 28 回：直前模擬試験⑤解説 29 回：直前模擬試験⑥ 30 回：直前模擬試験⑥解説・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単 位 数	2	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な工業簿記・原価計算の能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの基礎問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの応用問題が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：過去問題演習 1 2 回：過去問題演習 2 3 回：過去問題演習 3 4 回：過去問題演習 4 5 回：過去問題演習 5 6 回：過去問題演習 6 7 回：過去問題演習 7 8 回：過去問題演習 8 9 回：過去問題演習 9 10 回：過去問題演習 10 11 回：過去問題答案練習 1 12 回：過去問題答案練習 2 13 回：過去問題答案練習 3 14 回：過去問題答案練習 4 15 回：過去問題答案練習 5		16 回：過去問題答案練習 6 17 回：過去問題答案練習 7 18 回：過去問題答案練習 8 19 回：過去問題答案練習 9 20 回：過去問題答案練習 10 21 回：総まとめ答案練習 1 22 回：総まとめ答案練習 2 23 回：総まとめ答案練習 3 24 回：公開模擬試験 25 回：直前答案練習① 26 回：直前答案練習② 27 回：直前答案練習③ 28 回：直前答案練習④ 29 回：直前答案練習⑤ 30 回：直前答案練習⑥・まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験を確実に合格するために必要な商業簿記・財務会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の合格に必要な理論対策、実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの商業簿記が解答できる。 全経簿記上級レベルの財務会計が解答できる。 全経簿記上級合格レベルの答案作成ができる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	特定医療法人において経理業務に従事
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験を確実に合格するために必要な商業簿記・財務会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の合格に必要な理論対策、実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの商業簿記が解答できる。 全経簿記上級レベルの財務会計が解答できる。 全経簿記上級合格レベルの答案作成ができる。				
授業内容	31 回：過去問答案練習① 32 回：過去問答案練習② 33 回：過去問答案練習③ 34 回：過去問答案練習④ 35 回：過去問答案練習⑤ 36 回：過去問答案練習⑥ 37 回：過去問答案練習⑦ 38 回：過去問答案練習⑧ 39 回：過去問答案練習⑨ 40 回：過去問答案練習⑩ 41 回：過去問答案練習⑪ 42 回：過去問答案練習⑫ 43 回：過去問答案練習⑬ 44 回：過去問答案練習⑭ 45 回：過去問答案練習⑮・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験に合格に必要な原価計算・管理会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の理論対策及び実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの理論問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	1 回：総論 2 回：費目別計算① 3 回：費目別計算② 4 回：部門別計算① 5 回：部門別計算② 6 回：部門別計算③ 7 回：部門別計算④ 8 回：部門別個別原価計算① 9 回：部門別個別原価計算② 10 回：総合原価計算① 11 回：総合原価計算② 12 回：総合原価計算③ 13 回：総合原価計算④ 14 回：標準原価計算① 15 回：標準原価計算②		16 回：標準原価計算③ 17 回：標準原価計算④ 18 回：CVP 分析① 19 回：CVP 分析② 20 回：事業部制① 21 回：事業部制② 22 回：予算管理① 23 回：予算管理② 24 回：業務的意思決定① 25 回：業務的意思決定② 26 回：業務的意思決定③ 27 回：業務的意思決定④ 28 回：構造的意思決定① 29 回：構造的意思決定② 30 回：構造的意思決定③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 全経簿記上級の理論対策及び問題演習実践を通じて、検定試験に合格に必要な原価計算・管理会計の能力を身に付ける。 【概要】 全経簿記上級の理論対策及び実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	全経簿記上級レベルの理論問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの総合問題が解答できる。 全経簿記上級レベルの特殊論点が解答できる。				
授業内容	31 回：構造的意思決定④ 32 回：戦略的原価計算① 33 回：戦略的原価計算② 34 回：戦略的原価計算③ 35 回：工場会計の独立① 36 回：工場会計の独立② 37 回：工場会計の独立③ 38 回：過去問題答案練習 1 39 回：過去問題答案練習 2 40 回：過去問題答案練習 3 41 回：過去問題答案練習 4 42 回：過去問題答案練習 5 43 回：過去問題答案練習 6 44 回：過去問題答案練習 7 45 回：過去問題答案練習 8・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅳ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 グローバル企業における実践的な簿記会計の知識を身に付け、世界屈指の企業における財務諸表等の作成が詳細にできるようになる。 【概要】 高度な会計処理を学習し、複雑な財務諸表の作成方法をより深く学習する。				
到達目標	グローバル企業における取引を詳細に理解できる。 グローバル企業における詳細な帳簿を作成できる。 グローバル企業における実践的な財務諸表を作成できる。				
授業内容	1 回：財務諸表 2 回：有価証券① 3 回：有価証券② 4 回：有価証券③ 5 回：有価証券④ 6 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等① 7 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 8 回：確認テスト①・解説 9 回：有形固定資産① 10 回：有形固定資産② 11 回：有形固定資産③ 12 回：割引現在価値/リース取引① 13 回：リース取引② 14 回：リース取引③ 15 回：研究開発①		16 回：研究開発②/減損会計① 17 回：減損会計② 18 回：減損会計③/繰延資産 19 回：社債① 20 回：社債② 21 回：社債③ 22 回：貸倒引当金① 23 回：貸倒引当金② 24 回：貸倒引当金③ 25 回：退職給付① 26 回：退職給付② 27 回：退職給付③ 28 回：退職給付④ 29 回：確認テスト②・解説 30 回：資産除去債務①		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅳ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 グローバル企業における実践的な簿記会計の知識を身に付け、世界屈指の企業における財務諸表等の作成が詳細にできるようになる。 【概要】 高度な会計処理を学習し、複雑な財務諸表の作成方法をより深く学習する。				
到達目標	グローバル企業における取引を詳細に理解できる。 グローバル企業における詳細な帳簿を作成できる。 グローバル企業における実践的な財務諸表を作成できる。				
授業内容	31 回：資産除去債務② 32 回：資産除去債務③ 33 回：純資産① 34 回：純資産② 35 回：純資産③ 36 回：新株予約権と新株予約権付社債① 37 回：新株予約権と新株予約権付社債② 38 回：ストック・オプション① 39 回：ストック・オプション② 40 回：ストック・オプション③ 41 回：確認テスト③・解説 42 回：税効果会計① 43 回：税効果会計② 44 回：税効果会計③ 45 回：確認テスト④・解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅳ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとしての実践的・総合的能力を身に付ける 【概要】 連結会計や企業結合会計、事業分離等の特殊な会計処理をより深く学習する。				
到達目標	大規模企業の財務諸表を細部にわたり作成できるようになる。 論理的かつ具体的に会計処理を説明できるようになる。 各分野の体系的・構造的理解がより深くできるようになる。				
授業内容	1 回：確認テスト①・解説 2 回：外貨建取引① 3 回：外貨建取引② 4 回：外貨建取引③ 5 回：確認テスト②・解説 6 回：商品売買等① 7 回：商品売買等② 8 回：確認テスト③・解説 9 回：連結総論/資本連結① 10 回：資本連結② 11 回：資本連結③ 12 回：資本連結④/成果連結① 13 回：成果連結② 14 回：成果連結③ 15 回：成果連結④		16 回：連結税効果会計① 17 回：連結税効果会計② 18 回：持分法① 19 回：持分法② 20 回：確認テスト④・解説 21 回：包括利益① 22 回：包括利益② 23 回：在外子会社① 24 回：在外子会社② 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：確認テスト⑤・解説 30 回：事業分離①		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計Ⅳ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 経理財務のプロフェッショナルとしての実践的・総合的能力を身に付ける 【概要】 連結会計や企業結合会計、事業分離等の特殊な会計処理をより深く学習する。				
到達目標	大規模企業の財務諸表を細部にわたり作成できるようになる。 論理的かつ具体的に会計処理を説明できるようになる。 各分野の体系的・構造的理解がより深くできるようになる。				
授業内容	31 回：事業分離② 32 回：本支店会計① 33 回：本支店会計② 34 回：本支店会計③ 35 回：確認テスト⑥・解説 36 回：キャッシュ・フロー計算書① 37 回：キャッシュ・フロー計算書② 38 回：キャッシュ・フロー計算書③ 39 回：確認テスト⑦・解説 40 回：連結キャッシュ・フロー計算書① 41 回：連結キャッシュ・フロー計算書② 42 回：会計上の変更 43 回：収益認識① 44 回：収益認識② 45 回：確認テスト⑧・解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に臨む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅳ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 複雑で多層的な原価計算方法に対応できる計算能力と問題解決能力を身に付けます。 【概要】 複数の原価計算方法の理論と実務処理を段階的に学習する。				
到達目標	個別原価計算と部門別計算の考え方を理解し、複雑な製造環境における原価を正確に計算できる。 総合原価計算における複数の計算方式を習得し、それぞれの特性に応じた計算ができる。 標準原価計算と直接原価計算の仕組みを理解し、複合的で高度な原価計算問題に対応できる。				
授業内容	1 回：総論 2 回：費目別計算①-材料費- 3 回：費目別計算②-労務費- 4 回：費目別計算③-労務費- 5 回：費目別計算④-経費- 6 回：費目別計算⑤-製造間接費- 7 回：費目別計算⑥-製造間接費- 8 回：費目別計算まとめ 9 回：部門別計算① 10 回：部門別計算② 11 回：部門別計算③ 12 回：部門別計算④ 13 回：部門別計算⑤ 14 回：部門別計算⑥ 15 回：部門別計算まとめ		16 回：個別原価計算① 17 回：個別原価計算② 18 回：個別原価計算③ 19 回：部門別個別原価計算① 20 回：部門別個別原価計算② 21 回：部門別個別原価計算③ 22 回：部門別個別原価計算まとめ 23 回：総合原価計算① 24 回：総合原価計算② 25 回：総合原価計算③-減損・仕損- 26 回：総合原価計算④-減損・仕損- 27 回：総合原価計算⑤-減損・仕損- 28 回：総合原価計算⑥-減損・仕損- 29 回：総合原価計算⑦-異常減損・異常仕損- 30 回：総合原価計算⑧-異常減損・異常仕損-		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅳ基礎	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 複雑で多層的な原価計算方法に対応できる計算能力と問題解決能力を身に付けます。 【概要】 複数の原価計算方法の理論と実務処理を段階的に学習する。				
到達目標	個別原価計算と部門別計算の考え方を理解し、複雑な製造環境における原価を正確に計算できる。 総合原価計算における複数の計算方式を習得し、それぞれの特性に応じた計算ができる。 標準原価計算と直接原価計算の仕組みを理解し、複合的で高度な原価計算問題に対応できる。				
授業内容	31 回：総合原価計算⑨–副産物– 32 回：工程別総合原価計算 33 回：総合原価計算まとめ 34 回：組別・等級別総合原価計算 35 回：連産品① 36 回：連産品② 37 回：連産品③ 38 回：連産品④ 39 回：連産品まとめ 40 回：標準原価計算①–仕掛品勘定– 41 回：標準原価計算②–減損・仕損– 42 回：標準原価計算③–減損・仕損– 43 回：標準原価計算④–配合歩留差異– 44 回：標準原価計算⑤–配合歩留差異– 45 回：標準原価計算まとめ・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅳ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 原価計算の多様な計算方法と分析技法を習得し、経営管理に必要な原価情報を提供できる能力を身に付ける。 【概要】 原価計算の高度な計算方法から、経営判断・意思決定支援までの実践的な分析技法を学習する。				
到達目標	損益分岐分析の計算や予算差異分析が正確にできる。 特殊原価概念の役割を理解し、経営判断に必要な分析ができる。 複合的で高度な原価管理・経営分析問題に対応できる。				
授業内容	1 回：短期利益計画① 2 回：短期利益計画② 3 回：短期利益計画③ 4 回：短期利益計画④ 5 回：短期利益計画まとめ 6 回：事業部制① 7 回：事業部制② 8 回：事業部制まとめ 9 回：予算編成① 10 回：予算編成② 11 回：予算編成③ 12 回：予算編成まとめ 13 回：予算統制① 14 回：予算統制② 15 回：予算統制③		16 回：予算統制まとめ 17 回：業務的意思決定① 18 回：業務的意思決定② 19 回：業務的意思決定③ 20 回：業務的意思決定④ 21 回：業務的意思決定まとめ① 22 回：業務的意思決定⑤ 23 回：業務的意思決定⑥ 24 回：業務的意思決定⑦ 25 回：業務的意思決定⑧ 26 回：業務的意思決定まとめ② 27 回：構造的意思決定① 28 回：構造的意思決定② 29 回：構造的意思決定③ 30 回：構造的意思決定④		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計Ⅳ応用	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 原価計算の多様な計算方法と分析技法を習得し、経営管理に必要な原価情報を提供できる能力を身に付ける。 【概要】 原価計算の高度な計算方法から、経営判断・意思決定支援までの実践的な分析技法を学習する。				
到達目標	損益分岐分析の計算や予算差異分析が正確にできる。 特殊原価概念の役割を理解し、経営判断に必要な分析ができる。 複合的で高度な原価管理・経営分析問題に対応できる。				
授業内容	31 回：構造的意思決定まとめ① 32 回：構造的意思決定⑤ 33 回：構造的意思決定⑥ 34 回：構造的意思決定⑦ 35 回：構造的意思決定⑧ 36 回：構造的意思決定まとめ② 37 回：ライフサイクルコスティング 38 回：品質原価計算① 39 回：品質原価計算② 40 回：品質原価計算③ 41 回：原価企画① 42 回：原価企画② 43 回：活動基準原価計算① 44 回：活動基準原価計算② 45 回：戦略的原価計算総まとめ・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	・毎回行うミニテストに向けて前回までの範囲を復習する。 ・テキストを読みわからない点を整理し、講義に望む。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力をより深く身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の合格に必要な実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの商業簿記が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの会計学が解答できる。 日商簿記 1 級合格レベルの答案作成ができる。				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問答案練習① 17 回：過去問答案練習② 18 回：過去問答案練習③ 19 回：過去問答案練習④ 20 回：過去問答案練習⑤ 21 回：過去問答案練習⑥ 22 回：過去問答案練習⑦ 23 回：過去問答案練習⑧ 24 回：過去問答案練習⑨ 25 回：過去問答案練習⑩ 26 回：過去問答案練習⑪ 27 回：過去問答案練習⑫ 28 回：過去問答案練習⑬ 29 回：過去問答案練習⑭ 30 回：過去問答案練習⑮		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級商簿会計総合Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験の合格に必要な商業簿記・会計学の能力をより深く身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の合格に必要な実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの商業簿記が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの会計学が解答できる。 日商簿記 1 級合格レベルの答案作成ができる。				
授業内容	31 回：総まとめ 32 回：公開模擬試験 33 回：公開模擬試験解説 34 回：直前模擬試験① 35 回：直前模擬試験①解説 36 回：直前模擬試験② 37 回：直前模擬試験②解説 38 回：直前模擬試験③ 39 回：直前模擬試験③解説 40 回：直前模擬試験④ 41 回：直前模擬試験④解説 42 回：直前模擬試験⑤ 43 回：直前模擬試験⑤解説 44 回：直前模擬試験⑥ 45 回：直前模擬試験⑥解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別原価計算の解答ができる。 日商簿記 1 級レベルの総合原価計算が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの原価計算の解答ができるようになる。				
授業内容	1 回：過去問題演習 1 2 回：過去問題演習 2 3 回：過去問題演習 3 4 回：過去問題演習 4 5 回：過去問題演習 5 6 回：過去問題演習 6 7 回：過去問題演習 7 8 回：過去問題演習 8 9 回：過去問題演習 9 10 回：過去問題演習 10 11 回：過去問題演習 11 12 回：過去問題演習 12 13 回：過去問題演習 13 14 回：過去問題演習 14 15 回：過去問題演習 15		16 回：過去問題演習 16 17 回：過去問題演習 17 18 回：過去問題演習 18 19 回：過去問題演習 19 20 回：過去問題演習 20 21 回：過去問題演習 21 22 回：過去問題演習 22 23 回：過去問題演習 23 24 回：過去問題演習 24 25 回：過去問題答案練習 1 26 回：過去問題答案練習 2 27 回：過去問題答案練習 3 28 回：過去問題答案練習 4 29 回：過去問題答案練習 5 30 回：過去問題答案練習 6	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	1 級工簿原計総合Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単 位 数	3	実 務 家	
授業目的 概　要	【目的】 日商簿記 1 級の問題演習実践を通じて、検定試験に合格する能力を身に付ける。 【概要】 日商簿記 1 級の実践問題演習及び解答解説を行う。				
到達目標	日商簿記 1 級レベルの個別原価計算の解答ができる。 日商簿記 1 級レベルの総合原価計算が解答できる。 日商簿記 1 級レベルの原価計算の解答ができるようになる。				
授業内容	31 回：過去問題答案練習 7 32 回：公開模擬試験 33 回：公開模擬試験解説 34 回：直前答案練習① 35 回：直前答案練習①解説 36 回：直前答案練習② 37 回：直前答案練習②解説 38 回：直前答案練習③ 39 回：直前答案練習③解説 40 回：直前答案練習④ 41 回：直前答案練習④解説 42 回：直前答案練習⑤ 43 回：直前答案練習⑤解説 44 回：直前答案練習⑥ 45 回：直前答案練習⑥解説・まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	苦手な項目を復習する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅰ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会計の基礎知識を身に付け、財務諸表作成能力を養う 【概要】 基本的な会計処理及び会計理論について演習形式で学ぶ				
到達目標	財務会計における基本的な会計処理を理解する 基本的な会計理論についての記述ができる 全経簿記上級（商業簿記・会計学）の合格点に到達する				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅰ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 原価計算及び管理会計の基本構造を理解し、試験における計算の能力を養う 【概要】 管理会計分野の計算構造及び理論について演習形式で学ぶ				
到達目標	原価計算・管理会計の基本構造を理解できる 応用的な計算問題に対応できる 全経簿記上級（原価計算・管理会計）の合格点に到達する				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級商簿会計演習Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会計の基礎知識を身に付け、財務諸表作成能力を養う 【概要】 基本的な会計処理及び会計理論について演習形式で学ぶ				
到達目標	財務会計における基本的な会計処理を理解する 基本的な会計理論についての記述ができる 全経簿記上級（商業簿記・会計学）の合格点に到達する				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	上級工簿原計演習Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 原価計算及び管理会計の基本構造を理解し、試験における計算の能力を養う 【概要】 管理会計分野の計算構造及び理論について演習形式で学ぶ				
到達目標	原価計算・管理会計の基本構造を理解できる 応用的な計算問題に対応できる 全経簿記上級（原価計算・管理会計）の合格点に到達する				
授業内容	1 回：過去問演習及び未確認項目① 2 回：過去問演習及び未確認項目② 3 回：過去問演習及び未確認項目③ 4 回：過去問演習及び未確認項目④ 5 回：過去問演習及び未確認項目⑤ 6 回：過去問演習及び未確認項目⑥ 7 回：過去問演習及び未確認項目⑦ 8 回：過去問演習及び未確認項目⑧ 9 回：過去問演習及び未確認項目⑨ 10 回：過去問演習及び未確認項目⑩ 11 回：過去問演習及び未確認項目⑪ 12 回：過去問演習及び未確認項目⑫ 13 回：過去問演習及び未確認項目⑬ 14 回：過去問演習及び未確認項目⑭ 15 回：過去問演習及び未確認項目⑮		16 回：過去問演習及び未確認項目⑯ 17 回：過去問演習及び未確認項目⑰ 18 回：過去問演習及び未確認項目⑱ 19 回：過去問演習及び未確認項目⑲ 20 回：過去問演習及び未確認項目⑳ 21 回：過去問演習及び未確認項目㉑ 22 回：過去問演習及び未確認項目㉒ 23 回：過去問演習及び未確認項目㉓ 24 回：過去問演習及び未確認項目㉔ 25 回：過去問演習及び未確認項目㉕ 26 回：過去問演習及び未確認項目㉖ 27 回：過去問演習及び未確認項目㉗ 28 回：過去問演習及び未確認項目㉘ 29 回：過去問演習及び未確認項目㉙ 30 回：過去問演習及び未確認項目㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	1 回：帳簿組織Ⅰ 2 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅱ 3 回：固定資産Ⅱ 4 回：ストック・オプションⅠ 5 回：連結会計Ⅱ 6 回：税効果会計Ⅱ 7 回：収益認識Ⅰ 8 回：本支店会計Ⅱ 9 回：金利スワップⅠ 10 回：ストック・オプションⅡ 11 回：建設業会計Ⅰ 12 回：ソフトウェアⅢ 13 回：リース会計Ⅱ 14 回：簿記の概要Ⅲ 15 回：純資産Ⅱ		16 回：リース会計Ⅲ 17 回：固定資産Ⅲ 18 回：組織再編会計Ⅱ 19 回：帳簿組織Ⅱ 20 回：収益認識Ⅱ 21 回：連結会計Ⅲ 22 回：ゴルフ会員権Ⅰ 23 回：社債Ⅱ 24 回：基礎演習 1 25 回：基礎演習 2 26 回：基礎演習 3 27 回：基礎演習 4 28 回：基礎演習 5 29 回：基礎演習 6 30 回：応用演習 1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	31 回：応用演習 2 32 回：応用演習 3 33 回：応用演習 4 34 回：応用演習 5 35 回：応用演習 6 36 回：応用演習 7 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：総合演習 11 12 回：総合演習 12 13 回：総合演習 13 14 回：総合演習 14 15 回：総合演習 15		16 回：まとめ 1 17 回：応用力養成演習 1 18 回：応用力養成演習 2 19 回：応用力養成演習 3 20 回：応用力養成演習 4 21 回：応用力養成演習 5 22 回：応用力養成演習 6 23 回：応用力養成演習 7 24 回：応用力養成演習 8 25 回：応用力養成演習 9 26 回：応用力養成演習 10 27 回：応用力養成演習 11 28 回：応用力養成演習 12 29 回：応用力養成演習 13 30 回：応用力養成演習 14		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	31 回：応用力養成演習 15 32 回：まとめ 2 33 回：実践演習 1 34 回：実践演習 2 35 回：実践演習 3 36 回：実践演習 4 37 回：実践演習 5 38 回：実践演習 6 39 回：実践演習 7 40 回：実践演習 8 41 回：実践演習 9 42 回：実践演習 10 43 回：実践演習 11 44 回：実践演習 12 45 回：実践演習 13		46 回：実践演習 14 47 回：実践演習 15 48 回：まとめ 3 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：棚卸資産Ⅱ 2 回：退職給付会計Ⅱ 3 回：固定資産 3 4 回：固定資産Ⅶ 5 回：繰延資産 6 回：負債 1 7 回：外貨建取引Ⅱ 8 回：金融商品応用項目Ⅰ 9 回：負債 2 10 回：資産総論 11 回：財務諸表論の基礎概念 2 12 回：損益計算論 1 13 回：損益計算論 2 14 回：金融商品 15 回：会計上の変更等		16 回：新株予約権・新株予約権付社債 17 回：まとめ 1 18 回：製造業会計 19 回：研究開発費等会計 20 回：財務諸表論の基礎概念 4 21 回：外貨建取Ⅲ 22 回：収益性の低下 23 回：固定資産Ⅵ 24 回：ストック・オプション等会計 25 回：外貨換算会計 26 回：キャッシュ・フロー計算書 27 回：リース会計 28 回：純資産会計 29 回：まとめ 2 30 回：株主資本Ⅲ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：組織再編会計 32 回：分配可能額 33 回：財務諸表論の基礎概念 5 34 回：税効果会計 35 回：連結会計 36 回：財務諸表論の基礎概念 6 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：条文解釈 1 2 回：総合演習 1、条文解説 3 回：応用力養成演習 1 4 回：条文解釈 2 5 回：総合演習 2 6 回：応用力養成演習 2 7 回：条文解釈 3 8 回：総合演習 3 9 回：応用力養成演習 3 10 回：条文解釈 4 11 回：総合演習 4 12 回：応用力養成演習 4 13 回：条文解釈 5 14 回：総合演習 5 15 回：応用力養成演習 5		16 回：条文解釈 6 17 回：総合演習 6 18 回：応用力養成演習 6 19 回：条文解釈 7 20 回：総合演習 7 21 回：応用力養成演習 7 22 回：条文解釈 8 23 回：総合演習 8 24 回：応用力養成演習 8 25 回：条文解釈 9 26 回：総合演習 9 27 回：応用力養成演習 9 28 回：条文解釈 10 29 回：総合演習 10 30 回：応用力養成演習 10		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習 1 32 回：実践演習 2 33 回：実践演習 3 34 回：実践演習 4 35 回：実践演習 5 36 回：実践演習 6 37 回：実践演習 7 38 回：実践演習 8 39 回：実践演習 9 40 回：実践演習 10 41 回：実践演習 11 42 回：実践演習 12 43 回：実践演習 13 44 回：実践演習 14 45 回：実践演習 15		46 回：実践演習 16 47 回：実践演習 17 48 回：実践演習 18 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の特殊論点について学習します				
到達目標	消費税の特殊論点な項目の税額計算ができる 消費税の特殊論点な項目の条文解釈ができる 消費税の特殊論点な項目の申告書作成ができる				
授業内容	1 回：国等に対する特例１ 2 回：国等に対する特例２ 3 回：国等に対する特例３ 4 回：条文解説 5 回：理論確認、総合演習７ 6 回：総合演習８ 7 回：総合演習９ 8 回：理論確認 9 回：総合演習１０ 10 回：総合演習１１ 11 回：理論確認 12 回：応用力養成演習１ 13 回：応用力養成演習２ 14 回：応用力養成演習３ 15 回：理論確認		16 回：応用力養成演習４ 17 回：応用力養成演習５ 18 回：まとめ 19 回：まとめ 20 回：応用力養成演習６ 21 回：応用力養成演習７ 22 回：実力養成演習１ 23 回：実力養成演習２ 24 回：応用力養成演習８ 25 回：応用力養成演習９ 26 回：実力養成演習３ 27 回：実力養成演習４ 28 回：応用力養成演習１０ 29 回：応用力養成演習１１ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習５ 2 回：実力養成演習６ 3 回：応用力養成演習１２ 4 回：応用力養成演習１３ 5 回：実力養成演習７ 6 回：実力養成演習８ 7 回：実践演習１ 8 回：応用力養成演習１４ 9 回：実力養成演習９ 10 回：実力養成演習１０ 11 回：実践演習２ 12 回：実践演習３ 13 回：実力養成演習１１ 14 回：実力養成演習１２ 15 回：実践演習４		16 回：実践演習５ 17 回：改正 18 回：改正 19 回：実践演習６ 20 回：実践演習７ 21 回：実力養成演習１３ 22 回：実力養成演習１４ 23 回：実践演習８ 24 回：実践演習９ 25 回：実力養成演習１５ 26 回：実力養成演習１６ 27 回：実践演習１０ 28 回：実践演習１１ 29 回：実力養成演習１７ 30 回：実力養成演習１８		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習１２ 32 回：実践演習１３ 33 回：実力養成演習１９ 34 回：実力養成演習２０ 35 回：実践演習１４ 36 回：実践演習１５ 37 回：実力養成演習２１ 38 回：実力養成演習２２ 39 回：実践演習１６ 40 回：実践演習１７ 41 回：実力養成演習２３ 42 回：実力養成演習２４ 43 回：実践演習１８ 44 回：実践演習１９ 45 回：実力養成演習２５		46 回：実力養成演習２６ 47 回：実践演習２０ 48 回：実践演習２１ 49 回：実力養成演習２７ 50 回：実力養成演習２８ 51 回：実践演習２３ 52 回：実践演習２４ 53 回：実力養成演習２９ 54 回：実力養成演習３０ 55 回：実践演習２５ 56 回：実践演習２６ 57 回：実力養成演習３１ 58 回：実力養成演習３２ 59 回：まとめ 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	1 回：償還差損益 2 回：まとめ 1 3 回：まとめ 2 4 回：まとめ 3 5 回：賃上げ促進税制 6 回：組合事業等 7 回：過小資本税制 8 回：過大支払利子税制 9 回：まとめ 4 10 回：まとめ 5 11 回：まとめ 6 12 回：まとめ 7 13 回：外国子会社配当等Ⅱ 14 回：組織再編税制Ⅱ1 15 回：組織再編税制Ⅱ2		16 回：組織再編税制Ⅱ3 17 回：留保金課税 1 18 回：留保金課税 2 19 回：留保金課 3 20 回：留保金課税 4 21 回：適用除外事業者 22 回：社団法人・財団法人 23 回：まとめ 8 24 回：まとめ 9 25 回：地方法人税 26 回：欠損等法人 27 回：譲渡制限付株式 28 回：新株予約権 29 回：租税公課等及び納税充当金Ⅴ 30 回：有価証券Ⅳ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	31 回：借地権 32 回：外国子会社合算税制 33 回：不正行為に係る費用の取扱い 34 回：まとめ 10 35 回：まとめ 11 36 回：まとめ 12 37 回：グループ通算制度 1 38 回：グループ通算制度 2 39 回：グループ通算制度 3 40 回：グループ通算制度 4 41 回：グループ通算制度 5 42 回：グループ通算制度 6 43 回：グループ通算制度 7 44 回：グループ通算制度 8 45 回：所得金額の計算Ⅰ1		46 回：所得金額の計算Ⅰ2 47 回：減価償却XI1 48 回：減価償却XI2 49 回：まとめ 13 50 回：まとめ 14 51 回：まとめ 15 52 回：まとめ 16 53 回：試験研究費の特別控除 1 54 回：試験研究費の特別控除 2 55 回：試験研究費の特別控除 3 56 回：試験研究費の特別控除 4 57 回：まとめ 17 58 回：まとめ 18 59 回：まとめ 19 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：解散税制Ｉ1 2 回：解散税制Ｉ2 3 回：解散税制Ｉ3 4 回：解散税制Ｉ4 5 回：実力養成演習 1 6 回：実力養成演習 2 7 回：条文解釈 1 8 回：条文解釈 2 9 回：実力養成演習 3 10 回：実力養成演習 4 11 回：条文解釈 3 12 回：条文解釈 4 13 回：実力養成演習 5 14 回：実力養成演習 6 15 回：条文解釈 5		16 回：条文解釈 6 17 回：実力養成演習 7 18 回：実力養成演習 8 19 回：改正税法 1 20 回：改正税法 2 21 回：改正税法 3 22 回：改正税法 4 23 回：実践演習 1 24 回：実践演習 2 25 回：実践演習 3 26 回：実践演習 4 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：実践演習 5 30 回：実践演習 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：総合演習 1 34 回：総合演習 2 35 回：まとめ 5 36 回：まとめ 6 37 回：総合演習 3 38 回：総合演習 4 39 回：まとめ 7 40 回：まとめ 8 41 回：総合演習 5 42 回：総合演習 6 43 回：まとめ 9 44 回：まとめ 10 45 回：総合演習 7		46 回：総合演習 8 47 回：まとめ 11 48 回：まとめ 12 49 回：総合演習 9 50 回：総合演習 10 51 回：まとめ 13 52 回：まとめ 14 53 回：総合演習 11 54 回：総合演習 12 55 回：まとめ 15 56 回：まとめ 16 57 回：総合演習 13 58 回：総合演習 14 59 回：まとめ 17 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	1 回：教育資金の一括贈与 2 回：土砂災害特別警戒区域内にある宅地 3 回：立木・立木の評価減 4 回：取引相場のない株式 1 5 回：私道 6 回：セットバック、都市計画道路予定地 7 回：受益証券等 8 回：延納、物納 9 回：権利義務の承継 10 回：相続時精算課税制度 1 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：農地、山林 14 回：転換社債型新株予約権付社債 15 回：連帯納付		16 回：納付（手続）1 17 回：納付（手続）2 18 回：譲渡担保 19 回：取引相場のない株式 2 20 回：非上場株式等の納税猶予制度 1 21 回：保険金の評価 22 回：個人の事業用資産の贈与税の納税猶予 23 回：個人の事業用資産の相続税の納税猶予 24 回：相続時精算課税制度 2 25 回：まとめ 3 26 回：まとめ 4 27 回：定期金に関する権利 28 回：保証期間付定期金に関する権利 29 回：契約に基づかない定期金に関する権利 30 回：みなし取得財産		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	31 回：生命保険金等 32 回：信託 33 回：養子の応用 34 回：結婚・子育て資金 35 回：配偶者居住権 36 回：贈与税額控除（暦年） 37 回：取引相場のない株式 3 38 回：納税義務者 39 回：定期借地権 40 回：取引相場のない株式 4 41 回：不動産 42 回：課税価格および税額計算 43 回：対象者 44 回：納付（手続） 45 回：取引相場のない株式 5		46 回：非上場株式等の納税猶予制度 2 47 回：相続税と贈与税の関係 48 回：相続開始年分の贈与税の計算 49 回：無道路地 50 回：みなし取得財産 51 回：相続時精算課税制度 3 52 回：申告（手続） 53 回：まとめ 5 54 回：まとめ 6 55 回：まとめ 7 56 回：まとめ 8 57 回：実力養成演習 1 58 回：実力養成演習 2 59 回：実力養成演習 3 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の実践的な税額計算ができる 相続税法の実践的な財産評価ができる 相続税法の実践的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：まとめ 1 12 回：応用力養成演習 1 13 回：応用力養成演習 2 14 回：応用力養成演習 3 15 回：応用力養成演習 4		16 回：応用力養成演習 5 17 回：実践演習 1 18 回：実践演習 2 19 回：実践演習 3 20 回：実践演習 4 21 回：実践演習 5 22 回：実践演習 6 23 回：実践演習 7 24 回：実践演習 8 25 回：実践演習 9 26 回：実践演習 10 27 回：まとめ 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入における基本的な会計処理を学ぶ 【概要】 帳簿記入における基本的な会計処理を学習します				
到達目標	帳簿記入における基本的な知識を理解している 帳簿記入における基本的な会計処理ができる 基本的な試算表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記一巡 3 回：現金預金 4 回：債権債務 5 回：商品売買 6 回：固定資産 7 回：貸倒れ 8 回：給与等 9 回：税金 10 回：純資産 11 回：退職給付会計 12 回：社債 13 回：割引現在価値計算 14 回：税効果会計 15 回：有価証券		16 回：減損会計 17 回：繰延資産 18 回：外貨建会計 19 回：特殊商品売買 20 回：リース会計 21 回：本支店会計 22 回：圧縮記帳 23 回：資産除去債務 24 回：キャッシュ・フロー会計 25 回：組織再編会計 26 回：連結会計 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記一巡の手続きや各種の帳簿の関連を確認し、基本的な取引から簿記の仕組みを習得する 【概要】 各種の帳簿の記入方法と簿記の手続きを理解し、基本的な期中取引及び決算取引を学ぶ				
到達目標	簿記一巡の流れを理解している 基礎的な期中取引仕訳及び決算整理仕訳ができる 試算表作成及び財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記の概要Ⅰ 3 回：現金預金Ⅰ1 4 回：債権債務Ⅰ 5 回：商品売買Ⅰ1 6 回：固定資産Ⅰ1 7 回：ソフトウェアⅠ 8 回：貸倒れⅠ 9 回：給料等Ⅰ1 10 回：税金Ⅰ1 11 回：給料等Ⅰ2 12 回：税金Ⅰ2 13 回：純資産Ⅰ1 14 回：退職給付会計Ⅰ 15 回：社債Ⅰ1		16 回：商品売買Ⅰ2 17 回：固定資産Ⅰ2 18 回：社債Ⅰ2 19 回：商品売買Ⅰ3 20 回：有価証券Ⅰ1 21 回：現金預金Ⅰ2 22 回：社債Ⅰ3 23 回：税効果会計Ⅰ 24 回：商品売買Ⅰ4 25 回：純資産Ⅰ2 26 回：割引現在価値計算Ⅰ 27 回：有価証券Ⅰ2 28 回：保険金Ⅰ 29 回：減損会計Ⅰ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 株式会社における応用的な期中取引及び決算取引を確認し、ハイレベルな知識を習得する 【概要】 株式会社における応用的な会計処理方法と財務諸表作成の方法を学ぶ				
到達目標	応用的な期中取引仕訳ができる 応用的な決算整理仕訳ができる 特殊商品売買を理解している				
授業内容	1 回：現金預金Ⅱ 2 回：リース会計Ⅰ1 3 回：外貨建会計Ⅰ1 4 回：外貨建会計Ⅰ2 5 回：退職給付会計Ⅱ1 6 回：割賦販売Ⅰ 7 回：外貨建会計Ⅰ3 8 回：新株予約権付社債Ⅰ1 9 回：試用販売Ⅰ1 10 回：退職給付会計Ⅱ2 11 回：本支店会計Ⅰ1 12 回：商品売買Ⅱ 13 回：外貨建会計Ⅰ4 14 回：試用販売Ⅰ2 15 回：新株予約権社債Ⅰ2		16 回：本支店会計Ⅰ2 17 回：資産除去債務Ⅰ 18 回：委託販売・受託販売Ⅰ 19 回：組織再編会計Ⅰ1 20 回：リース会計Ⅰ2 21 回：連結会計Ⅰ1 22 回：外貨建会計Ⅰ5 23 回：連結会計Ⅰ2 24 回：製造業会計Ⅰ 25 回：会計上の変更等Ⅰ 26 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅰ 27 回：有価証券Ⅱ 28 回：組織再編会計Ⅰ2 29 回：ソフトウェアⅡ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	1 回：帳簿組織Ⅰ 2 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅱ 3 回：固定資産Ⅱ 4 回：ストック・オプションⅠ 5 回：連結会計Ⅱ 6 回：税効果会計Ⅱ 7 回：収益認識Ⅰ 8 回：本支店会計Ⅱ 9 回：金利スワップⅠ 10 回：ストック・オプションⅡ 11 回：建設業会計Ⅰ 12 回：ソフトウェアⅢ 13 回：リース会計Ⅱ 14 回：簿記の概要Ⅲ 15 回：純資産Ⅱ		16 回：リース会計Ⅲ 17 回：固定資産Ⅲ 18 回：組織再編会計Ⅱ 19 回：帳簿組織Ⅱ 20 回：収益認識Ⅱ 21 回：連結会計Ⅲ 22 回：ゴルフ会員権Ⅰ 23 回：社債Ⅱ 24 回：基礎演習 1 25 回：基礎演習 2 26 回：基礎演習 3 27 回：基礎演習 4 28 回：基礎演習 5 29 回：基礎演習 6 30 回：応用演習 1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	31 回：応用演習 2 32 回：応用演習 3 33 回：応用演習 4 34 回：応用演習 5 35 回：応用演習 6 36 回：応用演習 7 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：総合演習 11 12 回：総合演習 12 13 回：総合演習 13 14 回：総合演習 14 15 回：総合演習 15	16 回：まとめ 1 17 回：応用力養成演習 1 18 回：応用力養成演習 2 19 回：応用力養成演習 3 20 回：応用力養成演習 4 21 回：応用力養成演習 5 22 回：応用力養成演習 6 23 回：応用力養成演習 7 24 回：応用力養成演習 8 25 回：応用力養成演習 9 26 回：応用力養成演習 10 27 回：応用力養成演習 11 28 回：応用力養成演習 12 29 回：応用力養成演習 13 30 回：応用力養成演習 14			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	31 回：応用力養成演習 15 32 回：まとめ 2 33 回：実践演習 1 34 回：実践演習 2 35 回：実践演習 3 36 回：実践演習 4 37 回：実践演習 5 38 回：実践演習 6 39 回：実践演習 7 40 回：実践演習 8 41 回：実践演習 9 42 回：実践演習 10 43 回：実践演習 11 44 回：実践演習 12 45 回：実践演習 13		46 回：実践演習 14 47 回：実践演習 15 48 回：まとめ 3 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における基本的な知識を理解している 財務諸表作成における基本的な会計基準の理解及び会計処理ができる 基本的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：財務諸表作成の基礎 2 4 回：債権債務 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：貸倒れⅠ1 10 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 11 回：財務諸表論の基礎概念 1 12 回：財務諸表論の基礎概念 2 13 回：現金及び預金 2 14 回：貸倒れⅠ2 15 回：財務諸表論の基礎概念 3		16 回：一般原則 1 17 回：債権債務 3 18 回：棚卸資産 2 19 回：給与等 20 回：一般原則 2 21 回：固定資産Ⅰ 22 回：株主資本Ⅰ 23 回：一般原則 3 24 回：一般原則 4 25 回：まとめ 1 26 回：財務諸表論の基礎概念 4 27 回：一般原則 5 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における応用的な知識を理解している 財務諸表作成における応用的な会計基準の理解及び会計処理ができる 応用的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：債権債務 1 4 回：財務諸表作成の基礎概念 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：財務諸表論の基礎概念 2 10 回：一般原則 1 11 回：貸倒れⅠ1 12 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 13 回：一般原則 2 14 回：債権債務 3 15 回：棚卸資産Ⅰ2		16 回：給料等 1 17 回：退職給付会計Ⅰ1 18 回：その他の引当金 19 回：一般原則 3 20 回：固定資産Ⅰ 21 回：株主資本Ⅰ1 22 回：一般原則 4 23 回：まとめ 24 回：財務諸表作成の基礎 3 25 回：税金Ⅰ 26 回：有価証券Ⅰ 27 回：社債 28 回：損益計算論 1 29 回：固定資産Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における総合的な知識を理解している 財務諸表作成における総合的な会計基準の理解及び会計処理ができる 総合的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：損益計算論 2 2 回：給与等 3 回：税金Ⅰ 4 回：有価証券Ⅰ 5 回：社債 6 回：株主資本Ⅱ 7 回：損益計算論 3 8 回：税効果会計Ⅰ 9 回：損益計算論 4 10 回：財務諸表作成の基礎 11 回：固定資産Ⅲ 12 回：株主資本Ⅱ 13 回：現在価値計算 14 回：固定資産Ⅳ 15 回：財務諸表論の基礎概念		16 回：貸借対照表総論 17 回：資産総論 1 18 回：固定資産Ⅰ 19 回：固定資産Ⅴ 20 回：資産総論 2 21 回：有価証券Ⅱ 22 回：貸倒れⅡ 23 回：棚卸資産 24 回：固定資産 1 25 回：まとめ 26 回：外貨建取引Ⅰ 27 回：固定資産Ⅵ 28 回：繰延資産 29 回：税金Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：棚卸資産Ⅱ 2 回：退職給付会計Ⅱ 3 回：固定資産 3 4 回：固定資産Ⅶ 5 回：繰延資産 6 回：負債 1 7 回：外貨建取引Ⅱ 8 回：金融商品応用項目Ⅰ 9 回：負債 2 10 回：資産総論 11 回：財務諸表論の基礎概念 2 12 回：損益計算論 1 13 回：損益計算論 2 14 回：金融商品 15 回：会計上の変更等		16 回：新株予約権・新株予約権付社債 17 回：まとめ 1 18 回：製造業会計 19 回：研究開発費等会計 20 回：財務諸表論の基礎概念 4 21 回：外貨建取Ⅲ 22 回：収益性の低下 23 回：固定資産Ⅵ 24 回：ストック・オプション等会計 25 回：外貨換算会計 26 回：キャッシュ・フロー計算書 27 回：リース会計 28 回：純資産会計 29 回：まとめ 2 30 回：株主資本Ⅲ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：組織再編会計 32 回：分配可能額 33 回：財務諸表論の基礎概念 5 34 回：税効果会計 35 回：連結会計 36 回：財務諸表論の基礎概念 6 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：条文解釈 1 2 回：総合演習 1、条文解説 3 回：応用力養成演習 1 4 回：条文解釈 2 5 回：総合演習 2 6 回：応用力養成演習 2 7 回：条文解釈 3 8 回：総合演習 3 9 回：応用力養成演習 3 10 回：条文解釈 4 11 回：総合演習 4 12 回：応用力養成演習 4 13 回：条文解釈 5 14 回：総合演習 5 15 回：応用力養成演習 5		16 回：条文解釈 6 17 回：総合演習 6 18 回：応用力養成演習 6 19 回：条文解釈 7 20 回：総合演習 7 21 回：応用力養成演習 7 22 回：条文解釈 8 23 回：総合演習 8 24 回：応用力養成演習 8 25 回：条文解釈 9 26 回：総合演習 9 27 回：応用力養成演習 9 28 回：条文解釈 10 29 回：総合演習 10 30 回：応用力養成演習 10		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習 1 32 回：実践演習 2 33 回：実践演習 3 34 回：実践演習 4 35 回：実践演習 5 36 回：実践演習 6 37 回：実践演習 7 38 回：実践演習 8 39 回：実践演習 9 40 回：実践演習 10 41 回：実践演習 11 42 回：実践演習 12 43 回：実践演習 13 44 回：実践演習 14 45 回：実践演習 15		46 回：実践演習 16 47 回：実践演習 17 48 回：実践演習 18 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：消費税法の概要１ 3 回：消費税法の概要２ 4 回：理論確認、課税の対象１ 5 回：課税の対象２ 6 回：課税の対象３、条文解説 7 回：理論確認、非課税１ 8 回：非課税２ 9 回：非課税３ 10 回：非課税４、条文解説 11 回：理論確認、資産の譲渡等の時期 12 回：輸出免税 13 回：控除対象仕入税額１ 14 回：仕入税額控除２、条文解説 15 回：理論確認、控除対象仕入税額３		16 回：売上げに係る対価の返還等 17 回：課税仕入れの範囲１、条文解説 18 回：課税仕入れ等の範囲２、条文解説 19 回：理論確認、課税仕入れ等の時期 20 回：貸倒れが生じた場合 21 回：課税売上割合１、条文解説 22 回：理論確認、計算解答方法 23 回：課税期間における課税売上高 24 回：控除対象仕入税額４、条文解説 25 回：まとめ 26 回：課税売上割合に準ずる割合 27 回：仕入に係る対価の返還等 28 回：納税義務の免除１ 29 回：納税義務の免除２、条文解説 30 回：理論確認、課税売上割合２		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	31 回：中間申告に係る納付税額 32 回：総合演習１、条文解説 33 回：理論確認、仮計表 34 回：国境を越えた役務の提供１ 35 回：国境を越えた役務の提供２ 36 回：国境を越えた役務の提供３、条文解説 37 回：理論確認、課税仕入れ等の分類１ 38 回：課税仕入れ等の分類２ 39 回：課税仕入れ等の分類３ 40 回：課税仕入れ等の分類４、条文解説 41 回：理論確認、仕入税額控除の特例 42 回：非課税資産の輸出１ 43 回：非課税資産の輸出２ 44 回：非課税資産の輸出３、条文確認 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の応用的な税額計算ができる 消費税の応用的な条文解釈ができる 消費税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：理論確認 2 回：総合演習２ 3 回：総合演習３ 4 回：総合演習４ 5 回：理論確認、調整対象固定資産１ 6 回：調整対象固定資産２ 7 回：調整対象固定資産３、条文解説 8 回：調整対象固定資産４、条文解説 9 回：理論確認、総合演習５ 10 回：総合演習６ 11 回：納税義務の免除特例（特定期間） 12 回：条文解説 13 回：まとめ 14 回：納税義務の免除（相続） 15 回：納税義務の免除（吸収合併）		16 回：納税義務の免除特例（新設合併） 17 回：条文解説 18 回：理論確認、納税義務の免除特例（分割１） 19 回：納税義務の免除特例（分割２） 20 回：納税義務の免除特例（分割３） 21 回：条文解説 22 回：理論確認、納税義務の体系１ 23 回：納税義務の免除特例（新設法人） 24 回：納税義務の免除特例（特定新規法人１） 25 回：納税義務の免除特例（特定新規法人２） 26 回：理論確認、納税義務の免除体系２ 27 回：棚卸資産の仕入税額控除調整１ 28 回：棚卸資産の仕入税額控除調整２ 29 回：特殊項目１、条文解説 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の総合的な税額計算ができます 消費税の総合的な条文解釈ができます 消費税の総合的な申告書作成ができます				
授業内容	1 回：理論確認、課税標準１ 2 回：課税標準２ 3 回：課税標準３、条文解説 4 回：理論確認、簡易課税１ 5 回：簡易課税２ 6 回：簡易課税３ 7 回：簡易課税４、条文解説 8 回：理論確認、合併中間申告１ 9 回：合併中間申告２、条文解説 10 回：まとめ 11 回：居住用賃貸建物の調整１ 12 回：居住用賃貸建物の調整２ 13 回：２割特例 14 回：軽減税率１ 15 回：軽減税率２、総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の特殊論点について学習します				
到達目標	消費税の特殊論点な項目の税額計算ができる 消費税の特殊論点な項目の条文解釈ができる 消費税の特殊論点な項目の申告書作成ができる				
授業内容	1 回：国等に対する特例１ 2 回：国等に対する特例２ 3 回：国等に対する特例３ 4 回：条文解説 5 回：理論確認、総合演習７ 6 回：総合演習８ 7 回：総合演習９ 8 回：理論確認 9 回：総合演習１０ 10 回：総合演習１１ 11 回：理論確認 12 回：応用力養成演習１ 13 回：応用力養成演習２ 14 回：応用力養成演習３ 15 回：理論確認		16 回：応用力養成演習４ 17 回：応用力養成演習５ 18 回：まとめ 19 回：まとめ 20 回：応用力養成演習６ 21 回：応用力養成演習７ 22 回：実力養成演習１ 23 回：実力養成演習２ 24 回：応用力養成演習８ 25 回：応用力養成演習９ 26 回：実力養成演習３ 27 回：実力養成演習４ 28 回：応用力養成演習１０ 29 回：応用力養成演習１１ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習５ 2 回：実力養成演習６ 3 回：応用力養成演習１２ 4 回：応用力養成演習１３ 5 回：実力養成演習７ 6 回：実力養成演習８ 7 回：実践演習１ 8 回：応用力養成演習１４ 9 回：実力養成演習９ 10 回：実力養成演習１０ 11 回：実践演習２ 12 回：実践演習３ 13 回：実力養成演習１１ 14 回：実力養成演習１２ 15 回：実践演習４		16 回：実践演習５ 17 回：改正 18 回：改正 19 回：実践演習６ 20 回：実践演習７ 21 回：実力養成演習１３ 22 回：実力養成演習１４ 23 回：実践演習８ 24 回：実践演習９ 25 回：実力養成演習１５ 26 回：実力養成演習１６ 27 回：実践演習１０ 28 回：実践演習１１ 29 回：実力養成演習１７ 30 回：実力養成演習１８		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習１２ 32 回：実践演習１３ 33 回：実力養成演習１９ 34 回：実力養成演習２０ 35 回：実践演習１４ 36 回：実践演習１５ 37 回：実力養成演習２１ 38 回：実力養成演習２２ 39 回：実践演習１６ 40 回：実践演習１７ 41 回：実力養成演習２３ 42 回：実力養成演習２４ 43 回：実践演習１８ 44 回：実践演習１９ 45 回：実力養成演習２５		46 回：実力養成演習２６ 47 回：実践演習２０ 48 回：実践演習２１ 49 回：実力養成演習２７ 50 回：実力養成演習２８ 51 回：実践演習２３ 52 回：実践演習２４ 53 回：実力養成演習２９ 54 回：実力養成演習３０ 55 回：実践演習２５ 56 回：実践演習２６ 57 回：実力養成演習３１ 58 回：実力養成演習３２ 59 回：まとめ 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：納税義務者と課税所得の範囲 3 回：会社計算と税務計算の調整 4 回：各事業年度の所得の金額の計算方法 5 回：交際費等の損金不算入Ⅰ1 6 回：交際費等の損金不算入Ⅰ2 7 回：減価償却Ⅰ 8 回：減価償却Ⅱ1 9 回：減価償却Ⅱ2 10 回：減価償却Ⅱ3 11 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ1 12 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ2 13 回：寄附金の損金不算入Ⅰ1 14 回：寄附金の損金不算入Ⅰ2 15 回：有価証券Ⅰ1		16 回：有価証券Ⅰ2 17 回：租税公課等及び納税充当金Ⅰ 18 回：別表四の作成 19 回：事業年度 20 回：納税地 21 回：減価償却Ⅲ1 22 回：減価償却Ⅲ2 23 回：確定申告 24 回：まとめ 1 25 回：まとめ 2 26 回：法人税額の計算の基礎 27 回：使途秘匿金 28 回：青色申告 29 回：収益の額 1 30 回：貸倒損失Ⅰ1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：貸倒損失Ⅰ2 32 回：貸倒損失Ⅰ3 33 回：貸倒引当金Ⅰ1 34 回：貸倒引当金Ⅰ2 35 回：貸倒引当金Ⅰ3 36 回：貸倒引当金Ⅰ4 37 回：減価償却Ⅳ 38 回：欠損金Ⅰ1 39 回：欠損金Ⅰ2 40 回：欠損金Ⅰ3 41 回：収用等Ⅰ1 42 回：収用等Ⅰ2 43 回：貸倒引当金Ⅱ 44 回：収益の額 2 45 回：減価償却Ⅴ1		46 回：減価償却Ⅴ2 47 回：減価償却Ⅴ3 48 回：受取配当等の益金不算入Ⅱ 49 回：有価証券Ⅱ 50 回：交際費等・寄附金の損金不算入Ⅱ 51 回：租税公課等及び納税充当金Ⅱ 52 回：外貨建取引 53 回：有価証券Ⅲ1 54 回：有価証券Ⅲ2 55 回：所得税額控除 1 56 回：所得税額控除 2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ1 60 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	61 回：国庫補助金等 1 62 回：国庫補助金等 2 63 回：国庫補助金等 3 64 回：別表五（一）Ⅰの作成 65 回：圧縮記帳の概要Ⅰ 66 回：収用等Ⅱ 67 回：欠損金Ⅱ 68 回：利益積立金額 69 回：役員判定・役員給与Ⅰ1 70 回：役員判定・役員給与Ⅰ2 71 回：役員判定・役員給与Ⅰ3 72 回：役員判定・役員給与Ⅰ4 73 回：役員判定・役員給与Ⅱ1 74 回：役員判定・役員給与Ⅱ2 75 回：使用人給与Ⅰ1		76 回：使用人給与Ⅰ2 77 回：特定資産の買換え 1 78 回：特定資産の買換え 2 79 回：交際費等の損金不算入Ⅲ1 80 回：交際費等の損金不算入Ⅲ2 81 回：交際費等の損金不算入Ⅳ1 82 回：減価償却Ⅵ1 83 回：減価償却Ⅵ2 84 回：中間申告 85 回：減価償却Ⅶ 86 回：棚卸資産 87 回：保険差益 1 88 回：保険差益 2 89 回：まとめ 5 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：圧縮記帳の概要Ⅱ 2 回：別表五（一）Ⅱの作成 3 回：まとめ 1 4 回：まとめ 2 5 回：外国子会社配当等Ⅰ1 6 回：外国子会社配当等Ⅰ2 7 回：外国税額控除 1 8 回：外国税額控除 2 9 回：みなし配当Ⅰ1 10 回：みなし配当Ⅰ2 11 回：みなし配当Ⅰ3 12 回：圧縮記帳の概要Ⅲ 13 回：資本等取引Ⅰ 14 回：資本等取引Ⅱ 15 回：資本金等の額		16 回：役員判定・役員給与Ⅲ 17 回：役員判定・役員給与Ⅳ 18 回：使用人給与Ⅱ 19 回：交換差益 20 回：別表五（二）の作成 21 回：リース取引 1 22 回：リース取引 2 23 回：資本等取引Ⅲ1 24 回：資本等取引Ⅲ2 25 回：繰延資産 1 26 回：繰延資産 2 27 回：繰延資産 3 28 回：繰延資産 4 29 回：寄附金の損金不算入Ⅲ 30 回：減価償却Ⅷ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ1 34 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ2 35 回：確定決算型 1 36 回：確定決算型 2 37 回：グループ法人税制Ⅰ1 38 回：グループ法人税制Ⅰ2 39 回：グループ法人税制Ⅰ3 40 回：グループ法人税制Ⅰ4 41 回：資産の評価損益Ⅰ1 42 回：資産の評価損益Ⅰ2 43 回：欠損金Ⅲ1 44 回：欠損金Ⅲ2 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：グループ法人税制Ⅱ1 2 回：グループ法人税制Ⅱ2 3 回：グループ法人税制Ⅱ3 4 回：グループ法人税制Ⅱ4 5 回：グループ法人税制Ⅲ1 6 回：グループ法人税制Ⅲ2 7 回：グループ法人税制Ⅲ3 8 回：グループ法人税制Ⅲ4 9 回：収用等Ⅲ 10 回：保険料Ⅰ 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：設立事業年度 1 14 回：設立事業年度 2 15 回：まとめ 3		16 回：まとめ 4 17 回：組織再編税制Ⅰ1 18 回：組織再編税制Ⅰ2 19 回：組織再編税制Ⅰ3 20 回：組織再編税制Ⅰ4 21 回：組織再編税制Ⅰ5 22 回：組織再編税制Ⅰ6 23 回：組織再編税制Ⅰ7 24 回：組織再編税制Ⅰ8 25 回：組織再編税制Ⅰ9 26 回：組織再編税制Ⅰ10 27 回：組織再編税制Ⅰ11 28 回：組織再編税制Ⅰ12 29 回：みなし配当金Ⅱ1 30 回：みなし配当金Ⅱ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：帰属事業年度の特例 1 32 回：帰属事業年度の特例 2 33 回：修正申告 1 34 回：修正申告 2 35 回：更正の請求 36 回：決定・更正 37 回：受取配当等の益金不算入Ⅳ 38 回：寄附金の損金不算入Ⅳ1 39 回：移転価格税制 1 40 回：移転価格税制 2 41 回：税効果会計 1 42 回：税効果会計 2 43 回：税効果会計 3 44 回：デリバティブ取引 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	1 回：償還差損益 2 回：まとめ 1 3 回：まとめ 2 4 回：まとめ 3 5 回：賃上げ促進税制 6 回：組合事業等 7 回：過小資本税制 8 回：過大支払利子税制 9 回：まとめ 4 10 回：まとめ 5 11 回：まとめ 6 12 回：まとめ 7 13 回：外国子会社配当等Ⅱ 14 回：組織再編税制Ⅱ1 15 回：組織再編税制Ⅱ2		16 回：組織再編税制Ⅱ3 17 回：留保金課税 1 18 回：留保金課税 2 19 回：留保金課 3 20 回：留保金課税 4 21 回：適用除外事業者 22 回：社団法人・財団法人 23 回：まとめ 8 24 回：まとめ 9 25 回：地方法人税 26 回：欠損等法人 27 回：譲渡制限付株式 28 回：新株予約権 29 回：租税公課等及び納税充当金Ⅴ 30 回：有価証券Ⅳ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	31 回：借地権 32 回：外国子会社合算税制 33 回：不正行為に係る費用の取扱い 34 回：まとめ 10 35 回：まとめ 11 36 回：まとめ 12 37 回：グループ通算制度 1 38 回：グループ通算制度 2 39 回：グループ通算制度 3 40 回：グループ通算制度 4 41 回：グループ通算制度 5 42 回：グループ通算制度 6 43 回：グループ通算制度 7 44 回：グループ通算制度 8 45 回：所得金額の計算Ⅰ1		46 回：所得金額の計算Ⅰ2 47 回：減価償却XI1 48 回：減価償却XI2 49 回：まとめ 13 50 回：まとめ 14 51 回：まとめ 15 52 回：まとめ 16 53 回：試験研究費の特別控除 1 54 回：試験研究費の特別控除 2 55 回：試験研究費の特別控除 3 56 回：試験研究費の特別控除 4 57 回：まとめ 17 58 回：まとめ 18 59 回：まとめ 19 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：解散税制Ⅰ1 2 回：解散税制Ⅰ2 3 回：解散税制Ⅰ3 4 回：解散税制Ⅰ4 5 回：実力養成演習 1 6 回：実力養成演習 2 7 回：条文解釈 1 8 回：条文解釈 2 9 回：実力養成演習 3 10 回：実力養成演習 4 11 回：条文解釈 3 12 回：条文解釈 4 13 回：実力養成演習 5 14 回：実力養成演習 6 15 回：条文解釈 5		16 回：条文解釈 6 17 回：実力養成演習 7 18 回：実力養成演習 8 19 回：改正税法 1 20 回：改正税法 2 21 回：改正税法 3 22 回：改正税法 4 23 回：実践演習 1 24 回：実践演習 2 25 回：実践演習 3 26 回：実践演習 4 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：実践演習 5 30 回：実践演習 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：総合演習 1 34 回：総合演習 2 35 回：まとめ 5 36 回：まとめ 6 37 回：総合演習 3 38 回：総合演習 4 39 回：まとめ 7 40 回：まとめ 8 41 回：総合演習 5 42 回：総合演習 6 43 回：まとめ 9 44 回：まとめ 10 45 回：総合演習 7		46 回：総合演習 8 47 回：まとめ 11 48 回：まとめ 12 49 回：総合演習 9 50 回：総合演習 10 51 回：まとめ 13 52 回：まとめ 14 53 回：総合演習 11 54 回：総合演習 12 55 回：まとめ 15 56 回：まとめ 16 57 回：総合演習 13 58 回：総合演習 14 59 回：まとめ 17 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：相続税法の概要、民法 3 回：相続人、代襲相続 4 回：養子、相続の承認と放棄、相続分 1 5 回：相続分 2、遺言 6 回：相続税の納税義務者 7 回：生命保険金等 8 回：相続税の非課税財産、相続税額の計算 9 回：生命保険金等の非課税金額 10 回：退職手当金等と非課税金額 11 回：贈与税の概要 12 回：贈与税の納税義務者 13 回：弔慰金 14 回：債務控除 15 回：相続時精算課税制度 1		16 回：相続時精算課税制度 2 17 回：相続時精算課税適用財産 18 回：生前贈与加算 19 回：相続税額の総額、算出税額 20 回：相続税の期限内申告 21 回：相続税額の加算 22 回：贈与税額控除（暦年）1 23 回：贈与税額控除（暦年）2 24 回：配偶者の税額軽減 25 回：未成年者控除 26 回：障碍者控除 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：特定納税義務者と債務控除 30 回：贈与税額控除（精算）		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：財産評価の原則、自用地 32 回：自用家屋、家屋と一体設備 33 回：特別養子制度、法定相続人の数 34 回：生命保険契約に関する権利 35 回：地区区分の異なる宅地、側方一部 36 回：贈与税の期限内申告 37 回：普通借地権、貸宅地 38 回：貸家建付地、貸家建付借地権 39 回：一般動産、たな卸商品、書画骨とう品 40 回：期限後申告、修正申告 41 回：預貯金 42 回：上場株式 43 回：納税地 44 回：還付 45 回：小規模宅地等の特例 1-1		46 回：小規模宅地等の特例 1-2 47 回：小規模宅地等の特例 1-3 48 回：小規模宅地等の特例 1-4 49 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 50 回：小規模宅地等の特例 2-1 51 回：小規模宅地等の特例 2-2 52 回：更正の請求 53 回：間口狭小、奥行長大 54 回：角切り、使用貸借 55 回：小規模宅地等の特例 3-1 56 回：小規模宅地等の特例 3-2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：まとめ 5 60 回：延納		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	61 回：利用区分が異なる宅地、建物 62 回：相当の地代 63 回：小規模宅地等の特例 4 64 回：物納 65 回：取引相場のない株式 1-1 66 回：取引相場のない株式 1-2 67 回：取引相場のない株式 1-3 68 回：手続規定 69 回：取引相場のない株式 2-1 70 回：取引相場のない株式 2-2 71 回：取引相場のない株式 2-3 72 回：農地等の贈与税の納税猶予 73 回：建築中の家屋、公社債等 74 回：取引相場のない株式 3 75 回：小規模宅地等の特例 5		76 回：農地等の相続税の納税猶予 77 回：不整形地 78 回：地積規模の大きな宅地 79 回：取引相場のない株式 4 80 回：非上場株式等の贈与税の納税猶予 81 回：がけ地 82 回：取引相場のない株式 5-1 83 回：取引相場のない株式 5-2 84 回：非上場株式等の相続税の納税猶予 85 回：邦貨換算、旗竿上の宅地等 86 回：容積率の異なる宅地等 87 回：取引相場のない株式 6 88 回：特定計画山林 89 回：納税義務者（自然人以外） 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：私道 2 回：セットバック 3 回：上場株式（株式の割り当て） 4 回：相続財産法人 5 回：宅地等の評価単位 6 回：農地、山林、立木 7 回：上場株式（配当期待権） 8 回：特定非常災害 9 回：低額譲受、債務免除、債務引受 10 回：負担付遺贈・贈与 11 回：取引相場のない株式 1 12 回：信託 13 回：人格のない社団等 14 回：贈与税の非課税財産 15 回：取引相場のない株式 2		16 回：居住用の区分所財産 17 回：契約者貸付金 18 回：住宅取得等資金 19 回：受益証券等 20 回：ゴルフ会員権 21 回：措法 70 の非課税 22 回：権利義務の承継 23 回：保険金の評価 24 回：生前贈与加算 25 回：贈与税の配偶者控除 26 回：まとめ 1 27 回：まとめ 2 28 回：まとめ 3 29 回：民法 30 回：地区区分の異なる宅地、側方一部		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：普通借地権、貸宅地 32 回：納税義務者 33 回：相続税の非課税財産、本来の財産 34 回：生命保険金等 35 回：貸家建付地、貸家建付借地権 36 回：みなし取得財産 37 回：相続時精算課税制度 38 回：債務控除 39 回：区分地上権 40 回：課税価格および税額計算 41 回：特別養子制度 42 回：贈与税額控除 43 回：相続税額の加算 44 回：相続税総額、算出税額等 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：配偶者の税額軽減 2 回：未成年者控除 3 回：障害者控除 1 4 回：障害者控除 2 5 回：措法 70 の非課税 6 回：取引相場のない株式 1-1 7 回：取引相場のない株式 1-2 8 回：取引相場のない株式 1-3 9 回：相次相続控除 10 回：まとめ 1 11 回：まとめ 2 12 回：まとめ 3 13 回：贈与税の非課税財産 14 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 15 回：小規模宅地等の特例 1		16 回：小規模宅地等の特例 2 17 回：使用貸借 18 回：取引相場のない株式 2 19 回：居住用の区分所有財産 20 回：対象者（法定相続人） 21 回：増改築等 22 回：建築中の家屋 23 回：取引相場のない株式 3 24 回：申告（手続）1 25 回：弔慰金 26 回：相当の地代 27 回：公社債等 28 回：取引相場のない株式 4 29 回：住宅取得等資金 30 回：宅地の評価単位		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：間口狭小、奥行長大等 32 回：申告（手続）2 33 回：低額譲受等、負担付遺贈・贈与 34 回：不整形地、旗竿上の宅地等 35 回：取引相場のない株式 5 36 回：特定非常災害、災免法 37 回：贈与税の配偶者控除 38 回：対象者 39 回：課税価格および税額計算 40 回：まとめ 4 41 回：人格のない社団等 42 回：ゴルフ会員権 43 回：上場株式・株式に関する権利 44 回：未分割時の取扱い 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	1 回：教育資金の一括贈与 2 回：土砂災害特別警戒区域内にある宅地 3 回：立木・立木の評価減 4 回：取引相場のない株式 1 5 回：私道 6 回：セットバック、都市計画道路予定地 7 回：受益証券等 8 回：延納、物納 9 回：権利義務の承継 10 回：相続時精算課税制度 1 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：農地、山林 14 回：転換社債型新株予約権付社債 15 回：連帯納付		16 回：納付（手続）1 17 回：納付（手続）2 18 回：譲渡担保 19 回：取引相場のない株式 2 20 回：非上場株式等の納税猶予制度 1 21 回：保険金の評価 22 回：個人の事業用資産の贈与税の納税猶予 23 回：個人の事業用資産の相続税の納税猶予 24 回：相続時精算課税制度 2 25 回：まとめ 3 26 回：まとめ 4 27 回：定期金に関する権利 28 回：保証期間付定期金に関する権利 29 回：契約に基づかない定期金に関する権利 30 回：みなし取得財産		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	31 回：生命保険金等 32 回：信託 33 回：養子の応用 34 回：結婚・子育て資金 35 回：配偶者居住権 36 回：贈与税額控除（暦年） 37 回：取引相場のない株式 3 38 回：納税義務者 39 回：定期借地権 40 回：取引相場のない株式 4 41 回：不動産 42 回：課税価格および税額計算 43 回：対象者 44 回：納付（手続） 45 回：取引相場のない株式 5		46 回：非上場株式等の納税猶予制度 2 47 回：相続税と贈与税の関係 48 回：相続開始年分の贈与税の計算 49 回：無道路地 50 回：みなし取得財産 51 回：相続時精算課税制度 3 52 回：申告（手続） 53 回：まとめ 5 54 回：まとめ 6 55 回：まとめ 7 56 回：まとめ 8 57 回：実力養成演習 1 58 回：実力養成演習 2 59 回：実力養成演習 3 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の実践的な税額計算ができる 相続税法の実践的な財産評価ができる 相続税法の実践的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：まとめ 1 12 回：応用力養成演習 1 13 回：応用力養成演習 2 14 回：応用力養成演習 3 15 回：応用力養成演習 4		16 回：応用力養成演習 5 17 回：実践演習 1 18 回：実践演習 2 19 回：実践演習 3 20 回：実践演習 4 21 回：実践演習 5 22 回：実践演習 6 23 回：実践演習 7 24 回：実践演習 8 25 回：実践演習 9 26 回：実践演習 10 27 回：まとめ 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入における基本的な会計処理を学ぶ 【概要】 帳簿記入における基本的な会計処理を学習します				
到達目標	帳簿記入における基本的な知識を理解している 帳簿記入における基本的な会計処理ができる 基本的な試算表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記一巡 3 回：現金預金 4 回：債権債務 5 回：商品売買 6 回：固定資産 7 回：貸倒れ 8 回：給与等 9 回：税金 10 回：純資産 11 回：退職給付会計 12 回：社債 13 回：割引現在価値計算 14 回：税効果会計 15 回：有価証券		16 回：減損会計 17 回：繰延資産 18 回：外貨建会計 19 回：特殊商品売買 20 回：リース会計 21 回：本支店会計 22 回：圧縮記帳 23 回：資産除去債務 24 回：キャッシュ・フロー会計 25 回：組織再編会計 26 回：連結会計 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記一巡の手続きや各種の帳簿の関連を確認し、基本的な取引から簿記の仕組みを習得する 【概要】 各種の帳簿の記入方法と簿記の手続きを理解し、基本的な期中取引及び決算取引を学ぶ				
到達目標	簿記一巡の流れを理解している 基礎的な期中取引仕訳及び決算整理仕訳ができる 試算表作成及び財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記の概要Ⅰ 3 回：現金預金Ⅰ1 4 回：債権債務Ⅰ 5 回：商品売買Ⅰ1 6 回：固定資産Ⅰ1 7 回：ソフトウェアⅠ 8 回：貸倒れⅠ 9 回：給料等Ⅰ1 10 回：税金Ⅰ1 11 回：給料等Ⅰ2 12 回：税金Ⅰ2 13 回：純資産Ⅰ1 14 回：退職給付会計Ⅰ 15 回：社債Ⅰ1		16 回：商品売買Ⅰ2 17 回：固定資産Ⅰ2 18 回：社債Ⅰ2 19 回：商品売買Ⅰ3 20 回：有価証券Ⅰ1 21 回：現金預金Ⅰ2 22 回：社債Ⅰ3 23 回：税効果会計Ⅰ 24 回：商品売買Ⅰ4 25 回：純資産Ⅰ2 26 回：割引現在価値計算Ⅰ 27 回：有価証券Ⅰ2 28 回：保険金Ⅰ 29 回：減損会計Ⅰ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 株式会社における応用的な期中取引及び決算取引を確認し、ハイレベルな知識を習得する 【概要】 株式会社における応用的な会計処理方法と財務諸表作成の方法を学ぶ				
到達目標	応用的な期中取引仕訳ができる 応用的な決算整理仕訳ができる 特殊商品売買を理解している				
授業内容	1 回：現金預金Ⅱ 2 回：リース会計Ⅰ1 3 回：外貨建会計Ⅰ1 4 回：外貨建会計Ⅰ2 5 回：退職給付会計Ⅱ1 6 回：割賦販売Ⅰ 7 回：外貨建会計Ⅰ3 8 回：新株予約権付社債Ⅰ1 9 回：試用販売Ⅰ1 10 回：退職給付会計Ⅱ2 11 回：本支店会計Ⅰ1 12 回：商品売買Ⅱ 13 回：外貨建会計Ⅰ4 14 回：試用販売Ⅰ2 15 回：新株予約権社債Ⅰ2		16 回：本支店会計Ⅰ2 17 回：資産除去債務Ⅰ 18 回：委託販売・受託販売Ⅰ 19 回：組織再編会計Ⅰ1 20 回：リース会計Ⅰ2 21 回：連結会計Ⅰ1 22 回：外貨建会計Ⅰ5 23 回：連結会計Ⅰ2 24 回：製造業会計Ⅰ 25 回：会計上の変更等Ⅰ 26 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅰ 27 回：有価証券Ⅱ 28 回：組織再編会計Ⅰ2 29 回：ソフトウェアⅡ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する。 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	1 回：帳簿組織Ⅰ 2 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅱ 3 回：固定資産Ⅱ 4 回：ストック・オプションⅠ 5 回：連結会計Ⅱ 6 回：税効果会計Ⅱ 7 回：収益認識Ⅰ 8 回：本支店会計Ⅱ 9 回：金利スワップⅠ 10 回：ストック・オプションⅡ 11 回：建設業会計Ⅰ 12 回：ソフトウェアⅢ 13 回：リース会計Ⅱ 14 回：簿記の概要Ⅲ 15 回：純資産Ⅱ		16 回：リース会計Ⅲ 17 回：固定資産Ⅲ 18 回：組織再編会計Ⅱ 19 回：帳簿組織Ⅱ 20 回：収益認識Ⅱ 21 回：連結会計Ⅲ 22 回：ゴルフ会員権Ⅰ 23 回：社債Ⅱ 24 回：基礎演習 1 25 回：基礎演習 2 26 回：基礎演習 3 27 回：基礎演習 4 28 回：基礎演習 5 29 回：基礎演習 6 30 回：応用演習 1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する。 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	31 回：応用演習 2 32 回：応用演習 3 33 回：応用演習 4 34 回：応用演習 5 35 回：応用演習 6 36 回：応用演習 7 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：総合演習 11 12 回：総合演習 12 13 回：総合演習 13 14 回：総合演習 14 15 回：総合演習 15	16 回：まとめ 1 17 回：応用力養成演習 1 18 回：応用力養成演習 2 19 回：応用力養成演習 3 20 回：応用力養成演習 4 21 回：応用力養成演習 5 22 回：応用力養成演習 6 23 回：応用力養成演習 7 24 回：応用力養成演習 8 25 回：応用力養成演習 9 26 回：応用力養成演習 10 27 回：応用力養成演習 11 28 回：応用力養成演習 12 29 回：応用力養成演習 13 30 回：応用力養成演習 14			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	31 回：応用力養成演習 15 32 回：まとめ 2 33 回：実践演習 1 34 回：実践演習 2 35 回：実践演習 3 36 回：実践演習 4 37 回：実践演習 5 38 回：実践演習 6 39 回：実践演習 7 40 回：実践演習 8 41 回：実践演習 9 42 回：実践演習 10 43 回：実践演習 11 44 回：実践演習 12 45 回：実践演習 13		46 回：実践演習 14 47 回：実践演習 15 48 回：まとめ 3 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における基本的な知識を理解している 財務諸表作成における基本的な会計基準の理解及び会計処理ができる 基本的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：財務諸表作成の基礎 2 4 回：債権債務 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：貸倒れⅠ1 10 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 11 回：財務諸表論の基礎概念 1 12 回：財務諸表論の基礎概念 2 13 回：現金及び預金 2 14 回：貸倒れⅠ2 15 回：財務諸表論の基礎概念 3		16 回：一般原則 1 17 回：債権債務 3 18 回：棚卸資産 2 19 回：給与等 20 回：一般原則 2 21 回：固定資産Ⅰ 22 回：株主資本Ⅰ 23 回：一般原則 3 24 回：一般原則 4 25 回：まとめ 1 26 回：財務諸表論の基礎概念 4 27 回：一般原則 5 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における応用的な知識を理解している 財務諸表作成における応用的な会計基準の理解及び会計処理ができる 応用的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：債権債務 1 4 回：財務諸表作成の基礎概念 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：財務諸表論の基礎概念 2 10 回：一般原則 1 11 回：貸倒れⅠ1 12 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 13 回：一般原則 2 14 回：債権債務 3 15 回：棚卸資産Ⅰ2		16 回：給料等 1 17 回：退職給付会計Ⅰ1 18 回：その他の引当金 19 回：一般原則 3 20 回：固定資産Ⅰ 21 回：株主資本Ⅰ1 22 回：一般原則 4 23 回：まとめ 24 回：財務諸表作成の基礎 3 25 回：税金Ⅰ 26 回：有価証券Ⅰ 27 回：社債 28 回：損益計算論 1 29 回：固定資産Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における総合的な知識を理解している 財務諸表作成における総合的な会計基準の理解及び会計処理ができる 総合的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：損益計算論 2 2 回：給与等 3 回：税金Ⅰ 4 回：有価証券Ⅰ 5 回：社債 6 回：株主資本Ⅱ 7 回：損益計算論 3 8 回：税効果会計Ⅰ 9 回：損益計算論 4 10 回：財務諸表作成の基礎 11 回：固定資産Ⅲ 12 回：株主資本Ⅱ 13 回：現在価値計算 14 回：固定資産Ⅳ 15 回：財務諸表論の基礎概念		16 回：貸借対照表総論 17 回：資産総論 1 18 回：固定資産Ⅰ 19 回：固定資産Ⅴ 20 回：資産総論 2 21 回：有価証券Ⅱ 22 回：貸倒れⅡ 23 回：棚卸資産 24 回：固定資産 1 25 回：まとめ 26 回：外貨建取引Ⅰ 27 回：固定資産Ⅵ 28 回：繰延資産 29 回：税金Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：棚卸資産Ⅱ 2 回：退職給付会計Ⅱ 3 回：固定資産 3 4 回：固定資産Ⅶ 5 回：繰延資産 6 回：負債 1 7 回：外貨建取引Ⅱ 8 回：金融商品応用項目Ⅰ 9 回：負債 2 10 回：資産総論 11 回：財務諸表論の基礎概念 2 12 回：損益計算論 1 13 回：損益計算論 2 14 回：金融商品 15 回：会計上の変更等		16 回：新株予約権・新株予約権付社債 17 回：まとめ 1 18 回：製造業会計 19 回：研究開発費等会計 20 回：財務諸表論の基礎概念 4 21 回：外貨建取Ⅲ 22 回：収益性の低下 23 回：固定資産Ⅵ 24 回：ストック・オプション等会計 25 回：外貨換算会計 26 回：キャッシュ・フロー計算書 27 回：リース会計 28 回：純資産会計 29 回：まとめ 2 30 回：株主資本Ⅲ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：組織再編会計 32 回：分配可能額 33 回：財務諸表論の基礎概念 5 34 回：税効果会計 35 回：連結会計 36 回：財務諸表論の基礎概念 6 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：条文解釈 1 2 回：総合演習 1、条文解説 3 回：応用力養成演習 1 4 回：条文解釈 2 5 回：総合演習 2 6 回：応用力養成演習 2 7 回：条文解釈 3 8 回：総合演習 3 9 回：応用力養成演習 3 10 回：条文解釈 4 11 回：総合演習 4 12 回：応用力養成演習 4 13 回：条文解釈 5 14 回：総合演習 5 15 回：応用力養成演習 5		16 回：条文解釈 6 17 回：総合演習 6 18 回：応用力養成演習 6 19 回：条文解釈 7 20 回：総合演習 7 21 回：応用力養成演習 7 22 回：条文解釈 8 23 回：総合演習 8 24 回：応用力養成演習 8 25 回：条文解釈 9 26 回：総合演習 9 27 回：応用力養成演習 9 28 回：条文解釈 10 29 回：総合演習 10 30 回：応用力養成演習 10		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習 1 32 回：実践演習 2 33 回：実践演習 3 34 回：実践演習 4 35 回：実践演習 5 36 回：実践演習 6 37 回：実践演習 7 38 回：実践演習 8 39 回：実践演習 9 40 回：実践演習 10 41 回：実践演習 11 42 回：実践演習 12 43 回：実践演習 13 44 回：実践演習 14 45 回：実践演習 15		46 回：実践演習 16 47 回：実践演習 17 48 回：実践演習 18 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：消費税法の概要１ 3 回：消費税法の概要２ 4 回：理論確認、課税の対象１ 5 回：課税の対象２ 6 回：課税の対象３、条文解説 7 回：理論確認、非課税１ 8 回：非課税２ 9 回：非課税３ 10 回：非課税４、条文解説 11 回：理論確認、資産の譲渡等の時期 12 回：輸出免税 13 回：控除対象仕入税額１ 14 回：仕入税額控除２、条文解説 15 回：理論確認、控除対象仕入税額３		16 回：売上げに係る対価の返還等 17 回：課税仕入れの範囲１、条文解説 18 回：課税仕入れ等の範囲２、条文解説 19 回：理論確認、課税仕入れ等の時期 20 回：貸倒れが生じた場合 21 回：課税売上割合１、条文解説 22 回：理論確認、計算解答方法 23 回：課税期間における課税売上高 24 回：控除対象仕入税額４、条文解説 25 回：まとめ 26 回：課税売上割合に準ずる割合 27 回：仕入に係る対価の返還等 28 回：納税義務の免除１ 29 回：納税義務の免除２、条文解説 30 回：理論確認、課税売上割合２		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	31 回：中間申告に係る納付税額 32 回：総合演習１、条文解説 33 回：理論確認、仮計表 34 回：国境を越えた役務の提供１ 35 回：国境を越えた役務の提供２ 36 回：国境を越えた役務の提供３、条文解説 37 回：理論確認、課税仕入れ等の分類１ 38 回：課税仕入れ等の分類２ 39 回：課税仕入れ等の分類３ 40 回：課税仕入れ等の分類４、条文解説 41 回：理論確認、仕入税額控除の特例 42 回：非課税資産の輸出１ 43 回：非課税資産の輸出２ 44 回：非課税資産の輸出３、条文確認 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の応用的な税額計算ができる 消費税の応用的な条文解釈ができる 消費税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：理論確認 2 回：総合演習２ 3 回：総合演習３ 4 回：総合演習４ 5 回：理論確認、調整対象固定資産１ 6 回：調整対象固定資産２ 7 回：調整対象固定資産３、条文解説 8 回：調整対象固定資産４、条文解説 9 回：理論確認、総合演習５ 10 回：総合演習６ 11 回：納税義務の免除特例（特定期間） 12 回：条文解説 13 回：まとめ 14 回：納税義務の免除（相続） 15 回：納税義務の免除（吸収合併）		16 回：納税義務の免除特例（新設合併） 17 回：条文解説 18 回：理論確認、納税義務の免除特例（分割１） 19 回：納税義務の免除特例（分割２） 20 回：納税義務の免除特例（分割３） 21 回：条文解説 22 回：理論確認、納税義務の体系１ 23 回：納税義務の免除特例（新設法人） 24 回：納税義務の免除特例（特定新規法人１） 25 回：納税義務の免除特例（特定新規法人２） 26 回：理論確認、納税義務の免除体系２ 27 回：棚卸資産の仕入税額控除調整１ 28 回：棚卸資産の仕入税額控除調整２ 29 回：特殊項目１、条文解説 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の総合的な税額計算ができます 消費税の総合的な条文解釈ができます 消費税の総合的な申告書作成ができます				
授業内容	1 回：理論確認、課税標準１ 2 回：課税標準２ 3 回：課税標準３、条文解説 4 回：理論確認、簡易課税１ 5 回：簡易課税２ 6 回：簡易課税３ 7 回：簡易課税４、条文解説 8 回：理論確認、合併中間申告１ 9 回：合併中間申告２、条文解説 10 回：まとめ 11 回：居住用賃貸建物の調整１ 12 回：居住用賃貸建物の調整２ 13 回：２割特例 14 回：軽減税率１ 15 回：軽減税率２、総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の特殊論点について学習します				
到達目標	消費税の特殊論点な項目の税額計算ができる 消費税の特殊論点な項目の条文解釈ができる 消費税の特殊論点な項目の申告書作成ができる				
授業内容	1 回：国等に対する特例１ 2 回：国等に対する特例２ 3 回：国等に対する特例３ 4 回：条文解説 5 回：理論確認、総合演習７ 6 回：総合演習８ 7 回：総合演習９ 8 回：理論確認 9 回：総合演習１０ 10 回：総合演習１１ 11 回：理論確認 12 回：応用力養成演習１ 13 回：応用力養成演習２ 14 回：応用力養成演習３ 15 回：理論確認		16 回：応用力養成演習４ 17 回：応用力養成演習５ 18 回：まとめ 19 回：まとめ 20 回：応用力養成演習６ 21 回：応用力養成演習７ 22 回：実力養成演習１ 23 回：実力養成演習２ 24 回：応用力養成演習８ 25 回：応用力養成演習９ 26 回：実力養成演習３ 27 回：実力養成演習４ 28 回：応用力養成演習１０ 29 回：応用力養成演習１１ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習５ 2 回：実力養成演習６ 3 回：応用力養成演習１２ 4 回：応用力養成演習１３ 5 回：実力養成演習７ 6 回：実力養成演習８ 7 回：実践演習１ 8 回：応用力養成演習１４ 9 回：実力養成演習９ 10 回：実力養成演習１０ 11 回：実践演習２ 12 回：実践演習３ 13 回：実力養成演習１１ 14 回：実力養成演習１２ 15 回：実践演習４		16 回：実践演習５ 17 回：改正 18 回：改正 19 回：実践演習６ 20 回：実践演習７ 21 回：実力養成演習１３ 22 回：実力養成演習１４ 23 回：実践演習８ 24 回：実践演習９ 25 回：実力養成演習１５ 26 回：実力養成演習１６ 27 回：実践演習１０ 28 回：実践演習１１ 29 回：実力養成演習１７ 30 回：実力養成演習１８		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習１２ 32 回：実践演習１３ 33 回：実力養成演習１９ 34 回：実力養成演習２０ 35 回：実践演習１４ 36 回：実践演習１５ 37 回：実力養成演習２１ 38 回：実力養成演習２２ 39 回：実践演習１６ 40 回：実践演習１７ 41 回：実力養成演習２３ 42 回：実力養成演習２４ 43 回：実践演習１８ 44 回：実践演習１９ 45 回：実力養成演習２５		46 回：実力養成演習２６ 47 回：実践演習２０ 48 回：実践演習２１ 49 回：実力養成演習２７ 50 回：実力養成演習２８ 51 回：実践演習２３ 52 回：実践演習２４ 53 回：実力養成演習２９ 54 回：実力養成演習３０ 55 回：実践演習２５ 56 回：実践演習２６ 57 回：実力養成演習３１ 58 回：実力養成演習３２ 59 回：まとめ 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：納税義務者と課税所得の範囲 3 回：会社計算と税務計算の調整 4 回：各事業年度の所得の金額の計算方法 5 回：交際費等の損金不算入Ⅰ1 6 回：交際費等の損金不算入Ⅰ2 7 回：減価償却Ⅰ 8 回：減価償却Ⅱ1 9 回：減価償却Ⅱ2 10 回：減価償却Ⅱ3 11 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ1 12 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ2 13 回：寄附金の損金不算入Ⅰ1 14 回：寄附金の損金不算入Ⅰ2 15 回：有価証券Ⅰ1		16 回：有価証券Ⅰ2 17 回：租税公課等及び納税充当金Ⅰ 18 回：別表四の作成 19 回：事業年度 20 回：納税地 21 回：減価償却Ⅲ1 22 回：減価償却Ⅲ2 23 回：確定申告 24 回：まとめ 1 25 回：まとめ 2 26 回：法人税額の計算の基礎 27 回：使途秘匿金 28 回：青色申告 29 回：収益の額 1 30 回：貸倒損失Ⅰ1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：貸倒損失Ⅰ2 32 回：貸倒損失Ⅰ3 33 回：貸倒引当金Ⅰ1 34 回：貸倒引当金Ⅰ2 35 回：貸倒引当金Ⅰ3 36 回：貸倒引当金Ⅰ4 37 回：減価償却Ⅳ 38 回：欠損金Ⅰ1 39 回：欠損金Ⅰ2 40 回：欠損金Ⅰ3 41 回：収用等Ⅰ1 42 回：収用等Ⅰ2 43 回：貸倒引当金Ⅱ 44 回：収益の額 2 45 回：減価償却Ⅴ1		46 回：減価償却Ⅴ2 47 回：減価償却Ⅴ3 48 回：受取配当等の益金不算入Ⅱ 49 回：有価証券Ⅱ 50 回：交際費等・寄附金の損金不算入Ⅱ 51 回：租税公課等及び納税充当金Ⅱ 52 回：外貨建取引 53 回：有価証券Ⅲ1 54 回：有価証券Ⅲ2 55 回：所得税額控除 1 56 回：所得税額控除 2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ1 60 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	61 回：国庫補助金等 1 62 回：国庫補助金等 2 63 回：国庫補助金等 3 64 回：別表五（一）Ⅰの作成 65 回：圧縮記帳の概要Ⅰ 66 回：収用等Ⅱ 67 回：欠損金Ⅱ 68 回：利益積立金額 69 回：役員判定・役員給与Ⅰ1 70 回：役員判定・役員給与Ⅰ2 71 回：役員判定・役員給与Ⅰ3 72 回：役員判定・役員給与Ⅰ4 73 回：役員判定・役員給与Ⅱ1 74 回：役員判定・役員給与Ⅱ2 75 回：使用人給与Ⅰ1		76 回：使用人給与Ⅰ2 77 回：特定資産の買換え 1 78 回：特定資産の買換え 2 79 回：交際費等の損金不算入Ⅲ1 80 回：交際費等の損金不算入Ⅲ2 81 回：交際費等の損金不算入Ⅳ1 82 回：減価償却Ⅵ1 83 回：減価償却Ⅵ2 84 回：中間申告 85 回：減価償却Ⅶ 86 回：棚卸資産 87 回：保険差益 1 88 回：保険差益 2 89 回：まとめ 5 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：圧縮記帳の概要Ⅱ 2 回：別表五（一）Ⅱの作成 3 回：まとめ 1 4 回：まとめ 2 5 回：外国子会社配当等Ⅰ1 6 回：外国子会社配当等Ⅰ2 7 回：外国税額控除 1 8 回：外国税額控除 2 9 回：みなし配当Ⅰ1 10 回：みなし配当Ⅰ2 11 回：みなし配当Ⅰ3 12 回：圧縮記帳の概要Ⅲ 13 回：資本等取引Ⅰ 14 回：資本等取引Ⅱ 15 回：資本金等の額		16 回：役員判定・役員給与Ⅲ 17 回：役員判定・役員給与Ⅳ 18 回：使用人給与Ⅱ 19 回：交換差益 20 回：別表五（二）の作成 21 回：リース取引 1 22 回：リース取引 2 23 回：資本等取引Ⅲ1 24 回：資本等取引Ⅲ2 25 回：繰延資産 1 26 回：繰延資産 2 27 回：繰延資産 3 28 回：繰延資産 4 29 回：寄附金の損金不算入Ⅲ 30 回：減価償却Ⅷ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ1 34 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ2 35 回：確定決算型 1 36 回：確定決算型 2 37 回：グループ法人税制Ⅰ1 38 回：グループ法人税制Ⅰ2 39 回：グループ法人税制Ⅰ3 40 回：グループ法人税制Ⅰ4 41 回：資産の評価損益Ⅰ1 42 回：資産の評価損益Ⅰ2 43 回：欠損金Ⅲ1 44 回：欠損金Ⅲ2 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：グループ法人税制Ⅱ1 2 回：グループ法人税制Ⅱ2 3 回：グループ法人税制Ⅱ3 4 回：グループ法人税制Ⅱ4 5 回：グループ法人税制Ⅲ1 6 回：グループ法人税制Ⅲ2 7 回：グループ法人税制Ⅲ3 8 回：グループ法人税制Ⅲ4 9 回：収用等Ⅲ 10 回：保険料Ⅰ 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：設立事業年度 1 14 回：設立事業年度 2 15 回：まとめ 3		16 回：まとめ 4 17 回：組織再編税制Ⅰ1 18 回：組織再編税制Ⅰ2 19 回：組織再編税制Ⅰ3 20 回：組織再編税制Ⅰ4 21 回：組織再編税制Ⅰ5 22 回：組織再編税制Ⅰ6 23 回：組織再編税制Ⅰ7 24 回：組織再編税制Ⅰ8 25 回：組織再編税制Ⅰ9 26 回：組織再編税制Ⅰ10 27 回：組織再編税制Ⅰ11 28 回：組織再編税制Ⅰ12 29 回：みなし配当金Ⅱ1 30 回：みなし配当金Ⅱ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：帰属事業年度の特例 1 32 回：帰属事業年度の特例 2 33 回：修正申告 1 34 回：修正申告 2 35 回：更正の請求 36 回：決定・更正 37 回：受取配当等の益金不算入Ⅳ 38 回：寄附金の損金不算入Ⅳ1 39 回：移転価格税制 1 40 回：移転価格税制 2 41 回：税効果会計 1 42 回：税効果会計 2 43 回：税効果会計 3 44 回：デリバティブ取引 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	1 回：償還差損益 2 回：まとめ 1 3 回：まとめ 2 4 回：まとめ 3 5 回：賃上げ促進税制 6 回：組合事業等 7 回：過小資本税制 8 回：過大支払利子税制 9 回：まとめ 4 10 回：まとめ 5 11 回：まとめ 6 12 回：まとめ 7 13 回：外国子会社配当等Ⅱ 14 回：組織再編税制Ⅱ1 15 回：組織再編税制Ⅱ2		16 回：組織再編税制Ⅱ3 17 回：留保金課税 1 18 回：留保金課税 2 19 回：留保金課 3 20 回：留保金課税 4 21 回：適用除外事業者 22 回：社団法人・財団法人 23 回：まとめ 8 24 回：まとめ 9 25 回：地方法人税 26 回：欠損等法人 27 回：譲渡制限付株式 28 回：新株予約権 29 回：租税公課等及び納税充当金Ⅴ 30 回：有価証券Ⅳ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	31 回：借地権 32 回：外国子会社合算税制 33 回：不正行為に係る費用の取扱い 34 回：まとめ 10 35 回：まとめ 11 36 回：まとめ 12 37 回：グループ通算制度 1 38 回：グループ通算制度 2 39 回：グループ通算制度 3 40 回：グループ通算制度 4 41 回：グループ通算制度 5 42 回：グループ通算制度 6 43 回：グループ通算制度 7 44 回：グループ通算制度 8 45 回：所得金額の計算Ⅰ1		46 回：所得金額の計算Ⅰ2 47 回：減価償却XI1 48 回：減価償却XI2 49 回：まとめ 13 50 回：まとめ 14 51 回：まとめ 15 52 回：まとめ 16 53 回：試験研究費の特別控除 1 54 回：試験研究費の特別控除 2 55 回：試験研究費の特別控除 3 56 回：試験研究費の特別控除 4 57 回：まとめ 17 58 回：まとめ 18 59 回：まとめ 19 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：解散税制Ⅰ1 2 回：解散税制Ⅰ2 3 回：解散税制Ⅰ3 4 回：解散税制Ⅰ4 5 回：実力養成演習 1 6 回：実力養成演習 2 7 回：条文解釈 1 8 回：条文解釈 2 9 回：実力養成演習 3 10 回：実力養成演習 4 11 回：条文解釈 3 12 回：条文解釈 4 13 回：実力養成演習 5 14 回：実力養成演習 6 15 回：条文解釈 5		16 回：条文解釈 6 17 回：実力養成演習 7 18 回：実力養成演習 8 19 回：改正税法 1 20 回：改正税法 2 21 回：改正税法 3 22 回：改正税法 4 23 回：実践演習 1 24 回：実践演習 2 25 回：実践演習 3 26 回：実践演習 4 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：実践演習 5 30 回：実践演習 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：総合演習 1 34 回：総合演習 2 35 回：まとめ 5 36 回：まとめ 6 37 回：総合演習 3 38 回：総合演習 4 39 回：まとめ 7 40 回：まとめ 8 41 回：総合演習 5 42 回：総合演習 6 43 回：まとめ 9 44 回：まとめ 10 45 回：総合演習 7		46 回：総合演習 8 47 回：まとめ 11 48 回：まとめ 12 49 回：総合演習 9 50 回：総合演習 10 51 回：まとめ 13 52 回：まとめ 14 53 回：総合演習 11 54 回：総合演習 12 55 回：まとめ 15 56 回：まとめ 16 57 回：総合演習 13 58 回：総合演習 14 59 回：まとめ 17 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：相続税法の概要、民法 3 回：相続人、代襲相続 4 回：養子、相続の承認と放棄、相続分 1 5 回：相続分 2、遺言 6 回：相続税の納税義務者 7 回：生命保険金等 8 回：相続税の非課税財産、相続税額の計算 9 回：生命保険金等の非課税金額 10 回：退職手当金等と非課税金額 11 回：贈与税の概要 12 回：贈与税の納税義務者 13 回：弔慰金 14 回：債務控除 15 回：相続時精算課税制度 1		16 回：相続時精算課税制度 2 17 回：相続時精算課税適用財産 18 回：生前贈与加算 19 回：相続税額の総額、算出税額 20 回：相続税の期限内申告 21 回：相続税額の加算 22 回：贈与税額控除（暦年）1 23 回：贈与税額控除（暦年）2 24 回：配偶者の税額軽減 25 回：未成年者控除 26 回：障碍者控除 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：特定納税義務者と債務控除 30 回：贈与税額控除（精算）		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：財産評価の原則、自用地 32 回：自用家屋、家屋と一体設備 33 回：特別養子制度、法定相続人の数 34 回：生命保険契約に関する権利 35 回：地区区分の異なる宅地、側方一部 36 回：贈与税の期限内申告 37 回：普通借地権、貸宅地 38 回：貸家建付地、貸家建付借地権 39 回：一般動産、たな卸商品、書画骨とう品 40 回：期限後申告、修正申告 41 回：預貯金 42 回：上場株式 43 回：納税地 44 回：還付 45 回：小規模宅地等の特例 1-1		46 回：小規模宅地等の特例 1-2 47 回：小規模宅地等の特例 1-3 48 回：小規模宅地等の特例 1-4 49 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 50 回：小規模宅地等の特例 2-1 51 回：小規模宅地等の特例 2-2 52 回：更正の請求 53 回：間口狭小、奥行長大 54 回：角切り、使用貸借 55 回：小規模宅地等の特例 3-1 56 回：小規模宅地等の特例 3-2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：まとめ 5 60 回：延納		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	61 回：利用区分が異なる宅地、建物 62 回：相当の地代 63 回：小規模宅地等の特例 4 64 回：物納 65 回：取引相場のない株式 1-1 66 回：取引相場のない株式 1-2 67 回：取引相場のない株式 1-3 68 回：手続規定 69 回：取引相場のない株式 2-1 70 回：取引相場のない株式 2-2 71 回：取引相場のない株式 2-3 72 回：農地等の贈与税の納税猶予 73 回：建築中の家屋、公社債等 74 回：取引相場のない株式 3 75 回：小規模宅地等の特例 5		76 回：農地等の相続税の納税猶予 77 回：不整形地 78 回：地積規模の大きな宅地 79 回：取引相場のない株式 4 80 回：非上場株式等の贈与税の納税猶予 81 回：がけ地 82 回：取引相場のない株式 5-1 83 回：取引相場のない株式 5-2 84 回：非上場株式等の相続税の納税猶予 85 回：邦貨換算、旗竿上の宅地等 86 回：容積率の異なる宅地等 87 回：取引相場のない株式 6 88 回：特定計画山林 89 回：納税義務者（自然人以外） 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：私道 2 回：セットバック 3 回：上場株式（株式の割り当て） 4 回：相続財産法人 5 回：宅地等の評価単位 6 回：農地、山林、立木 7 回：上場株式（配当期待権） 8 回：特定非常災害 9 回：低額譲受、債務免除、債務引受 10 回：負担付遺贈・贈与 11 回：取引相場のない株式 1 12 回：信託 13 回：人格のない社団等 14 回：贈与税の非課税財産 15 回：取引相場のない株式 2		16 回：居住用の区分所財産 17 回：契約者貸付金 18 回：住宅取得等資金 19 回：受益証券等 20 回：ゴルフ会員権 21 回：措法 70 の非課税 22 回：権利義務の承継 23 回：保険金の評価 24 回：生前贈与加算 25 回：贈与税の配偶者控除 26 回：まとめ 1 27 回：まとめ 2 28 回：まとめ 3 29 回：民法 30 回：地区区分の異なる宅地、側方一部		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：普通借地権、貸宅地 32 回：納税義務者 33 回：相続税の非課税財産、本来の財産 34 回：生命保険金等 35 回：貸家建付地、貸家建付借地権 36 回：みなし取得財産 37 回：相続時精算課税制度 38 回：債務控除 39 回：区分地上権 40 回：課税価格および税額計算 41 回：特別養子制度 42 回：贈与税額控除 43 回：相続税額の加算 44 回：相続税総額、算出税額等 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：配偶者の税額軽減 2 回：未成年者控除 3 回：障害者控除 1 4 回：障害者控除 2 5 回：措法 70 の非課税 6 回：取引相場のない株式 1-1 7 回：取引相場のない株式 1-2 8 回：取引相場のない株式 1-3 9 回：相次相続控除 10 回：まとめ 1 11 回：まとめ 2 12 回：まとめ 3 13 回：贈与税の非課税財産 14 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 15 回：小規模宅地等の特例 1		16 回：小規模宅地等の特例 2 17 回：使用貸借 18 回：取引相場のない株式 2 19 回：居住用の区分所有財産 20 回：対象者（法定相続人） 21 回：増改築等 22 回：建築中の家屋 23 回：取引相場のない株式 3 24 回：申告（手続）1 25 回：弔慰金 26 回：相当の地代 27 回：公社債等 28 回：取引相場のない株式 4 29 回：住宅取得等資金 30 回：宅地の評価単位		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅲ-A	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：間口狭小、奥行長大等 32 回：申告（手続）2 33 回：低額譲受等、負担付遺贈・贈与 34 回：不整形地、旗竿上の宅地等 35 回：取引相場のない株式 5 36 回：特定非常災害、災免法 37 回：贈与税の配偶者控除 38 回：対象者 39 回：課税価格および税額計算 40 回：まとめ 4 41 回：人格のない社団等 42 回：ゴルフ会員権 43 回：上場株式・株式に関する権利 44 回：未分割時の取扱い 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	1 回：教育資金の一括贈与 2 回：土砂災害特別警戒区域内にある宅地 3 回：立木・立木の評価減 4 回：取引相場のない株式 1 5 回：私道 6 回：セットバック、都市計画道路予定地 7 回：受益証券等 8 回：延納、物納 9 回：権利義務の承継 10 回：相続時精算課税制度 1 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：農地、山林 14 回：転換社債型新株予約権付社債 15 回：連帯納付		16 回：納付（手続）1 17 回：納付（手続）2 18 回：譲渡担保 19 回：取引相場のない株式 2 20 回：非上場株式等の納税猶予制度 1 21 回：保険金の評価 22 回：個人の事業用資産の贈与税の納税猶予 23 回：個人の事業用資産の相続税の納税猶予 24 回：相続時精算課税制度 2 25 回：まとめ 3 26 回：まとめ 4 27 回：定期金に関する権利 28 回：保証期間付定期金に関する権利 29 回：契約に基づかない定期金に関する権利 30 回：みなし取得財産		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	31 回：生命保険金等 32 回：信託 33 回：養子の応用 34 回：結婚・子育て資金 35 回：配偶者居住権 36 回：贈与税額控除（暦年） 37 回：取引相場のない株式 3 38 回：納税義務者 39 回：定期借地権 40 回：取引相場のない株式 4 41 回：不動産 42 回：課税価格および税額計算 43 回：対象者 44 回：納付（手続） 45 回：取引相場のない株式 5		46 回：非上場株式等の納税猶予制度 2 47 回：相続税と贈与税の関係 48 回：相続開始年分の贈与税の計算 49 回：無道路地 50 回：みなし取得財産 51 回：相続時精算課税制度 3 52 回：申告（手続） 53 回：まとめ 5 54 回：まとめ 6 55 回：まとめ 7 56 回：まとめ 8 57 回：実力養成演習 1 58 回：実力養成演習 2 59 回：実力養成演習 3 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の実践的な税額計算ができる 相続税法の実践的な財産評価ができる 相続税法の実践的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：まとめ 1 12 回：応用力養成演習 1 13 回：応用力養成演習 2 14 回：応用力養成演習 3 15 回：応用力養成演習 4		16 回：応用力養成演習 5 17 回：実践演習 1 18 回：実践演習 2 19 回：実践演習 3 20 回：実践演習 4 21 回：実践演習 5 22 回：実践演習 6 23 回：実践演習 7 24 回：実践演習 8 25 回：実践演習 9 26 回：実践演習 10 27 回：まとめ 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入における基本的な会計処理を学ぶ。 【概要】 帳簿記入における基本的な会計処理を学習します				
到達目標	帳簿記入における基本的な知識を理解している 帳簿記入における基本的な会計処理ができる 基本的な試算表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記一巡 3 回：現金預金 4 回：債権債務 5 回：商品売買 6 回：固定資産 7 回：貸倒れ 8 回：給与等 9 回：税金 10 回：純資産 11 回：退職給付会計 12 回：社債 13 回：割引現在価値計算 14 回：税効果会計 15 回：有価証券		16 回：減損会計 17 回：繰延資産 18 回：外貨建会計 19 回：特殊商品売買 20 回：リース会計 21 回：本支店会計 22 回：圧縮記帳 23 回：資産除去債務 24 回：キャッシュ・フロー会計 25 回：組織再編会計 26 回：連結会計 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記一巡の手続きや各種の帳簿の関連を確認し、基本的な取引から簿記の仕組みを習得する 【概要】 各種の帳簿の記入方法と簿記の手続きを理解し、基本的な期中取引及び決算取引を学ぶ				
到達目標	簿記一巡の流れを理解している 基礎的な期中取引仕訳及び決算整理仕訳ができる 試算表作成及び財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記の概要Ⅰ 3 回：現金預金Ⅰ1 4 回：債権債務Ⅰ 5 回：商品売買Ⅰ1 6 回：固定資産Ⅰ1 7 回：ソフトウェアⅠ 8 回：貸倒れⅠ 9 回：給料等Ⅰ1 10 回：税金Ⅰ1 11 回：給料等Ⅰ2 12 回：税金Ⅰ2 13 回：純資産Ⅰ1 14 回：退職給付会計Ⅰ 15 回：社債Ⅰ1		16 回：商品売買Ⅰ2 17 回：固定資産Ⅰ2 18 回：社債Ⅰ2 19 回：商品売買Ⅰ3 20 回：有価証券Ⅰ1 21 回：現金預金Ⅰ2 22 回：社債Ⅰ3 23 回：税効果会計Ⅰ 24 回：商品売買Ⅰ4 25 回：純資産Ⅰ2 26 回：割引現在価値計算Ⅰ 27 回：有価証券Ⅰ2 28 回：保険金Ⅰ 29 回：減損会計Ⅰ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 株式会社における応用的な期中取引及び決算取引を確認し、ハイレベルな知識を習得する 【概要】 株式会社における応用的な会計処理方法と財務諸表作成の方法を学ぶ				
到達目標	応用的な期中取引仕訳ができる 応用的な決算整理仕訳ができる 商品売買を理解している				
授業内容	1 回：現金預金Ⅱ 2 回：リース会計Ⅰ1 3 回：外貨建会計Ⅰ1 4 回：外貨建会計Ⅰ2 5 回：退職給付会計Ⅱ1 6 回：割賦販売Ⅰ 7 回：外貨建会計Ⅰ3 8 回：新株予約権付社債Ⅰ1 9 回：試用販売Ⅰ1 10 回：退職給付会計Ⅱ2 11 回：本支店会計Ⅰ1 12 回：商品売買Ⅱ 13 回：外貨建会計Ⅰ4 14 回：試用販売Ⅰ2 15 回：新株予約権社債Ⅰ2		16 回：本支店会計Ⅰ2 17 回：資産除去債務Ⅰ 18 回：委託販売・受託販売Ⅰ 19 回：組織再編会計Ⅰ1 20 回：リース会計Ⅰ2 21 回：連結会計Ⅰ1 22 回：外貨建会計Ⅰ5 23 回：連結会計Ⅰ2 24 回：製造業会計Ⅰ 25 回：会計上の変更等Ⅰ 26 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅰ 27 回：有価証券Ⅱ 28 回：組織再編会計Ⅰ2 29 回：ソフトウェアⅡ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	1 回：帳簿組織Ⅰ 2 回：キャッシュ・フロー計算書Ⅱ 3 回：固定資産Ⅱ 4 回：ストック・オプションⅠ 5 回：連結会計Ⅱ 6 回：税効果会計Ⅱ 7 回：収益認識Ⅰ 8 回：本支店会計Ⅱ 9 回：金利スワップⅠ 10 回：ストック・オプションⅡ 11 回：建設業会計Ⅰ 12 回：ソフトウェアⅢ 13 回：リース会計Ⅱ 14 回：簿記の概要Ⅲ 15 回：純資産Ⅱ		16 回：リース会計Ⅲ 17 回：固定資産Ⅲ 18 回：組織再編会計Ⅱ 19 回：帳簿組織Ⅱ 20 回：収益認識Ⅱ 21 回：連結会計Ⅲ 22 回：ゴルフ会員権Ⅰ 23 回：社債Ⅱ 24 回：基礎演習 1 25 回：基礎演習 2 26 回：基礎演習 3 27 回：基礎演習 4 28 回：基礎演習 5 29 回：基礎演習 6 30 回：応用演習 1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職業会計人として求められる簿記の専門知識を習得する 【概要】 各企業ごとに求められる計算書類の作成及び会計処理技術を学ぶ				
到達目標	株式会社会計を理解している 各種計算書類の作成ができる 連結会計を理解している				
授業内容	31 回：応用演習 2 32 回：応用演習 3 33 回：応用演習 4 34 回：応用演習 5 35 回：応用演習 6 36 回：応用演習 7 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：総合演習 11 12 回：総合演習 12 13 回：総合演習 13 14 回：総合演習 14 15 回：総合演習 15	16 回：まとめ 1 17 回：応用力養成演習 1 18 回：応用力養成演習 2 19 回：応用力養成演習 3 20 回：応用力養成演習 4 21 回：応用力養成演習 5 22 回：応用力養成演習 6 23 回：応用力養成演習 7 24 回：応用力養成演習 8 25 回：応用力養成演習 9 26 回：応用力養成演習 10 27 回：応用力養成演習 11 28 回：応用力養成演習 12 29 回：応用力養成演習 13 30 回：応用力養成演習 14			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務に必要な会計処理が一通りできるようになるための実践力を習得する 【概要】 演習を通じて、実際に近い形の具体的条件のもと、応用的な部分も含めて実際に自分で最後まで計算できるような実践力を学ぶ				
到達目標	会計処理の基礎的内容を理解している 会計処理の応用的内容を理解している 職業会計人として求められる会計技術を理解している				
授業内容	31 回：応用力養成演習 15 32 回：まとめ 2 33 回：実践演習 1 34 回：実践演習 2 35 回：実践演習 3 36 回：実践演習 4 37 回：実践演習 5 38 回：実践演習 6 39 回：実践演習 7 40 回：実践演習 8 41 回：実践演習 9 42 回：実践演習 10 43 回：実践演習 11 44 回：実践演習 12 45 回：実践演習 13		46 回：実践演習 14 47 回：実践演習 15 48 回：まとめ 3 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における基本的な知識を理解している 財務諸表作成における基本的な会計基準の理解及び会計処理ができる 基本的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：財務諸表作成の基礎 2 4 回：債権債務 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：貸倒れⅠ1 10 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 11 回：財務諸表論の基礎概念 1 12 回：財務諸表論の基礎概念 2 13 回：現金及び預金 2 14 回：貸倒れⅠ2 15 回：財務諸表論の基礎概念 3		16 回：一般原則 1 17 回：債権債務 3 18 回：棚卸資産 2 19 回：給与等 20 回：一般原則 2 21 回：固定資産Ⅰ 22 回：株主資本Ⅰ 23 回：一般原則 3 24 回：一般原則 4 25 回：まとめ 1 26 回：財務諸表論の基礎概念 4 27 回：一般原則 5 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における応用的な知識を理解している 財務諸表作成における応用的な会計基準の理解及び会計処理ができる 応用的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：債権債務 1 4 回：財務諸表作成の基礎概念 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：財務諸表論の基礎概念 2 10 回：一般原則 1 11 回：貸倒れⅠ1 12 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 13 回：一般原則 2 14 回：債権債務 3 15 回：棚卸資産Ⅰ2		16 回：給料等 1 17 回：退職給付会計Ⅰ1 18 回：その他の引当金 19 回：一般原則 3 20 回：固定資産Ⅰ 21 回：株主資本Ⅰ1 22 回：一般原則 4 23 回：まとめ 24 回：財務諸表作成の基礎 3 25 回：税金Ⅰ 26 回：有価証券Ⅰ 27 回：社債 28 回：損益計算論 1 29 回：固定資産Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における総合的な知識を理解している 財務諸表作成における総合的な会計基準の理解及び会計処理ができる 総合的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：損益計算論 2 2 回：給与等 3 回：税金Ⅰ 4 回：有価証券Ⅰ 5 回：社債 6 回：株主資本Ⅱ 7 回：損益計算論 3 8 回：税効果会計Ⅰ 9 回：損益計算論 4 10 回：財務諸表作成の基礎 11 回：固定資産Ⅲ 12 回：株主資本Ⅱ 13 回：現在価値計算 14 回：固定資産Ⅳ 15 回：財務諸表論の基礎概念		16 回：貸借対照表総論 17 回：資産総論 1 18 回：固定資産Ⅰ 19 回：固定資産Ⅴ 20 回：資産総論 2 21 回：有価証券Ⅱ 22 回：貸倒れⅡ 23 回：棚卸資産 24 回：固定資産 1 25 回：まとめ 26 回：外貨建取引Ⅰ 27 回：固定資産Ⅵ 28 回：繰延資産 29 回：税金Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：棚卸資産Ⅱ 2 回：退職給付会計Ⅱ 3 回：固定資産 3 4 回：固定資産Ⅶ 5 回：繰延資産 6 回：負債 1 7 回：外貨建取引Ⅱ 8 回：金融商品応用項目Ⅰ 9 回：負債 2 10 回：資産総論 11 回：財務諸表論の基礎概念 2 12 回：損益計算論 1 13 回：損益計算論 2 14 回：金融商品 15 回：会計上の変更等		16 回：新株予約権・新株予約権付社債 17 回：まとめ 1 18 回：製造業会計 19 回：研究開発費等会計 20 回：財務諸表論の基礎概念 4 21 回：外貨建取Ⅲ 22 回：収益性の低下 23 回：固定資産Ⅵ 24 回：ストック・オプション等会計 25 回：外貨換算会計 26 回：キャッシュ・フロー計算書 27 回：リース会計 28 回：純資産会計 29 回：まとめ 2 30 回：株主資本Ⅲ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における特殊な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における特殊な項目の知識を理解している 財務諸表作成における特殊な項目の会計基準の理解及び会計処理ができる 特殊な項目を含んだ財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：組織再編会計 32 回：分配可能額 33 回：財務諸表論の基礎概念 5 34 回：税効果会計 35 回：連結会計 36 回：財務諸表論の基礎概念 6 37 回：実力養成演習 1 38 回：実力養成演習 2 39 回：実力養成演習 3 40 回：実力養成演習 4 41 回：実力養成演習 5 42 回：実力養成演習 6 43 回：実力養成演習 7 44 回：実力養成演習 8 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：条文解釈 1 2 回：総合演習 1、条文解説 3 回：応用力養成演習 1 4 回：条文解釈 2 5 回：総合演習 2 6 回：応用力養成演習 2 7 回：条文解釈 3 8 回：総合演習 3 9 回：応用力養成演習 3 10 回：条文解釈 4 11 回：総合演習 4 12 回：応用力養成演習 4 13 回：条文解釈 5 14 回：総合演習 5 15 回：応用力養成演習 5		16 回：条文解釈 6 17 回：総合演習 6 18 回：応用力養成演習 6 19 回：条文解釈 7 20 回：総合演習 7 21 回：応用力養成演習 7 22 回：条文解釈 8 23 回：総合演習 8 24 回：応用力養成演習 8 25 回：条文解釈 9 26 回：総合演習 9 27 回：応用力養成演習 9 28 回：条文解釈 10 29 回：総合演習 10 30 回：応用力養成演習 10		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における実践的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における実践的な知識を理解している 財務諸表作成における実践的な会計基準の理解及び会計処理ができる 実践的な財務諸表作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習 1 32 回：実践演習 2 33 回：実践演習 3 34 回：実践演習 4 35 回：実践演習 5 36 回：実践演習 6 37 回：実践演習 7 38 回：実践演習 8 39 回：実践演習 9 40 回：実践演習 10 41 回：実践演習 11 42 回：実践演習 12 43 回：実践演習 13 44 回：実践演習 14 45 回：実践演習 15		46 回：実践演習 16 47 回：実践演習 17 48 回：実践演習 18 49 回：実践力養成演習 1 50 回：実践力養成演習 2 51 回：実践力養成演習 3 52 回：実践力養成演習 4 53 回：実践力養成演習 5 54 回：実践力養成演習 6 55 回：実践力養成演習 7 56 回：実践力養成演習 8 57 回：実践力養成演習 9 58 回：実践力養成演習 10 59 回：実践力養成演習 11 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：消費税法の概要１ 3 回：消費税法の概要２ 4 回：理論確認、課税の対象１ 5 回：課税の対象２ 6 回：課税の対象３、条文解説 7 回：理論確認、非課税１ 8 回：非課税２ 9 回：非課税３ 10 回：非課税４、条文解説 11 回：理論確認、資産の譲渡等の時期 12 回：輸出免税 13 回：控除対象仕入税額１ 14 回：仕入税額控除２、条文解説 15 回：理論確認、控除対象仕入税額３		16 回：売上げに係る対価の返還等 17 回：課税仕入れの範囲１、条文解説 18 回：課税仕入れ等の範囲２、条文解説 19 回：理論確認、課税仕入れ等の時期 20 回：貸倒れが生じた場合 21 回：課税売上割合１、条文解説 22 回：理論確認、計算解答方法 23 回：課税期間における課税売上高 24 回：控除対象仕入税額４、条文解説 25 回：まとめ 26 回：課税売上割合に準ずる割合 27 回：仕入に係る対価の返還等 28 回：納税義務の免除１ 29 回：納税義務の免除２、条文解説 30 回：理論確認、課税売上割合２		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	31 回：中間申告に係る納付税額 32 回：総合演習１、条文解説 33 回：理論確認、仮計表 34 回：国境を越えた役務の提供１ 35 回：国境を越えた役務の提供２ 36 回：国境を越えた役務の提供３、条文解説 37 回：理論確認、課税仕入れ等の分類１ 38 回：課税仕入れ等の分類２ 39 回：課税仕入れ等の分類３ 40 回：課税仕入れ等の分類４、条文解説 41 回：理論確認、仕入税額控除の特例 42 回：非課税資産の輸出１ 43 回：非課税資産の輸出２ 44 回：非課税資産の輸出３、条文確認 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の応用的な税額計算ができる 消費税の応用的な条文解釈ができる 消費税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：理論確認 2 回：総合演習２ 3 回：総合演習３ 4 回：総合演習４ 5 回：理論確認、調整対象固定資産１ 6 回：調整対象固定資産２ 7 回：調整対象固定資産３、条文解説 8 回：調整対象固定資産４、条文解説 9 回：理論確認、総合演習５ 10 回：総合演習６ 11 回：納税義務の免除特例（特定期間） 12 回：条文解説 13 回：まとめ 14 回：納税義務の免除（相続） 15 回：納税義務の免除（吸収合併）		16 回：納税義務の免除特例（新設合併） 17 回：条文解説 18 回：理論確認、納税義務の免除特例（分割１） 19 回：納税義務の免除特例（分割２） 20 回：納税義務の免除特例（分割３） 21 回：条文解説 22 回：理論確認、納税義務の体系１ 23 回：納税義務の免除特例（新設法人） 24 回：納税義務の免除特例（特定新規法人１） 25 回：納税義務の免除特例（特定新規法人２） 26 回：理論確認、納税義務の免除体系２ 27 回：棚卸資産の仕入税額控除調整１ 28 回：棚卸資産の仕入税額控除調整２ 29 回：特殊項目１、条文解説 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の総合的な税額計算ができます 消費税の総合的な条文解釈ができます 消費税の総合的な申告書作成ができます				
授業内容	1 回：理論確認、課税標準１ 2 回：課税標準２ 3 回：課税標準３、条文解説 4 回：理論確認、簡易課税１ 5 回：簡易課税２ 6 回：簡易課税３ 7 回：簡易課税４、条文解説 8 回：理論確認、合併中間申告１ 9 回：合併中間申告２、条文解説 10 回：まとめ 11 回：居住用賃貸建物の調整１ 12 回：居住用賃貸建物の調整２ 13 回：２割特例 14 回：軽減税率１ 15 回：軽減税率２、総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の特殊論点について学習します				
到達目標	消費税の特殊論点な項目の税額計算ができる 消費税の特殊論点な項目の条文解釈ができる 消費税の特殊論点な項目の申告書作成ができる				
授業内容	1 回：国等に対する特例１ 2 回：国等に対する特例２ 3 回：国等に対する特例３ 4 回：条文解説 5 回：理論確認、総合演習７ 6 回：総合演習８ 7 回：総合演習９ 8 回：理論確認 9 回：総合演習１０ 10 回：総合演習１１ 11 回：理論確認 12 回：応用力養成演習１ 13 回：応用力養成演習２ 14 回：応用力養成演習３ 15 回：理論確認		16 回：応用力養成演習４ 17 回：応用力養成演習５ 18 回：まとめ 19 回：まとめ 20 回：応用力養成演習６ 21 回：応用力養成演習７ 22 回：実力養成演習１ 23 回：実力養成演習２ 24 回：応用力養成演習８ 25 回：応用力養成演習９ 26 回：実力養成演習３ 27 回：実力養成演習４ 28 回：応用力養成演習１０ 29 回：応用力養成演習１１ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習５ 2 回：実力養成演習６ 3 回：応用力養成演習１２ 4 回：応用力養成演習１３ 5 回：実力養成演習７ 6 回：実力養成演習８ 7 回：実践演習１ 8 回：応用力養成演習１４ 9 回：実力養成演習９ 10 回：実力養成演習１０ 11 回：実践演習２ 12 回：実践演習３ 13 回：実力養成演習１１ 14 回：実力養成演習１２ 15 回：実践演習４		16 回：実践演習５ 17 回：改正 18 回：改正 19 回：実践演習６ 20 回：実践演習７ 21 回：実力養成演習１３ 22 回：実力養成演習１４ 23 回：実践演習８ 24 回：実践演習９ 25 回：実力養成演習１５ 26 回：実力養成演習１６ 27 回：実践演習１０ 28 回：実践演習１１ 29 回：実力養成演習１７ 30 回：実力養成演習１８		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の実践的な税額計算ができる 消費税の実践的な条文解釈ができる 消費税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：実践演習１２ 32 回：実践演習１３ 33 回：実力養成演習１９ 34 回：実力養成演習２０ 35 回：実践演習１４ 36 回：実践演習１５ 37 回：実力養成演習２１ 38 回：実力養成演習２２ 39 回：実践演習１６ 40 回：実践演習１７ 41 回：実力養成演習２３ 42 回：実力養成演習２４ 43 回：実践演習１８ 44 回：実践演習１９ 45 回：実力養成演習２５		46 回：実力養成演習２６ 47 回：実践演習２０ 48 回：実践演習２１ 49 回：実力養成演習２７ 50 回：実力養成演習２８ 51 回：実践演習２３ 52 回：実践演習２４ 53 回：実力養成演習２９ 54 回：実力養成演習３０ 55 回：実践演習２５ 56 回：実践演習２６ 57 回：実力養成演習３１ 58 回：実力養成演習３２ 59 回：まとめ 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：納税義務者と課税所得の範囲 3 回：会社計算と税務計算の調整 4 回：各事業年度の所得の金額の計算方法 5 回：交際費等の損金不算入Ⅰ1 6 回：交際費等の損金不算入Ⅰ2 7 回：減価償却Ⅰ 8 回：減価償却Ⅱ1 9 回：減価償却Ⅱ2 10 回：減価償却Ⅱ3 11 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ1 12 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ2 13 回：寄附金の損金不算入Ⅰ1 14 回：寄附金の損金不算入Ⅰ2 15 回：有価証券Ⅰ1		16 回：有価証券Ⅰ2 17 回：租税公課等及び納税充当金Ⅰ 18 回：別表四の作成 19 回：事業年度 20 回：納税地 21 回：減価償却Ⅲ1 22 回：減価償却Ⅲ2 23 回：確定申告 24 回：まとめ 1 25 回：まとめ 2 26 回：法人税額の計算の基礎 27 回：使途秘匿金 28 回：青色申告 29 回：収益の額 1 30 回：貸倒損失Ⅰ1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：貸倒損失Ⅰ2 32 回：貸倒損失Ⅰ3 33 回：貸倒引当金Ⅰ1 34 回：貸倒引当金Ⅰ2 35 回：貸倒引当金Ⅰ3 36 回：貸倒引当金Ⅰ4 37 回：減価償却Ⅳ 38 回：欠損金Ⅰ1 39 回：欠損金Ⅰ2 40 回：欠損金Ⅰ3 41 回：収用等Ⅰ1 42 回：収用等Ⅰ2 43 回：貸倒引当金Ⅱ 44 回：収益の額 2 45 回：減価償却Ⅴ1		46 回：減価償却Ⅴ2 47 回：減価償却Ⅴ3 48 回：受取配当等の益金不算入Ⅱ 49 回：有価証券Ⅱ 50 回：交際費等・寄附金の損金不算入Ⅱ 51 回：租税公課等及び納税充当金Ⅱ 52 回：外貨建取引 53 回：有価証券Ⅲ1 54 回：有価証券Ⅲ2 55 回：所得税額控除 1 56 回：所得税額控除 2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ1 60 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	61 回：国庫補助金等 1 62 回：国庫補助金等 2 63 回：国庫補助金等 3 64 回：別表五（一）Ⅰの作成 65 回：圧縮記帳の概要Ⅰ 66 回：収用等Ⅱ 67 回：欠損金Ⅱ 68 回：利益積立金額 69 回：役員判定・役員給与Ⅰ1 70 回：役員判定・役員給与Ⅰ2 71 回：役員判定・役員給与Ⅰ3 72 回：役員判定・役員給与Ⅰ4 73 回：役員判定・役員給与Ⅱ1 74 回：役員判定・役員給与Ⅱ2 75 回：使用人給与Ⅰ1		76 回：使用人給与Ⅰ2 77 回：特定資産の買換え 1 78 回：特定資産の買換え 2 79 回：交際費等の損金不算入Ⅲ1 80 回：交際費等の損金不算入Ⅲ2 81 回：交際費等の損金不算入Ⅳ1 82 回：減価償却Ⅵ1 83 回：減価償却Ⅵ2 84 回：中間申告 85 回：減価償却Ⅶ 86 回：棚卸資産 87 回：保険差益 1 88 回：保険差益 2 89 回：まとめ 5 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：圧縮記帳の概要Ⅱ 2 回：別表五（一）Ⅱの作成 3 回：まとめ 1 4 回：まとめ 2 5 回：外国子会社配当等Ⅰ1 6 回：外国子会社配当等Ⅰ2 7 回：外国税額控除 1 8 回：外国税額控除 2 9 回：みなし配当Ⅰ1 10 回：みなし配当Ⅰ2 11 回：みなし配当Ⅰ3 12 回：圧縮記帳の概要Ⅲ 13 回：資本等取引Ⅰ 14 回：資本等取引Ⅱ 15 回：資本金等の額		16 回：役員判定・役員給与Ⅲ 17 回：役員判定・役員給与Ⅳ 18 回：使用人給与Ⅱ 19 回：交換差益 20 回：別表五（二）の作成 21 回：リース取引 1 22 回：リース取引 2 23 回：資本等取引Ⅲ1 24 回：資本等取引Ⅲ2 25 回：繰延資産 1 26 回：繰延資産 2 27 回：繰延資産 3 28 回：繰延資産 4 29 回：寄附金の損金不算入Ⅲ 30 回：減価償却Ⅷ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ1 34 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ2 35 回：確定決算型 1 36 回：確定決算型 2 37 回：グループ法人税制Ⅰ1 38 回：グループ法人税制Ⅰ2 39 回：グループ法人税制Ⅰ3 40 回：グループ法人税制Ⅰ4 41 回：資産の評価損益Ⅰ1 42 回：資産の評価損益Ⅰ2 43 回：欠損金Ⅲ1 44 回：欠損金Ⅲ2 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：グループ法人税制Ⅱ1 2 回：グループ法人税制Ⅱ2 3 回：グループ法人税制Ⅱ3 4 回：グループ法人税制Ⅱ4 5 回：グループ法人税制Ⅲ1 6 回：グループ法人税制Ⅲ2 7 回：グループ法人税制Ⅲ3 8 回：グループ法人税制Ⅲ4 9 回：収用等Ⅲ 10 回：保険料Ⅰ 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：設立事業年度 1 14 回：設立事業年度 2 15 回：まとめ 3		16 回：まとめ 4 17 回：組織再編税制Ⅰ1 18 回：組織再編税制Ⅰ2 19 回：組織再編税制Ⅰ3 20 回：組織再編税制Ⅰ4 21 回：組織再編税制Ⅰ5 22 回：組織再編税制Ⅰ6 23 回：組織再編税制Ⅰ7 24 回：組織再編税制Ⅰ8 25 回：組織再編税制Ⅰ9 26 回：組織再編税制Ⅰ10 27 回：組織再編税制Ⅰ11 28 回：組織再編税制Ⅰ12 29 回：みなし配当金Ⅱ1 30 回：みなし配当金Ⅱ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：帰属事業年度の特例 1 32 回：帰属事業年度の特例 2 33 回：修正申告 1 34 回：修正申告 2 35 回：更正の請求 36 回：決定・更正 37 回：受取配当等の益金不算入Ⅳ 38 回：寄附金の損金不算入Ⅳ1 39 回：移転価格税制 1 40 回：移転価格税制 2 41 回：税効果会計 1 42 回：税効果会計 2 43 回：税効果会計 3 44 回：デリバティブ取引 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	1 回：償還差損益 2 回：まとめ 1 3 回：まとめ 2 4 回：まとめ 3 5 回：賃上げ促進税制 6 回：組合事業等 7 回：過小資本税制 8 回：過大支払利子税制 9 回：まとめ 4 10 回：まとめ 5 11 回：まとめ 6 12 回：まとめ 7 13 回：外国子会社配当等Ⅱ 14 回：組織再編税制Ⅱ1 15 回：組織再編税制Ⅱ2		16 回：組織再編税制Ⅱ3 17 回：留保金課税 1 18 回：留保金課税 2 19 回：留保金課 3 20 回：留保金課税 4 21 回：適用除外事業者 22 回：社団法人・財団法人 23 回：まとめ 8 24 回：まとめ 9 25 回：地方法人税 26 回：欠損等法人 27 回：譲渡制限付株式 28 回：新株予約権 29 回：租税公課等及び納税充当金Ⅴ 30 回：有価証券Ⅳ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の特殊論点について学習します				
到達目標	法人税法の特殊な項目の税額計算ができる 法人税の特殊な項目の条文解釈ができる 演習を通じて法人税の特殊な項目を含んだ申告書作成ができる				
授業内容	31 回：借地権 32 回：外国子会社合算税制 33 回：不正行為に係る費用の取扱い 34 回：まとめ 10 35 回：まとめ 11 36 回：まとめ 12 37 回：グループ通算制度 1 38 回：グループ通算制度 2 39 回：グループ通算制度 3 40 回：グループ通算制度 4 41 回：グループ通算制度 5 42 回：グループ通算制度 6 43 回：グループ通算制度 7 44 回：グループ通算制度 8 45 回：所得金額の計算Ⅰ1		46 回：所得金額の計算Ⅰ2 47 回：減価償却XI1 48 回：減価償却XI2 49 回：まとめ 13 50 回：まとめ 14 51 回：まとめ 15 52 回：まとめ 16 53 回：試験研究費の特別控除 1 54 回：試験研究費の特別控除 2 55 回：試験研究費の特別控除 3 56 回：試験研究費の特別控除 4 57 回：まとめ 17 58 回：まとめ 18 59 回：まとめ 19 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：解散税制Ⅰ1 2 回：解散税制Ⅰ2 3 回：解散税制Ⅰ3 4 回：解散税制Ⅰ4 5 回：実力養成演習 1 6 回：実力養成演習 2 7 回：条文解釈 1 8 回：条文解釈 2 9 回：実力養成演習 3 10 回：実力養成演習 4 11 回：条文解釈 3 12 回：条文解釈 4 13 回：実力養成演習 5 14 回：実力養成演習 6 15 回：条文解釈 5		16 回：条文解釈 6 17 回：実力養成演習 7 18 回：実力養成演習 8 19 回：改正税法 1 20 回：改正税法 2 21 回：改正税法 3 22 回：改正税法 4 23 回：実践演習 1 24 回：実践演習 2 25 回：実践演習 3 26 回：実践演習 4 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：実践演習 5 30 回：実践演習 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の実践的な税額計算ができる 法人税の実践的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の実践的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：総合演習 1 34 回：総合演習 2 35 回：まとめ 5 36 回：まとめ 6 37 回：総合演習 3 38 回：総合演習 4 39 回：まとめ 7 40 回：まとめ 8 41 回：総合演習 5 42 回：総合演習 6 43 回：まとめ 9 44 回：まとめ 10 45 回：総合演習 7		46 回：総合演習 8 47 回：まとめ 11 48 回：まとめ 12 49 回：総合演習 9 50 回：総合演習 10 51 回：まとめ 13 52 回：まとめ 14 53 回：総合演習 11 54 回：総合演習 12 55 回：まとめ 15 56 回：まとめ 16 57 回：総合演習 13 58 回：総合演習 14 59 回：まとめ 17 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：相続税法の概要、民法 3 回：相続人、代襲相続 4 回：養子、相続の承認と放棄、相続分 1 5 回：相続分 2、遺言 6 回：相続税の納税義務者 7 回：生命保険金等 8 回：相続税の非課税財産、相続税額の計算 9 回：生命保険金等の非課税金額 10 回：退職手当金等と非課税金額 11 回：贈与税の概要 12 回：贈与税の納税義務者 13 回：弔慰金 14 回：債務控除 15 回：相続時精算課税制度 1		16 回：相続時精算課税制度 2 17 回：相続時精算課税適用財産 18 回：生前贈与加算 19 回：相続税額の総額、算出税額 20 回：相続税の期限内申告 21 回：相続税額の加算 22 回：贈与税額控除（暦年）1 23 回：贈与税額控除（暦年）2 24 回：配偶者の税額軽減 25 回：未成年者控除 26 回：障碍者控除 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：特定納税義務者と債務控除 30 回：贈与税額控除（精算）		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：財産評価の原則、自用地 32 回：自用家屋、家屋と一体設備 33 回：特別養子制度、法定相続人の数 34 回：生命保険契約に関する権利 35 回：地区区分の異なる宅地、側方一部 36 回：贈与税の期限内申告 37 回：普通借地権、貸宅地 38 回：貸家建付地、貸家建付借地権 39 回：一般動産、たな卸商品、書画骨とう品 40 回：期限後申告、修正申告 41 回：預貯金 42 回：上場株式 43 回：納税地 44 回：還付 45 回：小規模宅地等の特例 1-1		46 回：小規模宅地等の特例 1-2 47 回：小規模宅地等の特例 1-3 48 回：小規模宅地等の特例 1-4 49 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 50 回：小規模宅地等の特例 2-1 51 回：小規模宅地等の特例 2-2 52 回：更正の請求 53 回：間口狭小、奥行長大 54 回：角切り、使用貸借 55 回：小規模宅地等の特例 3-1 56 回：小規模宅地等の特例 3-2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：まとめ 5 60 回：延納		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	61 回：利用区分が異なる宅地、建物 62 回：相当の地代 63 回：小規模宅地等の特例 4 64 回：物納 65 回：取引相場のない株式 1-1 66 回：取引相場のない株式 1-2 67 回：取引相場のない株式 1-3 68 回：手続規定 69 回：取引相場のない株式 2-1 70 回：取引相場のない株式 2-2 71 回：取引相場のない株式 2-3 72 回：農地等の贈与税の納税猶予 73 回：建築中の家屋、公社債等 74 回：取引相場のない株式 3 75 回：小規模宅地等の特例 5		76 回：農地等の相続税の納税猶予 77 回：不整形地 78 回：地積規模の大きな宅地 79 回：取引相場のない株式 4 80 回：非上場株式等の贈与税の納税猶予 81 回：がけ地 82 回：取引相場のない株式 5-1 83 回：取引相場のない株式 5-2 84 回：非上場株式等の相続税の納税猶予 85 回：邦貨換算、旗竿上の宅地等 86 回：容積率の異なる宅地等 87 回：取引相場のない株式 6 88 回：特定計画山林 89 回：納税義務者（自然人以外） 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：私道 2 回：セットバック 3 回：上場株式（株式の割り当て） 4 回：相続財産法人 5 回：宅地等の評価単位 6 回：農地、山林、立木 7 回：上場株式（配当期待権） 8 回：特定非常災害 9 回：低額譲受、債務免除、債務引受 10 回：負担付遺贈・贈与 11 回：取引相場のない株式 1 12 回：信託 13 回：人格のない社団等 14 回：贈与税の非課税財産 15 回：取引相場のない株式 2		16 回：居住用の区分所財産 17 回：契約者貸付金 18 回：住宅取得等資金 19 回：受益証券等 20 回：ゴルフ会員権 21 回：措法 70 の非課税 22 回：権利義務の承継 23 回：保険金の評価 24 回：生前贈与加算 25 回：贈与税の配偶者控除 26 回：まとめ 1 27 回：まとめ 2 28 回：まとめ 3 29 回：民法 30 回：地区区分の異なる宅地、側方一部		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：普通借地権、貸宅地 32 回：納税義務者 33 回：相続税の非課税財産、本来の財産 34 回：生命保険金等 35 回：貸家建付地、貸家建付借地権 36 回：みなし取得財産 37 回：相続時精算課税制度 38 回：債務控除 39 回：区分地上権 40 回：課税価格および税額計算 41 回：特別養子制度 42 回：贈与税額控除 43 回：相続税額の加算 44 回：相続税総額、算出税額等 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：配偶者の税額軽減 2 回：未成年者控除 3 回：障害者控除 1 4 回：障害者控除 2 5 回：措法 70 の非課税 6 回：取引相場のない株式 1-1 7 回：取引相場のない株式 1-2 8 回：取引相場のない株式 1-3 9 回：相次相続控除 10 回：まとめ 1 11 回：まとめ 2 12 回：まとめ 3 13 回：贈与税の非課税財産 14 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 15 回：小規模宅地等の特例 1		16 回：小規模宅地等の特例 2 17 回：使用貸借 18 回：取引相場のない株式 2 19 回：居住用の区分所有財産 20 回：対象者（法定相続人） 21 回：増改築等 22 回：建築中の家屋 23 回：取引相場のない株式 3 24 回：申告（手続）1 25 回：弔慰金 26 回：相当の地代 27 回：公社債等 28 回：取引相場のない株式 4 29 回：住宅取得等資金 30 回：宅地の評価単位		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：間口狭小、奥行長大等 32 回：申告（手続）2 33 回：低額譲受等、負担付遺贈・贈与 34 回：不整形地、旗竿上の宅地等 35 回：取引相場のない株式 5 36 回：特定非常災害、災免法 37 回：贈与税の配偶者控除 38 回：対象者 39 回：課税価格および税額計算 40 回：まとめ 4 41 回：人格のない社団等 42 回：ゴルフ会員権 43 回：上場株式・株式に関する権利 44 回：未分割時の取扱い 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	1 回：教育資金の一括贈与 2 回：土砂災害特別警戒区域内にある宅地 3 回：立木・立木の評価減 4 回：取引相場のない株式 1 5 回：私道 6 回：セットバック、都市計画道路予定地 7 回：受益証券等 8 回：延納、物納 9 回：権利義務の承継 10 回：相続時精算課税制度 1 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：農地、山林 14 回：転換社債型新株予約権付社債 15 回：連帯納付		16 回：納付（手続）1 17 回：納付（手続）2 18 回：譲渡担保 19 回：取引相場のない株式 2 20 回：非上場株式等の納税猶予制度 1 21 回：保険金の評価 22 回：個人の事業用資産の贈与税の納税猶予 23 回：個人の事業用資産の相続税の納税猶予 24 回：相続時精算課税制度 2 25 回：まとめ 3 26 回：まとめ 4 27 回：定期金に関する権利 28 回：保証期間付定期金に関する権利 29 回：契約に基づかない定期金に関する権利 30 回：みなし取得財産		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の特殊論点についての税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の特殊論点について学習します				
到達目標	相続税法の特殊な項目の税額計算ができる 相続税法の特殊な項目の財産評価ができる 相続税法の特殊な項目の条文解釈ができる				
授業内容	31 回：生命保険金等 32 回：信託 33 回：養子の応用 34 回：結婚・子育て資金 35 回：配偶者居住権 36 回：贈与税額控除（暦年） 37 回：取引相場のない株式 3 38 回：納税義務者 39 回：定期借地権 40 回：取引相場のない株式 4 41 回：不動産 42 回：課税価格および税額計算 43 回：対象者 44 回：納付（手続） 45 回：取引相場のない株式 5		46 回：非上場株式等の納税猶予制度 2 47 回：相続税と贈与税の関係 48 回：相続開始年分の贈与税の計算 49 回：無道路地 50 回：みなし取得財産 51 回：相続時精算課税制度 3 52 回：申告（手続） 53 回：まとめ 5 54 回：まとめ 6 55 回：まとめ 7 56 回：まとめ 8 57 回：実力養成演習 1 58 回：実力養成演習 2 59 回：実力養成演習 3 60 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の実践的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の実践的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の実践的な税額計算ができる 相続税法の実践的な財産評価ができる 相続税法の実践的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：まとめ 1 12 回：応用力養成演習 1 13 回：応用力養成演習 2 14 回：応用力養成演習 3 15 回：応用力養成演習 4		16 回：応用力養成演習 5 17 回：実践演習 1 18 回：実践演習 2 19 回：実践演習 3 20 回：実践演習 4 21 回：実践演習 5 22 回：実践演習 6 23 回：実践演習 7 24 回：実践演習 8 25 回：実践演習 9 26 回：実践演習 10 27 回：まとめ 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入における基本的な会計処理を学ぶ 【概要】 帳簿記入における基本的な会計処理を学習します				
到達目標	帳簿記入における基本的な知識を理解している 帳簿記入における基本的な会計処理ができる 基本的な試算表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記一巡 3 回：現金預金 4 回：債権債務 5 回：商品売買 6 回：固定資産 7 回：貸倒れ 8 回：給与等 9 回：税金 10 回：純資産 11 回：退職給付会計 12 回：社債 13 回：割引現在価値計算 14 回：税効果会計 15 回：有価証券		16 回：減損会計 17 回：繰延資産 18 回：外貨建会計 19 回：特殊商品売買 20 回：リース会計 21 回：本支店会計 22 回：圧縮記帳 23 回：資産除去債務 24 回：キャッシュ・フロー会計 25 回：組織再編会計 26 回：連結会計 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 簿記一巡の手続きや各種の帳簿の関連を確認し、基本的な取引から簿記の仕組みを習得する 【概要】 各種の帳簿の記入方法と簿記の手続きを理解し、基本的な期中取引及び決算取引を学ぶ				
到達目標	簿記一巡の流れを理解している 基礎的な期中取引仕訳及び決算整理仕訳ができる 試算表作成及び財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：簿記の概要Ⅰ 3 回：現金預金Ⅰ1 4 回：債権債務Ⅰ 5 回：商品売買Ⅰ1 6 回：固定資産Ⅰ1 7 回：ソフトウェアⅠ 8 回：貸倒れⅠ 9 回：給料等Ⅰ1 10 回：税金Ⅰ1 11 回：給料等Ⅰ2 12 回：税金Ⅰ2 13 回：純資産Ⅰ1 14 回：退職給付会計Ⅰ 15 回：社債Ⅰ1		16 回：商品売買Ⅰ2 17 回：固定資産Ⅰ2 18 回：社債Ⅰ2 19 回：商品売買Ⅰ3 20 回：有価証券Ⅰ1 21 回：現金預金Ⅰ2 22 回：社債Ⅰ3 23 回：税効果会計Ⅰ 24 回：商品売買Ⅰ4 25 回：純資産Ⅰ2 26 回：割引現在価値計算Ⅰ 27 回：有価証券Ⅰ2 28 回：保険金Ⅰ 29 回：減損会計Ⅰ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 株式会社における応用的な期中取引及び決算取引を確認し、ハイレベルな知識を習得する 【概要】 株式会社における応用的な会計処理方法と財務諸表作成の方法を学ぶ				
到達目標	応用的な期中取引仕訳ができる 応用的な決算整理仕訳ができる 特殊商品売買を理解している				
授業内容	1 回：現金預金Ⅱ 2 回：リース会計Ⅰ1 3 回：外貨建会計Ⅰ1 4 回：外貨建会計Ⅰ2 5 回：退職給付会計Ⅱ1 6 回：割賦販売Ⅰ 7 回：外貨建会計Ⅰ3 8 回：新株予約権付社債Ⅰ1 9 回：試用販売Ⅰ1 10 回：退職給付会計Ⅱ2 11 回：本支店会計Ⅰ1 12 回：商品売買Ⅱ 13 回：外貨建会計Ⅰ4 14 回：試用販売Ⅰ2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における基本的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における基本的な知識を理解している 財務諸表作成における基本的な会計基準の理解及び会計処理ができる 基本的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：財務諸表作成の基礎 2 4 回：債権債務 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：貸倒れⅠ1 10 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 11 回：財務諸表論の基礎概念 1 12 回：財務諸表論の基礎概念 2 13 回：現金及び預金 2 14 回：貸倒れⅠ2 15 回：財務諸表論の基礎概念 3		16 回：一般原則 1 17 回：債権債務 3 18 回：棚卸資産 2 19 回：給与等 20 回：一般原則 2 21 回：固定資産Ⅰ 22 回：株主資本Ⅰ 23 回：一般原則 3 24 回：一般原則 4 25 回：まとめ 1 26 回：財務諸表論の基礎概念 4 27 回：一般原則 5 28 回：まとめ 2 29 回：まとめ 3 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における応用的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における応用的な知識を理解している 財務諸表作成における応用的な会計基準の理解及び会計処理ができる 応用的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：財務諸表作成の基礎 1 3 回：債権債務 1 4 回：財務諸表作成の基礎概念 1 5 回：財務諸表作成の基礎 2 6 回：現金及び預金 1 7 回：債権債務 2 8 回：棚卸資産 1 9 回：財務諸表論の基礎概念 2 10 回：一般原則 1 11 回：貸倒れⅠ1 12 回：総合問題の解き方「仮計算方式」 13 回：一般原則 2 14 回：債権債務 3 15 回：棚卸資産Ⅰ2		16 回：給料等 1 17 回：退職給付会計Ⅰ1 18 回：その他の引当金 19 回：一般原則 3 20 回：固定資産Ⅰ 21 回：株主資本Ⅰ1 22 回：一般原則 4 23 回：まとめ 24 回：財務諸表作成の基礎 3 25 回：税金Ⅰ 26 回：有価証券Ⅰ 27 回：社債 28 回：損益計算論 1 29 回：固定資産Ⅱ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学ぶ 【概要】 財務諸表作成における総合的な会計基準及び会計処理を学習します				
到達目標	財務諸表作成における総合的な知識を理解している 財務諸表作成における総合的な会計基準の理解及び会計処理ができる 総合的な財務諸表作成ができる				
授業内容	1 回：損益計算論 2 2 回：給与等 3 回：税金 I 4 回：有価証券 I 5 回：社債 6 回：株主資本 II 7 回：損益計算論 3 8 回：税効果会計 I 9 回：損益計算論 4 10 回：財務諸表作成の基礎 11 回：固定資産Ⅲ 12 回：株主資本 II 13 回：現在価値計算 14 回：固定資産Ⅳ 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：消費税法の概要１ 3 回：消費税法の概要２ 4 回：理論確認、課税の対象１ 5 回：課税の対象２ 6 回：課税の対象３、条文解説 7 回：理論確認、非課税１ 8 回：非課税２ 9 回：非課税３ 10 回：非課税４、条文解説 11 回：理論確認、資産の譲渡等の時期 12 回：輸出免税 13 回：控除対象仕入税額１ 14 回：仕入税額控除２、条文解説 15 回：理論確認、控除対象仕入税額３		16 回：売上げに係る対価の返還等 17 回：課税仕入れの範囲１、条文解説 18 回：課税仕入れ等の範囲２、条文解説 19 回：理論確認、課税仕入れ等の時期 20 回：貸倒れが生じた場合 21 回：課税売上割合１、条文解説 22 回：理論確認、計算解答方法 23 回：課税期間における課税売上高 24 回：控除対象仕入税額４、条文解説 25 回：まとめ 26 回：課税売上割合に準ずる割合 27 回：仕入に係る対価の返還等 28 回：納税義務の免除１ 29 回：納税義務の免除２、条文解説 30 回：理論確認、課税売上割合２		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の基本的な体系を学ぶ 【概要】 消費税法の基本的な体系について学習します				
到達目標	消費税法の基本的な体系を理解できる 消費税の課税の対象について理解できる 消費税の非課税取引について理解できる				
授業内容	31 回：中間申告に係る納付税額 32 回：総合演習１、条文解説 33 回：理論確認、仮計表 34 回：国境を越えた役務の提供１ 35 回：国境を越えた役務の提供２ 36 回：国境を越えた役務の提供３、条文解説 37 回：理論確認、課税仕入れ等の分類１ 38 回：課税仕入れ等の分類２ 39 回：課税仕入れ等の分類３ 40 回：課税仕入れ等の分類４、条文解説 41 回：理論確認、仕入税額控除の特例 42 回：非課税資産の輸出１ 43 回：非課税資産の輸出２ 44 回：非課税資産の輸出３、条文確認 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の応用的な税額計算ができる 消費税の応用的な条文解釈ができる 消費税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：理論確認 2 回：総合演習２ 3 回：総合演習３ 4 回：総合演習４ 5 回：理論確認、調整対象固定資産１ 6 回：調整対象固定資産２ 7 回：調整対象固定資産３、条文解説 8 回：調整対象固定資産４、条文解説 9 回：理論確認、総合演習５ 10 回：総合演習６ 11 回：納税義務の免除特例（特定期間） 12 回：条文解説 13 回：まとめ 14 回：納税義務の免除（相続） 15 回：納税義務の免除（吸収合併）		16 回：納税義務の免除特例（新設合併） 17 回：条文解説 18 回：理論確認、納税義務の免除特例（分割１） 19 回：納税義務の免除特例（分割２） 20 回：納税義務の免除特例（分割３） 21 回：条文解説 22 回：理論確認、納税義務の体系１ 23 回：納税義務の免除特例（新設法人） 24 回：納税義務の免除特例（特定新規法人１） 25 回：納税義務の免除特例（特定新規法人２） 26 回：理論確認、納税義務の免除体系２ 27 回：棚卸資産の仕入税額控除調整１ 28 回：棚卸資産の仕入税額控除調整２ 29 回：特殊項目１、条文解説 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 消費税の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	消費税の総合的な税額計算ができます 消費税の総合的な条文解釈ができます 消費税の総合的な申告書作成ができます				
授業内容	1 回：理論確認、課税標準１ 2 回：課税標準２ 3 回：課税標準３、条文解説 4 回：理論確認、簡易課税１ 5 回：簡易課税２ 6 回：簡易課税３ 7 回：簡易課税４、条文解説 8 回：理論確認、合併中間申告１ 9 回：合併中間申告２、条文解説 10 回：まとめ 11 回：居住用賃貸建物の調整１ 12 回：居住用賃貸建物の調整２ 13 回：２割特例 14 回：軽減税率１ 15 回：軽減税率２、総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：納税義務者と課税所得の範囲 3 回：会社計算と税務計算の調整 4 回：各事業年度の所得の金額の計算方法 5 回：交際費等の損金不算入Ⅰ1 6 回：交際費等の損金不算入Ⅰ2 7 回：減価償却Ⅰ 8 回：減価償却Ⅱ1 9 回：減価償却Ⅱ2 10 回：減価償却Ⅱ3 11 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ1 12 回：受取配当等の益金不算入Ⅰ2 13 回：寄附金の損金不算入Ⅰ1 14 回：寄附金の損金不算入Ⅰ2 15 回：有価証券Ⅰ1		16 回：有価証券Ⅰ2 17 回：租税公課等及び納税充当金Ⅰ 18 回：別表四の作成 19 回：事業年度 20 回：納税地 21 回：減価償却Ⅲ1 22 回：減価償却Ⅲ2 23 回：確定申告 24 回：まとめ 1 25 回：まとめ 2 26 回：法人税額の計算の基礎 27 回：使途秘匿金 28 回：青色申告 29 回：収益の額 1 30 回：貸倒損失Ⅰ1		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：貸倒損失Ⅰ2 32 回：貸倒損失Ⅰ3 33 回：貸倒引当金Ⅰ1 34 回：貸倒引当金Ⅰ2 35 回：貸倒引当金Ⅰ3 36 回：貸倒引当金Ⅰ4 37 回：減価償却Ⅳ 38 回：欠損金Ⅰ1 39 回：欠損金Ⅰ2 40 回：欠損金Ⅰ3 41 回：収用等Ⅰ1 42 回：収用等Ⅰ2 43 回：貸倒引当金Ⅱ 44 回：収益の額 2 45 回：減価償却Ⅴ1		46 回：減価償却Ⅴ2 47 回：減価償却Ⅴ3 48 回：受取配当等の益金不算入Ⅱ 49 回：有価証券Ⅱ 50 回：交際費等・寄附金の損金不算入Ⅱ 51 回：租税公課等及び納税充当金Ⅱ 52 回：外貨建取引 53 回：有価証券Ⅲ1 54 回：有価証券Ⅲ2 55 回：所得税額控除 1 56 回：所得税額控除 2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ1 60 回：租税公課等及び納税充当金Ⅲ2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の基本的な税額計算ができる 法人税の基本的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の基本的な申告書作成ができる				
授業内容	61 回：国庫補助金等 1 62 回：国庫補助金等 2 63 回：国庫補助金等 3 64 回：別表五（一）Ⅰの作成 65 回：圧縮記帳の概要Ⅰ 66 回：収用等Ⅱ 67 回：欠損金Ⅱ 68 回：利益積立金額 69 回：役員判定・役員給与Ⅰ1 70 回：役員判定・役員給与Ⅰ2 71 回：役員判定・役員給与Ⅰ3 72 回：役員判定・役員給与Ⅰ4 73 回：役員判定・役員給与Ⅱ1 74 回：役員判定・役員給与Ⅱ2 75 回：使用人給与Ⅰ1		76 回：使用人給与Ⅰ2 77 回：特定資産の買換え 1 78 回：特定資産の買換え 2 79 回：交際費等の損金不算入Ⅲ1 80 回：交際費等の損金不算入Ⅲ2 81 回：交際費等の損金不算入Ⅳ1 82 回：減価償却Ⅵ1 83 回：減価償却Ⅵ2 84 回：中間申告 85 回：減価償却Ⅶ 86 回：棚卸資産 87 回：保険差益 1 88 回：保険差益 2 89 回：まとめ 5 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：圧縮記帳の概要Ⅱ 2 回：別表五（一）Ⅱの作成 3 回：まとめ 1 4 回：まとめ 2 5 回：外国子会社配当等Ⅰ1 6 回：外国子会社配当等Ⅰ2 7 回：外国税額控除 1 8 回：外国税額控除 2 9 回：みなし配当Ⅰ1 10 回：みなし配当Ⅰ2 11 回：みなし配当Ⅰ3 12 回：圧縮記帳の概要Ⅲ 13 回：資本等取引Ⅰ 14 回：資本等取引Ⅱ 15 回：資本金等の額		16 回：役員判定・役員給与Ⅲ 17 回：役員判定・役員給与Ⅳ 18 回：使用人給与Ⅱ 19 回：交換差益 20 回：別表五（二）の作成 21 回：リース取引 1 22 回：リース取引 2 23 回：資本等取引Ⅲ1 24 回：資本等取引Ⅲ2 25 回：繰延資産 1 26 回：繰延資産 2 27 回：繰延資産 3 28 回：繰延資産 4 29 回：寄附金の損金不算入Ⅲ 30 回：減価償却Ⅷ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の応用的な税額計算ができる 法人税の応用的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の応用的な申告書作成ができる				
授業内容	31 回：まとめ 3 32 回：まとめ 4 33 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ1 34 回：租税公課等及び納税充当金Ⅳ2 35 回：確定決算型 1 36 回：確定決算型 2 37 回：グループ法人税制Ⅰ1 38 回：グループ法人税制Ⅰ2 39 回：グループ法人税制Ⅰ3 40 回：グループ法人税制Ⅰ4 41 回：資産の評価損益Ⅰ1 42 回：資産の評価損益Ⅰ2 43 回：欠損金Ⅲ1 44 回：欠損金Ⅲ2 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 法人税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	法人税法の総合的な税額計算ができる 法人税の総合的な条文解釈ができる 演習を通じて法人税の総合的な申告書作成ができる				
授業内容	1 回：グループ法人税制Ⅱ1 2 回：グループ法人税制Ⅱ2 3 回：グループ法人税制Ⅱ3 4 回：グループ法人税制Ⅱ4 5 回：グループ法人税制Ⅲ1 6 回：グループ法人税制Ⅲ2 7 回：グループ法人税制Ⅲ3 8 回：グループ法人税制Ⅲ4 9 回：収用等Ⅲ 10 回：保険料Ⅰ 11 回：まとめ 1 12 回：まとめ 2 13 回：設立事業年度 1 14 回：設立事業年度 2 15 回：まとめ 3		16 回：まとめ 4 17 回：組織再編税制Ⅰ1 18 回：組織再編税制Ⅰ2 19 回：組織再編税制Ⅰ3 20 回：組織再編税制Ⅰ4 21 回：組織再編税制Ⅰ5 22 回：組織再編税制Ⅰ6 23 回：組織再編税制Ⅰ7 24 回：組織再編税制Ⅰ8 25 回：組織再編税制Ⅰ9 26 回：組織再編税制Ⅰ10 27 回：組織再編税制Ⅰ11 28 回：組織再編税制Ⅰ12 29 回：みなし配当金Ⅱ1 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：相続税法の概要、民法 3 回：相続人、代襲相続 4 回：養子、相続の承認と放棄、相続分 1 5 回：相続分 2、遺言 6 回：相続税の納税義務者 7 回：生命保険金等 8 回：相続税の非課税財産、相続税額の計算 9 回：生命保険金等の非課税金額 10 回：退職手当金等と非課税金額 11 回：贈与税の概要 12 回：贈与税の納税義務者 13 回：弔慰金 14 回：債務控除 15 回：相続時精算課税制度 1		16 回：相続時精算課税制度 2 17 回：相続時精算課税適用財産 18 回：生前贈与加算 19 回：相続税額の総額、算出税額 20 回：相続税の期限内申告 21 回：相続税額の加算 22 回：贈与税額控除（暦年）1 23 回：贈与税額控除（暦年）2 24 回：配偶者の税額軽減 25 回：未成年者控除 26 回：障碍者控除 27 回：まとめ 1 28 回：まとめ 2 29 回：特定納税義務者と債務控除 30 回：贈与税額控除（精算）		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：財産評価の原則、自用地 32 回：自用家屋、家屋と一体設備 33 回：特別養子制度、法定相続人の数 34 回：生命保険契約に関する権利 35 回：地区区分の異なる宅地、側方一部 36 回：贈与税の期限内申告 37 回：普通借地権、貸宅地 38 回：貸家建付地、貸家建付借地権 39 回：一般動産、たな卸商品、書画骨とう品 40 回：期限後申告、修正申告 41 回：預貯金 42 回：上場株式 43 回：納税地 44 回：還付 45 回：小規模宅地等の特例 1-1		46 回：小規模宅地等の特例 1-2 47 回：小規模宅地等の特例 1-3 48 回：小規模宅地等の特例 1-4 49 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 50 回：小規模宅地等の特例 2-1 51 回：小規模宅地等の特例 2-2 52 回：更正の請求 53 回：間口狭小、奥行長大 54 回：角切り、使用貸借 55 回：小規模宅地等の特例 3-1 56 回：小規模宅地等の特例 3-2 57 回：まとめ 3 58 回：まとめ 4 59 回：まとめ 5 60 回：延納		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	90	単位数	6	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の基本的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の基本的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の基本的な税額計算ができる 相続税法の基本的な財産評価ができる 相続税法の基本的な条文解釈ができる				
授業内容	61 回：利用区分が異なる宅地、建物 62 回：相当の地代 63 回：小規模宅地等の特例 4 64 回：物納 65 回：取引相場のない株式 1-1 66 回：取引相場のない株式 1-2 67 回：取引相場のない株式 1-3 68 回：手続規定 69 回：取引相場のない株式 2-1 70 回：取引相場のない株式 2-2 71 回：取引相場のない株式 2-3 72 回：農地等の贈与税の納税猶予 73 回：建築中の家屋、公社債等 74 回：取引相場のない株式 3 75 回：小規模宅地等の特例 5		76 回：農地等の相続税の納税猶予 77 回：不整形地 78 回：地積規模の大きな宅地 79 回：取引相場のない株式 4 80 回：非上場株式等の贈与税の納税猶予 81 回：がけ地 82 回：取引相場のない株式 5-1 83 回：取引相場のない株式 5-2 84 回：非上場株式等の相続税の納税猶予 85 回：邦貨換算、旗竿上の宅地等 86 回：容積率の異なる宅地等 87 回：取引相場のない株式 6 88 回：特定計画山林 89 回：納税義務者（自然人以外） 90 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：私道 2 回：セットバック 3 回：上場株式（株式の割り当て） 4 回：相続財産法人 5 回：宅地等の評価単位 6 回：農地、山林、立木 7 回：上場株式（配当期待権） 8 回：特定非常災害 9 回：低額譲受、債務免除、債務引受 10 回：負担付遺贈・贈与 11 回：取引相場のない株式 1 12 回：信託 13 回：人格のない社団等 14 回：贈与税の非課税財産 15 回：取引相場のない株式 2		16 回：居住用の区分所財産 17 回：契約者貸付金 18 回：住宅取得等資金 19 回：受益証券等 20 回：ゴルフ会員権 21 回：措法 70 の非課税 22 回：権利義務の承継 23 回：保険金の評価 24 回：生前贈与加算 25 回：贈与税の配偶者控除 26 回：まとめ 1 27 回：まとめ 2 28 回：まとめ 3 29 回：民法 30 回：地区区分の異なる宅地、側方一部		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の応用的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の応用的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の応用的な税額計算ができる 相続税法の応用的な財産評価ができる 相続税法の応用的な条文解釈ができる				
授業内容	31 回：普通借地権、貸宅地 32 回：納税義務者 33 回：相続税の非課税財産、本来の財産 34 回：生命保険金等 35 回：貸家建付地、貸家建付借地権 36 回：みなし取得財産 37 回：相続時精算課税制度 38 回：債務控除 39 回：区分地上権 40 回：課税価格および税額計算 41 回：特別養子制度 42 回：贈与税額控除 43 回：相続税額の加算 44 回：相続税総額、算出税額等 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	相続税法実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 相続税の総合的な税額計算を学ぶ 【概要】 相続税法の総合的な税額計算について学習します				
到達目標	相続税法の総合的な税額計算ができる 相続税法の総合的な財産評価ができる 相続税法の総合的な条文解釈ができる				
授業内容	1 回：配偶者の税額軽減 2 回：未成年者控除 3 回：障害者控除 1 4 回：障害者控除 2 5 回：措法 70 の非課税 6 回：取引相場のない株式 1-1 7 回：取引相場のない株式 1-2 8 回：取引相場のない株式 1-3 9 回：相次相続控除 10 回：まとめ 1 11 回：まとめ 2 12 回：まとめ 3 13 回：贈与税の非課税財産 14 回：構築物、貸付金債権等、受取手形等 15 回：小規模宅地等の特例 1		16 回：小規模宅地等の特例 2 17 回：使用貸借 18 回：取引相場のない株式 2 19 回：居住用の区分所有財産 20 回：対象者（法定相続人） 21 回：増改築等 22 回：建築中の家屋 23 回：取引相場のない株式 3 24 回：申告（手続）1 25 回：弔慰金 26 回：相当の地代 27 回：公社債等 28 回：取引相場のない株式 4 29 回：住宅取得等資金 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	実践簿記論初級	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：総合演習 11 12 回：総合演習 12 13 回：応用力養成演習 1 14 回：応用力養成演習 2 15 回：応用力養成演習 3		16 回：応用力養成演習 4 17 回：応用力養成演習 5 18 回：応用力養成演習 6 19 回：応用力養成演習 7 20 回：応用力養成演習 8 21 回：応用力養成演習 9 22 回：応用力養成演習 10 23 回：実力養成演習 1 24 回：実力養成演習 2 25 回：実力養成演習 3 26 回：実力養成演習 4 27 回：実践力養成演習 1 28 回：実践力養成演習 2 29 回：実践力養成演習 3 30 回：実践力養成演習 4		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	実践簿記論初級	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	31 回：実践力養成演習 5 32 回：実践力養成演習 6 33 回：実践力養成演習 7 34 回：実践力養成演習 8 35 回：実践演習 1 36 回：実践演習 2 37 回：実践演習 3 38 回：実践演習 4 39 回：実践演習 5 40 回：実践演習 6 41 回：実践演習 7 42 回：実践演習 8 43 回：実践演習 9 44 回：実践演習 10 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	実践簿記論中級	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：総合演習 1 2 回：総合演習 2 3 回：総合演習 3 4 回：総合演習 4 5 回：総合演習 5 6 回：総合演習 6 7 回：総合演習 7 8 回：総合演習 8 9 回：総合演習 9 10 回：総合演習 10 11 回：総合演習 11 12 回：総合演習 12 13 回：応用力養成演習 1 14 回：応用力養成演習 2 15 回：応用力養成演習 3		16 回：応用力養成演習 4 17 回：応用力養成演習 5 18 回：応用力養成演習 6 19 回：応用力養成演習 7 20 回：応用力養成演習 8 21 回：応用力養成演習 9 22 回：応用力養成演習 10 23 回：実力養成演習 1 24 回：実力養成演習 2 25 回：実力養成演習 3 26 回：実力養成演習 4 27 回：実践力養成演習 1 28 回：実践力養成演習 2 29 回：実践力養成演習 3 30 回：実践力養成演習 4		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	実践簿記論中級	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	31 回：実践力養成演習 5 32 回：実践力養成演習 6 33 回：実践力養成演習 7 34 回：実践力養成演習 8 35 回：実践演習 1 36 回：実践演習 2 37 回：実践演習 3 38 回：実践演習 4 39 回：実践演習 5 40 回：実践演習 6 41 回：実践演習 7 42 回：実践演習 8 43 回：実践演習 9 44 回：実践演習 10 45 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：個別演習 1 2 回：個別演習 2 3 回：個別演習 3 4 回：個別演習 4 5 回：個別演習 5 6 回：個別演習 6 7 回：総合演習 1 8 回：総合演習 2 9 回：総合演習 3 10 回：総合演習 4 11 回：総合演習 5 12 回：総合演習 6 13 回：総合演習 7 14 回：総合演習 8 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：実力養成演習 4 5 回：基礎演習 1 6 回：基礎演習 2 7 回：基礎演習 2 8 回：基礎演習 4 9 回：基礎演習 5 10 回：応用演習 1 11 回：応用演習 2 12 回：応用演習 3 13 回：実践演習 1 14 回：実践演習 2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：総合演習 1 3 回：総合演習 2 4 回：総合演習 3 5 回：総合演習 4 6 回：総合演習 5 7 回：総合演習 6 8 回：総合演習 7 9 回：総合演習 8 10 回：総合演習 9 11 回：総合演習 10 12 回：総合演習 11 13 回：総合演習 12 14 回：総合演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：実践演習 1 3 回：実践演習 2 4 回：実践演習 3 5 回：実践演習 4 6 回：実践演習 5 7 回：実践演習 6 8 回：実践演習 7 9 回：実践演習 8 10 回：実践演習 9 11 回：実践演習 10 12 回：実践演習 11 13 回：実践演習 12 14 回：実践演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習入門	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：条文理論 2 5 回：実力養成演習 5 6 回：実力養成演習 6 7 回：実力養成演習 7 8 回：実力養成演習 8 9 回：実践演習 1 10 回：実践演習 2 11 回：実践演習 3 12 回：基礎演習 1 13 回：基礎演習 2 14 回：応用演習 1 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習入門Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅳ1 2 回：総合演習Ⅳ1 3 回：条文理論Ⅳ1 4 回：個別演習Ⅳ2 5 回：総合演習Ⅳ2 6 回：条文理論Ⅳ2 7 回：個別演習Ⅳ3 8 回：総合演習Ⅳ3 9 回：条文理論Ⅳ3 10 回：個別演習Ⅳ4 11 回：総合演習Ⅳ4 12 回：条文理論Ⅳ4 13 回：個別演習Ⅳ5 14 回：総合演習Ⅳ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習入門Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ｖ1 2 回：総合演習Ｖ1 3 回：条文理論Ｖ1 4 回：個別演習Ｖ2 5 回：総合演習Ｖ2 6 回：条文理論Ｖ2 7 回：個別演習Ｖ3 8 回：総合演習Ｖ3 9 回：条文理論Ｖ3 10 回：個別演習Ｖ4 11 回：総合演習Ｖ4 12 回：条文理論Ｖ4 13 回：個別演習Ｖ5 14 回：総合演習Ｖ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習初級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：個別演習 1 2 回：個別演習 2 3 回：個別演習 3 4 回：個別演習 4 5 回：個別演習 5 6 回：個別演習 6 7 回：総合演習 1 8 回：総合演習 2 9 回：総合演習 3 10 回：総合演習 4 11 回：総合演習 5 12 回：総合演習 6 13 回：総合演習 7 14 回：総合演習 8 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習初級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：実力養成演習 4 5 回：基礎演習 1 6 回：基礎演習 2 7 回：基礎演習 2 8 回：基礎演習 4 9 回：基礎演習 5 10 回：応用演習 1 11 回：応用演習 2 12 回：応用演習 3 13 回：実践演習 1 14 回：実践演習 2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習初級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：総合演習 1 3 回：総合演習 2 4 回：総合演習 3 5 回：総合演習 4 6 回：総合演習 5 7 回：総合演習 6 8 回：総合演習 7 9 回：総合演習 8 10 回：総合演習 9 11 回：総合演習 10 12 回：総合演習 11 13 回：総合演習 12 14 回：総合演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習初級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：実践演習 1 3 回：実践演習 2 4 回：実践演習 3 5 回：実践演習 4 6 回：実践演習 5 7 回：実践演習 6 8 回：実践演習 7 9 回：実践演習 8 10 回：実践演習 9 11 回：実践演習 10 12 回：実践演習 11 13 回：実践演習 12 14 回：実践演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習初級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習初級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習初級Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（応用）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（応用）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（応用）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（応用）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：条文理論 2 5 回：実力養成演習 5 6 回：実力養成演習 6 7 回：実力養成演習 7 8 回：実力養成演習 8 9 回：実践演習 1 10 回：実践演習 2 11 回：実践演習 3 12 回：基礎演習 1 13 回：基礎演習 2 14 回：応用演習 1 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習初級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅰ1 2 回：総合演習Ⅰ1 3 回：条文理論Ⅰ1 4 回：個別演習Ⅰ2 5 回：総合演習Ⅰ2 6 回：条文理論Ⅰ2 7 回：個別演習Ⅰ3 8 回：総合演習Ⅰ3 9 回：条文理論Ⅰ3 10 回：個別演習Ⅰ4 11 回：総合演習Ⅰ4 12 回：条文理論Ⅰ4 13 回：個別演習Ⅰ5 14 回：総合演習Ⅰ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習初級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅱ1 2 回：総合演習Ⅱ1 3 回：条文理論Ⅱ1 4 回：個別演習Ⅱ2 5 回：総合演習Ⅱ2 6 回：条文理論Ⅱ2 7 回：個別演習Ⅱ3 8 回：総合演習Ⅱ3 9 回：条文理論Ⅱ3 10 回：個別演習Ⅱ4 11 回：総合演習Ⅱ4 12 回：条文理論Ⅱ4 13 回：個別演習Ⅱ5 14 回：総合演習Ⅱ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習初級Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅲ1 2 回：総合演習Ⅲ1 3 回：条文理論Ⅲ1 4 回：個別演習Ⅲ2 5 回：総合演習Ⅲ2 6 回：条文理論Ⅲ2 7 回：個別演習Ⅲ3 8 回：総合演習Ⅲ3 9 回：条文理論Ⅲ3 10 回：個別演習Ⅲ4 11 回：総合演習Ⅲ4 12 回：条文理論Ⅲ4 13 回：個別演習Ⅲ5 14 回：総合演習Ⅲ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習初級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅳ1 2 回：総合演習Ⅳ1 3 回：条文理論Ⅳ1 4 回：個別演習Ⅳ2 5 回：総合演習Ⅳ2 6 回：条文理論Ⅳ2 7 回：個別演習Ⅳ3 8 回：総合演習Ⅳ3 9 回：条文理論Ⅳ3 10 回：個別演習Ⅳ4 11 回：総合演習Ⅳ4 12 回：条文理論Ⅳ4 13 回：個別演習Ⅳ5 14 回：総合演習Ⅳ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習初級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅴ1 2 回：総合演習Ⅴ1 3 回：条文理論Ⅴ1 4 回：個別演習Ⅴ2 5 回：総合演習Ⅴ2 6 回：条文理論Ⅴ2 7 回：個別演習Ⅴ3 8 回：総合演習Ⅴ3 9 回：条文理論Ⅴ3 10 回：個別演習Ⅴ4 11 回：総合演習Ⅴ4 12 回：条文理論Ⅴ4 13 回：個別演習Ⅴ5 14 回：総合演習Ⅴ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習中級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：個別演習 1 2 回：個別演習 2 3 回：個別演習 3 4 回：個別演習 4 5 回：個別演習 5 6 回：個別演習 6 7 回：総合演習 1 8 回：総合演習 2 9 回：総合演習 3 10 回：総合演習 4 11 回：総合演習 5 12 回：総合演習 6 13 回：総合演習 7 14 回：総合演習 8 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習中級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：実力養成演習 4 5 回：基礎演習 1 6 回：基礎演習 2 7 回：基礎演習 2 8 回：基礎演習 4 9 回：基礎演習 5 10 回：応用演習 1 11 回：応用演習 2 12 回：応用演習 3 13 回：実践演習 1 14 回：実践演習 2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習中級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：総合演習 1 3 回：総合演習 2 4 回：総合演習 3 5 回：総合演習 4 6 回：総合演習 5 7 回：総合演習 6 8 回：総合演習 7 9 回：総合演習 8 10 回：総合演習 9 11 回：総合演習 10 12 回：総合演習 11 13 回：総合演習 12 14 回：総合演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習中級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：実践演習 1 3 回：実践演習 2 4 回：実践演習 3 5 回：実践演習 4 6 回：実践演習 5 7 回：実践演習 6 8 回：実践演習 7 9 回：実践演習 8 10 回：実践演習 9 11 回：実践演習 10 12 回：実践演習 11 13 回：実践演習 12 14 回：実践演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習中級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習中級Ⅱ-A	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習中級Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（応用）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（応用）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（応用）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（応用）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：条文理論 2 5 回：実力養成演習 5 6 回：実力養成演習 6 7 回：実力養成演習 7 8 回：実力養成演習 8 9 回：実践演習 1 10 回：実践演習 2 11 回：実践演習 3 12 回：基礎演習 1 13 回：基礎演習 2 14 回：応用演習 1 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習中級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅰ1 2 回：総合演習Ⅰ1 3 回：条文理論Ⅰ1 4 回：個別演習Ⅰ2 5 回：総合演習Ⅰ2 6 回：条文理論Ⅰ2 7 回：個別演習Ⅰ3 8 回：総合演習Ⅰ3 9 回：条文理論Ⅰ3 10 回：個別演習Ⅰ4 11 回：総合演習Ⅰ4 12 回：条文理論Ⅰ4 13 回：個別演習Ⅰ5 14 回：総合演習Ⅰ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習中級Ⅱ-A	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅱ1 2 回：総合演習Ⅱ1 3 回：条文理論Ⅱ1 4 回：個別演習Ⅱ2 5 回：総合演習Ⅱ2 6 回：条文理論Ⅱ2 7 回：個別演習Ⅱ3 8 回：総合演習Ⅱ3 9 回：条文理論Ⅱ3 10 回：個別演習Ⅱ4 11 回：総合演習Ⅱ4 12 回：条文理論Ⅱ4 13 回：個別演習Ⅱ5 14 回：総合演習Ⅱ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習中級Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅲ1 2 回：総合演習Ⅲ1 3 回：条文理論Ⅲ1 4 回：個別演習Ⅲ2 5 回：総合演習Ⅲ2 6 回：条文理論Ⅲ2 7 回：個別演習Ⅲ3 8 回：総合演習Ⅲ3 9 回：条文理論Ⅲ3 10 回：個別演習Ⅲ4 11 回：総合演習Ⅲ4 12 回：条文理論Ⅲ4 13 回：個別演習Ⅲ5 14 回：総合演習Ⅲ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習中級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅳ1 2 回：総合演習Ⅳ1 3 回：条文理論Ⅳ1 4 回：個別演習Ⅳ2 5 回：総合演習Ⅳ2 6 回：条文理論Ⅳ2 7 回：個別演習Ⅳ3 8 回：総合演習Ⅳ3 9 回：条文理論Ⅳ3 10 回：個別演習Ⅳ4 11 回：総合演習Ⅳ4 12 回：条文理論Ⅳ4 13 回：個別演習Ⅳ5 14 回：総合演習Ⅳ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習中級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅴ1 2 回：総合演習Ⅴ1 3 回：条文理論Ⅴ1 4 回：個別演習Ⅴ2 5 回：総合演習Ⅴ2 6 回：条文理論Ⅴ2 7 回：個別演習Ⅴ3 8 回：総合演習Ⅴ3 9 回：条文理論Ⅴ3 10 回：個別演習Ⅴ4 11 回：総合演習Ⅴ4 12 回：条文理論Ⅴ4 13 回：個別演習Ⅴ5 14 回：総合演習Ⅴ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習上級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：個別演習 1 2 回：個別演習 2 3 回：個別演習 3 4 回：個別演習 4 5 回：個別演習 5 6 回：個別演習 6 7 回：総合演習 1 8 回：総合演習 2 9 回：総合演習 3 10 回：総合演習 4 11 回：総合演習 5 12 回：総合演習 6 13 回：総合演習 7 14 回：総合演習 8 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論演習上級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 帳簿記入に必要な能力の養成 【概要】 帳簿記入に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	帳簿記入に必要な知識を理解している 帳簿記入に必要な流れを理解している 実際に帳簿記入ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：実力養成演習 4 5 回：基礎演習 1 6 回：基礎演習 2 7 回：基礎演習 2 8 回：基礎演習 4 9 回：基礎演習 5 10 回：応用演習 1 11 回：応用演習 2 12 回：応用演習 3 13 回：実践演習 1 14 回：実践演習 2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習上級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：総合演習 1 3 回：総合演習 2 4 回：総合演習 3 5 回：総合演習 4 6 回：総合演習 5 7 回：総合演習 6 8 回：総合演習 7 9 回：総合演習 8 10 回：総合演習 9 11 回：総合演習 10 12 回：総合演習 11 13 回：総合演習 12 14 回：総合演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 財務諸表の作成に必要な能力の養成 【概要】 財務諸表の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	財務諸表の作成に必要な知識を理解している 財務諸表の作成に必要な流れを理解している 実際に財務諸表の作成ができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：実践演習 1 3 回：実践演習 2 4 回：実践演習 3 5 回：実践演習 4 6 回：実践演習 5 7 回：実践演習 6 8 回：実践演習 7 9 回：実践演習 8 10 回：実践演習 9 11 回：実践演習 10 12 回：実践演習 11 13 回：実践演習 12 14 回：実践演習 13 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習上級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習上級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習上級Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（応用）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（応用）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（応用）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（応用）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：実力養成演習 1 2 回：実力養成演習 2 3 回：実力養成演習 3 4 回：条文理論 2 5 回：実力養成演習 5 6 回：実力養成演習 6 7 回：実力養成演習 7 8 回：実力養成演習 8 9 回：実践演習 1 10 回：実践演習 2 11 回：実践演習 3 12 回：基礎演習 1 13 回：基礎演習 2 14 回：応用演習 1 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習上級Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅰ1 2 回：総合演習Ⅰ1 3 回：条文理論Ⅰ1 4 回：個別演習Ⅰ2 5 回：総合演習Ⅰ2 6 回：条文理論Ⅰ2 7 回：個別演習Ⅰ3 8 回：総合演習Ⅰ3 9 回：条文理論Ⅰ3 10 回：個別演習Ⅰ4 11 回：総合演習Ⅰ4 12 回：条文理論Ⅰ4 13 回：個別演習Ⅰ5 14 回：総合演習Ⅰ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習上級Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅱ1 2 回：総合演習Ⅱ1 3 回：条文理論Ⅱ1 4 回：個別演習Ⅱ2 5 回：総合演習Ⅱ2 6 回：条文理論Ⅱ2 7 回：個別演習Ⅱ3 8 回：総合演習Ⅱ3 9 回：条文理論Ⅱ3 10 回：個別演習Ⅱ4 11 回：総合演習Ⅱ4 12 回：条文理論Ⅱ4 13 回：個別演習Ⅱ5 14 回：総合演習Ⅱ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習上級Ⅲ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅲ1 2 回：総合演習Ⅲ1 3 回：条文理論Ⅲ1 4 回：個別演習Ⅲ2 5 回：総合演習Ⅲ2 6 回：条文理論Ⅲ2 7 回：個別演習Ⅲ3 8 回：総合演習Ⅲ3 9 回：条文理論Ⅲ3 10 回：個別演習Ⅲ4 11 回：総合演習Ⅲ4 12 回：条文理論Ⅲ4 13 回：個別演習Ⅲ5 14 回：総合演習Ⅲ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習上級Ⅳ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅳ1 2 回：総合演習Ⅳ1 3 回：条文理論Ⅳ1 4 回：個別演習Ⅳ2 5 回：総合演習Ⅳ2 6 回：条文理論Ⅳ2 7 回：個別演習Ⅳ3 8 回：総合演習Ⅳ3 9 回：条文理論Ⅳ3 10 回：個別演習Ⅳ4 11 回：総合演習Ⅳ4 12 回：条文理論Ⅳ4 13 回：個別演習Ⅳ5 14 回：総合演習Ⅳ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習上級Ⅴ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅴ1 2 回：総合演習Ⅴ1 3 回：条文理論Ⅴ1 4 回：個別演習Ⅴ2 5 回：総合演習Ⅴ2 6 回：条文理論Ⅴ2 7 回：個別演習Ⅴ3 8 回：総合演習Ⅴ3 9 回：条文理論Ⅴ3 10 回：個別演習Ⅴ4 11 回：総合演習Ⅴ4 12 回：条文理論Ⅴ4 13 回：個別演習Ⅴ5 14 回：総合演習Ⅴ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習実務Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	消費税法演習実務Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 消費税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 消費税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	消費税の申告書の作成に必要な知識を理解している 消費税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に消費税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：条文理論 1 2 回：個別演習 1 3 回：総合演習（基礎）1 4 回：条文理論 2 5 回：個別演習 2 6 回：総合演習（基礎）2 7 回：条文理論 3 8 回：個別演習 3 9 回：総合演習（基礎）3 10 回：条文理論 4 11 回：個別演習 4 12 回：総合演習（基礎）4 13 回：条文理論 5 14 回：個別演習 5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習実務Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅰ1 2 回：総合演習Ⅰ1 3 回：条文理論Ⅰ1 4 回：個別演習Ⅰ2 5 回：総合演習Ⅰ2 6 回：条文理論Ⅰ2 7 回：個別演習Ⅰ3 8 回：総合演習Ⅰ3 9 回：条文理論Ⅰ3 10 回：個別演習Ⅰ4 11 回：総合演習Ⅰ4 12 回：条文理論Ⅰ4 13 回：個別演習Ⅰ5 14 回：総合演習Ⅰ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	法人税法演習実務Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 法人税の申告書の作成に必要な能力の養成 【概要】 法人税の申告書の作成に必要な能力を演習を通じて学習します				
到達目標	法人税の申告書の作成に必要な知識を理解している 法人税の申告書の作成に必要な流れを理解している 実際に法人税法の申告書の作成ができる				
授業内容	1 回：個別演習Ⅱ1 2 回：総合演習Ⅱ1 3 回：条文理論Ⅱ1 4 回：個別演習Ⅱ2 5 回：総合演習Ⅱ2 6 回：条文理論Ⅱ2 7 回：個別演習Ⅱ3 8 回：総合演習Ⅱ3 9 回：条文理論Ⅱ3 10 回：個別演習Ⅱ4 11 回：総合演習Ⅱ4 12 回：条文理論Ⅱ4 13 回：個別演習Ⅱ5 14 回：総合演習Ⅱ5 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務運用Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 ファイナンシャル・プランニングに必要な知識を学ぶ 【概要】 ファイナンシャル・プランニングに必要な知識を学習します				
到達目標	生活設計や保険の基礎知識について理解している 金融資産や個人に課される税金について理解している 不動産や相続・事業承継について理解している				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：ライフプランニングと資金計画 1 3 回：ライフプランニングと資金計画 2 4 回：ライフプランニングと資金計画 3 5 回：リスク管理 1 6 回：リスク管理 2 7 回：リスク管理 3 8 回：金融資産運用 1 9 回：金融資産運用 2 10 回：金融資産運用 3 11 回：タックスプランニング 1 12 回：タックスプランニング 2 13 回：タックスプランニング 3 14 回：不動産 1 15 回：不動産 2		16 回：不動産 3 17 回：相続・事業承継 1 18 回：相続・事業承継 2 19 回：相続・事業承継 3 20 回：実践演習 1 21 回：実践演習 2 22 回：実践演習 3 23 回：実践演習 4 24 回：実践演習 5 25 回：実践演習 6 26 回：実践演習 7 27 回：実践演習 8 28 回：実践演習 9 29 回：実践演習 10 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	パソコン基礎演習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 Microsoft Word・Microsoft Excel の基本操作及び活用方法を学ぶ 【概要】 Microsoft Word・Microsoft Excel の基本操作及び活用方法を学習します				
到達目標	ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及びデータ入力と計算式表組みができる 状況にあったビジネス文書の作成や基本的な関数を使用できる 図表などを使用し明瞭なビジネス文書を作成やグラフの編集できる				
授業内容	1 回：Word ガイダンス 2 回：基本操作の確認 3 回：文書の作成と管理 4 回：一般的なビジネス文書の確認 5 回：社外文書の確認・作成 6 回：社内文書の確認・作成 7 回：書式設定の確認 8 回：表を使った文書の作成 9 回：図形・画像を使った文書の作成 10 回：報告書の作成 11 回：実践演習 1 12 回：実践演習 2 13 回：実践演習 3 14 回：実践演習 4 15 回：まとめ		16 回：Excel ガイダンス 17 回：基本操作の確認 18 回：相対参照・絶対参照 19 回：SUM 関数 20 回：AVERAGE 関数 21 回：MAX・MIN 関数 22 回：COUNT 関数 23 回：ROUND 関数 24 回：IF 関数 1 25 回：IF 関数 2 26 回：実践演習 5 27 回：実践演習 6 28 回：実践演習 7 29 回：実践演習 8 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：所得税法の概要 2 回：各種所得の意義及び金額の計算 3 回：課税標準の計算、課税所得金額の計算 4 回：納付税額の計算、源泉徴収制度 5 回：復興特別所得税、給与所得 6 回：業務と事業、青色申告制度 7 回：不動産所得、収入計上時期 8 回：減価償却① 9 回：一時所得、広告宣伝のための賞金 10 回：取得した保険金等①、減価償却② 11 回：雑所得、公的年金等 12 回：生命保険契約に基づく年金等 13 回：減価償却③、退職所得 14 回：損益通算、減価償却④ 15 回：事業所得、棚卸資産の自家消費等		16 回：少額減価償却資産等 17 回：必要経費、その他の必要経費 18 回：資産損失、取得した保険金等② 19 回：貸倒引当金（個別） 20 回：貸倒引当金（一括） 21 回：居住者と生計一親族が支払を受ける対価 22 回：必要経費②、不動産所得の損益通算特例 23 回：住宅借入金等 24 回：特定支出の控除特例、純損失の繰越控除 25 回：所得控除 1 26 回：所得控除 2 27 回：所得控除 3 28 回：所得控除 4 29 回：所得控除 5 30 回：所得控除 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	31 回：所得控除 7 32 回：取得費、みなし譲渡① 33 回：みなし譲渡② 34 回：山林所得 35 回：居住用財産の特別控除等 36 回：特定の居住用財産の買換えの場合① 37 回：特定の居住用財産の買換えの場合② 38 回：居住用財産の繰越控除等 39 回：配当所得① 40 回：配当所得② 41 回：配当所得③、配当控除 42 回：利子所得 43 回：有価証券の課税関係 44 回：上場株式の損失の繰越控除と損益通算 45 回：配当控除④、特定口座制度①		46 回：特定口座制度② 47 回：特定管理口座 48 回：給与所得者の経済的利益 49 回：源泉徴収の割戻①、先物取引の課税関係 50 回：国外公社債等の利子等の源泉分離課税等 51 回：外国税額控除 52 回：勤続年数の計算① 53 回：勤続年数の計算② 54 回：雑所得の基因となる貸付金の貸倒等 55 回：収用交換等の特別控除、措法の特別控除 56 回：収用等、譲渡所得の税額軽減 57 回：確定給付年金等 58 回：源泉徴収の割戻② 59 回：長期損害保険契約の課税関係等 60 回：借地権の課税関係、国庫補助金		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	61 回：収入計上時期（地代、家賃等）等 62 回：繰延資産等 63 回：平均課税制度 64 回：消費税等、概算経費控除 65 回：エンジェル税制等 66 回：ストック・オプション税制等 67 回：政党寄附金の特別税額控除等 68 回：相続税額の取得費加算等 69 回：固定資産の交換の場合の課税の特例 70 回：資産損失（一部損壊含む） 71 回：みなし配当、みなし持分 72 回：公社債・割引債 73 回：既存住宅の耐震改修税額控除等 74 回：既存住宅の改正等 75 回：所得金額調整控除		76 回：被相続人の事業を承継した場合等 77 回：家内労働者等の所得計算の特例等 78 回：雑損控除（災害等関連支出の範囲）等 79 回：生保に基づく一時金及び年金等 80 回：国外中古建物の不動産所得の損益通算等 81 回：組合 82 回：国外転出時課税制度 83 回：非居住者の税務その 1 84 回：非居住者に関する応用理論 85 回：法人成り 86 回：医業の所得計算 87 回：非居住者の税務その 2 88 回：暗号資産の計算及びその評価方法 89 回：退職所得（一般、短期、役員絡む場合） 90 回：源泉徴収票の読み方		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	91 回：2 以上の資産を交換した場合の取扱い 92 回：雑所得（通達による雑所得の意義） 93 回：申告書の見方 94 回：改正税制 1 95 回：改正税制 2 96 回：実力養成演習 1 97 回：実力養成演習 2 98 回：実力養成演習 3 99 回：実力養成演習 4 100 回：総合演習 1 101 回：総合演習 2 102 回：総合演習 3 103 回：総合演習 4 104 回：総合演習 5 105 回：応用力養成演習 1		106 回：応用力養成演習 2 107 回：応用力養成演習 3 108 回：応用力養成演習 4 109 回：応用力養成演習 5 110 回：実践演習 1 111 回：実践演習 2 112 回：実践演習 3 113 回：実践演習 4 114 回：実践演習 15 115 回：条文解釈 1 116 回：条文解釈 2 117 回：条文解釈 3 118 回：実践力養成演習 1 119 回：実践力養成演習 2 120 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	固定資産税Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 固定資産税に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 固定資産税に関する必要な知識を学習します				
到達目標	固定資産税の基礎知識を理解している 固定資産税の応用力を身につけている 固定資産税の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：固定資産税の概要、税額計算の基本 2 回：家屋の計算、法附則 15 の 6 3 回：宅地の計算、非住宅用地の税額計算 4 回：別荘、住宅用地の税額計算 5 回：宅地の区分、地目の変換等の取扱い 6 回：用途変更宅地等 7 回：まとめ 1 8 回：区分所有家屋 9 回：共用土地 10 回：併用専有部分に係る敷地の取扱い等 11 回：区分所有家屋に係る補正 12 回：まとめ 2 13 回：類似用途変更宅地等 14 回：償却資産の評価、課税標準の特例等 15 回：大規模な償却資産		16 回：宅地以外の計算、特定空家等の敷地 17 回：合併があった場合の増額等 18 回：農地 19 回：特定市街化区域農地等 20 回：まとめ 3 21 回：実力養成演習 1 22 回：実力養成演習 2 23 回：改正税法 24 回：応用力養成演習 1 25 回：応用力養成演習 2 26 回：まとめ 4 27 回：まとめ 5 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	国税徴収法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 国税徴収法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 国税徴収法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	国税徴収法の基礎知識を理解している 国税徴収法の応用力を身につけている 国税徴収法の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：国税徴収法・民法の概要 2 回：滞納処分の概要、収益費用、租税間等 3 回：担保権、法定納期限等 4 回：差押えの制限、差押禁止財産 5 回：差押換え、差押手続 6 回：各種財産の差押え（債権、不動産等） 7 回：各種財産の差押え（無体財産権等） 8 回：国税徴収法第 24 条と第 16 条① 9 回：国税徴収法第 24 条と第 26 条② 10 回：国税徴収法第 23 条、納税猶予等 11 回：担保を徴した国税、法定納期限 12 回：繰上差押え、保全担保、繰上請求 13 回：滞納処分、納付委託、弁済委託 14 回：第二次納税義務 15 回：不服申立て、国税の納付義務の承継等		16 回：質権、抵当権 17 回：国税徴収法第 24 条と第 22 条 18 回：まとめ 19 回：実力養成演習 1 20 回：実力養成演習 2 21 回：総合演習 1 22 回：総合演習 2 23 回：総合演習 3 24 回：応用力養成演習 1 25 回：応用力養成演習 2 26 回：実践演習 1 27 回：実践演習 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：労働基準法・労働安全衛生法 1-1 2 回：労働基準法・労働安全衛生法 1-2 3 回：労働基準法・労働安全衛生法 2-1 4 回：労働基準法・労働安全衛生法 2-2 5 回：労働基準法・労働安全衛生法 3-1 6 回：労働基準法・労働安全衛生法 3-2 7 回：労働基準法・労働安全衛生法 4-1 8 回：労働基準法・労働安全衛生法 4-2 9 回：労働基準法・労働安全衛生法 5-1 10 回：労働基準法・労働安全衛生法 5-2 11 回：労働基準法・労働安全衛生法 6-1 12 回：労働基準法・労働安全衛生法 6-2 13 回：労働基準法・労働安全衛生法 7-1 14 回：労働基準法・労働安全衛生法 7-2 15 回：労災保険法 1-1		16 回：労災保険法 1-2 17 回：労災保険法 2-1 18 回：労災保険法 2-2 19 回：労災保険法 3-1 20 回：労災保険法 3-2 21 回：労災保険法 4-1 22 回：労災保険法 4-2 23 回：労災保険法 5-1 24 回：労災保険法 5-2 25 回：雇用保険法 1-1 26 回：雇用保険法 1-2 27 回：雇用保険法 2-1 28 回：雇用保険法 2-2 29 回：雇用保険法 3-1 30 回：雇用保険法 3-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	31 回：雇用保険法 4-1 32 回：雇用保険法 4-2 33 回：雇用保険法 5-1 34 回：雇用保険法 5-2 35 回：徴収法 1-1 36 回：徴収法 1-2 37 回：徴収法 2-1 38 回：徴収法 2-2 39 回：徴収法 3-1 40 回：徴収法 3-2 41 回：労働に関する一般常識 1-1 42 回：労働に関する一般常識 1-2 43 回：労働に関する一般常識 2-1 44 回：労働に関する一般常識 2-2 45 回：労働に関する一般常識 3-1		46 回：労働に関する一般常識 3-2 47 回：労働に関する一般常識 4-1 48 回：労働に関する一般常識 4-2 49 回：健康保険法 1-1 50 回：健康保険法 1-2 51 回：健康保険法 2-1 52 回：健康保険法 2-2 53 回：健康保険法 3-1 54 回：健康保険法 3-2 55 回：健康保険法 4-1 56 回：健康保険法 4-2 57 回：健康保険法 5-1 58 回：健康保険法 5-2 59 回：健康保険法 6-1 60 回：健康保険法 6-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	61 回：国民年金法 1-1 62 回：国民年金法 1-2 63 回：国民年金法 2-1 64 回：国民年金法 2-2 65 回：国民年金法 3-1 66 回：国民年金法 3-2 67 回：国民年金法 4-1 68 回：国民年金法 4-2 69 回：国民年金法 5-1 70 回：国民年金法 5-2 71 回：国民年金法 6-1 72 回：国民年金法 6-2 73 回：厚生年金保険法 1-1 74 回：厚生年金保険法 1-2 75 回：厚生年金保険法 2-1		76 回：厚生年金保険法 2-2 77 回：厚生年金保険法 3-1 78 回：厚生年金保険法 3-2 79 回：厚生年金保険法 4-1 80 回：厚生年金保険法 4-2 81 回：厚生年金保険法 5-1 82 回：厚生年金保険法 5-2 83 回：厚生年金保険法 6-1 84 回：厚生年金保険法 6-2 85 回：社会保険に関する一般常識 1-1 86 回：社会保険に関する一般常識 1-2 87 回：社会保険に関する一般常識 2-1 88 回：社会保険に関する一般常識 2-2 89 回：社会保険に関する一般常識 3-1 90 回：社会保険に関する一般常識 3-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	91 回：社会保険に関する一般常識 4-1 92 回：社会保険に関する一般常識 4-2 93 回：横断まとめ 1 94 回：横断まとめ 2 95 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 1-1 96 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 1-2 97 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 2-1 98 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 2-2 99 回：法改正まとめ 1-1 100 回：法改正まとめ 1-2 101 回：法改正まとめ 2-1 102 回：法改正まとめ 2-2 103 回：労働編演習 1-1 104 回：労働編演習 1-2 105 回：労働編演習 2-1		106 回：労働編演習 2-2 107 回：労働編演習 3-1 108 回：労働編演習 3-2 109 回：社会保険編演習 1-1 110 回：社会保険編演習 1-2 111 回：社会保険編演習 2-1 112 回：社会保険編演習 2-2 113 回：社会保険編演習 3-1 114 回：社会保険編演習 3-2 115 回：総合演習 1 116 回：総合演習 2 117 回：総合演習 3 118 回：総合演習 4 119 回：総合演習 5 120 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：所得税法の概要 2 回：各種所得の意義及び金額の計算 3 回：課税標準の計算、課税所得金額の計算 4 回：納付税額の計算、源泉徴収制度 5 回：復興特別所得税、給与所得 6 回：業務と事業、青色申告制度 7 回：不動産所得、収入計上時期 8 回：減価償却① 9 回：一時所得、広告宣伝のための賞金 10 回：取得した保険金等①、減価償却② 11 回：雑所得、公的年金等 12 回：生命保険契約に基づく年金等 13 回：減価償却③、退職所得 14 回：損益通算、減価償却④ 15 回：事業所得、棚卸資産の自家消費等		16 回：少額減価償却資産等 17 回：必要経費、その他の必要経費 18 回：資産損失、取得した保険金等② 19 回：貸倒引当金（個別） 20 回：貸倒引当金（一括） 21 回：居住者と生計一親族が支払を受ける対価 22 回：必要経費②、不動産所得の損益通算特例 23 回：住宅借入金等 24 回：特定支出の控除特例、純損失の繰越控除 25 回：所得控除 1 26 回：所得控除 2 27 回：所得控除 3 28 回：所得控除 4 29 回：所得控除 5 30 回：所得控除 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	31 回：所得控除 7 32 回：取得費、みなし譲渡① 33 回：みなし譲渡② 34 回：山林所得 35 回：居住用財産の特別控除等 36 回：特定の居住用財産の買換えの場合① 37 回：特定の居住用財産の買換えの場合② 38 回：居住用財産の繰越控除等 39 回：配当所得① 40 回：配当所得② 41 回：配当所得③、配当控除 42 回：利子所得 43 回：有価証券の課税関係 44 回：上場株式の損失の繰越控除と損益通算 45 回：配当控除④、特定口座制度①		46 回：特定口座制度② 47 回：特定管理口座 48 回：給与所得者の経済的利益 49 回：源泉徴収の割戻①、先物取引の課税関係 50 回：国外公社債等の利子等の源泉分離課税等 51 回：外国税額控除 52 回：勤続年数の計算① 53 回：勤続年数の計算② 54 回：雑所得の基因となる貸付金の貸倒等 55 回：収用交換等の特別控除、措法の特別控除 56 回：収用等、譲渡所得の税額軽減 57 回：確定給付年金等 58 回：源泉徴収の割戻② 59 回：長期損害保険契約の課税関係等 60 回：借地権の課税関係、国庫補助金		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	61 回：収入計上時期（地代、家賃等）等 62 回：繰延資産等 63 回：平均課税制度 64 回：消費税等、概算経費控除 65 回：エンジェル税制等 66 回：ストック・オプション税制等 67 回：政党寄附金の特別税額控除等 68 回：相続税額の取得費加算等 69 回：固定資産の交換の場合の課税の特例 70 回：資産損失（一部損壊含む） 71 回：みなし配当、みなし持分 72 回：公社債・割引債 73 回：既存住宅の耐震改修税額控除等 74 回：既存住宅の改正等 75 回：所得金額調整控除		76 回：被相続人の事業を承継した場合等 77 回：家内労働者等の所得計算の特例等 78 回：雑損控除（災害等関連支出の範囲）等 79 回：生保に基づく一時金及び年金等 80 回：国外中古建物の不動産所得の損益通算等 81 回：組合 82 回：国外転出時課税制度 83 回：非居住者の税務その 1 84 回：非居住者に関する応用理論 85 回：法人成り 86 回：医業の所得計算 87 回：非居住者の税務その 2 88 回：暗号資産の計算及びその評価方法 89 回：退職所得（一般、短期、役員絡む場合） 90 回：源泉徴収票の読み方		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	91 回：2 以上の資産を交換した場合の取扱い 92 回：雑所得（通達による雑所得の意義） 93 回：申告書の見方 94 回：改正税制 1 95 回：改正税制 2 96 回：実力養成演習 1 97 回：実力養成演習 2 98 回：実力養成演習 3 99 回：実力養成演習 4 100 回：総合演習 1 101 回：総合演習 2 102 回：総合演習 3 103 回：総合演習 4 104 回：総合演習 5 105 回：応用力養成演習 1		106 回：応用力養成演習 2 107 回：応用力養成演習 3 108 回：応用力養成演習 4 109 回：応用力養成演習 5 110 回：実践演習 1 111 回：実践演習 2 112 回：実践演習 3 113 回：実践演習 4 114 回：実践演習 15 115 回：条文解釈 1 116 回：条文解釈 2 117 回：条文解釈 3 118 回：実践力養成演習 1 119 回：実践力養成演習 2 120 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	固定資産税Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 固定資産税に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 固定資産税に関する必要な知識を学習します				
到達目標	固定資産税の基礎知識を理解している 固定資産税の応用力を身につけている 固定資産税の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：固定資産税の概要、税額計算の基本 2 回：家屋の計算、法附則 15 の 6 3 回：宅地の計算、非住宅用地の税額計算 4 回：別荘、住宅用地の税額計算 5 回：宅地の区分、地目の変換等の取扱い 6 回：用途変更宅地等 7 回：まとめ 1 8 回：区分所有家屋 9 回：共用土地 10 回：併用専有部分に係る敷地の取扱い等 11 回：区分所有家屋に係る補正 12 回：まとめ 2 13 回：類似用途変更宅地等 14 回：償却資産の評価、課税標準の特例等 15 回：大規模な償却資産		16 回：宅地以外の計算、特定空家等の敷地 17 回：合併があった場合の増額等 18 回：農地 19 回：特定市街化区域農地等 20 回：まとめ 3 21 回：実力養成演習 1 22 回：実力養成演習 2 23 回：改正税法 24 回：応用力養成演習 1 25 回：応用力養成演習 2 26 回：まとめ 4 27 回：まとめ 5 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	国税徴収法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 国税徴収法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 国税徴収法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	国税徴収法の基礎知識を理解している 国税徴収法の応用力を身につけている 国税徴収法の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：国税徴収法・民法の概要 2 回：滞納処分の概要、収益費用、租税間等 3 回：担保権、法定納期限等 4 回：差押えの制限、差押禁止財産 5 回：差押換え、差押手続 6 回：各種財産の差押え（債権、不動産等） 7 回：各種財産の差押え（無体財産権等） 8 回：国税徴収法第 24 条と第 16 条① 9 回：国税徴収法第 24 条と第 26 条② 10 回：国税徴収法第 23 条、納税猶予等 11 回：担保を徴した国税、法定納期限 12 回：繰上差押え、保全担保、繰上請求 13 回：滞納処分、納付委託、弁済委託 14 回：第二次納税義務 15 回：不服申立て、国税の納付義務の承継等		16 回：質権、抵当権 17 回：国税徴収法第 24 条と第 22 条 18 回：まとめ 19 回：実力養成演習 1 20 回：実力養成演習 2 21 回：総合演習 1 22 回：総合演習 2 23 回：総合演習 3 24 回：応用力養成演習 1 25 回：応用力養成演習 2 26 回：実践演習 1 27 回：実践演習 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：労働基準法・労働安全衛生法 1-1 2 回：労働基準法・労働安全衛生法 1-2 3 回：労働基準法・労働安全衛生法 2-1 4 回：労働基準法・労働安全衛生法 2-2 5 回：労働基準法・労働安全衛生法 3-1 6 回：労働基準法・労働安全衛生法 3-2 7 回：労働基準法・労働安全衛生法 4-1 8 回：労働基準法・労働安全衛生法 4-2 9 回：労働基準法・労働安全衛生法 5-1 10 回：労働基準法・労働安全衛生法 5-2 11 回：労働基準法・労働安全衛生法 6-1 12 回：労働基準法・労働安全衛生法 6-2 13 回：労働基準法・労働安全衛生法 7-1 14 回：労働基準法・労働安全衛生法 7-2 15 回：労災保険法 1-1		16 回：労災保険法 1-2 17 回：労災保険法 2-1 18 回：労災保険法 2-2 19 回：労災保険法 3-1 20 回：労災保険法 3-2 21 回：労災保険法 4-1 22 回：労災保険法 4-2 23 回：労災保険法 5-1 24 回：労災保険法 5-2 25 回：雇用保険法 1-1 26 回：雇用保険法 1-2 27 回：雇用保険法 2-1 28 回：雇用保険法 2-2 29 回：雇用保険法 3-1 30 回：雇用保険法 3-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	31 回：雇用保険法 4-1 32 回：雇用保険法 4-2 33 回：雇用保険法 5-1 34 回：雇用保険法 5-2 35 回：徴収法 1-1 36 回：徴収法 1-2 37 回：徴収法 2-1 38 回：徴収法 2-2 39 回：徴収法 3-1 40 回：徴収法 3-2 41 回：労働に関する一般常識 1-1 42 回：労働に関する一般常識 1-2 43 回：労働に関する一般常識 2-1 44 回：労働に関する一般常識 2-2 45 回：労働に関する一般常識 3-1		46 回：労働に関する一般常識 3-2 47 回：労働に関する一般常識 4-1 48 回：労働に関する一般常識 4-2 49 回：健康保険法 1-1 50 回：健康保険法 1-2 51 回：健康保険法 2-1 52 回：健康保険法 2-2 53 回：健康保険法 3-1 54 回：健康保険法 3-2 55 回：健康保険法 4-1 56 回：健康保険法 4-2 57 回：健康保険法 5-1 58 回：健康保険法 5-2 59 回：健康保険法 6-1 60 回：健康保険法 6-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	61 回：国民年金法 1-1 62 回：国民年金法 1-2 63 回：国民年金法 2-1 64 回：国民年金法 2-2 65 回：国民年金法 3-1 66 回：国民年金法 3-2 67 回：国民年金法 4-1 68 回：国民年金法 4-2 69 回：国民年金法 5-1 70 回：国民年金法 5-2 71 回：国民年金法 6-1 72 回：国民年金法 6-2 73 回：厚生年金保険法 1-1 74 回：厚生年金保険法 1-2 75 回：厚生年金保険法 2-1		76 回：厚生年金保険法 2-2 77 回：厚生年金保険法 3-1 78 回：厚生年金保険法 3-2 79 回：厚生年金保険法 4-1 80 回：厚生年金保険法 4-2 81 回：厚生年金保険法 5-1 82 回：厚生年金保険法 5-2 83 回：厚生年金保険法 6-1 84 回：厚生年金保険法 6-2 85 回：社会保険に関する一般常識 1-1 86 回：社会保険に関する一般常識 1-2 87 回：社会保険に関する一般常識 2-1 88 回：社会保険に関する一般常識 2-2 89 回：社会保険に関する一般常識 3-1 90 回：社会保険に関する一般常識 3-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	91 回：社会保険に関する一般常識 4-1 92 回：社会保険に関する一般常識 4-2 93 回：横断まとめ 1 94 回：横断まとめ 2 95 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 1-1 96 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 1-2 97 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 2-1 98 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 2-2 99 回：法改正まとめ 1-1 100 回：法改正まとめ 1-2 101 回：法改正まとめ 2-1 102 回：法改正まとめ 2-2 103 回：労働編演習 1-1 104 回：労働編演習 1-2 105 回：労働編演習 2-1		106 回：労働編演習 2-2 107 回：労働編演習 3-1 108 回：労働編演習 3-2 109 回：社会保険編演習 1-1 110 回：社会保険編演習 1-2 111 回：社会保険編演習 2-1 112 回：社会保険編演習 2-2 113 回：社会保険編演習 3-1 114 回：社会保険編演習 3-2 115 回：総合演習 1 116 回：総合演習 2 117 回：総合演習 3 118 回：総合演習 4 119 回：総合演習 5 120 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：所得税法の概要 2 回：各種所得の意義及び金額の計算 3 回：課税標準の計算、課税所得金額の計算 4 回：納付税額の計算、源泉徴収制度 5 回：復興特別所得税、給与所得 6 回：業務と事業、青色申告制度 7 回：不動産所得、収入計上時期 8 回：減価償却① 9 回：一時所得、広告宣伝のための賞金 10 回：取得した保険金等①、減価償却② 11 回：雑所得、公的年金等 12 回：生命保険契約に基づく年金等 13 回：減価償却③、退職所得 14 回：損益通算、減価償却④ 15 回：事業所得、棚卸資産の自家消費等		16 回：少額減価償却資産等 17 回：必要経費、その他の必要経費 18 回：資産損失、取得した保険金等② 19 回：貸倒引当金（個別） 20 回：貸倒引当金（一括） 21 回：居住者と生計一親族が支払を受ける対価 22 回：必要経費②、不動産所得の損益通算特例 23 回：住宅借入金等 24 回：特定支出の控除特例、純損失の繰越控除 25 回：所得控除 1 26 回：所得控除 2 27 回：所得控除 3 28 回：所得控除 4 29 回：所得控除 5 30 回：所得控除 6		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	31 回：所得控除 7 32 回：取得費、みなし譲渡① 33 回：みなし譲渡② 34 回：山林所得 35 回：居住用財産の特別控除等 36 回：特定の居住用財産の買換えの場合① 37 回：特定の居住用財産の買換えの場合② 38 回：居住用財産の繰越控除等 39 回：配当所得① 40 回：配当所得② 41 回：配当所得③、配当控除 42 回：利子所得 43 回：有価証券の課税関係 44 回：上場株式の損失の繰越控除と損益通算 45 回：配当控除④、特定口座制度①		46 回：特定口座制度② 47 回：特定管理口座 48 回：給与所得者の経済的利益 49 回：源泉徴収の割戻①、先物取引の課税関係 50 回：国外公社債等の利子等の源泉分離課税等 51 回：外国税額控除 52 回：勤続年数の計算① 53 回：勤続年数の計算② 54 回：雑所得の基因となる貸付金の貸倒等 55 回：収用交換等の特別控除、措法の特別控除 56 回：収用等、譲渡所得の税額軽減 57 回：確定給付年金等 58 回：源泉徴収の割戻② 59 回：長期損害保険契約の課税関係等 60 回：借地権の課税関係、国庫補助金		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	61 回：収入計上時期（地代、家賃等）等 62 回：繰延資産等 63 回：平均課税制度 64 回：消費税等、概算経費控除 65 回：エンジェル税制等 66 回：ストック・オプション税制等 67 回：政党寄附金の特別税額控除等 68 回：相続税額の取得費加算等 69 回：固定資産の交換の場合の課税の特例 70 回：資産損失（一部損壊含む） 71 回：みなし配当、みなし持分 72 回：公社債・割引債 73 回：既存住宅の耐震改修税額控除等 74 回：既存住宅の改正等 75 回：所得金額調整控除		76 回：被相続人の事業を承継した場合等 77 回：家内労働者等の所得計算の特例等 78 回：雑損控除（災害等関連支出の範囲）等 79 回：生保に基づく一時金及び年金等 80 回：国外中古建物の不動産所得の損益通算等 81 回：組合 82 回：国外転出時課税制度 83 回：非居住者の税務その 1 84 回：非居住者に関する応用理論 85 回：法人成り 86 回：医業の所得計算 87 回：非居住者の税務その 2 88 回：暗号資産の計算及びその評価方法 89 回：退職所得（一般、短期、役員絡む場合） 90 回：源泉徴収票の読み方		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	所得税法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 所得税法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 所得税法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	所得税法の基礎知識を理解している 所得税法の応用力を身につけている 所得税法の実践力を身につけている				
授業内容	91 回：2 以上の資産を交換した場合の取扱い 92 回：雑所得（通達による雑所得の意義） 93 回：申告書の見方 94 回：改正税制 1 95 回：改正税制 2 96 回：実力養成演習 1 97 回：実力養成演習 2 98 回：実力養成演習 3 99 回：実力養成演習 4 100 回：総合演習 1 101 回：総合演習 2 102 回：総合演習 3 103 回：総合演習 4 104 回：総合演習 5 105 回：応用力養成演習 1		106 回：応用力養成演習 2 107 回：応用力養成演習 3 108 回：応用力養成演習 4 109 回：応用力養成演習 5 110 回：実践演習 1 111 回：実践演習 2 112 回：実践演習 3 113 回：実践演習 4 114 回：実践演習 15 115 回：条文解釈 1 116 回：条文解釈 2 117 回：条文解釈 3 118 回：実践力養成演習 1 119 回：実践力養成演習 2 120 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	固定資産税Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 固定資産税に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 固定資産税に関する必要な知識を学習します				
到達目標	固定資産税の基礎知識を理解している 固定資産税の応用力を身につけている 固定資産税の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：固定資産税の概要、税額計算の基本 2 回：家屋の計算、法附則 15 の 6 3 回：宅地の計算、非住宅用地の税額計算 4 回：別荘、住宅用地の税額計算 5 回：宅地の区分、地目の変換等の取扱い 6 回：用途変更宅地等 7 回：まとめ 1 8 回：区分所有家屋 9 回：共用土地 10 回：併用専有部分に係る敷地の取扱い等 11 回：区分所有家屋に係る補正 12 回：まとめ 2 13 回：類似用途変更宅地等 14 回：償却資産の評価、課税標準の特例等 15 回：大規模な償却資産		16 回：宅地以外の計算、特定空家等の敷地 17 回：合併があった場合の増額等 18 回：農地 19 回：特定市街化区域農地等 20 回：まとめ 3 21 回：実力養成演習 1 22 回：実力養成演習 2 23 回：改正税法 24 回：応用力養成演習 1 25 回：応用力養成演習 2 26 回：まとめ 4 27 回：まとめ 5 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	国税徴収法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 国税徴収法に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 国税徴収法に関する必要な知識を学習します				
到達目標	国税徴収法の基礎知識を理解している 国税徴収法の応用力を身につけている 国税徴収法の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：国税徴収法・民法の概要 2 回：滞納処分の概要、収益費用、租税間等 3 回：担保権、法定納期限等 4 回：差押えの制限、差押禁止財産 5 回：差押換え、差押手続 6 回：各種財産の差押え（債権、不動産等） 7 回：各種財産の差押え（無体財産権等） 8 回：国税徴収法第 24 条と第 16 条① 9 回：国税徴収法第 24 条と第 26 条② 10 回：国税徴収法第 23 条、納税猶予等 11 回：担保を徴した国税、法定納期限 12 回：繰上差押え、保全担保、繰上請求 13 回：滞納処分、納付委託、弁済委託 14 回：第二次納税義務 15 回：不服申立て、国税の納付義務の承継等		16 回：質権、抵当権 17 回：国税徴収法第 24 条と第 22 条 18 回：まとめ 19 回：実力養成演習 1 20 回：実力養成演習 2 21 回：総合演習 1 22 回：総合演習 2 23 回：総合演習 3 24 回：応用力養成演習 1 25 回：応用力養成演習 2 26 回：実践演習 1 27 回：実践演習 2 28 回：実践力養成演習 1 29 回：実践力養成演習 2 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	1 回：労働基準法・労働安全衛生法 1-1 2 回：労働基準法・労働安全衛生法 1-2 3 回：労働基準法・労働安全衛生法 2-1 4 回：労働基準法・労働安全衛生法 2-2 5 回：労働基準法・労働安全衛生法 3-1 6 回：労働基準法・労働安全衛生法 3-2 7 回：労働基準法・労働安全衛生法 4-1 8 回：労働基準法・労働安全衛生法 4-2 9 回：労働基準法・労働安全衛生法 5-1 10 回：労働基準法・労働安全衛生法 5-2 11 回：労働基準法・労働安全衛生法 6-1 12 回：労働基準法・労働安全衛生法 6-2 13 回：労働基準法・労働安全衛生法 7-1 14 回：労働基準法・労働安全衛生法 7-2 15 回：労災保険法 1-1		16 回：労災保険法 1-2 17 回：労災保険法 2-1 18 回：労災保険法 2-2 19 回：労災保険法 3-1 20 回：労災保険法 3-2 21 回：労災保険法 4-1 22 回：労災保険法 4-2 23 回：労災保険法 5-1 24 回：労災保険法 5-2 25 回：雇用保険法 1-1 26 回：雇用保険法 1-2 27 回：雇用保険法 2-1 28 回：雇用保険法 2-2 29 回：雇用保険法 3-1 30 回：雇用保険法 3-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	31 回：雇用保険法 4-1 32 回：雇用保険法 4-2 33 回：雇用保険法 5-1 34 回：雇用保険法 5-2 35 回：徴収法 1-1 36 回：徴収法 1-2 37 回：徴収法 2-1 38 回：徴収法 2-2 39 回：徴収法 3-1 40 回：徴収法 3-2 41 回：労働に関する一般常識 1-1 42 回：労働に関する一般常識 1-2 43 回：労働に関する一般常識 2-1 44 回：労働に関する一般常識 2-2 45 回：労働に関する一般常識 3-1		46 回：労働に関する一般常識 3-2 47 回：労働に関する一般常識 4-1 48 回：労働に関する一般常識 4-2 49 回：健康保険法 1-1 50 回：健康保険法 1-2 51 回：健康保険法 2-1 52 回：健康保険法 2-2 53 回：健康保険法 3-1 54 回：健康保険法 3-2 55 回：健康保険法 4-1 56 回：健康保険法 4-2 57 回：健康保険法 5-1 58 回：健康保険法 5-2 59 回：健康保険法 6-1 60 回：健康保険法 6-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	61 回：国民年金法 1-1 62 回：国民年金法 1-2 63 回：国民年金法 2-1 64 回：国民年金法 2-2 65 回：国民年金法 3-1 66 回：国民年金法 3-2 67 回：国民年金法 4-1 68 回：国民年金法 4-2 69 回：国民年金法 5-1 70 回：国民年金法 5-2 71 回：国民年金法 6-1 72 回：国民年金法 6-2 73 回：厚生年金保険法 1-1 74 回：厚生年金保険法 1-2 75 回：厚生年金保険法 2-1		76 回：厚生年金保険法 2-2 77 回：厚生年金保険法 3-1 78 回：厚生年金保険法 3-2 79 回：厚生年金保険法 4-1 80 回：厚生年金保険法 4-2 81 回：厚生年金保険法 5-1 82 回：厚生年金保険法 5-2 83 回：厚生年金保険法 6-1 84 回：厚生年金保険法 6-2 85 回：社会保険に関する一般常識 1-1 86 回：社会保険に関する一般常識 1-2 87 回：社会保険に関する一般常識 2-1 88 回：社会保険に関する一般常識 2-2 89 回：社会保険に関する一般常識 3-1 90 回：社会保険に関する一般常識 3-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	コンサルティング実務Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	120	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学ぶ 【概要】 労働社会保険諸法令に関する必要な知識を学習します				
到達目標	労働・社会保険諸法令の基礎知識を理解している 労働・社会保険諸法令の応用力を身につけている 労働・社会保険諸法令の実践力を身につけている				
授業内容	91 回：社会保険に関する一般常識 4-1 92 回：社会保険に関する一般常識 4-2 93 回：横断まとめ 1 94 回：横断まとめ 2 95 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 1-1 96 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 1-2 97 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 2-1 98 回：労働経済・厚生労働白書まとめ 2-2 99 回：法改正まとめ 1-1 100 回：法改正まとめ 1-2 101 回：法改正まとめ 2-1 102 回：法改正まとめ 2-2 103 回：労働編演習 1-1 104 回：労働編演習 1-2 105 回：労働編演習 2-1		106 回：労働編演習 2-2 107 回：労働編演習 3-1 108 回：労働編演習 3-2 109 回：社会保険編演習 1-1 110 回：社会保険編演習 1-2 111 回：社会保険編演習 2-1 112 回：社会保険編演習 2-2 113 回：社会保険編演習 3-1 114 回：社会保険編演習 3-2 115 回：総合演習 1 116 回：総合演習 2 117 回：総合演習 3 118 回：総合演習 4 119 回：総合演習 5 120 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（実習Ⅱ）	授業形態	実習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現場実習に参加し、業務の基礎を学び習得した知識を深める。 【概要】 現場実習を通して、実務経験を積む。				
到達目標	実務を通して、机上での勉強内容を実践する。				
授業内容	1 回：早期実務実習 1 2 回：早期実務実習 2 3 回：早期実務実習 3 4 回：早期実務実習 4 5 回：早期実務実習 5 6 回：早期実務実習 6 7 回：早期実務実習 7 8 回：早期実務実習 8 9 回：早期実務実習 9 10 回：早期実務実習 10 11 回：早期実務実習 11 12 回：早期実務実習 12 13 回：早期実務実習 13 14 回：早期実務実習 14 15 回：早期実務実習 15		16 回：早期実務実習 16 17 回：早期実務実習 17 18 回：早期実務実習 18 19 回：早期実務実習 19 20 回：早期実務実習 20 21 回：早期実務実習 21 22 回：早期実務実習 22 23 回：早期実務実習 23 24 回：早期実務実習 24 25 回：早期実務実習 25 26 回：早期実務実習 26 27 回：早期実務実習 27 28 回：早期実務実習 28 29 回：早期実務実習 29 30 回：早期実務実習 30		
テキスト 参考文献					
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	就業先の業務内容や職場環境について事前に情報収集を行い、授業で学んだ知識との関連を整理しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（実習Ⅱ）	授業形態	実習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現場実習に参加し、業務の基礎を学び習得した知識を深める。 【概要】 現場実習を通して、実務経験を積む。				
到達目標	実務を通して、机上での勉強内容を実践する。				
授業内容	31 回：早期実務実習 31 32 回：早期実務実習 32 33 回：早期実務実習 33 34 回：早期実務実習 34 35 回：早期実務実習 35 36 回：早期実務実習 36 37 回：早期実務実習 37 38 回：早期実務実習 38 39 回：早期実務実習 39 40 回：早期実務実習 40 41 回：早期実務実習 41 42 回：早期実務実習 42 43 回：早期実務実習 43 44 回：早期実務実習 44 45 回：早期実務実習 45				
テキスト 参考文献					
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	就業先の業務内容や職場環境について事前に情報収集を行い、授業で学んだ知識との関連を整理しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（実習Ⅲ）	授業形態	実習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現場実習に参加し、業務の基礎を学び習得した知識を深める。 【概要】 現場実習を通して、実務経験を積む。				
到達目標	実務を通して、机上での勉強内容を実践する。				
授業内容	1 回：早期実務実習 1 2 回：早期実務実習 2 3 回：早期実務実習 3 4 回：早期実務実習 4 5 回：早期実務実習 5 6 回：早期実務実習 6 7 回：早期実務実習 7 8 回：早期実務実習 8 9 回：早期実務実習 9 10 回：早期実務実習 10 11 回：早期実務実習 11 12 回：早期実務実習 12 13 回：早期実務実習 13 14 回：早期実務実習 14 15 回：早期実務実習 15		16 回：早期実務実習 16 17 回：早期実務実習 17 18 回：早期実務実習 18 19 回：早期実務実習 19 20 回：早期実務実習 20 21 回：早期実務実習 21 22 回：早期実務実習 22 23 回：早期実務実習 23 24 回：早期実務実習 24 25 回：早期実務実習 25 26 回：早期実務実習 26 27 回：早期実務実習 27 28 回：早期実務実習 28 29 回：早期実務実習 29 30 回：早期実務実習 30		
テキスト 参考文献					
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	就業先の業務内容や職場環境について事前に情報収集を行い、授業で学んだ知識との関連を整理しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（実習Ⅲ）	授業形態	実習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現場実習に参加し、業務の基礎を学び習得した知識を深める。 【概要】 現場実習を通して、実務経験を積む。				
到達目標	実務を通して、机上での勉強内容を実践する。				
授業内容	31 回：早期実務実習 31 32 回：早期実務実習 32 33 回：早期実務実習 33 34 回：早期実務実習 34 35 回：早期実務実習 35 36 回：早期実務実習 36 37 回：早期実務実習 37 38 回：早期実務実習 38 39 回：早期実務実習 39 40 回：早期実務実習 40 41 回：早期実務実習 41 42 回：早期実務実習 42 43 回：早期実務実習 43 44 回：早期実務実習 44 45 回：早期実務実習 45				
テキスト 参考文献					
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	就業先の業務内容や職場環境について事前に情報収集を行い、授業で学んだ知識との関連を整理しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（実習Ⅳ）	授業形態	実習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現場実習に参加し、業務の基礎を学び習得した知識を深める。 【概要】 現場実習を通して、実務経験を積む。				
到達目標	実務を通して、机上での勉強内容を実践する。				
授業内容	1 回：早期実務実習 1 2 回：早期実務実習 2 3 回：早期実務実習 3 4 回：早期実務実習 4 5 回：早期実務実習 5 6 回：早期実務実習 6 7 回：早期実務実習 7 8 回：早期実務実習 8 9 回：早期実務実習 9 10 回：早期実務実習 10 11 回：早期実務実習 11 12 回：早期実務実習 12 13 回：早期実務実習 13 14 回：早期実務実習 14 15 回：早期実務実習 15		16 回：早期実務実習 16 17 回：早期実務実習 17 18 回：早期実務実習 18 19 回：早期実務実習 19 20 回：早期実務実習 20 21 回：早期実務実習 21 22 回：早期実務実習 22 23 回：早期実務実習 23 24 回：早期実務実習 24 25 回：早期実務実習 25 26 回：早期実務実習 26 27 回：早期実務実習 27 28 回：早期実務実習 28 29 回：早期実務実習 29 30 回：早期実務実習 30	
テキスト 参考文献					
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	就業先の業務内容や職場環境について事前に情報収集を行い、授業で学んだ知識との関連を整理しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（実習Ⅳ）	授業形態	実習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現場実習に参加し、業務の基礎を学び習得した知識を深める。 【概要】 現場実習を通して、実務経験を積む。				
到達目標	実務を通して、机上での勉強内容を実践する。				
授業内容	31 回：早期実務実習 31 32 回：早期実務実習 32 33 回：早期実務実習 33 34 回：早期実務実習 34 35 回：早期実務実習 35 36 回：早期実務実習 36 37 回：早期実務実習 37 38 回：早期実務実習 38 39 回：早期実務実習 39 40 回：早期実務実習 40 41 回：早期実務実習 41 42 回：早期実務実習 42 43 回：早期実務実習 43 44 回：早期実務実習 44 45 回：早期実務実習 45				
テキスト 参考文献					
成績基準	授業態度・課題を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	就業先の業務内容や職場環境について事前に情報収集を行い、授業で学んだ知識との関連を整理しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：商品売買、棚卸資産、現金預金 2 回：債権債務等、有価証券、有形固定資産 3 回：ソフトウェア、投資その他、減損 4 回：社債、退職給付、資産除去債務 5 回：純資産、ストック・オプション、税金 6 回：税効果会計、外貨建取引 7 回：連結会計① 8 回：連結会計② 9 回：連結会計③ 10 回：連結会計④ 11 回：連結会計⑤ 12 回：連結会計⑥ 13 回：連結会計⑦ 14 回：連結会計⑧ 15 回：連結会計⑨		16 回：連結会計⑩ 17 回：C/F 計算書① 18 回：C/F 計算書② 19 回：C/F 計算書③ 20 回：C/F 計算書④ 21 回：C/F 計算書⑤、セグメント 22 回：期中財務諸表、収益認識① 23 回：収益認識②、1 株当たり情報 24 回：帳簿組織、本支店、製造業、本社工場 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：事業分離① 30 回：事業分離②	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：事業分離③ 32 回：事業分離④ 33 回：結合当事企業の株主、共同支配企業 34 回：収益と費用 35 回：計算演習① 36 回：資産と負債、棚卸資産① 37 回：棚卸資産② 38 回：固定資産① 39 回：繰延資産と引当金 40 回：負債 41 回：金融商品① 42 回：金融商品② 43 回：金融商品③ 44 回：ストック・オプション等① 45 回：ストック・オプション等②		46 回：計算演習② 47 回：リース① 48 回：リース② 49 回：リース③ 50 回：退職給付① 51 回：退職給付② 52 回：研究開発とソフトウェア 53 回：固定資産の減損① 54 回：固定資産の減損② 55 回：計算演習③ 56 回：法人税等① 57 回：法人税等② 58 回：外貨換算① 59 回：外貨換算② 60 回：収益認識①		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：収益認識② 62 回：財務会計の意義と機能 63 回：企業会計制度と会計基準① 64 回：計算演習④ 65 回：企業会計制度と会計基準② 66 回：財務会計の基礎概念① 67 回：財務会計の基礎概念② 68 回：財務会計の基礎概念③ 69 回：純資産① 70 回：純資産② 71 回：純資産③ 72 回：財務諸表① 73 回：計算演習⑤ 74 回：財務諸表② 75 回：財務諸表③		76 回：財務諸表④ 77 回：連結財務諸表① 78 回：連結財務諸表② 79 回：連結財務諸表③ 80 回：連結財務諸表④ 81 回：企業結合と事業分離① 82 回：企業結合と事業分離② 83 回：企業結合と事業分離③ 84 回：企業結合と事業分離④ 85 回：中間財務諸表① 86 回：中間財務諸表② 87 回：短答理論演習① 88 回：短答理論演習② 89 回：短答理論演習③ 90 回：計算演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：短答理論演習④ 92 回：短答理論演習⑤ 93 回：短答理論演習⑥ 94 回：計算演習⑦ 95 回：計算演習⑧ 96 回：計算演習⑨ 97 回：計算演習⑩ 98 回：計算演習⑪ 99 回：計算演習⑫ 100 回：計算演習⑬ 101 回：計算演習⑭ 102 回：計算演習⑮ 103 回：計算演習⑯ 104 回：総まとめ① 105 回：総まとめ②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ―Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：商品売買、棚卸資産、現金預金 2 回：債権債務等、有価証券、有形固定資産 3 回：ソフトウェア、投資その他、減損 4 回：社債、退職給付、資産除去債務 5 回：純資産、ストック・オプション、税金 6 回：税効果会計、外貨建取引 7 回：連結会計① 8 回：連結会計② 9 回：連結会計③ 10 回：連結会計④ 11 回：連結会計⑤ 12 回：連結会計⑥ 13 回：連結会計⑦ 14 回：連結会計⑧ 15 回：連結会計⑨		16 回：連結会計⑩ 17 回：C/F 計算書① 18 回：C/F 計算書② 19 回：C/F 計算書③ 20 回：C/F 計算書④ 21 回：C/F 計算書⑤、セグメント 22 回：期中財務諸表、収益認識① 23 回：収益認識②、1 株当たり情報 24 回：帳簿組織、本支店、製造業、本社工場 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：事業分離① 30 回：事業分離②	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ―Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：事業分離③ 32 回：事業分離④ 33 回：結合当事企業の株主、共同支配企業 34 回：収益と費用 35 回：計算演習① 36 回：資産と負債、棚卸資産① 37 回：棚卸資産② 38 回：固定資産① 39 回：繰延資産と引当金 40 回：負債 41 回：金融商品① 42 回：金融商品② 43 回：金融商品③ 44 回：ストック・オプション等① 45 回：ストック・オプション等②		46 回：計算演習② 47 回：リース① 48 回：リース② 49 回：リース③ 50 回：退職給付① 51 回：退職給付② 52 回：研究開発とソフトウェア 53 回：固定資産の減損① 54 回：固定資産の減損② 55 回：計算演習③ 56 回：法人税等① 57 回：法人税等② 58 回：外貨換算① 59 回：外貨換算② 60 回：収益認識①		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ―Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：収益認識② 62 回：財務会計の意義と機能 63 回：企業会計制度と会計基準① 64 回：計算演習④ 65 回：企業会計制度と会計基準② 66 回：財務会計の基礎概念① 67 回：財務会計の基礎概念② 68 回：財務会計の基礎概念③ 69 回：純資産① 70 回：純資産② 71 回：純資産③ 72 回：財務諸表① 73 回：計算演習⑤ 74 回：財務諸表② 75 回：財務諸表③		76 回：財務諸表④ 77 回：連結財務諸表① 78 回：連結財務諸表② 79 回：連結財務諸表③ 80 回：連結財務諸表④ 81 回：企業結合と事業分離① 82 回：企業結合と事業分離② 83 回：企業結合と事業分離③ 84 回：企業結合と事業分離④ 85 回：中間財務諸表① 86 回：中間財務諸表② 87 回：短答理論演習① 88 回：短答理論演習② 89 回：短答理論演習③ 90 回：計算演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅰ―Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：短答理論演習④ 92 回：短答理論演習⑤ 93 回：短答理論演習⑥ 94 回：計算演習⑦ 95 回：計算演習⑧ 96 回：計算演習⑨ 97 回：計算演習⑩ 98 回：計算演習⑪ 99 回：計算演習⑫ 100 回：計算演習⑬ 101 回：計算演習⑭ 102 回：計算演習⑮ 103 回：計算演習⑯ 104 回：総まとめ① 105 回：総まとめ②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表、商品売買① 2 回：商品売買② 3 回：商品売買③ 4 回：棚卸資産の期末評価① 5 回：棚卸資産の期末評価② 6 回：現金及び預金 7 回：債権債務等① 8 回：債権債務等②、割引現在価値 9 回：貸倒れと貸倒引当金① 10 回：貸倒れと貸倒引当金② 11 回：有価証券① 12 回：有価証券② 13 回：有価証券③ 14 回：授業内演習① 15 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等①		16 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 17 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等③ 18 回：有形固定資産① 19 回：有形固定資産②、無形固定資産 20 回：研究開発・ソフトウェア、投資その他 21 回：固定資産の減損① 22 回：固定資産の減損② 23 回：固定資産の減損③ 24 回：繰延資産 25 回：授業内演習② 26 回：社債① 27 回：社債②、引当金 28 回：退職給付① 29 回：退職給付② 30 回：退職給付③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：退職給付④ 32 回：資産除去債務① 33 回：資産除去債務② 34 回：純資産① 35 回：純資産② 36 回：純資産③ 37 回：授業内演習③ 38 回：新株予約権と新株予約権付社債① 39 回：新株予約権と新株予約権付社債② 40 回：ストック・オプション① 41 回：ストック・オプション② 42 回：税金、税効果会計① 43 回：税効果会計② 44 回：税効果会計③ 45 回：税効果会計④		46 回：外貨建取引① 47 回：外貨建取引② 48 回：外貨建取引③ 49 回：外貨建取引④ 50 回：外貨建取引⑤ 51 回：授業内演習④ 52 回：連結会計① 53 回：連結会計② 54 回：連結会計③ 55 回：連結会計④ 56 回：連結会計⑤ 57 回：連結会計⑥ 58 回：連結会計⑦ 59 回：連結会計⑧ 60 回：連結会計⑨		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：連結会計⑩ 62 回：連結会計⑪ 63 回：連結会計⑫ 64 回：連結会計⑬ 65 回：連結会計⑭ 66 回：連結会計⑮ 67 回：授業内演習⑤ 68 回：連結会計⑯ 69 回：連結会計⑰ 70 回：連結会計⑱ 71 回：連結会計⑲ 72 回：連結会計⑳ 73 回：連結会計㉑ 74 回：連結会計㉒ 75 回：連結会計㉓		76 回：連結会計㉔ 77 回：連結会計㉕ 78 回：連結会計㉖ 79 回：連結会計㉗ 80 回：連結会計㉘ 81 回：連結会計㉙ 82 回：授業内演習⑥ 83 回：C/F 計算書① 84 回：C/F 計算書② 85 回：C/F 計算書③ 86 回：C/F 計算書④ 87 回：C/F 計算書⑤ 88 回：連結 C/F 計算書① 89 回：連結 C/F 計算書② 90 回：連結 C/F 計算書③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：連結 C/F 計算書④ 92 回：連結 C/F 計算書⑤ 93 回：セグメント情報の開示 94 回：期中財務諸表 95 回：会計上の変更及び誤謬の訂正① 96 回：会計上の変更及び誤謬の訂正② 97 回：授業内演習⑦ 98 回：収益認識① 99 回：収益認識② 100 回：収益認識③ 101 回：リース① 102 回：リース② 103 回：リース③ 104 回：リース④ 105 回：リース⑤		106 回：1 株当たり情報① 107 回：1 株当たり情報② 108 回：帳簿組織① 109 回：帳簿組織② 110 回：本支店会計① 111 回：本支店会計② 112 回：在外支店 113 回：製造業 114 回：本社工場会計 115 回：授業内演習⑧ 116 回：企業結合① 117 回：企業結合② 118 回：企業結合③ 119 回：企業結合④ 120 回：企業結合⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	121 回：企業結合⑥ 122 回：事業分離① 123 回：事業分離② 124 回：事業分離③ 125 回：事業分離④ 126 回：事業分離⑤ 127 回：結合当事企業の株主に係る会計処理 128 回：共同支配企業の形成 129 回：授業内演習⑨ 130 回：財務会計の意義と機能 131 回：企業会計制度と会計基準① 132 回：企業会計制度と会計基準② 133 回：財務会計の基礎概念① 134 回：財務会計の基礎概念② 135 回：財務会計の基礎概念③		136 回：収益と費用 137 回：資産と負債、棚卸資産① 138 回：棚卸資産② 139 回：固定資産① 140 回：繰延資産と引当金 141 回：負債 142 回：純資産① 143 回：純資産② 144 回：純資産③ 145 回：財務諸表① 146 回：財務諸表② 147 回：財務諸表③ 148 回：財務諸表④ 149 回：金融商品① 150 回：金融商品②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	151 回：金融商品③ 152 回：ストック・オプション等① 153 回：ストック・オプション等② 154 回：リース① 155 回：リース② 156 回：リース③ 157 回：退職給付① 158 回：退職給付② 159 回：研究開発とソフトウェア 160 回：固定資産の減損① 161 回：固定資産の減損② 162 回：法人税等① 163 回：法人税等② 164 回：連結財務諸表① 165 回：連結財務諸表②		166 回：連結財務諸表③ 167 回：連結財務諸表④ 168 回：企業結合と事業分離① 169 回：企業結合と事業分離② 170 回：企業結合と事業分離③ 171 回：企業結合と事業分離④ 172 回：外貨換算① 173 回：外貨換算② 174 回：中間財務諸表① 175 回：中間財務諸表② 176 回：収益認識① 177 回：収益認識② 178 回：計算演習① 179 回：計算演習② 180 回：計算演習③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、基礎的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の基礎的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の基礎的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の基礎的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	181 回：計算演習④ 182 回：計算演習⑤ 183 回：計算演習⑥ 184 回：計算演習⑦ 185 回：計算演習⑧ 186 回：計算演習⑨ 187 回：計算演習⑩ 188 回：計算演習⑪ 189 回：計算演習⑫ 190 回：計算演習⑬ 191 回：計算演習⑭ 192 回：計算演習⑮ 193 回：計算演習⑯ 194 回：短答理論演習① 195 回：短答理論演習②		196 回：短答理論演習③ 197 回：短答理論演習④ 198 回：短答理論演習⑤ 199 回：短答理論演習⑥ 200 回：総まとめ① 201 回：総まとめ② 202 回：総まとめ③ 203 回：総まとめ④ 204 回：総まとめ⑤ 205 回：総まとめ⑥ 206 回：総まとめ⑦ 207 回：総まとめ⑧ 208 回：総まとめ⑨ 209 回：総まとめ⑩ 210 回：総まとめ⑪		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅰ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論速習Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：予算管理、意思決定会計 3 回：管理会計論総論 4 回：財務会計と管理会計 5 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理 6 回：原価管理、活動基準原価計算 7 回：企業価値の評価・補章 8 回：計算演習① 9 回：計算演習② 10 回：計算演習③ 11 回：計算演習④ 12 回：計算演習⑤ 13 回：短答理論演習① 14 回：短答理論演習② 15 回：短答理論演習③				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論速習Ⅰ－Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：予算管理、意思決定会計 3 回：管理会計論総論 4 回：財務会計と管理会計 5 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理 6 回：原価管理、活動基準原価計算 7 回：企業価値の評価・補章 8 回：計算演習① 9 回：計算演習② 10 回：計算演習③ 11 回：計算演習④ 12 回：計算演習⑤ 13 回：短答理論演習① 14 回：短答理論演習② 15 回：短答理論演習③				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：標準原価計算 3 回：予算管理 4 回：意思決定会計 5 回：管理会計論総論① 6 回：管理会計論総論② 7 回：財務会計と管理会計① 8 回：財務会計と管理会計② 9 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理① 10 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理② 11 回：原価管理、活動基準原価計算① 12 回：原価管理、活動基準原価計算② 13 回：企業価値の評価① 14 回：企業価値の評価② 15 回：補章①		16 回：補章② 17 回：計算演習① 18 回：計算演習② 19 回：計算演習③ 20 回：計算演習④ 21 回：計算演習⑤ 22 回：計算演習⑥ 23 回：計算演習⑦ 24 回：計算演習⑧ 25 回：計算演習⑨ 26 回：計算演習⑩ 27 回：計算演習⑪ 28 回：計算演習⑫ 29 回：計算演習⑬ 30 回：計算演習⑭		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：短答理論演習① 32 回：短答理論演習② 33 回：短答理論演習③ 34 回：短答理論演習④ 35 回：短答理論演習⑤ 36 回：短答理論演習⑥ 37 回：総まとめ① 38 回：総まとめ② 39 回：総まとめ③ 40 回：総まとめ④ 41 回：総まとめ⑤ 42 回：総まとめ⑥ 43 回：総まとめ⑦ 44 回：総まとめ⑧ 45 回：総まとめ⑨				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅰ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論① 2 回：財務諸表監査総論② 3 回：意見表明の対象である財務諸表① 4 回：意見表明の対象である財務諸表② 5 回：監査主体論① 6 回：監査主体論② 7 回：監査実施論① 8 回：監査実施論② 9 回：監査実施論③ 10 回：監査実施論④ 11 回：監査実施論⑤ 12 回：監査実施論⑥ 13 回：監査実施論⑦ 14 回：監査実施論⑧ 15 回：監査実施論⑨		16 回：監査実施論⑩ 17 回：監査実施論⑪ 18 回：監査実施論⑫ 19 回：監査実施論⑬ 20 回：監査実施論⑭ 21 回：監査実施論⑮ 22 回：監査実施論⑯ 23 回：監査実施論⑰ 24 回：監査実施論⑱ 25 回：監査実施論⑲ 26 回：監査実施論⑳ 27 回：監査報告論① 28 回：監査報告論② 29 回：監査報告論③ 30 回：監査報告論④		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：監査報告論⑤ 32 回：監査報告論⑥ 33 回：監査報告論⑦ 34 回：監査報告論⑧ 35 回：継続企業の前提① 36 回：継続企業の前提② 37 回：中間監査総論① 38 回：中間監査総論② 39 回：期中レビュー総論① 40 回：期中レビュー総論② 41 回：特別目的の F/S 監査① 42 回：特別目的の F/S 監査② 43 回：内部統制報告制度① 44 回：内部統制報告制度② 45 回：内部統制報告制度③		46 回：内部統制報告制度④ 47 回：会社法監査① 48 回：会社法監査② 49 回：金融商品取引法監査 50 回：公認会計士法① 51 回：公認会計士法② 52 回：倫理規則 53 回：保証業務概論 54 回：監査の歴史 55 回：監査論短答演習① 56 回：監査論短答演習② 57 回：監査論短答演習③ 58 回：監査論短答演習④ 59 回：監査論短答演習⑤ 60 回：監査論短答演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅰ－Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論① 2 回：財務諸表監査総論② 3 回：意見表明の対象である財務諸表① 4 回：意見表明の対象である財務諸表② 5 回：監査主体論① 6 回：監査主体論② 7 回：監査実施論① 8 回：監査実施論② 9 回：監査実施論③ 10 回：監査実施論④ 11 回：監査実施論⑤ 12 回：監査実施論⑥ 13 回：監査実施論⑦ 14 回：監査実施論⑧ 15 回：監査実施論⑨		16 回：監査実施論⑩ 17 回：監査実施論⑪ 18 回：監査実施論⑫ 19 回：監査実施論⑬ 20 回：監査実施論⑭ 21 回：監査実施論⑮ 22 回：監査実施論⑯ 23 回：監査実施論⑰ 24 回：監査実施論⑱ 25 回：監査実施論⑲ 26 回：監査実施論⑳ 27 回：監査報告論① 28 回：監査報告論② 29 回：監査報告論③ 30 回：監査報告論④		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅰ－Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：監査報告論⑤ 32 回：監査報告論⑥ 33 回：監査報告論⑦ 34 回：監査報告論⑧ 35 回：継続企業の前提① 36 回：継続企業の前提② 37 回：中間監査総論① 38 回：中間監査総論② 39 回：期中レビュー総論① 40 回：期中レビュー総論② 41 回：特別目的の F/S 監査① 42 回：特別目的の F/S 監査② 43 回：内部統制報告制度① 44 回：内部統制報告制度② 45 回：内部統制報告制度③		46 回：内部統制報告制度④ 47 回：会社法監査① 48 回：会社法監査② 49 回：金融商品取引法監査 50 回：公認会計士法① 51 回：公認会計士法② 52 回：倫理規則 53 回：保証業務概論 54 回：監査の歴史 55 回：監査論短答演習① 56 回：監査論短答演習② 57 回：監査論短答演習③ 58 回：監査論短答演習④ 59 回：監査論短答演習⑤ 60 回：監査論短答演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅰ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する基礎的な内容を理解する 会社法の判例に関する基礎的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する基礎的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：会社総説① 2 回：会社総説② 3 回：会社総説③ 4 回：設立① 5 回：設立② 6 回：設立③ 7 回：設立④ 8 回：設立⑤ 9 回：設立⑥ 10 回：設立⑦ 11 回：設立⑧ 12 回：株式① 13 回：株式② 14 回：株式③ 15 回：株式④		16 回：株式⑤ 17 回：株式⑥ 18 回：株式⑦ 19 回：株式⑧ 20 回：株式⑨ 21 回：機関/総説 22 回：機関/株式総会① 23 回：機関/株式総会② 24 回：機関/株式総会③ 25 回：機関/株式総会④ 26 回：機関/取締役① 27 回：機関/取締役② 28 回：機関/取締役③ 29 回：機関/取締役④ 30 回：機関/取締役⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅰ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する基礎的な内容を理解する 会社法の判例に関する基礎的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する基礎的な問題に対応できる				
授業内容	31 回：機関/取締役会 32 回：機関/代表取締役 33 回：機関/監査役・監査役会① 34 回：機関/監査役・監査役会② 35 回：機関/会計参与・会計監査人 36 回：機関/指名委員会等設置会社 37 回：機関/監査等委員会設置会社等 38 回：資金調達/募集株式の発行等① 39 回：資金調達/募集株式の発行等② 40 回：資金調達/募集株式の発行等③ 41 回：資金調達/新株予約権 42 回：資金調達/社債 43 回：計算等① 44 回：計算等② 45 回：事業譲渡・組織再編等①		46 回：事業譲渡・組織再編等② 47 回：事業譲渡・組織再編等③ 48 回：事業譲渡・組織再編等④ 49 回：事業譲渡・組織再編等⑤ 50 回：持分会社等① 51 回：持分会社等② 52 回：商法（会社法）総則① 53 回：商法（会社法）総則② 54 回：商法（会社法）総則③ 55 回：商行為法① 56 回：商行為法② 57 回：商行為法③ 58 回：金融商品取引法① 59 回：金融商品取引法② 60 回：金融商品取引法③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅰ－Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する基礎的な内容を理解する 会社法の判例に関する基礎的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する基礎的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：会社総説① 2 回：会社総説② 3 回：会社総説③ 4 回：設立① 5 回：設立② 6 回：設立③ 7 回：設立④ 8 回：設立⑤ 9 回：設立⑥ 10 回：設立⑦ 11 回：設立⑧ 12 回：株式① 13 回：株式② 14 回：株式③ 15 回：株式④		16 回：株式⑤ 17 回：株式⑥ 18 回：株式⑦ 19 回：株式⑧ 20 回：株式⑨ 21 回：機関/総説 22 回：機関/株式総会① 23 回：機関/株式総会② 24 回：機関/株式総会③ 25 回：機関/株式総会④ 26 回：機関/取締役① 27 回：機関/取締役② 28 回：機関/取締役③ 29 回：機関/取締役④ 30 回：機関/取締役⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅰ－Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する基礎的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する基礎的な内容を理解する 会社法の判例に関する基礎的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する基礎的な問題に対応できる				
授業内容	31 回：機関/取締役会 32 回：機関/代表取締役 33 回：機関/監査役・監査役会① 34 回：機関/監査役・監査役会② 35 回：機関/会計参与・会計監査人 36 回：機関/指名委員会等設置会社 37 回：機関/監査等委員会設置会社等 38 回：資金調達/募集株式の発行等① 39 回：資金調達/募集株式の発行等② 40 回：資金調達/募集株式の発行等③ 41 回：資金調達/新株予約権 42 回：資金調達/社債 43 回：計算等① 44 回：計算等② 45 回：事業譲渡・組織再編等①		46 回：事業譲渡・組織再編等② 47 回：事業譲渡・組織再編等③ 48 回：事業譲渡・組織再編等④ 49 回：事業譲渡・組織再編等⑤ 50 回：持分会社等① 51 回：持分会社等② 52 回：商法（会社法）総則① 53 回：商法（会社法）総則② 54 回：商法（会社法）総則③ 55 回：商行為法① 56 回：商行為法② 57 回：商行為法③ 58 回：金融商品取引法① 59 回：金融商品取引法② 60 回：金融商品取引法③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅰ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の基本的論点について基礎的な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の基本的論点について基礎的な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の基本的論点について基礎的な内容を理解する 会社法の基本的論点について基礎的な内容を記述できる 会社法の基本的論点について公認会計士論文式試験において基礎的な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅰ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅰ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅰ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅰ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅰ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論について、具体的な計算や理論背景の基礎項目を身につける 【概要】 ファイナンスの計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の基礎知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論① 2 回：投資理論② 3 回：最適ポートフォリオの選択① 4 回：最適ポートフォリオの選択② 5 回：CAPM① 6 回：CAPM② 7 回：資本コスト① 8 回：資本コスト② 9 回：最適資本構成① 10 回：最適資本構成② 11 回：プロジェクトの評価① 12 回：プロジェクトの評価② 13 回：デリバティブ① 14 回：デリバティブ② 15 回：デリバティブ③		16 回：アメリカ経営学説① 17 回：アメリカ経営学説② 18 回：組織構造論① 19 回：組織構造論② 20 回：組織文化論① 21 回：組織文化論② 22 回：動機づけ理論① 23 回：動機づけ理論② 24 回：リーダーシップ理論① 25 回：リーダーシップ理論② 26 回：多角化戦略① 27 回：多角化戦略② 28 回：競争戦略① 29 回：競争戦略② 30 回：コーポレートガバナンス		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅰ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 監査人として働くための基礎知識を得る 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅱ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：商品売買、棚卸資産、現金預金 2 回：債権債務等、有価証券、有形固定資産 3 回：ソフトウェア、投資その他、減損 4 回：社債、退職給付、資産除去債務 5 回：純資産、ストック・オプション、税金 6 回：税効果会計、外貨建取引 7 回：連結会計① 8 回：連結会計② 9 回：連結会計③ 10 回：連結会計④ 11 回：連結会計⑤ 12 回：連結会計⑥ 13 回：連結会計⑦ 14 回：連結会計⑧ 15 回：連結会計⑨		16 回：連結会計⑩ 17 回：C/F 計算書① 18 回：C/F 計算書② 19 回：C/F 計算書③ 20 回：C/F 計算書④ 21 回：C/F 計算書⑤、セグメント 22 回：期中財務諸表、収益認識① 23 回：収益認識②、1 株当たり情報 24 回：帳簿組織、本支店、製造業、本社工場 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：事業分離① 30 回：事業分離②	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅱ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：事業分離③ 32 回：事業分離④ 33 回：結合当事企業の株主、共同支配企業 34 回：収益と費用 35 回：計算演習① 36 回：資産と負債、棚卸資産① 37 回：棚卸資産② 38 回：固定資産① 39 回：繰延資産と引当金 40 回：負債 41 回：金融商品① 42 回：金融商品② 43 回：金融商品③ 44 回：ストック・オプション等① 45 回：ストック・オプション等②		46 回：計算演習② 47 回：リース① 48 回：リース② 49 回：リース③ 50 回：退職給付① 51 回：退職給付② 52 回：研究開発とソフトウェア 53 回：固定資産の減損① 54 回：固定資産の減損② 55 回：計算演習③ 56 回：法人税等① 57 回：法人税等② 58 回：外貨換算① 59 回：外貨換算② 60 回：収益認識①		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅱ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：収益認識② 62 回：財務会計の意義と機能 63 回：企業会計制度と会計基準① 64 回：計算演習④ 65 回：企業会計制度と会計基準② 66 回：財務会計の基礎概念① 67 回：財務会計の基礎概念② 68 回：財務会計の基礎概念③ 69 回：純資産① 70 回：純資産② 71 回：純資産③ 72 回：財務諸表① 73 回：計算演習⑤ 74 回：財務諸表② 75 回：財務諸表③		76 回：財務諸表④ 77 回：連結財務諸表① 78 回：連結財務諸表② 79 回：連結財務諸表③ 80 回：連結財務諸表④ 81 回：企業結合と事業分離① 82 回：企業結合と事業分離② 83 回：企業結合と事業分離③ 84 回：企業結合と事業分離④ 85 回：中間財務諸表① 86 回：中間財務諸表② 87 回：短答理論演習① 88 回：短答理論演習② 89 回：短答理論演習③ 90 回：計算演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅱ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：短答理論演習④ 92 回：短答理論演習⑤ 93 回：短答理論演習⑥ 94 回：計算演習⑦ 95 回：計算演習⑧ 96 回：計算演習⑨ 97 回：計算演習⑩ 98 回：計算演習⑪ 99 回：計算演習⑫ 100 回：計算演習⑬ 101 回：計算演習⑭ 102 回：計算演習⑮ 103 回：計算演習⑯ 104 回：総まとめ① 105 回：総まとめ②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表、商品売買① 2 回：商品売買② 3 回：商品売買③ 4 回：棚卸資産の期末評価① 5 回：棚卸資産の期末評価② 6 回：現金及び預金 7 回：債権債務等① 8 回：債権債務等②、割引現在価値 9 回：貸倒れと貸倒引当金① 10 回：貸倒れと貸倒引当金② 11 回：有価証券① 12 回：有価証券② 13 回：有価証券③ 14 回：授業内演習① 15 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等①		16 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 17 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等③ 18 回：有形固定資産① 19 回：有形固定資産②、無形固定資産 20 回：研究開発・ソフトウェア、投資その他 21 回：固定資産の減損① 22 回：固定資産の減損② 23 回：固定資産の減損③ 24 回：繰延資産 25 回：授業内演習② 26 回：社債① 27 回：社債②、引当金 28 回：退職給付① 29 回：退職給付② 30 回：退職給付③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：退職給付④ 32 回：資産除去債務① 33 回：資産除去債務② 34 回：純資産① 35 回：純資産② 36 回：純資産③ 37 回：授業内演習③ 38 回：新株予約権と新株予約権付社債① 39 回：新株予約権と新株予約権付社債② 40 回：ストック・オプション① 41 回：ストック・オプション② 42 回：税金、税効果会計① 43 回：税効果会計② 44 回：税効果会計③ 45 回：税効果会計④		46 回：外貨建取引① 47 回：外貨建取引② 48 回：外貨建取引③ 49 回：外貨建取引④ 50 回：外貨建取引⑤ 51 回：授業内演習④ 52 回：連結会計① 53 回：連結会計② 54 回：連結会計③ 55 回：連結会計④ 56 回：連結会計⑤ 57 回：連結会計⑥ 58 回：連結会計⑦ 59 回：連結会計⑧ 60 回：連結会計⑨		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：連結会計⑩ 62 回：連結会計⑪ 63 回：連結会計⑫ 64 回：連結会計⑬ 65 回：連結会計⑭ 66 回：連結会計⑮ 67 回：授業内演習⑤ 68 回：連結会計⑯ 69 回：連結会計⑰ 70 回：連結会計⑱ 71 回：連結会計⑲ 72 回：連結会計⑳ 73 回：連結会計㉑ 74 回：連結会計㉒ 75 回：連結会計㉓		76 回：連結会計㉔ 77 回：連結会計㉕ 78 回：連結会計㉖ 79 回：連結会計㉗ 80 回：連結会計㉘ 81 回：連結会計㉙ 82 回：授業内演習⑥ 83 回：C/F 計算書① 84 回：C/F 計算書② 85 回：C/F 計算書③ 86 回：C/F 計算書④ 87 回：C/F 計算書⑤ 88 回：連結 C/F 計算書① 89 回：連結 C/F 計算書② 90 回：連結 C/F 計算書③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：連結 C/F 計算書④ 92 回：連結 C/F 計算書⑤ 93 回：セグメント情報の開示 94 回：期中財務諸表 95 回：会計上の変更及び誤謬の訂正① 96 回：会計上の変更及び誤謬の訂正② 97 回：授業内演習⑦ 98 回：収益認識① 99 回：収益認識② 100 回：収益認識③ 101 回：リース① 102 回：リース② 103 回：リース③ 104 回：リース④ 105 回：リース⑤		106 回：1 株当たり情報① 107 回：1 株当たり情報② 108 回：帳簿組織① 109 回：帳簿組織② 110 回：本支店会計① 111 回：本支店会計② 112 回：在外支店 113 回：製造業 114 回：本社工場会計 115 回：授業内演習⑧ 116 回：企業結合① 117 回：企業結合② 118 回：企業結合③ 119 回：企業結合④ 120 回：企業結合⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	121 回：企業結合⑥ 122 回：事業分離① 123 回：事業分離② 124 回：事業分離③ 125 回：事業分離④ 126 回：事業分離⑤ 127 回：結合当事企業の株主に係る会計処理 128 回：共同支配企業の形成 129 回：授業内演習⑨ 130 回：財務会計の意義と機能 131 回：企業会計制度と会計基準① 132 回：企業会計制度と会計基準② 133 回：財務会計の基礎概念① 134 回：財務会計の基礎概念② 135 回：財務会計の基礎概念③		136 回：収益と費用 137 回：資産と負債、棚卸資産① 138 回：棚卸資産② 139 回：固定資産① 140 回：繰延資産と引当金 141 回：負債 142 回：純資産① 143 回：純資産② 144 回：純資産③ 145 回：財務諸表① 146 回：財務諸表② 147 回：財務諸表③ 148 回：財務諸表④ 149 回：金融商品① 150 回：金融商品②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	151 回：金融商品③ 152 回：ストック・オプション等① 153 回：ストック・オプション等② 154 回：リース① 155 回：リース② 156 回：リース③ 157 回：退職給付① 158 回：退職給付② 159 回：研究開発とソフトウェア 160 回：固定資産の減損① 161 回：固定資産の減損② 162 回：法人税等① 163 回：法人税等② 164 回：連結財務諸表① 165 回：連結財務諸表②		166 回：連結財務諸表③ 167 回：連結財務諸表④ 168 回：企業結合と事業分離① 169 回：企業結合と事業分離② 170 回：企業結合と事業分離③ 171 回：企業結合と事業分離④ 172 回：外貨換算① 173 回：外貨換算② 174 回：中間財務諸表① 175 回：中間財務諸表② 176 回：収益認識① 177 回：収益認識② 178 回：計算演習① 179 回：計算演習② 180 回：計算演習③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、初歩的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の初歩的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の初歩的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	181 回：計算演習④ 182 回：計算演習⑤ 183 回：計算演習⑥ 184 回：計算演習⑦ 185 回：計算演習⑧ 186 回：計算演習⑨ 187 回：計算演習⑩ 188 回：計算演習⑪ 189 回：計算演習⑫ 190 回：計算演習⑬ 191 回：計算演習⑭ 192 回：計算演習⑮ 193 回：計算演習⑯ 194 回：短答理論演習① 195 回：短答理論演習②		196 回：短答理論演習③ 197 回：短答理論演習④ 198 回：短答理論演習⑤ 199 回：短答理論演習⑥ 200 回：総まとめ① 201 回：総まとめ② 202 回：総まとめ③ 203 回：総まとめ④ 204 回：総まとめ⑤ 205 回：総まとめ⑥ 206 回：総まとめ⑦ 207 回：総まとめ⑧ 208 回：総まとめ⑨ 209 回：総まとめ⑩ 210 回：総まとめ⑪		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論ⅡA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論の重点を理解し、財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の重点を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理のうち重点項目が処理できる 財務諸表論の重点項目の理論を理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：資産① 2 回：資産② 3 回：資産③ 4 回：負債・純資産① 5 回：負債・純資産② 6 回：負債・純資産③ 7 回：連結① 8 回：連結② 9 回：連結③ 10 回：連結④ 11 回：連結⑤ 12 回：企業結合・事業分離① 13 回：企業結合・事業分離② 14 回：財務諸表① 15 回：財務諸表②		16 回：収益認識・リース・本支店① 17 回：収益認識・リース・本支店② 18 回：理論① 19 回：理論② 20 回：理論③ 21 回：理論④ 22 回：理論⑤ 23 回：理論⑥ 24 回：理論⑦ 25 回：理論⑧ 26 回：理論⑨ 27 回：理論⑩ 28 回：理論⑪ 29 回：理論⑫ 30 回：理論⑬		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅱ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習直対①-1 2 回：会計学午後論文演習直対①-2 3 回：会計学午後論文演習直対①-3 4 回：会計学午後論文演習直対①-4 5 回：会計学午後論文演習直対②-1 6 回：会計学午後論文演習直対②-2 7 回：会計学午後論文演習直対②-3 8 回：会計学午後論文演習直対②-4 9 回：会計学午後論文演習直対③-1 10 回：会計学午後論文演習直対③-2 11 回：会計学午後論文演習直対③-3 12 回：会計学午後論文演習直対③-4 13 回：会計学午後論文演習直対④-1 14 回：会計学午後論文演習直対④-2 15 回：会計学午後論文演習直対④-3		16 回：会計学午後論文演習直対④-4 17 回：会計学午後論文演習直対⑤-1 18 回：会計学午後論文演習直対⑤-2 19 回：会計学午後論文演習直対⑤-3 20 回：会計学午後論文演習直対⑤-4 21 回：会計学午後論文演習直対⑥-1 22 回：会計学午後論文演習直対⑥-2 23 回：会計学午後論文演習直対⑥-3 24 回：会計学午後論文演習直対⑥-4 25 回：会計学午後論文演習直対⑦-1 26 回：会計学午後論文演習直対⑦-2 27 回：会計学午後論文演習直対⑦-3 28 回：会計学午後論文演習直対⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅱ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的な記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理を素早く行うことができる 基礎的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理を素早く行うことができる 基礎的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：問題演習㉛ 32 回：問題演習㉜ 33 回：問題演習㉝ 34 回：問題演習㉞ 35 回：問題演習㉟ 36 回：問題演習㊱ 37 回：問題演習㊲ 38 回：問題演習㊳ 39 回：問題演習㊴ 40 回：問題演習㊵ 41 回：問題演習㊶ 42 回：問題演習㊷ 43 回：問題演習㊸ 44 回：問題演習㊹ 45 回：問題演習㊺	46 回：問題演習㊻ 47 回：問題演習㊼ 48 回：問題演習㊽ 49 回：問題演習㊾ 50 回：問題演習㊿ 51 回：総まとめ演習① 52 回：総まとめ演習② 53 回：総まとめ演習③ 54 回：総まとめ演習④ 55 回：総まとめ演習⑤ 56 回：総まとめ演習⑥ 57 回：総まとめ演習⑦ 58 回：総まとめ演習⑧ 59 回：総まとめ演習⑨ 60 回：総まとめ演習⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理を素早く行うことができる 基礎的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理を素早く行うことができる 基礎的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：問題演習㉛ 32 回：問題演習㉜ 33 回：問題演習㉝ 34 回：問題演習㉞ 35 回：問題演習㉟ 36 回：問題演習㊱ 37 回：問題演習㊲ 38 回：問題演習㊳ 39 回：問題演習㊴ 40 回：問題演習㊵ 41 回：問題演習㊶ 42 回：問題演習㊷ 43 回：問題演習㊸ 44 回：問題演習㊹ 45 回：問題演習㊺		46 回：問題演習㊻ 47 回：問題演習㊼ 48 回：問題演習㊽ 49 回：問題演習㊾ 50 回：問題演習㊿ 51 回：総まとめ演習① 52 回：総まとめ演習② 53 回：総まとめ演習③ 54 回：総まとめ演習④ 55 回：総まとめ演習⑤ 56 回：総まとめ演習⑥ 57 回：総まとめ演習⑦ 58 回：総まとめ演習⑧ 59 回：総まとめ演習⑨ 60 回：総まとめ演習⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論速習Ⅱ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：予算管理、意思決定会計 3 回：管理会計論総論 4 回：財務会計と管理会計 5 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理 6 回：原価管理、活動基準原価計算 7 回：企業価値の評価・補章 8 回：計算演習① 9 回：計算演習② 10 回：計算演習③ 11 回：計算演習④ 12 回：計算演習⑤ 13 回：短答理論演習① 14 回：短答理論演習② 15 回：短答理論演習③				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：標準原価計算 3 回：予算管理 4 回：意思決定会計 5 回：管理会計論総論① 6 回：管理会計論総論② 7 回：財務会計と管理会計① 8 回：財務会計と管理会計② 9 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理① 10 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理② 11 回：原価管理、活動基準原価計算① 12 回：原価管理、活動基準原価計算② 13 回：企業価値の評価① 14 回：企業価値の評価② 15 回：補章①		16 回：補章② 17 回：計算演習① 18 回：計算演習② 19 回：計算演習③ 20 回：計算演習④ 21 回：計算演習⑤ 22 回：計算演習⑥ 23 回：計算演習⑦ 24 回：計算演習⑧ 25 回：計算演習⑨ 26 回：計算演習⑩ 27 回：計算演習⑪ 28 回：計算演習⑫ 29 回：計算演習⑬ 30 回：計算演習⑭		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：短答理論演習① 32 回：短答理論演習② 33 回：短答理論演習③ 34 回：短答理論演習④ 35 回：短答理論演習⑤ 36 回：短答理論演習⑥ 37 回：総まとめ① 38 回：総まとめ② 39 回：総まとめ③ 40 回：総まとめ④ 41 回：総まとめ⑤ 42 回：総まとめ⑥ 43 回：総まとめ⑦ 44 回：総まとめ⑧ 45 回：総まとめ⑨				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論ⅡA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、部門別計算 2 回：個別原価計算 3 回：総合原価計算 4 回：標準原価計算 5 回：短期利益計画のための管理会計 6 回：直接原価計算 7 回：予算管理 8 回：意思決定会計 9 回：分権組織の管理会計 10 回：管理会計論総論 11 回：財務会計と管理会計 12 回：財務諸表分析 13 回：資金管理と CF 管理 14 回：原価管理、活動基準原価計算 15 回：企業価値の評価、補章				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅱ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習直対①-1 2 回：会計学午前論文演習直対①-2 3 回：会計学午前論文演習直対②-1 4 回：会計学午前論文演習直対②-2 5 回：会計学午前論文演習直対③-1 6 回：会計学午前論文演習直対③-2 7 回：会計学午前論文演習直対④-1 8 回：会計学午前論文演習直対④-2 9 回：会計学午前論文演習直対⑤-1 10 回：会計学午前論文演習直対⑤-2 11 回：会計学午前論文演習直対⑥-1 12 回：会計学午前論文演習直対⑥-2 13 回：会計学午前論文演習直対⑦-1 14 回：会計学午前論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅱ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論① 2 回：財務諸表監査総論② 3 回：意見表明の対象である財務諸表① 4 回：意見表明の対象である財務諸表② 5 回：監査主体論① 6 回：監査主体論② 7 回：監査実施論① 8 回：監査実施論② 9 回：監査実施論③ 10 回：監査実施論④ 11 回：監査実施論⑤ 12 回：監査実施論⑥ 13 回：監査実施論⑦ 14 回：監査実施論⑧ 15 回：監査実施論⑨		16 回：監査実施論⑩ 17 回：監査実施論⑪ 18 回：監査実施論⑫ 19 回：監査実施論⑬ 20 回：監査実施論⑭ 21 回：監査実施論⑮ 22 回：監査実施論⑯ 23 回：監査実施論⑰ 24 回：監査実施論⑱ 25 回：監査実施論⑲ 26 回：監査実施論⑳ 27 回：監査報告論① 28 回：監査報告論② 29 回：監査報告論③ 30 回：監査報告論④		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：監査報告論⑤ 32 回：監査報告論⑥ 33 回：監査報告論⑦ 34 回：監査報告論⑧ 35 回：継続企業の前提① 36 回：継続企業の前提② 37 回：中間監査総論① 38 回：中間監査総論② 39 回：期中レビュー総論① 40 回：期中レビュー総論② 41 回：特別目的の F/S 監査① 42 回：特別目的の F/S 監査② 43 回：内部統制報告制度① 44 回：内部統制報告制度② 45 回：内部統制報告制度③		46 回：内部統制報告制度④ 47 回：会社法監査① 48 回：会社法監査② 49 回：金融商品取引法監査 50 回：公認会計士法① 51 回：公認会計士法② 52 回：倫理規則 53 回：保証業務概論 54 回：監査の歴史 55 回：監査論短答演習① 56 回：監査論短答演習② 57 回：監査論短答演習③ 58 回：監査論短答演習④ 59 回：監査論短答演習⑤ 60 回：監査論短答演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論ⅡA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論 2 回：意見表明の対象である財務諸表 3 回：監査主体論 4 回：監査実施論① 5 回：監査実施論② 6 回：監査実施論③ 7 回：監査実施論④ 8 回：監査報告論① 9 回：監査報告論② 10 回：継続企業の前提・中間監査総論 11 回：期中レビュー・特別目的の F/S 監査 12 回：内部統制報告制度 13 回：会社法監査・金融商品取引法監査 14 回：公認会計士法・倫理規則 15 回：保証業務概論・監査の歴史				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅱ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：監査論論文演習直対①-1 2 回：監査論論文演習直対①-2 3 回：監査論論文演習直対②-1 4 回：監査論論文演習直対②-2 5 回：監査論論文演習直対③-1 6 回：監査論論文演習直対③-2 7 回：監査論論文演習直対④-1 8 回：監査論論文演習直対④-2 9 回：監査論論文演習直対⑤-1 10 回：監査論論文演習直対⑤-2 11 回：監査論論文演習直対⑥-1 12 回：監査論論文演習直対⑥-2 13 回：監査論論文演習直対⑦-1 14 回：監査論論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅱ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的な記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	監査の目的や基礎的な実施方法を理解する 監査報告書の記載内容や意見表明の形式について理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	監査の目的や基礎的な実施方法を理解する 監査報告書の記載内容や意見表明の形式について理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する初歩的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する初歩的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する初歩的な内容を理解する 会社法の判例に関する初歩的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する初歩的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：会社総説① 2 回：会社総説② 3 回：会社総説③ 4 回：設立① 5 回：設立② 6 回：設立③ 7 回：設立④ 8 回：設立⑤ 9 回：設立⑥ 10 回：設立⑦ 11 回：設立⑧ 12 回：株式① 13 回：株式② 14 回：株式③ 15 回：株式④		16 回：株式⑤ 17 回：株式⑥ 18 回：株式⑦ 19 回：株式⑧ 20 回：株式⑨ 21 回：機関/総説 22 回：機関/株式総会① 23 回：機関/株式総会② 24 回：機関/株式総会③ 25 回：機関/株式総会④ 26 回：機関/取締役① 27 回：機関/取締役② 28 回：機関/取締役③ 29 回：機関/取締役④ 30 回：機関/取締役⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する初歩的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する初歩的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する初歩的な内容を理解する 会社法の判例に関する初歩的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する初歩的な問題に対応できる				
授業内容	31 回：機関/取締役会 32 回：機関/代表取締役 33 回：機関/監査役・監査役会① 34 回：機関/監査役・監査役会② 35 回：機関/会計参与・会計監査人 36 回：機関/指名委員会等設置会社 37 回：機関/監査等委員会設置会社等 38 回：資金調達/募集株式の発行等① 39 回：資金調達/募集株式の発行等② 40 回：資金調達/募集株式の発行等③ 41 回：資金調達/新株予約権 42 回：資金調達/社債 43 回：計算等① 44 回：計算等② 45 回：事業譲渡・組織再編等①		46 回：事業譲渡・組織再編等② 47 回：事業譲渡・組織再編等③ 48 回：事業譲渡・組織再編等④ 49 回：事業譲渡・組織再編等⑤ 50 回：持分会社等① 51 回：持分会社等② 52 回：商法（会社法）総則① 53 回：商法（会社法）総則② 54 回：商法（会社法）総則③ 55 回：商行為法① 56 回：商行為法② 57 回：商行為法③ 58 回：金融商品取引法① 59 回：金融商品取引法② 60 回：金融商品取引法③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法ⅡA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する重点項目について初歩的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する重点項目について初歩的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する重点項目について初歩的な内容を理解する 会社法の重要判例に関する初歩的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する重点項目について初歩的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：商法（会社法）総則・商行為法① 2 回：商法（会社法）総則・商行為法② 3 回：商法（会社法）総則・商行為法③ 4 回：金融商品取引法① 5 回：金融商品取引法② 6 回：設立 7 回：株式① 8 回：株式② 9 回：機関① 10 回：機関② 11 回：機関③ 12 回：資金調達・計算等① 13 回：資金調達・計算等② 14 回：事業譲渡・組織再編等・持分会社等① 15 回：事業譲渡・組織再編等・持分会社等②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅱ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の応用的論点について基礎的な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の応用的論点について基礎的な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の応用的論点について基礎的な内容を理解する 会社法の応用的論点について基礎的な内容を記述できる 会社法の応用的論点について公認会計士論文式試験において基礎的な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習直対①-1 2 回：企業法論文演習直対①-2 3 回：企業法論文演習直対②-1 4 回：企業法論文演習直対②-2 5 回：企業法論文演習直対③-1 6 回：企業法論文演習直対③-2 7 回：企業法論文演習直対④-1 8 回：企業法論文演習直対④-2 9 回：企業法論文演習直対⑤-1 10 回：企業法論文演習直対⑤-2 11 回：企業法論文演習直対⑥-1 12 回：企業法論文演習直対⑥-2 13 回：企業法論文演習直対⑦-1 14 回：企業法論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅱ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の基本的論点について初歩的な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の基本的論点について初歩的な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の基本的論点について初歩的な内容を理解する 会社法の基本的論点について初歩的な内容を記述できる 会社法の基本的論点について公認会計士論文式試験において初歩的な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の重要論点について基礎的な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の重要論点について基礎的な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の重要論点について基礎的な内容を理解する 会社法の重要論点について基礎的な内容を記述できる 会社法の重要論点について公認会計士論文式試験において基礎的な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する 【概要】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する 会社法の判例に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する 会社法・商法・金商法の問題に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する 【概要】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する 会社法の判例に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する 会社法・商法・金商法の問題に関して公認会計士試験に対応できる初歩的な知識を習得する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅱ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅱ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅱ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅱ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅱ－Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅱ－Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法ⅡA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税テキスト記載項目① 2 回：法人税テキスト記載項目② 3 回：法人税テキスト記載項目③ 4 回：法人税テキスト記載項目④ 5 回：法人税テキスト記載項目⑤ 6 回：法人税テキスト記載項目⑥ 7 回：法人税テキスト記載項目⑦ 8 回：所得税テキスト記載項目① 9 回：所得税テキスト記載項目② 10 回：所得税テキスト記載項目③ 11 回：消費税テキスト記載項目① 12 回：消費税テキスト記載項目② 13 回：理論対策① 14 回：理論対策②、改正講義 15 回：組織再編				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅱ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅱ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅱ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用論点を含む税額計算ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習直対①-1 2 回：租税法論文演習直対①-2 3 回：租税法論文演習直対②-1 4 回：租税法論文演習直対②-2 5 回：租税法論文演習直対③-1 6 回：租税法論文演習直対③-2 7 回：租税法論文演習直対④-1 8 回：租税法論文演習直対④-2 9 回：租税法論文演習直対⑤-1 10 回：租税法論文演習直対⑤-2 11 回：租税法論文演習直対⑥-1 12 回：租税法論文演習直対⑥-2 13 回：租税法論文演習直対⑦-1 14 回：租税法論文演習直対⑦-2 15 回：租税法論文演習直⑧-1		16 回：租税法論文演習直対⑧-2 17 回：租税法論文演習直対⑨-1 18 回：租税法論文演習直対⑨-2 19 回：租税法論文演習直対⑩-1 20 回：租税法論文演習直対⑩-2 21 回：租税法論文演習直対⑪-1 22 回：租税法論文演習直対⑪-2 23 回：租税法論文演習直対⑫-1 24 回：租税法論文演習直対⑫-2 25 回：租税法論文演習直対⑬-1 26 回：租税法論文演習直対⑬-2 27 回：租税法論文演習直対⑭-1 28 回：租税法論文演習直対⑭-2 29 回：租税法論文演習直対⑮-1 30 回：租税法論文演習直対⑮-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅱ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを問題演習により学ぶ				
到達目標	公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを問題演習により学ぶ				
到達目標	公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅱ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論・組織戦略論を応用的に学習し、具体的なモデルを用いた計算や理論背景の応用項目を身につける 【概要】 経営についての応用的な計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の応用知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学ⅡA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論・組織戦略論を応用的に学習し、具体的なモデルを用いた計算や理論背景の応用項目を身につける 【概要】 経営についての応用的な計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の応用知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅱ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論について、具体的な計算や理論背景の基礎項目を身につけ、公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 ファイナンスの計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の基礎知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス	16 回：論文演習対策① 17 回：論文演習対策② 18 回：論文演習対策③ 19 回：論文演習対策④ 20 回：論文演習対策⑤ 21 回：論文演習対策⑥ 22 回：論文演習対策⑦ 23 回：論文演習対策⑧ 24 回：論文演習対策⑨ 25 回：論文演習対策⑩ 26 回：論文演習対策⑪ 27 回：論文演習対策⑫ 28 回：論文演習対策⑬ 29 回：論文演習対策⑭ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅱ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、基礎知識の定着を図る 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習直対①-1 2 回：経営学論文演習直対①-2 3 回：経営学論文演習直対②-1 4 回：経営学論文演習直対②-2 5 回：経営学論文演習直対③-1 6 回：経営学論文演習直対③-2 7 回：経営学論文演習直対④-1 8 回：経営学論文演習直対④-2 9 回：経営学論文演習直対⑤-1 10 回：経営学論文演習直対⑤-2 11 回：経営学論文演習直対⑥-1 12 回：経営学論文演習直対⑥-2 13 回：経営学論文演習直対⑦-1 14 回：経営学論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅱ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、応用知識の定着を図る 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅱ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、基礎知識の定着を図る 監査人として働くための基礎知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅱ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、基礎知識の定着を図る 問題演習により苦手分野の克服を行う				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅱ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	2	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、基礎知識の定着を図る 問題演習により苦手分野の克服を行う				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅲ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：商品売買、棚卸資産、現金預金 2 回：債権債務等、有価証券、有形固定資産 3 回：ソフトウェア、投資その他、減損 4 回：社債、退職給付、資産除去債務 5 回：純資産、ストック・オプション、税金 6 回：税効果会計、外貨建取引 7 回：連結会計① 8 回：連結会計② 9 回：連結会計③ 10 回：連結会計④ 11 回：連結会計⑤ 12 回：連結会計⑥ 13 回：連結会計⑦ 14 回：連結会計⑧ 15 回：連結会計⑨		16 回：連結会計⑩ 17 回：C/F 計算書① 18 回：C/F 計算書② 19 回：C/F 計算書③ 20 回：C/F 計算書④ 21 回：C/F 計算書⑤、セグメント 22 回：期中財務諸表、収益認識① 23 回：収益認識②、1 株当たり情報 24 回：帳簿組織、本支店、製造業、本社工場 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：事業分離① 30 回：事業分離②	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅲ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：事業分離③ 32 回：事業分離④ 33 回：結合当事企業の株主、共同支配企業 34 回：収益と費用 35 回：計算演習① 36 回：資産と負債、棚卸資産① 37 回：棚卸資産② 38 回：固定資産① 39 回：繰延資産と引当金 40 回：負債 41 回：金融商品① 42 回：金融商品② 43 回：金融商品③ 44 回：ストック・オプション等① 45 回：ストック・オプション等②		46 回：計算演習② 47 回：リース① 48 回：リース② 49 回：リース③ 50 回：退職給付① 51 回：退職給付② 52 回：研究開発とソフトウェア 53 回：固定資産の減損① 54 回：固定資産の減損② 55 回：計算演習③ 56 回：法人税等① 57 回：法人税等② 58 回：外貨換算① 59 回：外貨換算② 60 回：収益認識①		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅲ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：収益認識② 62 回：財務会計の意義と機能 63 回：企業会計制度と会計基準① 64 回：計算演習④ 65 回：企業会計制度と会計基準② 66 回：財務会計の基礎概念① 67 回：財務会計の基礎概念② 68 回：財務会計の基礎概念③ 69 回：純資産① 70 回：純資産② 71 回：純資産③ 72 回：財務諸表① 73 回：計算演習⑤ 74 回：財務諸表② 75 回：財務諸表③		76 回：財務諸表④ 77 回：連結財務諸表① 78 回：連結財務諸表② 79 回：連結財務諸表③ 80 回：連結財務諸表④ 81 回：企業結合と事業分離① 82 回：企業結合と事業分離② 83 回：企業結合と事業分離③ 84 回：企業結合と事業分離④ 85 回：中間財務諸表① 86 回：中間財務諸表② 87 回：短答理論演習① 88 回：短答理論演習② 89 回：短答理論演習③ 90 回：計算演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅲ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：短答理論演習④ 92 回：短答理論演習⑤ 93 回：短答理論演習⑥ 94 回：計算演習⑦ 95 回：計算演習⑧ 96 回：計算演習⑨ 97 回：計算演習⑩ 98 回：計算演習⑪ 99 回：計算演習⑫ 100 回：計算演習⑬ 101 回：計算演習⑭ 102 回：計算演習⑮ 103 回：計算演習⑯ 104 回：総まとめ① 105 回：総まとめ②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表、商品売買① 2 回：商品売買② 3 回：商品売買③ 4 回：棚卸資産の期末評価① 5 回：棚卸資産の期末評価② 6 回：現金及び預金 7 回：債権債務等① 8 回：債権債務等②、割引現在価値 9 回：貸倒れと貸倒引当金① 10 回：貸倒れと貸倒引当金② 11 回：有価証券① 12 回：有価証券② 13 回：有価証券③ 14 回：授業内演習① 15 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等①		16 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 17 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等③ 18 回：有形固定資産① 19 回：有形固定資産②、無形固定資産 20 回：研究開発・ソフトウェア、投資その他 21 回：固定資産の減損① 22 回：固定資産の減損② 23 回：固定資産の減損③ 24 回：繰延資産 25 回：授業内演習② 26 回：社債① 27 回：社債②、引当金 28 回：退職給付① 29 回：退職給付② 30 回：退職給付③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：退職給付④ 32 回：資産除去債務① 33 回：資産除去債務② 34 回：純資産① 35 回：純資産② 36 回：純資産③ 37 回：授業内演習③ 38 回：新株予約権と新株予約権付社債① 39 回：新株予約権と新株予約権付社債② 40 回：ストック・オプション① 41 回：ストック・オプション② 42 回：税金、税効果会計① 43 回：税効果会計② 44 回：税効果会計③ 45 回：税効果会計④		46 回：外貨建取引① 47 回：外貨建取引② 48 回：外貨建取引③ 49 回：外貨建取引④ 50 回：外貨建取引⑤ 51 回：授業内演習④ 52 回：連結会計① 53 回：連結会計② 54 回：連結会計③ 55 回：連結会計④ 56 回：連結会計⑤ 57 回：連結会計⑥ 58 回：連結会計⑦ 59 回：連結会計⑧ 60 回：連結会計⑨		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：連結会計⑩ 62 回：連結会計⑪ 63 回：連結会計⑫ 64 回：連結会計⑬ 65 回：連結会計⑭ 66 回：連結会計⑮ 67 回：授業内演習⑤ 68 回：連結会計⑯ 69 回：連結会計⑰ 70 回：連結会計⑱ 71 回：連結会計⑲ 72 回：連結会計⑳ 73 回：連結会計㉑ 74 回：連結会計㉒ 75 回：連結会計㉓		76 回：連結会計㉔ 77 回：連結会計㉕ 78 回：連結会計㉖ 79 回：連結会計㉗ 80 回：連結会計㉘ 81 回：連結会計㉙ 82 回：授業内演習⑥ 83 回：C/F 計算書① 84 回：C/F 計算書② 85 回：C/F 計算書③ 86 回：C/F 計算書④ 87 回：C/F 計算書⑤ 88 回：連結 C/F 計算書① 89 回：連結 C/F 計算書② 90 回：連結 C/F 計算書③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：連結 C/F 計算書④ 92 回：連結 C/F 計算書⑤ 93 回：セグメント情報の開示 94 回：期中財務諸表 95 回：会計上の変更及び誤謬の訂正① 96 回：会計上の変更及び誤謬の訂正② 97 回：授業内演習⑦ 98 回：収益認識① 99 回：収益認識② 100 回：収益認識③ 101 回：リース① 102 回：リース② 103 回：リース③ 104 回：リース④ 105 回：リース⑤		106 回：1 株当たり情報① 107 回：1 株当たり情報② 108 回：帳簿組織① 109 回：帳簿組織② 110 回：本支店会計① 111 回：本支店会計② 112 回：在外支店 113 回：製造業 114 回：本社工場会計 115 回：授業内演習⑧ 116 回：企業結合① 117 回：企業結合② 118 回：企業結合③ 119 回：企業結合④ 120 回：企業結合⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	121 回：企業結合⑥ 122 回：事業分離① 123 回：事業分離② 124 回：事業分離③ 125 回：事業分離④ 126 回：事業分離⑤ 127 回：結合当事企業の株主に係る会計処理 128 回：共同支配企業の形成 129 回：授業内演習⑨ 130 回：財務会計の意義と機能 131 回：企業会計制度と会計基準① 132 回：企業会計制度と会計基準② 133 回：財務会計の基礎概念① 134 回：財務会計の基礎概念② 135 回：財務会計の基礎概念③		136 回：収益と費用 137 回：資産と負債、棚卸資産① 138 回：棚卸資産② 139 回：固定資産① 140 回：繰延資産と引当金 141 回：負債 142 回：純資産① 143 回：純資産② 144 回：純資産③ 145 回：財務諸表① 146 回：財務諸表② 147 回：財務諸表③ 148 回：財務諸表④ 149 回：金融商品① 150 回：金融商品②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	151 回：金融商品③ 152 回：ストック・オプション等① 153 回：ストック・オプション等② 154 回：リース① 155 回：リース② 156 回：リース③ 157 回：退職給付① 158 回：退職給付② 159 回：研究開発とソフトウェア 160 回：固定資産の減損① 161 回：固定資産の減損② 162 回：法人税等① 163 回：法人税等② 164 回：連結財務諸表① 165 回：連結財務諸表②		166 回：連結財務諸表③ 167 回：連結財務諸表④ 168 回：企業結合と事業分離① 169 回：企業結合と事業分離② 170 回：企業結合と事業分離③ 171 回：企業結合と事業分離④ 172 回：外貨換算① 173 回：外貨換算② 174 回：中間財務諸表① 175 回：中間財務諸表② 176 回：収益認識① 177 回：収益認識② 178 回：計算演習① 179 回：計算演習② 180 回：計算演習③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、発展的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の発展的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の発展的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の発展的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	181 回：計算演習④ 182 回：計算演習⑤ 183 回：計算演習⑥ 184 回：計算演習⑦ 185 回：計算演習⑧ 186 回：計算演習⑨ 187 回：計算演習⑩ 188 回：計算演習⑪ 189 回：計算演習⑫ 190 回：計算演習⑬ 191 回：計算演習⑭ 192 回：計算演習⑮ 193 回：計算演習⑯ 194 回：短答理論演習① 195 回：短答理論演習②		196 回：短答理論演習③ 197 回：短答理論演習④ 198 回：短答理論演習⑤ 199 回：短答理論演習⑥ 200 回：総まとめ① 201 回：総まとめ② 202 回：総まとめ③ 203 回：総まとめ④ 204 回：総まとめ⑤ 205 回：総まとめ⑥ 206 回：総まとめ⑦ 207 回：総まとめ⑧ 208 回：総まとめ⑨ 209 回：総まとめ⑩ 210 回：総まとめ⑪		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論ⅢA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論の重点を理解し、財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の重点を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理のうち重点項目が処理できる 財務諸表論の重点項目の理論を理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：資産① 2 回：資産② 3 回：資産③ 4 回：負債・純資産① 5 回：負債・純資産② 6 回：負債・純資産③ 7 回：連結① 8 回：連結② 9 回：連結③ 10 回：連結④ 11 回：連結⑤ 12 回：企業結合・事業分離① 13 回：企業結合・事業分離② 14 回：財務諸表① 15 回：財務諸表②		16 回：収益認識・リース・本支店① 17 回：収益認識・リース・本支店② 18 回：理論① 19 回：理論② 20 回：理論③ 21 回：理論④ 22 回：理論⑤ 23 回：理論⑥ 24 回：理論⑦ 25 回：理論⑧ 26 回：理論⑨ 27 回：理論⑩ 28 回：理論⑪ 29 回：理論⑫ 30 回：理論⑬		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅲ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習直対①-1 2 回：会計学午後論文演習直対①-2 3 回：会計学午後論文演習直対①-3 4 回：会計学午後論文演習直対①-4 5 回：会計学午後論文演習直対②-1 6 回：会計学午後論文演習直対②-2 7 回：会計学午後論文演習直対②-3 8 回：会計学午後論文演習直対②-4 9 回：会計学午後論文演習直対③-1 10 回：会計学午後論文演習直対③-2 11 回：会計学午後論文演習直対③-3 12 回：会計学午後論文演習直対③-4 13 回：会計学午後論文演習直対④-1 14 回：会計学午後論文演習直対④-2 15 回：会計学午後論文演習直対④-3		16 回：会計学午後論文演習直対④-4 17 回：会計学午後論文演習直対⑤-1 18 回：会計学午後論文演習直対⑤-2 19 回：会計学午後論文演習直対⑤-3 20 回：会計学午後論文演習直対⑤-4 21 回：会計学午後論文演習直対⑥-1 22 回：会計学午後論文演習直対⑥-2 23 回：会計学午後論文演習直対⑥-3 24 回：会計学午後論文演習直対⑥-4 25 回：会計学午後論文演習直対⑦-1 26 回：会計学午後論文演習直対⑦-2 27 回：会計学午後論文演習直対⑦-3 28 回：会計学午後論文演習直対⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅲ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅲ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的な記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理を素早く行うことができる 応用的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理を素早く行うことができる 応用的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：問題演習㉛ 32 回：問題演習㉜ 33 回：問題演習㉝ 34 回：問題演習㉞ 35 回：問題演習㉟ 36 回：問題演習㊱ 37 回：問題演習㊲ 38 回：問題演習㊳ 39 回：問題演習㊴ 40 回：問題演習㊵ 41 回：問題演習㊶ 42 回：問題演習㊷ 43 回：問題演習㊸ 44 回：問題演習㊹ 45 回：問題演習㊺		46 回：問題演習㊻ 47 回：問題演習㊼ 48 回：問題演習㊽ 49 回：問題演習㊾ 50 回：問題演習㊿ 51 回：総まとめ演習① 52 回：総まとめ演習② 53 回：総まとめ演習③ 54 回：総まとめ演習④ 55 回：総まとめ演習⑤ 56 回：総まとめ演習⑥ 57 回：総まとめ演習⑦ 58 回：総まとめ演習⑧ 59 回：総まとめ演習⑨ 60 回：総まとめ演習⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理を素早く行うことができる 応用的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理を素早く行うことができる 応用的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：問題演習㉛ 32 回：問題演習㉜ 33 回：問題演習㉝ 34 回：問題演習㉞ 35 回：問題演習㉟ 36 回：問題演習㊱ 37 回：問題演習㊲ 38 回：問題演習㊳ 39 回：問題演習㊴ 40 回：問題演習㊵ 41 回：問題演習㊶ 42 回：問題演習㊷ 43 回：問題演習㊸ 44 回：問題演習㊹ 45 回：問題演習㊺	46 回：問題演習㊻ 47 回：問題演習㊼ 48 回：問題演習㊽ 49 回：問題演習㊾ 50 回：問題演習㊿ 51 回：総まとめ演習① 52 回：総まとめ演習② 53 回：総まとめ演習③ 54 回：総まとめ演習④ 55 回：総まとめ演習⑤ 56 回：総まとめ演習⑥ 57 回：総まとめ演習⑦ 58 回：総まとめ演習⑧ 59 回：総まとめ演習⑨ 60 回：総まとめ演習⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論速習Ⅲ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：予算管理、意思決定会計 3 回：管理会計論総論 4 回：財務会計と管理会計 5 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理 6 回：原価管理、活動基準原価計算 7 回：企業価値の評価・補章 8 回：計算演習① 9 回：計算演習② 10 回：計算演習③ 11 回：計算演習④ 12 回：計算演習⑤ 13 回：短答理論演習① 14 回：短答理論演習② 15 回：短答理論演習③				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算① 2 回：費目別計算② 3 回：部門別計算① 4 回：部門別計算② 5 回：個別原価計算① 6 回：個別原価計算② 7 回：総合原価計算① 8 回：総合原価計算② 9 回：総合原価計算③ 10 回：総合原価計算④ 11 回：標準原価計算① 12 回：標準原価計算② 13 回：標準原価計算③ 14 回：標準原価計算④ 15 回：短期利益計画のための管理会計①		16 回：短期利益計画のための管理会計② 17 回：直接原価計算 18 回：予算管理① 19 回：予算管理② 20 回：意思決定会計① 21 回：意思決定会計② 22 回：意思決定会計③ 23 回：意思決定会計④ 24 回：分権組織の管理会計① 25 回：分権組織の管理会計② 26 回：管理会計論総論 27 回：財務会計と管理会計 28 回：財務諸表分析 29 回：資金管理と CF 管理 30 回：原価管理		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：活動基準原価計算・活動基準原価管理 32 回：企業価値の評価 33 回：補章 34 回：計算演習① 35 回：計算演習② 36 回：計算演習③ 37 回：計算演習④ 38 回：計算演習⑤ 39 回：計算演習⑥ 40 回：計算演習⑦ 41 回：短答理論演習① 42 回：短答理論演習② 43 回：短答理論演習③ 44 回：短答理論演習④ 45 回：短答理論対策				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論ⅢA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、部門別計算 2 回：個別原価計算 3 回：総合原価計算 4 回：標準原価計算 5 回：短期利益計画のための管理会計 6 回：直接原価計算 7 回：予算管理 8 回：意思決定会計 9 回：分権組織の管理会計 10 回：管理会計論総論 11 回：財務会計と管理会計 12 回：財務諸表分析 13 回：資金管理と CF 管理 14 回：原価管理、活動基準原価計算 15 回：企業価値の評価、補章				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅲ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習直対①-1 2 回：会計学午前論文演習直対①-2 3 回：会計学午前論文演習直対②-1 4 回：会計学午前論文演習直対②-2 5 回：会計学午前論文演習直対③-1 6 回：会計学午前論文演習直対③-2 7 回：会計学午前論文演習直対④-1 8 回：会計学午前論文演習直対④-2 9 回：会計学午前論文演習直対⑤-1 10 回：会計学午前論文演習直対⑤-2 11 回：会計学午前論文演習直対⑥-1 12 回：会計学午前論文演習直対⑥-2 13 回：会計学午前論文演習直対⑦-1 14 回：会計学午前論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅲ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅲ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論① 2 回：財務諸表監査総論② 3 回：意見表明の対象である財務諸表① 4 回：意見表明の対象である財務諸表② 5 回：監査主体論① 6 回：監査主体論② 7 回：監査実施論① 8 回：監査実施論② 9 回：監査実施論③ 10 回：監査実施論④ 11 回：監査実施論⑤ 12 回：監査実施論⑥ 13 回：監査実施論⑦ 14 回：監査実施論⑧ 15 回：監査実施論⑨		16 回：監査実施論⑩ 17 回：監査実施論⑪ 18 回：監査実施論⑫ 19 回：監査実施論⑬ 20 回：監査実施論⑭ 21 回：監査実施論⑮ 22 回：監査実施論⑯ 23 回：監査実施論⑰ 24 回：監査実施論⑱ 25 回：監査実施論⑲ 26 回：監査実施論⑳ 27 回：監査報告論① 28 回：監査報告論② 29 回：監査報告論③ 30 回：監査報告論④		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：監査報告論⑤ 32 回：監査報告論⑥ 33 回：監査報告論⑦ 34 回：監査報告論⑧ 35 回：継続企業の前提① 36 回：継続企業の前提② 37 回：中間監査総論① 38 回：中間監査総論② 39 回：期中レビュー総論① 40 回：期中レビュー総論② 41 回：特別目的の F/S 監査① 42 回：特別目的の F/S 監査② 43 回：内部統制報告制度① 44 回：内部統制報告制度② 45 回：内部統制報告制度③		46 回：内部統制報告制度④ 47 回：会社法監査① 48 回：会社法監査② 49 回：金融商品取引法監査 50 回：公認会計士法① 51 回：公認会計士法② 52 回：倫理規則 53 回：保証業務概論 54 回：監査の歴史 55 回：監査論短答演習① 56 回：監査論短答演習② 57 回：監査論短答演習③ 58 回：監査論短答演習④ 59 回：監査論短答演習⑤ 60 回：監査論短答演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論ⅢA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論 2 回：意見表明の対象である財務諸表 3 回：監査主体論 4 回：監査実施論① 5 回：監査実施論② 6 回：監査実施論③ 7 回：監査実施論④ 8 回：監査報告論① 9 回：監査報告論② 10 回：継続企業の前提・中間監査総論 11 回：期中レビュー・特別目的の F/S 監査 12 回：内部統制報告制度 13 回：会社法監査・金融商品取引法監査 14 回：公認会計士法・倫理規則 15 回：保証業務概論・監査の歴史				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅲ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：監査論論文演習直対①-1 2 回：監査論論文演習直対①-2 3 回：監査論論文演習直対②-1 4 回：監査論論文演習直対②-2 5 回：監査論論文演習直対③-1 6 回：監査論論文演習直対③-2 7 回：監査論論文演習直対④-1 8 回：監査論論文演習直対④-2 9 回：監査論論文演習直対⑤-1 10 回：監査論論文演習直対⑤-2 11 回：監査論論文演習直対⑥-1 12 回：監査論論文演習直対⑥-2 13 回：監査論論文演習直対⑦-1 14 回：監査論論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅲ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅲ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的な記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	監査の目的や基礎的な実施方法を理解する 監査報告書の記載内容や意見表明の形式について理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	監査の目的や基礎的な実施方法を理解する 監査報告書の記載内容や意見表明の形式について理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する応用的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する応用的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する応用的な内容を理解する 会社法の判例に関する応用的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する応用的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：会社総説① 2 回：会社総説② 3 回：会社総説③ 4 回：設立① 5 回：設立② 6 回：設立③ 7 回：設立④ 8 回：設立⑤ 9 回：設立⑥ 10 回：設立⑦ 11 回：設立⑧ 12 回：株式① 13 回：株式② 14 回：株式③ 15 回：株式④		16 回：株式⑤ 17 回：株式⑥ 18 回：株式⑦ 19 回：株式⑧ 20 回：株式⑨ 21 回：機関/総説 22 回：機関/株式総会① 23 回：機関/株式総会② 24 回：機関/株式総会③ 25 回：機関/株式総会④ 26 回：機関/取締役① 27 回：機関/取締役② 28 回：機関/取締役③ 29 回：機関/取締役④ 30 回：機関/取締役⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する応用的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する応用的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する応用的な内容を理解する 会社法の判例に関する応用的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する応用的な問題に対応できる				
授業内容	31 回：機関/取締役会 32 回：機関/代表取締役 33 回：機関/監査役・監査役会① 34 回：機関/監査役・監査役会② 35 回：機関/会計参与・会計監査人 36 回：機関/指名委員会等設置会社 37 回：機関/監査等委員会設置会社等 38 回：資金調達/募集株式の発行等① 39 回：資金調達/募集株式の発行等② 40 回：資金調達/募集株式の発行等③ 41 回：資金調達/新株予約権 42 回：資金調達/社債 43 回：計算等① 44 回：計算等② 45 回：事業譲渡・組織再編等①		46 回：事業譲渡・組織再編等② 47 回：事業譲渡・組織再編等③ 48 回：事業譲渡・組織再編等④ 49 回：事業譲渡・組織再編等⑤ 50 回：持分会社等① 51 回：持分会社等② 52 回：商法（会社法）総則① 53 回：商法（会社法）総則② 54 回：商法（会社法）総則③ 55 回：商行為法① 56 回：商行為法② 57 回：商行為法③ 58 回：金融商品取引法① 59 回：金融商品取引法② 60 回：金融商品取引法③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法ⅢA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する重点項目について応用的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する重点項目について応用的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する重点項目について応用的な内容を理解する 会社法の重要判例に関する応用的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する重点項目について応用的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：商法（会社法）総則・商行為法① 2 回：商法（会社法）総則・商行為法② 3 回：商法（会社法）総則・商行為法③ 4 回：金融商品取引法① 5 回：金融商品取引法② 6 回：設立 7 回：株式① 8 回：株式② 9 回：機関① 10 回：機関② 11 回：機関③ 12 回：資金調達・計算等① 13 回：資金調達・計算等② 14 回：事業譲渡・組織再編等・持分会社等① 15 回：事業譲渡・組織再編等・持分会社等②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅲ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の応用的論点について初歩的な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の応用的論点について初歩的な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の応用的論点について初歩的な内容を理解する 会社法の応用的論点について初歩的な内容を記述できる 会社法の応用的論点について公認会計士論文式試験において初歩的な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習直対①-1 2 回：企業法論文演習直対①-2 3 回：企業法論文演習直対②-1 4 回：企業法論文演習直対②-2 5 回：企業法論文演習直対③-1 6 回：企業法論文演習直対③-2 7 回：企業法論文演習直対④-1 8 回：企業法論文演習直対④-2 9 回：企業法論文演習直対⑤-1 10 回：企業法論文演習直対⑤-2 11 回：企業法論文演習直対⑥-1 12 回：企業法論文演習直対⑥-2 13 回：企業法論文演習直対⑦-1 14 回：企業法論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅲ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の基本的論点について必要な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の基本的論点について必要な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の基本的論点について記述に必要な内容を理解する 会社法の基本的論点について必要な内容を記述できる 会社法の基本的論点について公認会計士論文式試験において必要な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅲ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の重要論点について初歩的な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の重要論点について初歩的な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の重要論点について初歩的な内容を理解する 会社法の重要論点について初歩的な内容を記述できる 会社法の重要論点について公認会計士論文式試験において初歩的な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する 【概要】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する 会社法の判例に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する 会社法・商法・金商法の問題に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する 【概要】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する 会社法の判例に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する 会社法・商法・金商法の問題に関して公認会計士試験に対応できる応用的な知識を習得する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅲ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅲ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅲ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅲ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅲ－Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅲ－Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法ⅢA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税テキスト記載項目① 2 回：法人税テキスト記載項目② 3 回：法人税テキスト記載項目③ 4 回：法人税テキスト記載項目④ 5 回：法人税テキスト記載項目⑤ 6 回：法人税テキスト記載項目⑥ 7 回：法人税テキスト記載項目⑦ 8 回：所得税テキスト記載項目① 9 回：所得税テキスト記載項目② 10 回：所得税テキスト記載項目③ 11 回：消費税テキスト記載項目① 12 回：消費税テキスト記載項目② 13 回：理論対策① 14 回：理論対策②、改正講義 15 回：組織再編				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅲ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅲ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅲ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用論点を含む税額計算ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習直対①-1 2 回：租税法論文演習直対①-2 3 回：租税法論文演習直対②-1 4 回：租税法論文演習直対②-2 5 回：租税法論文演習直対③-1 6 回：租税法論文演習直対③-2 7 回：租税法論文演習直対④-1 8 回：租税法論文演習直対④-2 9 回：租税法論文演習直対⑤-1 10 回：租税法論文演習直対⑤-2 11 回：租税法論文演習直対⑥-1 12 回：租税法論文演習直対⑥-2 13 回：租税法論文演習直対⑦-1 14 回：租税法論文演習直対⑦-2 15 回：租税法論文演習直⑧-1		16 回：租税法論文演習直対⑧-2 17 回：租税法論文演習直対⑨-1 18 回：租税法論文演習直対⑨-2 19 回：租税法論文演習直対⑩-1 20 回：租税法論文演習直対⑩-2 21 回：租税法論文演習直対⑪-1 22 回：租税法論文演習直対⑪-2 23 回：租税法論文演習直対⑫-1 24 回：租税法論文演習直対⑫-2 25 回：租税法論文演習直対⑬-1 26 回：租税法論文演習直対⑬-2 27 回：租税法論文演習直対⑭-1 28 回：租税法論文演習直対⑭-2 29 回：租税法論文演習直対⑮-1 30 回：租税法論文演習直対⑮-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅲ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅲ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを問題演習により学ぶ				
到達目標	公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを問題演習により学ぶ				
到達目標	公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅲ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論・組織戦略論を応用的に学習し、具体的なモデルを用いた計算や理論背景の応用項目を身につける 【概要】 経営についての応用的な計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の実践的知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための応用知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学ⅢA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論・組織戦略論を応用的に学習し、具体的なモデルを用いた計算や理論背景の応用項目を身につける 【概要】 経営についての応用的な計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の実践的知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための応用知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅲ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論について、具体的な計算や理論背景の基礎項目を身につけ、公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 ファイナンスの計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に到達する 経営学の実践的知識を身につけ、理論的な思考力を養う 問題演習を通じて、応用的知識の定着を図る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス	16 回：論文演習対策① 17 回：論文演習対策② 18 回：論文演習対策③ 19 回：論文演習対策④ 20 回：論文演習対策⑤ 21 回：論文演習対策⑥ 22 回：論文演習対策⑦ 23 回：論文演習対策⑧ 24 回：論文演習対策⑨ 25 回：論文演習対策⑩ 26 回：論文演習対策⑪ 27 回：論文演習対策⑫ 28 回：論文演習対策⑬ 29 回：論文演習対策⑭ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅲ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、応用的知識の定着を図る 監査人として働くための応用知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習直対①-1 2 回：経営学論文演習直対①-2 3 回：経営学論文演習直対②-1 4 回：経営学論文演習直対②-2 5 回：経営学論文演習直対③-1 6 回：経営学論文演習直対③-2 7 回：経営学論文演習直対④-1 8 回：経営学論文演習直対④-2 9 回：経営学論文演習直対⑤-1 10 回：経営学論文演習直対⑤-2 11 回：経営学論文演習直対⑥-1 12 回：経営学論文演習直対⑥-2 13 回：経営学論文演習直対⑦-1 14 回：経営学論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅲ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、実践的知識の定着を図る 監査人として働くための応用知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅲ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、応用的知識の定着を図る 監査人として働くための応用知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅲ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、応用的知識の定着を図る 問題演習により苦手分野の克服を行う				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅲ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の合格点に達する 問題演習を通じて、応用的知識の定着を図る 問題演習により苦手分野の克服を行う				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅳ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：商品売買、棚卸資産、現金預金 2 回：債権債務等、有価証券、有形固定資産 3 回：ソフトウェア、投資その他、減損 4 回：社債、退職給付、資産除去債務 5 回：純資産、ストック・オプション、税金 6 回：税効果会計、外貨建取引 7 回：連結会計① 8 回：連結会計② 9 回：連結会計③ 10 回：連結会計④ 11 回：連結会計⑤ 12 回：連結会計⑥ 13 回：連結会計⑦ 14 回：連結会計⑧ 15 回：連結会計⑨		16 回：連結会計⑩ 17 回：C/F 計算書① 18 回：C/F 計算書② 19 回：C/F 計算書③ 20 回：C/F 計算書④ 21 回：C/F 計算書⑤、セグメント 22 回：期中財務諸表、収益認識① 23 回：収益認識②、1 株当たり情報 24 回：帳簿組織、本支店、製造業、本社工場 25 回：企業結合① 26 回：企業結合② 27 回：企業結合③ 28 回：企業結合④ 29 回：事業分離① 30 回：事業分離②	
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅳ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：事業分離③ 32 回：事業分離④ 33 回：結合当事企業の株主、共同支配企業 34 回：収益と費用 35 回：計算演習① 36 回：資産と負債、棚卸資産① 37 回：棚卸資産② 38 回：固定資産① 39 回：繰延資産と引当金 40 回：負債 41 回：金融商品① 42 回：金融商品② 43 回：金融商品③ 44 回：ストック・オプション等① 45 回：ストック・オプション等②		46 回：計算演習② 47 回：リース① 48 回：リース② 49 回：リース③ 50 回：退職給付① 51 回：退職給付② 52 回：研究開発とソフトウェア 53 回：固定資産の減損① 54 回：固定資産の減損② 55 回：計算演習③ 56 回：法人税等① 57 回：法人税等② 58 回：外貨換算① 59 回：外貨換算② 60 回：収益認識①		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅳ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：収益認識② 62 回：財務会計の意義と機能 63 回：企業会計制度と会計基準① 64 回：計算演習④ 65 回：企業会計制度と会計基準② 66 回：財務会計の基礎概念① 67 回：財務会計の基礎概念② 68 回：財務会計の基礎概念③ 69 回：純資産① 70 回：純資産② 71 回：純資産③ 72 回：財務諸表① 73 回：計算演習⑤ 74 回：財務諸表② 75 回：財務諸表③		76 回：財務諸表④ 77 回：連結財務諸表① 78 回：連結財務諸表② 79 回：連結財務諸表③ 80 回：連結財務諸表④ 81 回：企業結合と事業分離① 82 回：企業結合と事業分離② 83 回：企業結合と事業分離③ 84 回：企業結合と事業分離④ 85 回：中間財務諸表① 86 回：中間財務諸表② 87 回：短答理論演習① 88 回：短答理論演習② 89 回：短答理論演習③ 90 回：計算演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論速習Ⅳ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	105	単位数	7	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：短答理論演習④ 92 回：短答理論演習⑤ 93 回：短答理論演習⑥ 94 回：計算演習⑦ 95 回：計算演習⑧ 96 回：計算演習⑨ 97 回：計算演習⑩ 98 回：計算演習⑪ 99 回：計算演習⑫ 100 回：計算演習⑬ 101 回：計算演習⑭ 102 回：計算演習⑮ 103 回：計算演習⑯ 104 回：総まとめ① 105 回：総まとめ②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表、商品売買① 2 回：商品売買② 3 回：商品売買③ 4 回：棚卸資産の期末評価① 5 回：棚卸資産の期末評価② 6 回：現金及び預金 7 回：債権債務等① 8 回：債権債務等②、割引現在価値 9 回：貸倒れと貸倒引当金① 10 回：貸倒れと貸倒引当金② 11 回：有価証券① 12 回：有価証券② 13 回：有価証券③ 14 回：授業内演習① 15 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等①		16 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等② 17 回：デリバティブ取引・ヘッジ会計等③ 18 回：有形固定資産① 19 回：有形固定資産②、無形固定資産 20 回：研究開発・ソフトウェア、投資その他 21 回：固定資産の減損① 22 回：固定資産の減損② 23 回：固定資産の減損③ 24 回：繰延資産 25 回：授業内演習② 26 回：社債① 27 回：社債②、引当金 28 回：退職給付① 29 回：退職給付② 30 回：退職給付③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：退職給付④ 32 回：資産除去債務① 33 回：資産除去債務② 34 回：純資産① 35 回：純資産② 36 回：純資産③ 37 回：授業内演習③ 38 回：新株予約権と新株予約権付社債① 39 回：新株予約権と新株予約権付社債② 40 回：ストック・オプション① 41 回：ストック・オプション② 42 回：税金、税効果会計① 43 回：税効果会計② 44 回：税効果会計③ 45 回：税効果会計④		46 回：外貨建取引① 47 回：外貨建取引② 48 回：外貨建取引③ 49 回：外貨建取引④ 50 回：外貨建取引⑤ 51 回：授業内演習④ 52 回：連結会計① 53 回：連結会計② 54 回：連結会計③ 55 回：連結会計④ 56 回：連結会計⑤ 57 回：連結会計⑥ 58 回：連結会計⑦ 59 回：連結会計⑧ 60 回：連結会計⑨		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	61 回：連結会計⑩ 62 回：連結会計⑪ 63 回：連結会計⑫ 64 回：連結会計⑬ 65 回：連結会計⑭ 66 回：連結会計⑮ 67 回：授業内演習⑤ 68 回：連結会計⑯ 69 回：連結会計⑰ 70 回：連結会計⑱ 71 回：連結会計⑲ 72 回：連結会計⑳ 73 回：連結会計㉑ 74 回：連結会計㉒ 75 回：連結会計㉓		76 回：連結会計㉔ 77 回：連結会計㉕ 78 回：連結会計㉖ 79 回：連結会計㉗ 80 回：連結会計㉘ 81 回：連結会計㉙ 82 回：授業内演習⑥ 83 回：C/F 計算書① 84 回：C/F 計算書② 85 回：C/F 計算書③ 86 回：C/F 計算書④ 87 回：C/F 計算書⑤ 88 回：連結 C/F 計算書① 89 回：連結 C/F 計算書② 90 回：連結 C/F 計算書③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	91 回：連結 C/F 計算書④ 92 回：連結 C/F 計算書⑤ 93 回：セグメント情報の開示 94 回：期中財務諸表 95 回：会計上の変更及び誤謬の訂正① 96 回：会計上の変更及び誤謬の訂正② 97 回：授業内演習⑦ 98 回：収益認識① 99 回：収益認識② 100 回：収益認識③ 101 回：リース① 102 回：リース② 103 回：リース③ 104 回：リース④ 105 回：リース⑤		106 回：1 株当たり情報① 107 回：1 株当たり情報② 108 回：帳簿組織① 109 回：帳簿組織② 110 回：本支店会計① 111 回：本支店会計② 112 回：在外支店 113 回：製造業 114 回：本社工場会計 115 回：授業内演習⑧ 116 回：企業結合① 117 回：企業結合② 118 回：企業結合③ 119 回：企業結合④ 120 回：企業結合⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	121 回：企業結合⑥ 122 回：事業分離① 123 回：事業分離② 124 回：事業分離③ 125 回：事業分離④ 126 回：事業分離⑤ 127 回：結合当事企業の株主に係る会計処理 128 回：共同支配企業の形成 129 回：授業内演習⑨ 130 回：財務会計の意義と機能 131 回：企業会計制度と会計基準① 132 回：企業会計制度と会計基準② 133 回：財務会計の基礎概念① 134 回：財務会計の基礎概念② 135 回：財務会計の基礎概念③		136 回：収益と費用 137 回：資産と負債、棚卸資産① 138 回：棚卸資産② 139 回：固定資産① 140 回：繰延資産と引当金 141 回：負債 142 回：純資産① 143 回：純資産② 144 回：純資産③ 145 回：財務諸表① 146 回：財務諸表② 147 回：財務諸表③ 148 回：財務諸表④ 149 回：金融商品① 150 回：金融商品②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	151 回：金融商品③ 152 回：ストック・オプション等① 153 回：ストック・オプション等② 154 回：リース① 155 回：リース② 156 回：リース③ 157 回：退職給付① 158 回：退職給付② 159 回：研究開発とソフトウェア 160 回：固定資産の減損① 161 回：固定資産の減損② 162 回：法人税等① 163 回：法人税等② 164 回：連結財務諸表① 165 回：連結財務諸表②		166 回：連結財務諸表③ 167 回：連結財務諸表④ 168 回：企業結合と事業分離① 169 回：企業結合と事業分離② 170 回：企業結合と事業分離③ 171 回：企業結合と事業分離④ 172 回：外貨換算① 173 回：外貨換算② 174 回：中間財務諸表① 175 回：中間財務諸表② 176 回：収益認識① 177 回：収益認識② 178 回：計算演習① 179 回：計算演習② 180 回：計算演習③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	210	単位数	14	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論を理解し、実践的な財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の実践的内容を学ぶ				
到達目標	財務会計論の実践的な会計処理ができる 財務諸表論の理論の実践的内容を理解する 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	181 回：計算演習④ 182 回：計算演習⑤ 183 回：計算演習⑥ 184 回：計算演習⑦ 185 回：計算演習⑧ 186 回：計算演習⑨ 187 回：計算演習⑩ 188 回：計算演習⑪ 189 回：計算演習⑫ 190 回：計算演習⑬ 191 回：計算演習⑭ 192 回：計算演習⑮ 193 回：計算演習⑯ 194 回：短答理論演習① 195 回：短答理論演習②		196 回：短答理論演習③ 197 回：短答理論演習④ 198 回：短答理論演習⑤ 199 回：短答理論演習⑥ 200 回：総まとめ① 201 回：総まとめ② 202 回：総まとめ③ 203 回：総まとめ④ 204 回：総まとめ⑤ 205 回：総まとめ⑥ 206 回：総まとめ⑦ 207 回：総まとめ⑧ 208 回：総まとめ⑨ 209 回：総まとめ⑩ 210 回：総まとめ⑪		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論ⅣA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 財務会計における会計処理及び理論の重点を理解し、財務諸表を作成する能力を身に付ける 【概要】 財務諸表を作成するための計算方法及び理論の重点を学ぶ				
到達目標	財務会計論の初歩的な会計処理のうち重点項目が処理できる 財務諸表論の重点項目の理論を理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：資産① 2 回：資産② 3 回：資産③ 4 回：負債・純資産① 5 回：負債・純資産② 6 回：負債・純資産③ 7 回：連結① 8 回：連結② 9 回：連結③ 10 回：連結④ 11 回：連結⑤ 12 回：企業結合・事業分離① 13 回：企業結合・事業分離② 14 回：財務諸表① 15 回：財務諸表②		16 回：収益認識・リース・本支店① 17 回：収益認識・リース・本支店② 18 回：理論① 19 回：理論② 20 回：理論③ 21 回：理論④ 22 回：理論⑤ 23 回：理論⑥ 24 回：理論⑦ 25 回：理論⑧ 26 回：理論⑨ 27 回：理論⑩ 28 回：理論⑪ 29 回：理論⑫ 30 回：理論⑬		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅳ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習直対①-1 2 回：会計学午後論文演習直対①-2 3 回：会計学午後論文演習直対①-3 4 回：会計学午後論文演習直対①-4 5 回：会計学午後論文演習直対②-1 6 回：会計学午後論文演習直対②-2 7 回：会計学午後論文演習直対②-3 8 回：会計学午後論文演習直対②-4 9 回：会計学午後論文演習直対③-1 10 回：会計学午後論文演習直対③-2 11 回：会計学午後論文演習直対③-3 12 回：会計学午後論文演習直対③-4 13 回：会計学午後論文演習直対④-1 14 回：会計学午後論文演習直対④-2 15 回：会計学午後論文演習直対④-3		16 回：会計学午後論文演習直対④-4 17 回：会計学午後論文演習直対⑤-1 18 回：会計学午後論文演習直対⑤-2 19 回：会計学午後論文演習直対⑤-3 20 回：会計学午後論文演習直対⑤-4 21 回：会計学午後論文演習直対⑥-1 22 回：会計学午後論文演習直対⑥-2 23 回：会計学午後論文演習直対⑥-3 24 回：会計学午後論文演習直対⑥-4 25 回：会計学午後論文演習直対⑦-1 26 回：会計学午後論文演習直対⑦-2 27 回：会計学午後論文演習直対⑦-3 28 回：会計学午後論文演習直対⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅳ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午後Ⅳ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的な記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午後論文演習①-1 2 回：会計学午後論文演習①-2 3 回：会計学午後論文演習①-3 4 回：会計学午後論文演習①-4 5 回：会計学午後論文演習②-1 6 回：会計学午後論文演習②-2 7 回：会計学午後論文演習②-3 8 回：会計学午後論文演習②-4 9 回：会計学午後論文演習③-1 10 回：会計学午後論文演習③-2 11 回：会計学午後論文演習③-3 12 回：会計学午後論文演習③-4 13 回：会計学午後論文演習④-1 14 回：会計学午後論文演習④-2 15 回：会計学午後論文演習④-3		16 回：会計学午後論文演習④-4 17 回：会計学午後論文演習⑤-1 18 回：会計学午後論文演習⑤-2 19 回：会計学午後論文演習⑤-3 20 回：会計学午後論文演習⑤-4 21 回：会計学午後論文演習⑥-1 22 回：会計学午後論文演習⑥-2 23 回：会計学午後論文演習⑥-3 24 回：会計学午後論文演習⑥-4 25 回：会計学午後論文演習⑦-1 26 回：会計学午後論文演習⑦-2 27 回：会計学午後論文演習⑦-3 28 回：会計学午後論文演習⑦-4 29 回：総まとめ① 30 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	実践的な会計処理を素早く行うことができる 実践的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	実践的な会計処理を素早く行うことができる 実践的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：問題演習㉛ 32 回：問題演習㉜ 33 回：問題演習㉝ 34 回：問題演習㉞ 35 回：問題演習㉟ 36 回：問題演習㊱ 37 回：問題演習㊲ 38 回：問題演習㊳ 39 回：問題演習㊴ 40 回：問題演習㊵ 41 回：問題演習㊶ 42 回：問題演習㊷ 43 回：問題演習㊸ 44 回：問題演習㊹ 45 回：問題演習㊺	46 回：問題演習㊻ 47 回：問題演習㊼ 48 回：問題演習㊽ 49 回：問題演習㊾ 50 回：問題演習㊿ 51 回：総まとめ演習① 52 回：総まとめ演習② 53 回：総まとめ演習③ 54 回：総まとめ演習④ 55 回：総まとめ演習⑤ 56 回：総まとめ演習⑥ 57 回：総まとめ演習⑦ 58 回：総まとめ演習⑧ 59 回：総まとめ演習⑨ 60 回：総まとめ演習⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	実践的な会計処理を素早く行うことができる 実践的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務会計論Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における会計処理および会計基準などを演習形式で学ぶ				
到達目標	実践的な会計処理を素早く行うことができる 実践的な理論の正確な理解ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：問題演習㉛ 32 回：問題演習㉜ 33 回：問題演習㉝ 34 回：問題演習㉞ 35 回：問題演習㉟ 36 回：問題演習㊱ 37 回：問題演習㊲ 38 回：問題演習㊳ 39 回：問題演習㊴ 40 回：問題演習㊵ 41 回：問題演習㊶ 42 回：問題演習㊷ 43 回：問題演習㊸ 44 回：問題演習㊹ 45 回：問題演習㊺		46 回：問題演習㊻ 47 回：問題演習㊼ 48 回：問題演習㊽ 49 回：問題演習㊾ 50 回：問題演習㊿ 51 回：総まとめ演習① 52 回：総まとめ演習② 53 回：総まとめ演習③ 54 回：総まとめ演習④ 55 回：総まとめ演習⑤ 56 回：総まとめ演習⑥ 57 回：総まとめ演習⑦ 58 回：総まとめ演習⑧ 59 回：総まとめ演習⑨ 60 回：総まとめ演習⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論速習Ⅳ－Ⅰ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、総合原価計算 2 回：予算管理、意思決定会計 3 回：管理会計論総論 4 回：財務会計と管理会計 5 回：財務諸表分析、資金管理と CF 管理 6 回：原価管理、活動基準原価計算 7 回：企業価値の評価・補章 8 回：計算演習① 9 回：計算演習② 10 回：計算演習③ 11 回：計算演習④ 12 回：計算演習⑤ 13 回：短答理論演習① 14 回：短答理論演習② 15 回：短答理論演習③				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算① 2 回：費目別計算② 3 回：部門別計算① 4 回：部門別計算② 5 回：個別原価計算① 6 回：個別原価計算② 7 回：総合原価計算① 8 回：総合原価計算② 9 回：総合原価計算③ 10 回：総合原価計算④ 11 回：標準原価計算① 12 回：標準原価計算② 13 回：標準原価計算③ 14 回：標準原価計算④ 15 回：短期利益計画のための管理会計①		16 回：短期利益計画のための管理会計② 17 回：直接原価計算 18 回：予算管理① 19 回：予算管理② 20 回：意思決定会計① 21 回：意思決定会計② 22 回：意思決定会計③ 23 回：意思決定会計④ 24 回：分権組織の管理会計① 25 回：分権組織の管理会計② 26 回：管理会計論総論 27 回：財務会計と管理会計 28 回：財務諸表分析 29 回：資金管理と CF 管理 30 回：原価管理		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	45	単位数	3	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：活動基準原価計算・活動基準原価管理 32 回：企業価値の評価 33 回：補章 34 回：計算演習① 35 回：計算演習② 36 回：計算演習③ 37 回：計算演習④ 38 回：計算演習⑤ 39 回：計算演習⑥ 40 回：計算演習⑦ 41 回：短答理論演習① 42 回：短答理論演習② 43 回：短答理論演習③ 44 回：短答理論演習④ 45 回：短答理論対策				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論ⅣA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：費目別計算、部門別計算 2 回：個別原価計算 3 回：総合原価計算 4 回：標準原価計算 5 回：短期利益計画のための管理会計 6 回：直接原価計算 7 回：予算管理 8 回：意思決定会計 9 回：分権組織の管理会計 10 回：管理会計論総論 11 回：財務会計と管理会計 12 回：財務諸表分析 13 回：資金管理と CF 管理 14 回：原価管理、活動基準原価計算 15 回：企業価値の評価、補章				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅳ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 管理会計の基礎的な知識と考え方を身につけ、原価計算の能力を養う 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法についての講義を行う				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習直対①-1 2 回：会計学午前論文演習直対①-2 3 回：会計学午前論文演習直対②-1 4 回：会計学午前論文演習直対②-2 5 回：会計学午前論文演習直対③-1 6 回：会計学午前論文演習直対③-2 7 回：会計学午前論文演習直対④-1 8 回：会計学午前論文演習直対④-2 9 回：会計学午前論文演習直対⑤-1 10 回：会計学午前論文演習直対⑤-2 11 回：会計学午前論文演習直対⑥-1 12 回：会計学午前論文演習直対⑥-2 13 回：会計学午前論文演習直対⑦-1 14 回：会計学午前論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅳ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	会計学午前Ⅳ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：会計学午前論文演習①-1 2 回：会計学午前論文演習①-2 3 回：会計学午前論文演習②-1 4 回：会計学午前論文演習②-2 5 回：会計学午前論文演習③-1 6 回：会計学午前論文演習③-2 7 回：会計学午前論文演習④-1 8 回：会計学午前論文演習④-2 9 回：会計学午前論文演習⑤-1 10 回：会計学午前論文演習⑤-2 11 回：会計学午前論文演習⑥-1 12 回：会計学午前論文演習⑥-2 13 回：会計学午前論文演習⑦-1 14 回：会計学午前論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な管理会計論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	管理会計論Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 管理会計の意義、原価計算の目的及び方法を演習形式で学ぶ				
到達目標	管理会計論における基本的論点の計算ができる 管理会計理論の基礎知識を身に着け、それを活かした計算ができる 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論① 2 回：財務諸表監査総論② 3 回：意見表明の対象である財務諸表① 4 回：意見表明の対象である財務諸表② 5 回：監査主体論① 6 回：監査主体論② 7 回：監査実施論① 8 回：監査実施論② 9 回：監査実施論③ 10 回：監査実施論④ 11 回：監査実施論⑤ 12 回：監査実施論⑥ 13 回：監査実施論⑦ 14 回：監査実施論⑧ 15 回：監査実施論⑨		16 回：監査実施論⑩ 17 回：監査実施論⑪ 18 回：監査実施論⑫ 19 回：監査実施論⑬ 20 回：監査実施論⑭ 21 回：監査実施論⑮ 22 回：監査実施論⑯ 23 回：監査実施論⑰ 24 回：監査実施論⑱ 25 回：監査実施論⑲ 26 回：監査実施論⑳ 27 回：監査報告論① 28 回：監査報告論② 29 回：監査報告論③ 30 回：監査報告論④		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	31 回：監査報告論⑤ 32 回：監査報告論⑥ 33 回：監査報告論⑦ 34 回：監査報告論⑧ 35 回：継続企業の前提① 36 回：継続企業の前提② 37 回：中間監査総論① 38 回：中間監査総論② 39 回：期中レビュー総論① 40 回：期中レビュー総論② 41 回：特別目的の F/S 監査① 42 回：特別目的の F/S 監査② 43 回：内部統制報告制度① 44 回：内部統制報告制度② 45 回：内部統制報告制度③		46 回：内部統制報告制度④ 47 回：会社法監査① 48 回：会社法監査② 49 回：金融商品取引法監査 50 回：公認会計士法① 51 回：公認会計士法② 52 回：倫理規則 53 回：保証業務概論 54 回：監査の歴史 55 回：監査論短答演習① 56 回：監査論短答演習② 57 回：監査論短答演習③ 58 回：監査論短答演習④ 59 回：監査論短答演習⑤ 60 回：監査論短答演習⑥		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論ⅣA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経済社会における監査の意義と役割について理解し、制度としての監査の意義を理解する 【概要】 監査の目的と金融商品取引法及び会社法における公認会計士監査の概要等について講義を行う				
到達目標	公認会計士による監査の目的を理解する 監査の実施方法や報告に関する基礎知識を身に着ける 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：財務諸表監査総論 2 回：意見表明の対象である財務諸表 3 回：監査主体論 4 回：監査実施論① 5 回：監査実施論② 6 回：監査実施論③ 7 回：監査実施論④ 8 回：監査報告論① 9 回：監査報告論② 10 回：継続企業の前提・中間監査総論 11 回：期中レビュー・特別目的の F/S 監査 12 回：内部統制報告制度 13 回：会社法監査・金融商品取引法監査 14 回：公認会計士法・倫理規則 15 回：保証業務概論・監査の歴史				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅳ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	応用的な会計処理および理論の記述ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：監査論論文演習直対①-1 2 回：監査論論文演習直対①-2 3 回：監査論論文演習直対②-1 4 回：監査論論文演習直対②-2 5 回：監査論論文演習直対③-1 6 回：監査論論文演習直対③-2 7 回：監査論論文演習直対④-1 8 回：監査論論文演習直対④-2 9 回：監査論論文演習直対⑤-1 10 回：監査論論文演習直対⑤-2 11 回：監査論論文演習直対⑥-1 12 回：監査論論文演習直対⑥-2 13 回：監査論論文演習直対⑦-1 14 回：監査論論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅳ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論論文対策Ⅳ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的・応用的な監査論の考え方等について記述ができる 重要論点項目の基礎的・応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の基礎的・応用的な記述が習得できる				
授業内容	1 回：監査論論文演習①-1 2 回：監査論論文演習①-2 3 回：監査論論文演習②-1 4 回：監査論論文演習②-2 5 回：監査論論文演習③-1 6 回：監査論論文演習③-2 7 回：監査論論文演習④-1 8 回：監査論論文演習④-2 9 回：監査論論文演習⑤-1 10 回：監査論論文演習⑤-2 11 回：監査論論文演習⑥-1 12 回：監査論論文演習⑥-2 13 回：監査論論文演習⑦-1 14 回：監査論論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	監査の目的や基礎的な実施方法を理解する 監査報告書の記載内容や意見表明の形式について理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	監査論Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式・論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 監査の目的や実施方法並びに監査報告書の記載内容等を演習形式で学ぶ				
到達目標	監査の目的や基礎的な実施方法を理解する 監査報告書の記載内容や意見表明の形式について理解する 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する実践的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する実践的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する実践的な内容を理解する 会社法の判例に関する実践的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する実践的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：会社総説① 2 回：会社総説② 3 回：会社総説③ 4 回：設立① 5 回：設立② 6 回：設立③ 7 回：設立④ 8 回：設立⑤ 9 回：設立⑥ 10 回：設立⑦ 11 回：設立⑧ 12 回：株式① 13 回：株式② 14 回：株式③ 15 回：株式④		16 回：株式⑤ 17 回：株式⑥ 18 回：株式⑦ 19 回：株式⑧ 20 回：株式⑨ 21 回：機関/総説 22 回：機関/株式総会① 23 回：機関/株式総会② 24 回：機関/株式総会③ 25 回：機関/株式総会④ 26 回：機関/取締役① 27 回：機関/取締役② 28 回：機関/取締役③ 29 回：機関/取締役④ 30 回：機関/取締役⑤		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	通年	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する実践的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する実践的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する実践的な内容を理解する 会社法の判例に関する実践的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する実践的な問題に対応できる				
授業内容	31 回：機関/取締役会 32 回：機関/代表取締役 33 回：機関/監査役・監査役会① 34 回：機関/監査役・監査役会② 35 回：機関/会計参与・会計監査人 36 回：機関/指名委員会等設置会社 37 回：機関/監査等委員会設置会社等 38 回：資金調達/募集株式の発行等① 39 回：資金調達/募集株式の発行等② 40 回：資金調達/募集株式の発行等③ 41 回：資金調達/新株予約権 42 回：資金調達/社債 43 回：計算等① 44 回：計算等② 45 回：事業譲渡・組織再編等①		46 回：事業譲渡・組織再編等② 47 回：事業譲渡・組織再編等③ 48 回：事業譲渡・組織再編等④ 49 回：事業譲渡・組織再編等⑤ 50 回：持分会社等① 51 回：持分会社等② 52 回：商法（会社法）総則① 53 回：商法（会社法）総則② 54 回：商法（会社法）総則③ 55 回：商行為法① 56 回：商行為法② 57 回：商行為法③ 58 回：金融商品取引法① 59 回：金融商品取引法② 60 回：金融商品取引法③		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法ⅣA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する重点項目について実践的な理解をする 【概要】 会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨・判例に関する重点項目について実践的な内容を学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関する重点項目について実践的な内容を理解する 会社法の重要判例に関する実践的な内容を理解する 会社法・商法・金商法に関する重点項目について実践的な問題に対応できる				
授業内容	1 回：商法（会社法）総則・商行為法① 2 回：商法（会社法）総則・商行為法② 3 回：商法（会社法）総則・商行為法③ 4 回：金融商品取引法① 5 回：金融商品取引法② 6 回：設立 7 回：株式① 8 回：株式② 9 回：機関① 10 回：機関② 11 回：機関③ 12 回：資金調達・計算等① 13 回：資金調達・計算等② 14 回：事業譲渡・組織再編等・持分会社等① 15 回：事業譲渡・組織再編等・持分会社等②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅳ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の応用的論点について必要な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の応用的論点について必要な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の応用的論点について記述に必要な内容を理解する 会社法の応用的論点について必要な内容を記述できる 会社法の応用的論点について公認会計士論文式試験において必要な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習直対①-1 2 回：企業法論文演習直対①-2 3 回：企業法論文演習直対②-1 4 回：企業法論文演習直対②-2 5 回：企業法論文演習直対③-1 6 回：企業法論文演習直対③-2 7 回：企業法論文演習直対④-1 8 回：企業法論文演習直対④-2 9 回：企業法論文演習直対⑤-1 10 回：企業法論文演習直対⑤-2 11 回：企業法論文演習直対⑥-1 12 回：企業法論文演習直対⑥-2 13 回：企業法論文演習直対⑦-1 14 回：企業法論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅳ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の基本的論点について十分な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の基本的論点について十分な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の基本的論点について記述に十分な内容を理解する 会社法の基本的論点について十分な内容を記述できる 会社法の基本的論点について公認会計士論文式試験において十分な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法論文対策Ⅳ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法の重要論点について必要な記述ができる能力を身につける 【概要】 会社法の重要論点について必要な記述ができる能力を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法の重要論点について記述に必要な内容を理解する 会社法の重要論点について必要な内容を記述できる 会社法の重要論点について公認会計士論文式試験において必要な対応ができる				
授業内容	1 回：企業法論文演習①-1 2 回：企業法論文演習①-2 3 回：企業法論文演習②-1 4 回：企業法論文演習②-2 5 回：企業法論文演習③-1 6 回：企業法論文演習③-2 7 回：企業法論文演習④-1 8 回：企業法論文演習④-2 9 回：企業法論文演習⑤-1 10 回：企業法論文演習⑤-2 11 回：企業法論文演習⑥-1 12 回：企業法論文演習⑥-2 13 回：企業法論文演習⑦-1 14 回：企業法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する 【概要】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する 会社法の判例に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する 会社法・商法・金商法の問題に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	企業法Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する 【概要】 会社法・商法・金商法に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を演習形式で学ぶ				
到達目標	会社法・商法・金商法の条文・制度趣旨に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する 会社法の判例に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する 会社法・商法・金商法の問題に関して公認会計士試験に対応できる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅳ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	簿記論Ⅳ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の簿記論に対応できる知識を習得する 【概要】 日々の取引に関する基本的会計処理を演習形式で学ぶ				
到達目標	期中の会計処理の基本が理解できる 期中の会計処理ができる 税理士試験簿記論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅳ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	1 回：基礎問題① 2 回：基礎問題② 3 回：基礎問題③ 4 回：基礎問題④ 5 回：基礎問題⑤ 6 回：基礎問題⑥ 7 回：基礎問題⑦ 8 回：基礎問題⑧ 9 回：基礎問題⑨ 10 回：基礎問題⑩ 11 回：基礎問題⑪ 12 回：基礎問題⑫ 13 回：基礎問題⑬ 14 回：基礎問題⑭ 15 回：基礎問題⑮		16 回：基礎問題⑯ 17 回：基礎問題⑰ 18 回：基礎問題⑱ 19 回：基礎問題⑲ 20 回：基礎問題⑳ 21 回：応用問題① 22 回：応用問題② 23 回：応用問題③ 24 回：応用問題④ 25 回：応用問題⑤ 26 回：応用問題⑥ 27 回：応用問題⑦ 28 回：応用問題⑧ 29 回：応用問題⑨ 30 回：応用問題⑩		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	財務諸表論Ⅳ（会計士）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 税理士試験の財務諸表論に対応できる知識を習得する 【概要】 財務諸表作成における決算整理および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	決算整理の基礎が理解できる 会計処理を基に財務諸表が作成できる 税理士試験財務諸表論の合格点に到達する				
授業内容	31 回：応用問題⑪ 32 回：応用問題⑫ 33 回：応用問題⑬ 34 回：応用問題⑭ 35 回：応用問題⑮ 36 回：応用問題⑯ 37 回：応用問題⑰ 38 回：応用問題⑱ 39 回：応用問題⑲ 40 回：応用問題⑳ 41 回：模擬演習①-1 42 回：模擬演習①-2 43 回：模擬演習②-1 44 回：模擬演習②-2 45 回：模擬演習③-1		46 回：模擬演習③-2 47 回：模擬演習④-1 48 回：模擬演習④-2 49 回：模擬演習⑤-1 50 回：模擬演習⑤-2 51 回：模擬演習⑥-1 52 回：模擬演習⑥-2 53 回：模擬演習⑦-1 54 回：模擬演習⑦-2 55 回：模擬演習⑧-1 56 回：模擬演習⑧-2 57 回：模擬演習⑨-1 58 回：模擬演習⑨-2 59 回：総まとめ① 60 回：総まとめ②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅳ－Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	短答直前演習Ⅳ－Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の短答式に対応できる知識を習得する 【概要】 短答式科目の正確な会計処理および理論の文章判断を演習形式で学ぶ				
到達目標	正確な会計処理を行うことができる 正確な理論を文章から読み取り判断できる 公認会計士試験の短答式の合格点に到達する				
授業内容	1 回：直前対策①企業法 2 回：直前対策①管理会計論 3 回：直前対策①監査論 4 回：直前対策①財務会計論① 5 回：直前対策①財務会計論② 6 回：直前対策②企業法 7 回：直前対策②管理会計論 8 回：直前対策②監査論 9 回：直前対策②財務会計論① 10 回：直前対策②財務会計論② 11 回：直前対策③企業法 12 回：直前対策③管理会計論 13 回：直前対策③監査論 14 回：直前対策③財務会計論① 15 回：直前対策③財務会計論②		16 回：直前対策④企業法 17 回：直前対策④管理会計論 18 回：直前対策④監査論 19 回：直前対策④財務会計論① 20 回：直前対策④財務会計論② 21 回：直前対策⑤企業法 22 回：直前対策⑤管理会計論 23 回：直前対策⑤監査論 24 回：直前対策⑤財務会計論① 25 回：直前対策⑤財務会計論② 26 回：直前対策⑥企業法 27 回：直前対策⑥管理会計論 28 回：直前対策⑥監査論 29 回：直前対策⑥財務会計論① 30 回：直前対策⑥財務会計論②		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法ⅣA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税テキスト記載項目① 2 回：法人税テキスト記載項目② 3 回：法人税テキスト記載項目③ 4 回：法人税テキスト記載項目④ 5 回：法人税テキスト記載項目⑤ 6 回：法人税テキスト記載項目⑥ 7 回：法人税テキスト記載項目⑦ 8 回：所得税テキスト記載項目① 9 回：所得税テキスト記載項目② 10 回：所得税テキスト記載項目③ 11 回：消費税テキスト記載項目① 12 回：消費税テキスト記載項目② 13 回：理論対策① 14 回：理論対策②、改正講義 15 回：組織再編				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅳ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	1 回：法人税法総則・租税法総論１ 2 回：法人税法総則・租税法総論２ 3 回：交際費等の損金不算入１ 4 回：交際費等の損金不算入２ 5 回：減価償却（普通償却）１ 6 回：減価償却（普通償却）２ 7 回：租税公課及び納税充当金１ 8 回：租税公課及び納税充当金２ 9 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産１ 10 回：受取配当等の益金不算入・繰延資産２ 11 回：金銭債務の償還差損益・有価証券 12 回：各事業年度の所得の金額の計算方法等 13 回：所得税額控除 14 回：寄附金の損金不算入 15 回：減価償却（特別償却）		16 回：特別償却準備金・リース取引 17 回：評価損益・法人税額の計算の基礎等 18 回：外国税額控除・貸倒損失 19 回：欠損金の繰越控除･収用等の特別控除 20 回：圧縮記帳１ 21 回：圧縮記帳２ 22 回：圧縮記帳３ 23 回：圧縮記帳４ 24 回：同族会社・役員使用人兼務役員の判定 25 回：役員給与・使用人給与 26 回：外国子会社配当等・みなし配当 27 回：帰属事業年度・税効果会計等 28 回：外貨建・保険料・グループ法人税制１ 29 回：グループ法人税制２ 30 回：グループ法人税制３・修正申告		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅳ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験（論文式）に合格するための租税法に関する知識の習得を目的とする 【概要】 法人税・所得税・消費税の税額の計算体系及び理論的な背景の基本項目を身につける				
到達目標	基本的な税額計算ができる 公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する				
授業内容	31 回：交際費・租税公課 32 回：減価償却 33 回：所得税法の概要・各種所得１ 34 回：各種所得２・減価償却 35 回：課税標準・所得控除額１ 36 回：所得控除額２・課税所得金額 37 回：納付税額・青色申告制度・源泉徴収 38 回：利子所得及び配当所得・譲渡所得１ 39 回：譲渡所得２・事業所得１ 40 回：事業所得２・総合問題 41 回：消費税法の概要・課税の対象１ 42 回：課税の対象２・非課税 43 回：輸出免税・仕入れ税額１ 44 回：仕入れ税額２ 45 回：仕入れ税額３・仕入れ売上げ返還等		46 回：貸倒れ・税率・インボイス 47 回：課税標準・国境越え役務・納税義務１ 48 回：納税義務２・簡易課税・中間申告 49 回：非課税資産の輸出・調整対象固定資産 50 回：居住用賃貸建物・総合問題 51 回：改正講義１ 52 回：改正講義２ 53 回：組織再編税制１ 54 回：組織再編税制２ 55 回：組織再編税制３ 56 回：理論対策１ 57 回：理論対策２ 58 回：理論対策３ 59 回：理論対策４ 60 回：理論対策５		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅳ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	応用論点を含む税額計算ができる 重要論点項目の応用的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習直対①-1 2 回：租税法論文演習直対①-2 3 回：租税法論文演習直対②-1 4 回：租税法論文演習直対②-2 5 回：租税法論文演習直対③-1 6 回：租税法論文演習直対③-2 7 回：租税法論文演習直対④-1 8 回：租税法論文演習直対④-2 9 回：租税法論文演習直対⑤-1 10 回：租税法論文演習直対⑤-2 11 回：租税法論文演習直対⑥-1 12 回：租税法論文演習直対⑥-2 13 回：租税法論文演習直対⑦-1 14 回：租税法論文演習直対⑦-2 15 回：租税法論文演習直⑧-1		16 回：租税法論文演習直対⑧-2 17 回：租税法論文演習直対⑨-1 18 回：租税法論文演習直対⑨-2 19 回：租税法論文演習直対⑩-1 20 回：租税法論文演習直対⑩-2 21 回：租税法論文演習直対⑪-1 22 回：租税法論文演習直対⑪-2 23 回：租税法論文演習直対⑫-1 24 回：租税法論文演習直対⑫-2 25 回：租税法論文演習直対⑬-1 26 回：租税法論文演習直対⑬-2 27 回：租税法論文演習直対⑭-1 28 回：租税法論文演習直対⑭-2 29 回：租税法論文演習直対⑮-1 30 回：租税法論文演習直対⑮-2		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅳ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法論文対策Ⅳ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを演習形式で学ぶ				
到達目標	基礎的な税額計算ができる 重要論点項目の基礎的な記述ができる 公認会計士試験の論文式の出題形式に対応できる				
授業内容	1 回：租税法論文演習①-1 2 回：租税法論文演習①-2 3 回：租税法論文演習②-1 4 回：租税法論文演習②-2 5 回：租税法論文演習③-1 6 回：租税法論文演習③-2 7 回：租税法論文演習④-1 8 回：租税法論文演習④-2 9 回：租税法論文演習⑤-1 10 回：租税法論文演習⑤-2 11 回：租税法論文演習⑥-1 12 回：租税法論文演習⑥-2 13 回：租税法論文演習⑦-1 14 回：租税法論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを問題演習により学ぶ				
到達目標	公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	租税法Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の論文式に対応できる知識を習得する 【概要】 税額計算の構造および理論的背景や論拠などを問題演習により学ぶ				
到達目標	公認会計士試験（論文式）の合格点に到達する 合格後の実務で必要となる実践的な知識を習得する 公認会計士試験の論文式の基礎的記述が習得できる				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅳ	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論・組織戦略論を応用的に学習し、具体的なモデルを用いた計算や理論背景の応用項目を身につける 【概要】 経営についての応用的な計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 経営学の実践的知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための実践的知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学ⅣA	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論・組織戦略論を応用的に学習し、具体的なモデルを用いた計算や理論背景の応用項目を身につける 【概要】 経営についての応用的な計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 経営学の実践的知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための実践的知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅳ速習	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経営学として出題されるファイナンス理論について、具体的な計算や理論背景の基礎項目を身につけ、公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 ファイナンスの計算と考え方を学ぶ				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 経営学の実践的知識を身につけ、理論的な思考力を養う 監査人として働くための実践的知識を得る				
授業内容	1 回：投資理論 2 回：最適ポートフォリオの選択 3 回：CAPM 4 回：資本コスト 5 回：最適資本構成 6 回：プロジェクトの評価 7 回：デリバティブ 8 回：アメリカ経営学説 9 回：組織構造論 10 回：組織文化論 11 回：動機づけ理論 12 回：リーダーシップ理論 13 回：多角化戦略 14 回：競争戦略 15 回：コーポレートガバナンス	16 回：論文演習対策① 17 回：論文演習対策② 18 回：論文演習対策③ 19 回：論文演習対策④ 20 回：論文演習対策⑤ 21 回：論文演習対策⑥ 22 回：論文演習対策⑦ 23 回：論文演習対策⑧ 24 回：論文演習対策⑨ 25 回：論文演習対策⑩ 26 回：論文演習対策⑪ 27 回：論文演習対策⑫ 28 回：論文演習対策⑬ 29 回：論文演習対策⑭ 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅳ直対	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 問題演習を通じて、実践的知識の定着を図る 監査人として働くための実践的知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習直対①-1 2 回：経営学論文演習直対①-2 3 回：経営学論文演習直対②-1 4 回：経営学論文演習直対②-2 5 回：経営学論文演習直対③-1 6 回：経営学論文演習直対③-2 7 回：経営学論文演習直対④-1 8 回：経営学論文演習直対④-2 9 回：経営学論文演習直対⑤-1 10 回：経営学論文演習直対⑤-2 11 回：経営学論文演習直対⑥-1 12 回：経営学論文演習直対⑥-2 13 回：経営学論文演習直対⑦-1 14 回：経営学論文演習直対⑦-2 15 回：総まとめ直対				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅳ基礎	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 問題演習を通じて、実践的知識の定着を図る 監査人として働くための実践的知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学論文対策Ⅳ速習	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 問題演習を通じて、実践的知識の定着を図る 監査人として働くための実践的知識を得る				
授業内容	1 回：経営学論文演習①-1 2 回：経営学論文演習①-2 3 回：経営学論文演習②-1 4 回：経営学論文演習②-2 5 回：経営学論文演習③-1 6 回：経営学論文演習③-2 7 回：経営学論文演習④-1 8 回：経営学論文演習④-2 9 回：経営学論文演習⑤-1 10 回：経営学論文演習⑤-2 11 回：経営学論文演習⑥-1 12 回：経営学論文演習⑥-2 13 回：経営学論文演習⑦-1 14 回：経営学論文演習⑦-2 15 回：総まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅳ演習Ⅰ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	前期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 問題演習を通じて、実践的知識の定着を図る 問題演習により苦手分野の克服を行う				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経営学Ⅳ演習Ⅱ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 公認会計士試験の経営学の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を取得する 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	公認会計士試験の論文式の科目合格レベルに到達する 問題演習を通じて、実践的知識の定着を図る 問題演習により苦手分野の克服を行う				
授業内容	1 回：問題演習① 2 回：問題演習② 3 回：問題演習③ 4 回：問題演習④ 5 回：問題演習⑤ 6 回：問題演習⑥ 7 回：問題演習⑦ 8 回：問題演習⑧ 9 回：問題演習⑨ 10 回：問題演習⑩ 11 回：問題演習⑪ 12 回：問題演習⑫ 13 回：問題演習⑬ 14 回：問題演習⑭ 15 回：問題演習⑮		16 回：問題演習⑯ 17 回：問題演習⑰ 18 回：問題演習⑱ 19 回：問題演習⑲ 20 回：問題演習⑳ 21 回：問題演習㉑ 22 回：問題演習㉒ 23 回：問題演習㉓ 24 回：問題演習㉔ 25 回：問題演習㉕ 26 回：問題演習㉖ 27 回：問題演習㉗ 28 回：問題演習㉘ 29 回：問題演習㉙ 30 回：問題演習㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを確認しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	キャリアデザインⅠ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 就職内定へ向けた就職活動について学習する。 【概要】 就職活動について理解する。				
到達目標	就職活動に関する一般的な知識を身につける。 就職活動の準備が整っている。 企業実習により業界理解を深める。				
授業内容	1 回：就職の心構え 2 回：自己 PR、自己分析① 3 回：自己 PR、自己分析② 4 回：自己 PR、自己分析③ 5 回：自己 PR、自己分析④ 6 回：自己 PR、自己分析⑤ 7 回：自己 PR、自己分析⑥ 8 回：自己 PR、自己分析⑦ 9 回：自己 PR、自己分析⑧ 10 回：説明会 11 回：選考試験 12 回：面接試験① 13 回：面接試験② 14 回：挨拶・お辞儀・座り方 15 回：入退室方法		16 回：履歴書① 17 回：履歴書② 18 回：履歴書③ 19 回：企業へのアクセス 20 回：業界研究 21 回：企業研究 22 回：事前研究① 23 回：事前研究② 24 回：事前研究③ 25 回：事前討論 26 回：講演① 27 回：講演② 28 回：講演③ 29 回：グループ討論 30 回：まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	前回までの内容を復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	キャリアデザインⅡ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 就職筆記試験対策として、優良企業への就職に必要な知識を身に付ける。 【概要】 就職活動における筆記試験を通過するための言語・非言語分野、一般常識及び時事を学習する。				
到達目標	言語分野の知識を身に付ける。 非言語分野の解法を身に付ける。 一般常識・時事に興味を持ち情報収集ができる。				
授業内容	1 回：国語① 2 回：国語② 3 回：国語③ 4 回：数学① 5 回：数学② 6 回：数学③ 7 回：英語① 8 回：英語② 9 回：英語③ 10 回：社会① 11 回：社会② 12 回：社会③ 13 回：時事① 14 回：時事② 15 回：時事③・まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト参考文献				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	テキストの内容確認をする				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	キャリアデザインⅢ	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 就職内定に向けた実践的な活動を学ぶ 【概要】 企業について理解を深める				
到達目標	企業研究と自己理解 実践的な就職活動について 企業実習により業界理解を深める。				
授業内容	1 回：会社選択の知識 2 回：ES の作成① 3 回：ES の作成② 4 回：ES の作成③ 5 回：書類作成と企業へのアプローチ① 6 回：書類作成と企業へのアプローチ② 7 回：実績的就職活動① 8 回：実績的就職活動② 9 回：模擬面接練習① 10 回：模擬面接練習① 11 回：模擬面接練習② 12 回：模擬面接練習③ 13 回：効果測定 14 回：企業実習①講演 15 回：企業実習②まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	前回までの内容を復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー（基礎Ⅰ）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	3	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 就職活動において必要な立ち居振る舞い・挨拶・敬語を養い、会社訪問時の電話の掛け方を身に付ける。 【概要】 ビジネス現場で想定される実践的な知識や技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。				
到達目標	第一印象の重要性を理解する。 社会人として適切な言葉を選択し、会話をすることができる。 会社訪問時の電話予約ができる。				
授業内容	1 回：挨拶の必要性 2 回：基本的な言葉遣い 3 回：クッション言葉 4 回：状況に応じた言葉遣い 5 回：笑顔 6 回：お辞儀 7 回：立ち居振る舞い 8 回：基本的な電話応対 9 回：かけ方の基本 10 回：電話の掛け方①＜予約＞ 11 回：電話の掛け方②＜予約＞ 12 回：電話の掛け方③＜予約＞ 13 回：電話の掛け方④＜予約＞ 14 回：電話の掛け方⑤＜予約＞ 15 回：電話の掛け方⑥＜変更＞		16 回：電話の掛け方⑦＜辞退＞ 17 回：総合演習① 18 回：総合演習② 19 回：総合演習③ 20 回：総合演習④ 21 回：総合演習⑤ 22 回：総合演習⑥ 23 回：総合演習⑦ 24 回：総合演習⑧ 25 回：総合演習⑨ 26 回：総合演習⑩ 27 回：総合演習⑪ 28 回：総合演習⑫ 29 回：総合演習⑬ 30 回：総合演習⑭		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	前回までの内容を復習しておくこと				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー（基礎Ⅱ）	授業形態	演習	区　分	必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 実務で求められる電話応対スキルを習得し、企業や組織の一員として適切かつ的確な応対ができるようになることを目的とする。 【概要】 ロールプレイングを通して実践力を養い、状況に応じた適切な応対ができる力を育成する。				
到達目標	社会人として求められる基本的な電話応対能力を身につける。 社内外の相手に対し、信頼感を与える言葉遣いで応対できる。 相手の要件を正確には把握し、必要な情報を簡潔に伝えることができる。				
授業内容	1 回：社会人としての心構え 2 回：職場のマナー・立居振舞い等 3 回：ロールプレイ 4 回：挨拶・笑顔・お辞儀・敬語の種類 5 回：来客応対・名刺交換基礎・応用 6 回：ロールプレイ 7 回：基本的な電話応対・電話の受け方 8 回：電話応対のロールプレイ 9 回：電話応対のロールプレイ 10 回：電話の受け方（伝言メモ・道案内等） 11 回：電話応対のロールプレイ 12 回：電話応対のロールプレイ 13 回：電話の掛け方の基本・伝言記述練習 14 回：電話応対のロールプレイ 15 回：状況別の電話応対方法・伝言記述練習		16 回：電話応対のロールプレイ 17 回：電話応対実技 1 18 回：電話応対実技 2 19 回：電話応対実技 3 20 回：電話応対実技 4 21 回：電話応対実技 5 22 回：電話応対実技 6 23 回：電話応対実技 7 24 回：電話応対実技 8 25 回：電話応対実技 9 26 回：電話応対実技 10 27 回：電話応対実技 11 28 回：電話応対実技 12 29 回：職場のマナー・報連相の必要性等 30 回：まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	テキストの内容確認をする				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	時事実践	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 時事に興味関心を持ち情報収集を行い、自分の考えや意見をまとめ、プレゼンテーションやディスカッションができる。 【概要】 情報収集を行い分析し、テーマに関する考察をし、レポートやプレゼンテーション資料を作成する。				
到達目標	様々な媒体より情報を収集し、テーマに関する説明や意見の文章化ができる。 テーマに関する説明や意見に基づいて、プレゼンテーション資料の作成ができる。 グループにおける意見を集約し、業務分担によりプレゼンテーション及びディスカッションに必要な資料が用意ができる。				
授業内容	1 回：実践編ガイダンス 2 回：研究資料作成練習 3 回：研究テーマの決定① 4 回：実践編研究資料作成① 5 回：研究テーマの決定② 6 回：実践編研究資料作成② 7 回：プレゼンテーション編ガイダンス 8 回：研究テーマの選出・決定 9 回：プレゼンテーション編研究資料作成 10 回：プレゼンテーション発表 11 回：個人研究編ガイダンス 12 回：役割分担決定 13 回：グループプレゼンテーション作成 14 回：発表練習 15 回：プレゼン発表及びディスカッション				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	前回までに情報収集した内容の確認				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー実技（接遇）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 社会人として必要な接客スキルを習得し、お客様との信頼関係を構築できる人材を育成する。 【概要】 ロールプレイングを通じて、相手に安心感と満足感を与える接客力を習得する。				
到達目標	来客応対の一連の流れ（出迎え～見送り）を実行できる。 場面に応じた最適な言葉遣い・応対ができる。 笑顔・声のトーン・所作で相手に好印象を与えられる。				
授業内容	1 回：接遇の心構え・お茶の入れ方、出し方 2 回：接遇の流れ 1・名刺交換 3 回：ロールプレイ 4 回：接遇の流れ 2・名刺交換 5 回：ロールプレイ 6 回：来客の基本応対 1 7 回：来客の基本応対 2 8 回：接遇実技練習 1 9 回：接遇実技練習 2 10 回：接遇実技練習 3 11 回：接遇実技練習 4 12 回：接遇実技練習 5 13 回：接遇実技練習 6 14 回：接遇実技練習 7 15 回：まとめ				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	テキストの内容確認をする				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（パソコンⅠ）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。 【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。				
到達目標	ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。				
授業内容	1 回：Word の基本操作 2 回：ビジネス文書の基本ルール 3 回：社外文書の作成 4 回：社内文書の作成 5 回：様々な書式設定 6 回：シンプルなレポートの作成 7 回：報告書の作成 8 回：表を使った文書の作成 9 回：ワードアートを使った文書の作成 10 回：画像を使った文書の作成 11 回：図形を使った文書の作成 12 回：SmartArt を使った文書の作成 13 回：ビジネス文書の作成１ 14 回：ビジネス文書の作成２ 15 回：ビジネス文書の作成３				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（パソコンⅡ）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。 【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。				
到達目標	データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。 グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。				
授業内容	1 回：Excel の基本操作 2 回：数式について 3 回：SUM 関数について 4 回：見やすく使いやすい表にする編集操作 5 回：グラフの基本 6 回：目的に応じたグラフの作成と編集 7 回：複合グラフの作成 8 回：相対参照と絶対参照 9 回：AVERAGE 関数について 10 回：MAX・MIN 関数について 11 回：COUNT 関数について 12 回：ROUND 関数について 13 回：IF 関数について 14 回：IF 関数のネスト 15 回：集計表の作成				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネス実践（パソコンⅢ）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職場で必要なワークシートやグラフ、データベースについて、手際よく作成・処理できるスキルを身に付ける。 【概要】 Microsoft Excel を利用した演習で表計算やデータ分析のスキルを身に付ける。				
到達目標	業務に役立つ関数及びデータベース機能を活用できる。 状況に合った集計及び資料作成ができる。				
授業内容	1 回：データベース機能について１ 2 回：データベース機能について２ 3 回：ワークシート間の集計１ 4 回：ワークシート間の集計２ 5 回：基礎的な関数の復習 6 回：VLOOKUP 関数について 7 回：給与計算表の作成 8 回：データの抽出１ 9 回：データの抽出２ 10 回：ピボットテーブルについて１ 11 回：ピボットテーブルについて２ 12 回：マクロによる自動化１ 13 回：マクロによる自動化２ 14 回：見積書の作成 15 回：Excel の活用について				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	税務会計（所得税）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	税理士法人にて税務会計に従事
授業目的 概　要	【目的】 所得税法の体系的理解と、個人の所得計算・申告事務に関する基礎知識を身に付ける。 【概要】 10 種類の所得区分、所得控除、税額計算の仕組みを学習する。				
到達目標	所得税の基礎概念を理解する。 10 種類の所得区分を正確に判定し、各所得金額の計算および、各種所得控除を理解している。 3 級レベルの検定試験において基本的な問題の知識を身につける。				
授業内容	1 回：所得税の概要 2 回：不動産所得 3 回：事業所得①（収入と経費） 4 回：事業所得②（事業所得の一連の流れ） 5 回：給与所得 6 回：利子・配当・一時・雑所得 7 回：山林所得・譲渡所得 8 回：所得控除 9 回：総合課税の計算 10 回：過去問演習① 11 回：過去問演習② 12 回：過去問演習③ 13 回：過去問演習④ 14 回：過去問演習⑤ 15 回：過去問演習⑥・まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	テキストの内容を確認する。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	計算実務	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経理担当者にとって重要な計算実務の養成。 【概要】 過去問題集を使用した演習及び解説。				
到達目標	帳票計算（試算表、商品有高帳など）の集計力を高める。 伝票計算の集計力を高める。 商業計算の集計力を高める。				
授業内容	1 回：帳簿計算の解答方法 2 回：伝票計算の解答方法 3 回：商業計算の解答方法 4 回：過去問演習１ 5 回：過去問演習２ 6 回：過去問演習３ 7 回：過去問演習４ 8 回：過去問演習５ 9 回：過去問演習６ 10 回：過去問演習７ 11 回：過去問演習８ 12 回：過去問演習９ 13 回：過去問演習１０ 14 回：過去問演習１１ 15 回：過去問演習１２、まとめ				
テキスト 参考文献	テキスト・参考書				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	前回までの内容を復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	プレゼンテーション	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	1	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	1	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 課題に対して情報収集を行い、自分の考えやグループディスカッションを行い意見を発表する 【概要】 課題に対して情報収集・考察を行い、プレゼンテーションを行う				
到達目標	課題に対して情報が収集できる 課題に関する説明及び発表内容の準備ができる 課題に対してプレゼンテーション及びディスカッションができる				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：資料データの収集・考察 1 3 回：プレゼンテーションの発表準備 1 4 回：発表練習 1 5 回：発表 1 6 回：資料データの収集・考察 2 7 回：プレゼンテーションの発表準備 2 8 回：発表練習 2 9 回：発表 2 10 回：資料データの収集・考察 3 11 回：プレゼンテーションの発表準備 3 12 回：グループ研究 1 13 回：グループ研究 2 14 回：発表練習 3 15 回：発表 3				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	統計資料データの研究及び発表練習				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー実技応用編（電話対応）	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 ビジネスの公的場面で、状況に即応する機転を利かせ感じのよい電話応対ができる 【概要】				
到達目標	電話での正しい敬語が常に使える。 感じのよい話し方が常にできる。 機転の利いた対応ができる。				
授業内容	1 回：状況別挨拶①、伝言記述・復唱① 2 回：電話応対ロールプレイング① 3 回：状況別挨拶②、伝言記述・復唱② 4 回：電話応対ロールプレイング② 5 回：状況別挨拶③、伝言記述・復唱③ 6 回：電話応対ロールプレイング③ 7 回：状況別挨拶④、伝言記述・復唱④ 8 回：電話応対ロールプレイング④ 9 回：伝言・記述復唱練習⑤ 10 回：電話応対ロールプレイング⑤ 11 回：電話応対ロールプレイング⑥ 12 回：電話応対ロールプレイング⑦ 13 回：電話応対ロールプレイング⑧ 14 回：電話応対ロールプレイング⑨ 15 回：電話応対ロールプレイング⑩				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページ及び配布資料の確認をする。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	販売・仕入管理	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 職種を問わず必要な知識である、受注、納品、売上、請求、回収といった商品販売の流れにおける事務手続きを理解する。 【概要】 実務で用いられる帳票を使い、各種帳票の記入方法や締め日の概念、税込・税抜処理、消込処理などを流れを追って学ぶ。				
到達目標	売上事務、仕入事務の流れを理解している。 各種証憑書類や補助簿の作成ができる。 複数の取引先との売上事務処理ができる。				
授業内容	1 回：売上事務の流れ１ 2 回：売上事務の流れ２ 3 回：納品書の作成と売上計上１ 4 回：納品書の作成と売上計上２ 5 回：請求書の発行と代金回収管理１ 6 回：請求書の発行と代金回収管理２ 7 回：複数の取引先との取引１ 8 回：複数の取引先との取引２ 9 回：仕入事務の流れ１ 10 回：仕入事務の流れ２ 11 回：仕入管理の記帳１ 12 回：仕入管理の記帳２ 13 回：仕入代金の支払いと買掛金管理 14 回：会計ソフト実習① 15 回：会計ソフト実習②				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経理実務（実務編）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経理職・事務職として業務遂行上必要とされる記帳や税務等の基礎知識を習得する。 【概要】 消費税に伴う事務処理及び、伝票処理など日々行われる具体的な会計処理手続きを学ぶ。				
到達目標	給与にかかる税金、社会保険の基礎及び日常業務に関する仕訳を理解している。 証憑書類（領収書、小切手帳）の作成等ができる。 損益計算書、貸借対照表を読むことができ、基本的な財務分析を理解している。				
授業内容	1 回：経理・総務の年間業務 2 回：小切手、手形の実務 3 回：入出金伝票と現金出納帳 4 回：当座預金出納帳と手形記入帳 5 回：交際費、福利厚生費、会議費等区分① 6 回：交際費、福利厚生費、会議費等区分② 7 回：健康・厚生年金保険の概要 8 回：健康・厚生年金保険の会計処理① 9 回：健康・厚生年金保険の会計処理② 10 回：源泉所得税（給与）の徴収・納付事務 11 回：所得税の基礎知識 12 回：源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務① 13 回：源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務② 14 回：個人住民税の徴収及び納付（基礎） 15 回：個人住民税の徴収及び納付（応用）		16 回：給与支払報告書 17 回：印紙税の基礎知識 18 回：受取利息の会計処理 19 回：消費税の基礎知識 20 回：消費税の会計処理 21 回：原則的な日々の記帳（税込処理） 22 回：原則的な日々の記帳（税抜処理） 23 回：決算処理① 24 回：決算処理② 25 回：決算対策① 26 回：決算対策② 27 回：経営分析（収益性） 28 回：経営分析（安全性） 29 回：経営分析（損益分岐点） 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経理実務（給与計算編）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経理職・事務職として給与支払業務遂行上必要とされる書類記入や処理の基礎知識を習得する。 【概要】 源泉所得税及び住民税、社会保険など給与支払いに関する具体的な事務処理手続きを学ぶ。				
到達目標	所得税法の基礎及び源泉徴収、給与計算、年末調整の事務手続きを理解している。 各種申告書の作成ができる。 労働保険の概要を理解し、会計処理ができる。				
授業内容	1 回：所得税の基礎知識 2 回：所得税の計算体系 3 回：各種所得及び課税標準① 4 回：各種所得及び課税標準② 5 回：所得控除① 6 回：所得控除② 7 回：課税所得金額及び納付税額 8 回：年末調整の概要 9 回：年末調整の流れ 10 回：扶養控除等（異動）申告書 11 回：保険料控除申告書 12 回：基礎控除兼配偶者控除等申告書 13 回：住宅借入金等特別控除申告書 14 回：源泉徴収簿・源泉徴収票① 15 回：源泉徴収簿・源泉徴収票②		16 回：所得税徴収高計算書 17 回：法定調書（給与所得） 18 回：法定調書（退職所得） 19 回：法定調書（報酬等） 20 回：法定調書（不動産の使用料等） 21 回：法定調書（不動産の譲受けの対価） 22 回：個人住民税の概要 23 回：個人住民税の税額計算 24 回：個人住民税の徴収方法 25 回：給与支払報告書 26 回：労働保険の概要 27 回：労働保険の年度更新 28 回：労働保険概算・確定保険料申告書① 29 回：労働保険概算・確定保険料申告書② 30 回：総まとめ		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	経理実務（税務編）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 経理職として業務遂行上必要とされる税務についての基礎知識を習得する。 【概要】 消費税及び法人税の申告を行うための基礎的な体系及び計算方法を学ぶ。				
到達目標	消費税及び法人税の課税の仕組みを理解できる。 税額算定に必要な課税対象取引が理解できる。 納税額の基礎的な計算ができる。				
授業内容	1 回：消費税法の概要 2 回：消費税の納税義務者 3 回：基準期間の判定 4 回：課税売上高の算定 5 回：免税事業者と消費税の還付 6 回：国内取引の課税対象要件 7 回：国内取引の判定 8 回：消費税の課税取引 9 回：消費税の非課税取引 10 回：消費税の免税取引 11 回：課税仕入の区分 12 回：課税標準の算定 13 回：仕入控除税額、課税仕入等の税額計算 14 回：個別対応方式と一括比例配分方式 15 回：簡易課税制度		16 回：消費税の申告・納付 17 回：法人税法の概要 18 回：納税義務と課税所得等の範囲 19 回：法人税の申告・納付 20 回：別表四の計算構造 21 回：別表一の計算構造 22 回：別表五（一）の計算構造 23 回：交際費等 24 回：受取配当等 25 回：別表四の作成による所得金額の計算 26 回：別表一の作成による税額の計算 27 回：法人事業税の基礎知識 28 回：法人事業税の税額計算 29 回：法人住民税の基礎知識 30 回：法人住民税の税額計算		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー実技（商品説明）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 商品やサービスの知識を深めるとともに、顧客のメリットを分かりやすく伝える手法を実践形式で学ぶ。 【概要】 商品の持つ特長や機能から顧客のメリットまで、分かりやすく説明する手法を身に付ける。				
到達目標	コミュニケーションの基本要素と商品の機能を理解できる。 人前で話すことに慣れ、好印象を与える話し方や振る舞いができる。 商品の特長から、顧客のメリットまでを順序立てて説明ができる。				
授業内容	1 回：商品説明とは 2 回：聞き上手は成功する 3 回：商品知識 4 回：お客様にとってのメリットを語る 5 回：説明に必要な資料を準備する 6 回：話の組み立て方 7 回：説明シナリオの作成１ 8 回：説明シナリオの作成２ 9 回：説明シナリオの作成３ 10 回：距離と位置に気をつける 11 回：商品説明の速度 12 回：コミュニケーションの三要素 13 回：商品説明の練習 14 回：商品説明のロールプレイ１ 15 回：商品説明のロールプレイ２				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページ及び配布資料の確認をする。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー実技応用編（販売接客）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 接客販売サービスのプロとして、顧客満足を高める電話、接客応対のマナーを実践形式で学ぶ。 【概要】 接客販売サービスに必要な顧客心理の理解や販売マナーについて、ロールプレイを通して身に付ける。				
到達目標	社会人レベルのマナーと顧客心理を理解し、来客者の応対ができる。 顧客からの電話での問い合わせやクレームへの応対ができる。 販売接客のプロとして、顧客満足を高める店内接客ができる。				
授業内容	1 回：挨拶の種類 2 回：笑顔とお辞儀 3 回：接客販売の心得 4 回：キャラクターを演じる 5 回：お客様の心理を理解しよう 6 回：接客用語 7 回：店内接客の練習 8 回：状況別の店内接客 9 回：電話での問い合わせ 10 回：クレームとは 11 回：クレーム応対方法 12 回：クレーム応対の練習 13 回：販売接客の練習 14 回：販売接客のロールプレイ１ 15 回：販売接客のロールプレイ２				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	ビジネスマナー実技応用編（営業）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	15	単位数	2	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 営業マンのプロとして、アポイントメントのとり方や訪問のマナーを実践形式で学ぶ。 【概要】 営業マンに必要な顧客心理の理解や訪問マナーについて、ロールプレイを通して身に付ける。				
到達目標	相手の都合を考えたアポイントメントが取れる。 訪問先で適切な振る舞い、名刺交換ができる。 営業のプロとして好印象を与える振る舞いができる。				
授業内容	1 回：営業職の仕事 2 回：訪問の流れ 3 回：営業の基本フレーズ 4 回：アポイントメント 5 回：アポイントメントの練習 6 回：訪問当日までの準備 7 回：受付・応接室でのポイント 8 回：名刺交換の基本 9 回：名刺交換の応用 10 回：訪問後のフォロー 11 回：会話の進め方 12 回：応酬話法 13 回：営業の練習 14 回：営業のロールプレイ１ 15 回：営業のロールプレイ２				
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	マーケティング（ビジネス財務知識）	授業形態	講義	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	30	単位数	4	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 現代企業におけるマーケティングの重要性と課題を理解し、将来、ビジネス社会で実践できることを目的とする。 【概要】 顧客満足を前提とした戦略を中心に、事例研究も交え、様々な分析手法を習得する。				
到達目標	4Ｐ図（4Ｃ図）から、顧客満足を前提とした戦略を選択することができる。 実際の店舗データを基に様々な分析を行うことができる。 様々な分析手法を学び、卒業研究に繋げられるようにする。				
授業内容	1 回：マーケティングの必要性 2 回：マーケティングの 4P① 3 回：マーケティングの 4P② 4 回：顧客の 4C 5 回：製品、商品、サービス 6 回：流通チャネル 7 回：会社の目的 8 回：決算書について 9 回：損益計算書について 10 回：利益率を使って分析 11 回：販売費および一般管理費について 12 回：事例研究 13 回：損益計算書の主な用語 14 回：利益を出すための方法 15 回：貸借対照表		16 回：収益性の分析 17 回：安全性の分析 18 回：同業企業における比較 19 回：マーケティングの流れ 20 回：売上の構成要素①来店客分析 21 回：事例研究① 22 回：売上の構成要素②商品分析 23 回：事例研究② 24 回：収益 UP の方法（企画） 25 回：費用分析 26 回：アンケート作成 27 回：収益 UP の方法（企画）② 28 回：様々なマーケティング 29 回：情報分析の手法① 30 回：これからのマーケティング		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習 の内　容	該当するテキストのページを復習しておくこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	卒業研究	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 業界が抱える問題や課題を調査研究し、それらを打開する新しい企画を立案する。そして、その企画を提案書にまとめてプレゼンテーションを行えることを目的とする。 【概要】 業界における問題を調査し、新しいビジネスモデルの企画から発表までを行う。				
到達目標	業界が抱える問題や課題について適切な情報収集ができる。 収集した情報を分析し、新しいビジネスモデルを立案できる。 提案書やプレゼンテーションデータを作成することができる。				
授業内容	1 回：ガイダンス 2 回：業界分析① 3 回：業界分析② 4 回：店舗分析① 5 回：店舗分析② 6 回：店舗分析③ 7 回：店舗分析④ 8 回：店舗分析⑤ 9 回：店舗分析⑥ 10 回：統計資料・データの収集① 11 回：統計資料・データの収集② 12 回：統計資料・データの収集③ 13 回：現地調査① 14 回：現地調査② 15 回：現地調査による問題点の抽出		16 回：現地調査による課題の検討① 17 回：現地調査による課題の検討② 18 回：現地調査報告書の作成 19 回：仮説の立案・検証① 20 回：仮説の立案・検証② 21 回：仮説の立案・検証③ 22 回：企画内容の検討① 23 回：企画内容の検討② 24 回：企画内容の検討③ 25 回：1 ページ企画書の作成① 26 回：1 ページ企画書の作成② 27 回：1 ページ企画書の作成③ 28 回：1 ページ企画書の作成④ 29 回：1 ページ企画書の作成⑤ 30 回：1 ページ企画書の作成⑥		
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	事前調査および授業内容の復習を行うこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。

2026 年度　　Syllabus

４年制公認会計士・税理士科					
授業科目	卒業研究	授業形態	演習	区　分	選択必修
年　次	4	時　期	後期	担　当	本学園教員
授業回数	60	単位数	8	実務家	
授業目的 概　要	【目的】 業界が抱える問題や課題を調査研究し、それらを打開する新しい企画を立案する。そして、その企画を提案書にまとめてプレゼンテーションを行えることを目的とする。 【概要】 業界における問題を調査し、新しいビジネスモデルの企画から発表までを行う。				
到達目標	業界が抱える問題や課題について適切な情報収集ができる。 収集した情報を分析し、新しいビジネスモデルを立案できる。 提案書やプレゼンテーションデータを作成することができる。				
授業内容	31 回：企画のシナリオ作成① 32 回：企画のシナリオ作成② 33 回：企画のシナリオ作成③ 34 回：中間発表準備 35 回：中間発表① 36 回：中間発表② 37 回：企画の見直し① 38 回：企画の見直し② 39 回：企画の見直し③ 40 回：研究データの修正① 41 回：研究データの修正② 42 回：研究データの修正③ 43 回：企画書の作成① 44 回：企画書の作成② 45 回：企画書の作成③		46 回：企画書の作成④ 47 回：企画書の作成⑤ 48 回：企画書の作成⑥ 49 回：プレゼンテーションデータの作成① 50 回：プレゼンテーションデータの作成② 51 回：プレゼンテーションデータの作成③ 52 回：プレゼンテーションデータの作成④ 53 回：プレゼンテーションデータの作成⑤ 54 回：プレゼンテーションデータの作成⑥ 55 回：発表練習① 56 回：発表練習② 57 回：発表練習③ 58 回：発表資料の修正 59 回：卒業研究発表会① 60 回：卒業研究発表会②		
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・演習課題等を総合的に加味して評価				
準備学習の内　容	事前調査および授業内容の復習を行うこと。				

※授業進度により、授業内容を変更する場合があります。